

岸和田市スポーツに関する市民意識調査
報告書

令和5年11月
岸和田市

目次

I	市民	1
(1)	調査概要	1
(2)	調査結果	2
1)	回答者の属性	2
2)	運動・スポーツの実施状況と今後の意向について	6
3)	公共スポーツ施設について	27
4)	組織でのスポーツ活動について	34
5)	岸和田市のスポーツ推進活動について	45
6)	健康・体力に関する意識について	67
II	小中学生	87
(1)	調査概要	87
(2)	調査結果	88
1)	回答者の属性	88
2)	運動・スポーツの実施状況について	89
III	未就学児の保護者	127
(1)	調査概要	127
(2)	調査結果	128
1)	回答者の属性	128
2)	運動・遊びの実施状況	130
3)	岸和田市のスポーツ推進活動について	140
4)	健康・体力に関する意識について	152
IV	まとめ	154

I 市民

(1) 調査概要

1) 調査対象

市内在住の18歳以上の市民4,000人

2) 調査日

令和5年●月●日～●月●日

3) 調査方法及び回収状況

調査方法	配布数	回収数	回収率
郵送による配布、回収	市内在住の18歳以上の市民4,000人	1,137通	28.4%

4) 調査結果の留意点

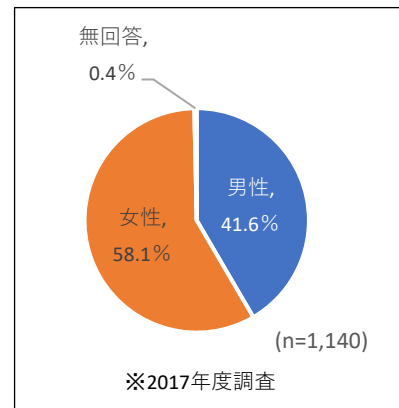
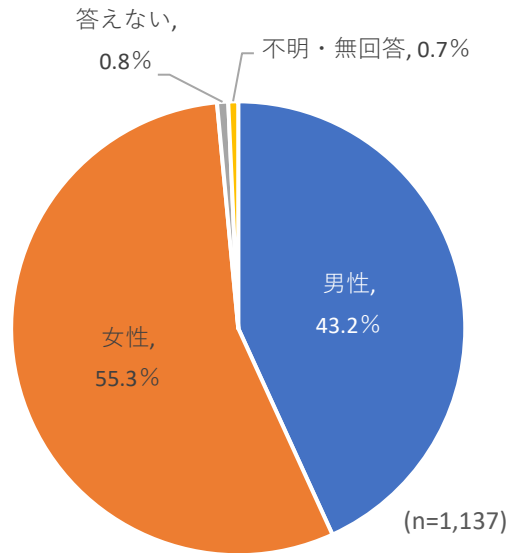
- 調査結果の図表の数値は、原則として回答者の構成比（百分率）で示している。
- 図表の右下の「n値（n=○）」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数（有効回答者数）を示している。
- 百分率による集計では、母数（有効回答者数）を100%として算出し、本文及び図表に示した数値は小数点第2位を四捨五入した小数点第1位までの値で示している。そのため、各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答者を限定する設問（前問である選択肢を回答した人のみが回答するなど）は、回答権のない回答者が回答している場合はその回答は無効とする。
- 母数（有効回答数）の少ない調査結果は、統計的誤差が大きい場合があり、数値の扱いに留意する必要がある。
- クロス集計のグラフについては、グラフ中の「0.0」は省略している。
- 選択肢の語句が長い場合は、本文中で省略している場合がある。

(2) 調査結果

1) 回答者の属性

① 性別

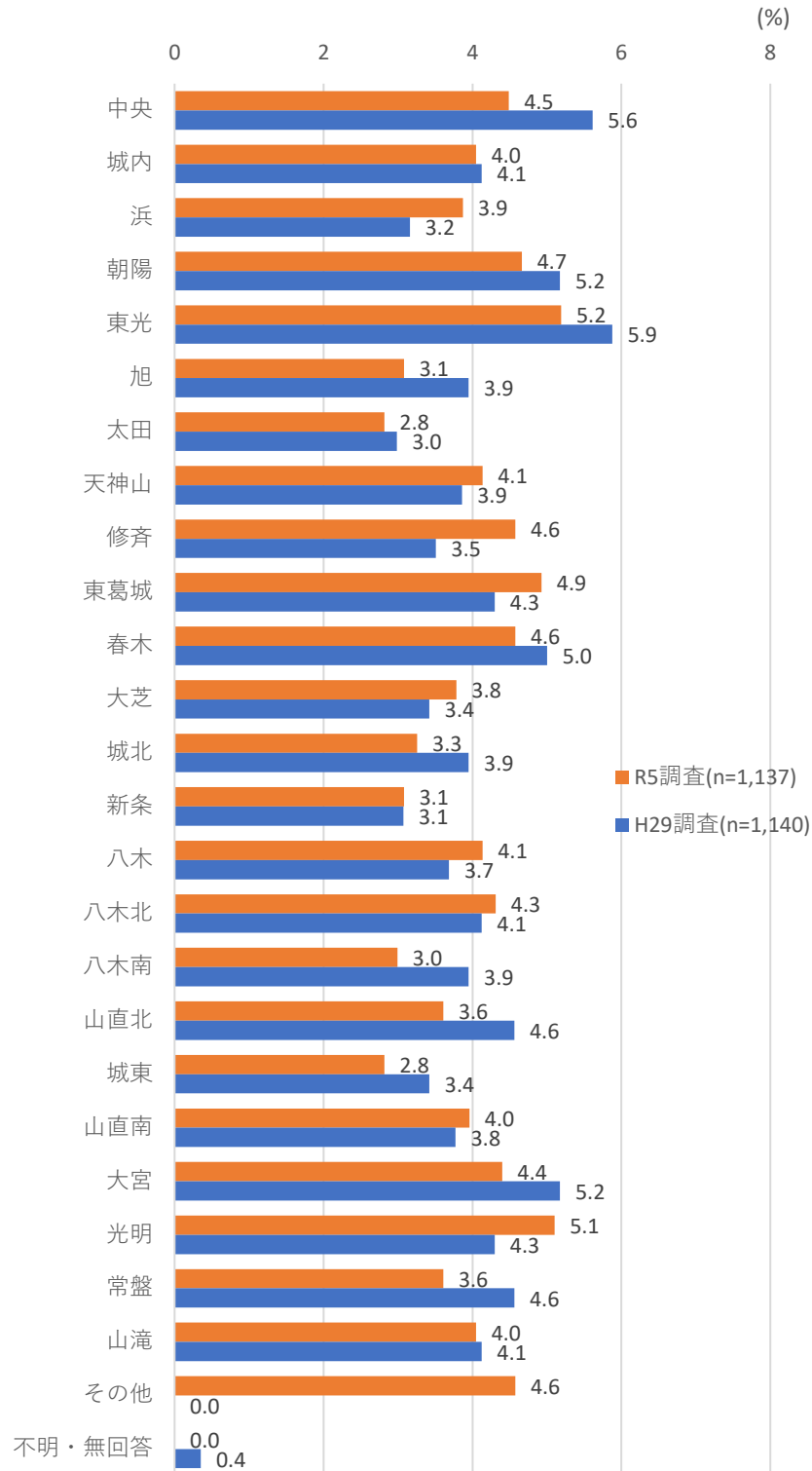
性別にみた回答者の内訳は、「女性」が55.3%、「男性」が43.2%で、女性がやや多い。
男女比は、前回調査（2017年度）とほぼ同様に、概ね4：6である。



② 小学校区

小学校区別では、それぞれ概ね3%から5%だが、「東光」が5.2%、「光明」が5.1%とやや多く、「太田」及び「城東」が2.8%とやや少ない。

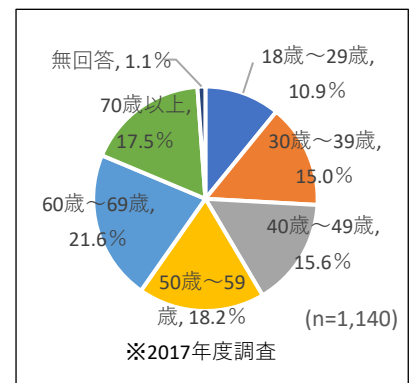
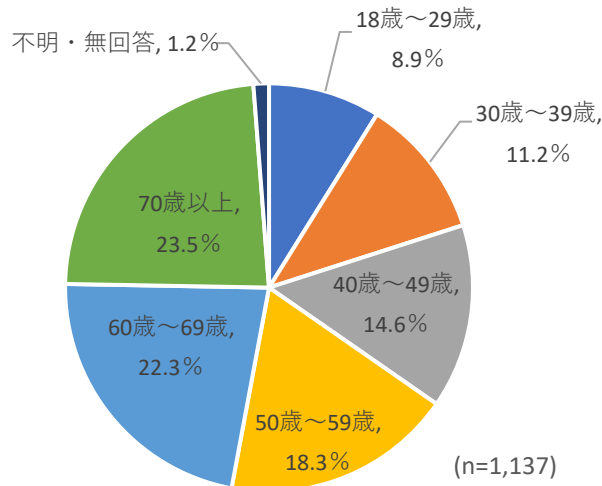
前回調査（2017年度）と比べると、「修斉」、「光明」で1ポイント前後増加しており、「中央」、「山直北」、「常盤」などで1ポイント以上減少している。



③ 年齢(令和4年10月1日現在の満年齢)

「70歳以上」が23.5%と最も多く、次いで「60歳～69歳」が22.3%、「50歳～59歳」が18.3%とつづく。年齢があがるほどその割合が高くなり、60歳以上の高齢者は、回答者全体の半数近く(45.8%)を占めている。

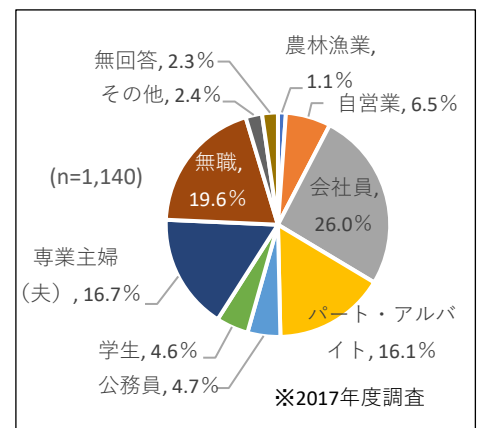
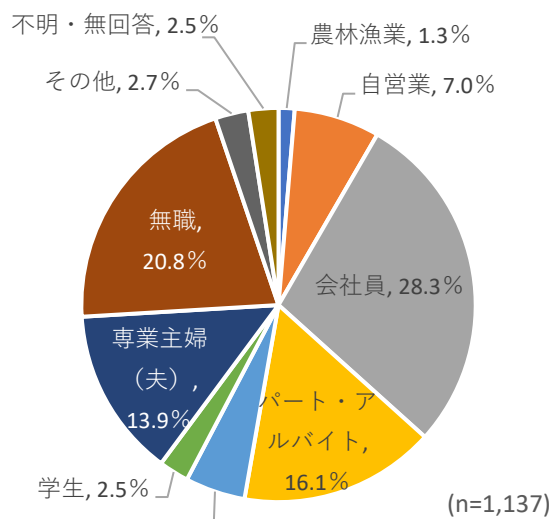
前回調査(2017年度)と比べると、60歳以上の高齢者の割合が約4割から約半数へと増加している。



④ 職業

「会社員」が28.3%と最も多く、次いで「無職」(20.8%)、「パート・アルバイト」(16.1%)とつづく。

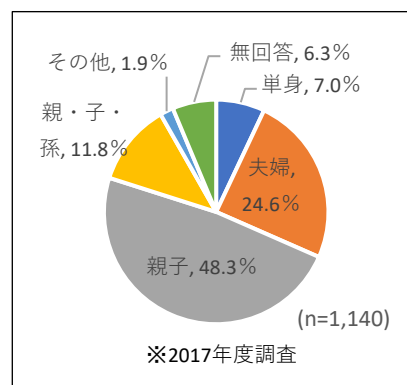
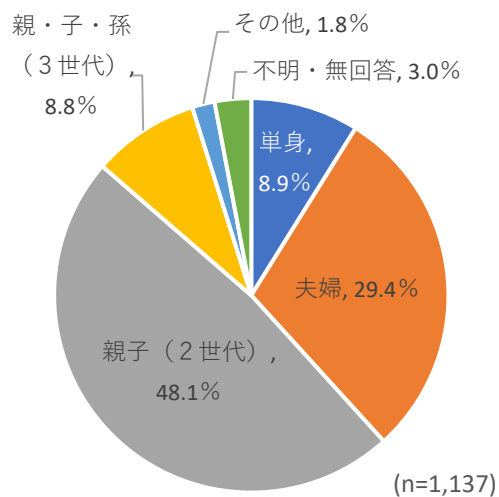
前回調査(2017年度)と比較すると、「会社員」の割合がやや増加し、「専業主婦(夫)」や「学生」の割合がやや減少している。



⑤ 家族構成（同居家族）

「親子（2世代）」が最も多く48.1%と半数近くを占めている。次いで、「夫婦」が29.4%、「単身」が8.9%とつづく。

前回調査（2017年度）と比べると、「夫婦、親・子・孫（3世代）」の割合がやや減少し、「夫婦」の割合が増加している。



2) 運動・スポーツの実施状況と今後の意向について

① 過去1年間の運動・スポーツ活動

問6 あなたは過去1年間でなんらかの運動・スポーツ活動をおこないましたか？

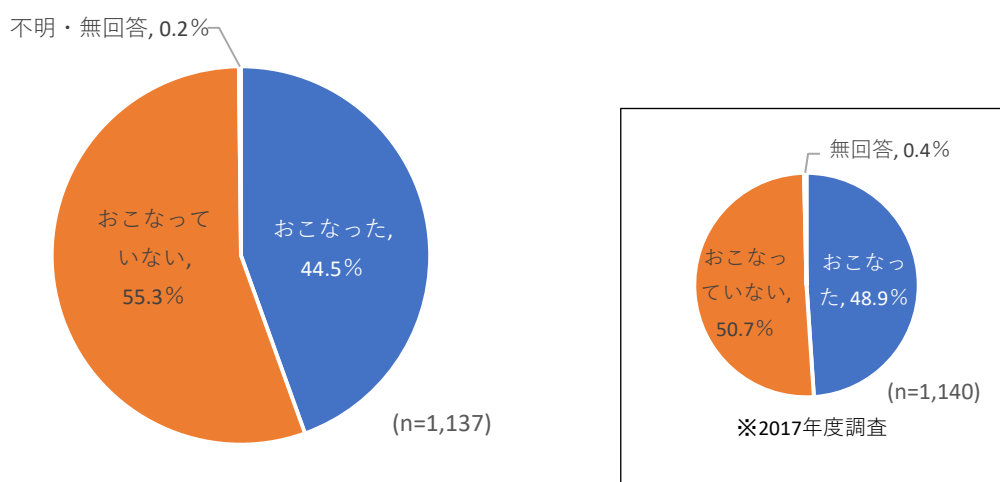
※学校の体育の授業としておこなったものや、職業としておこなったものは除きます。

●運動・スポーツ実施率は44.5%で、前回調査よりやや低下

●女性より男性、20代の運動・スポーツ実施率が高い(▽女性、30代の運動・スポーツ実施率が低い)

過去1年間に運動・スポーツ活動をおこなったかについては、「おこなった」が44.5%、「おこなっていない」が55.3%で、おこなっていない人のほうが多い。

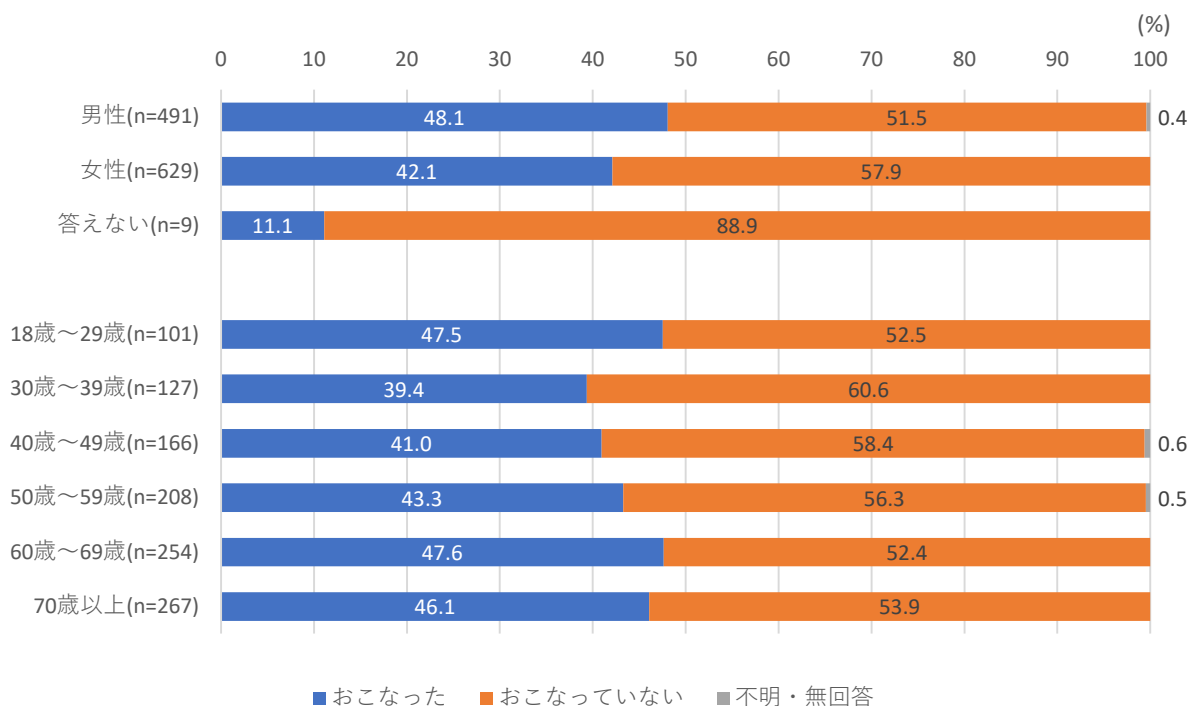
前回調査(2017年度)と比較すると、過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなった人の割合は約半数(48.9%)から約4割(44.5%)へと減少しており、運動・スポーツ実施率が低下している。



《クロス集計結果》

性別では、運動・スポーツの実施率は、男性のほうが高い(男性48.1%、女性42.1%)。

年齢別では、20代までが最も運動・スポーツ実施率が高く(47.5%)30代が最も低く(39.4%)なるが、60代まで年齢があがるほど運動・スポーツ実施率が高くなる傾向がみられる。



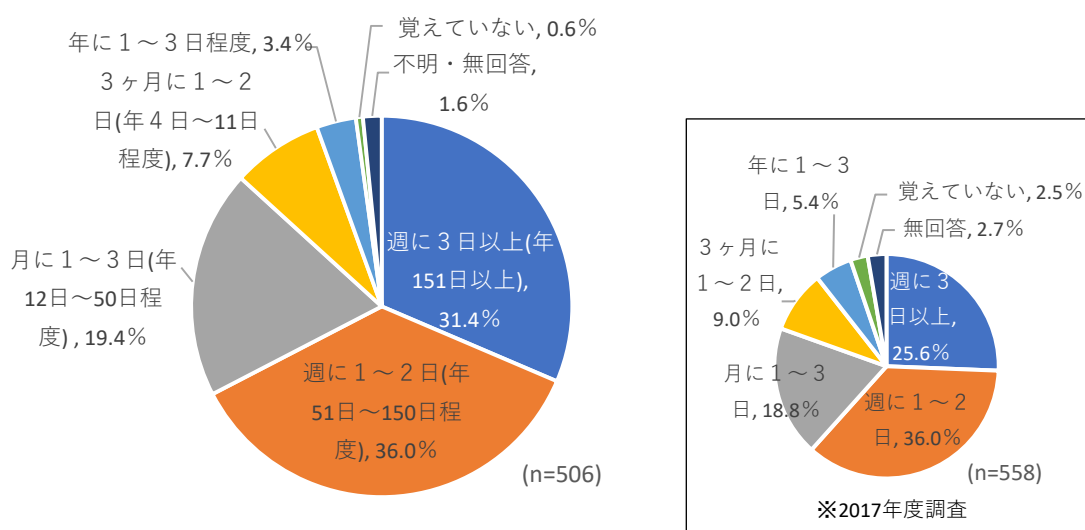
② 運動・スポーツをおこなった頻度

問7 問6で、1とお答えの方にお聞きします。過去1年間、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか？

- 週1日以上運動・スポーツをおこなっている人の割合は67.4%、約3割が週3日以上実施
- 男性より女性、年齢があがるほど週3日以上運動・スポーツを実施している人が多い

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した506人に、実施頻度を聞いたところ、「週に1～2日(年51日～150日程度)」が最も多く36.0%、次いで、「週に3日以上(年151日以上)」が31.4%とつづき、週1日以上運動・スポーツをおこなっている人は67.4%となっている。

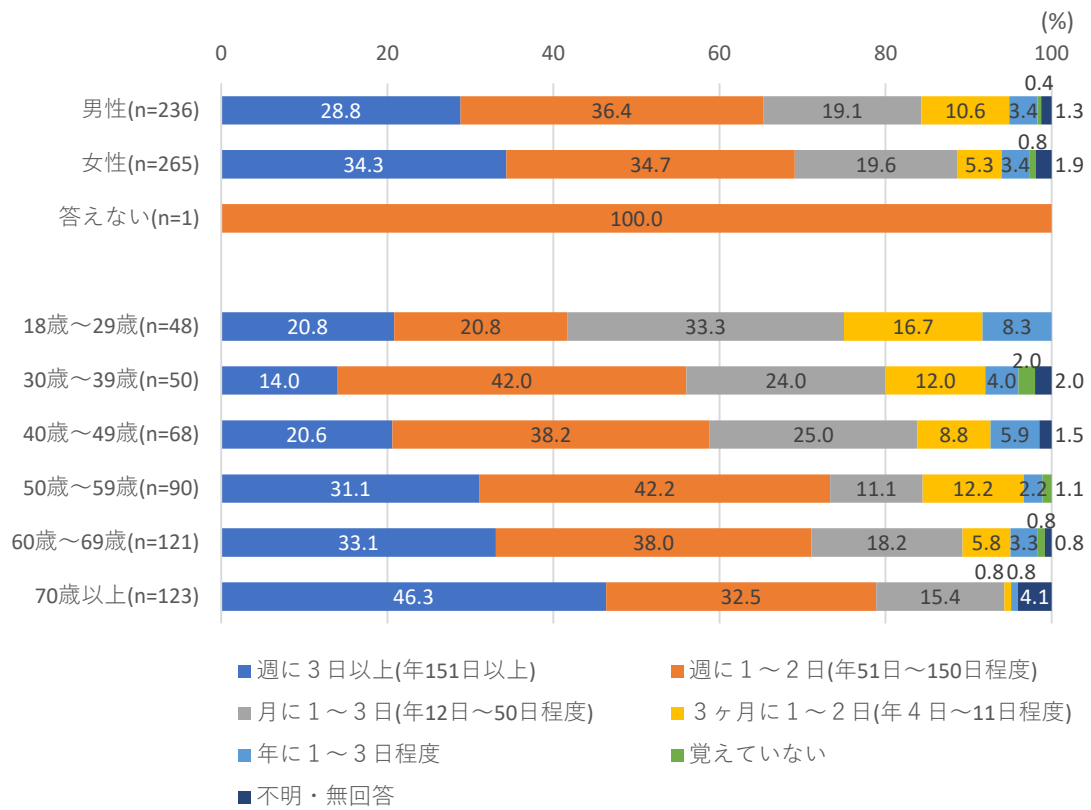
前回調査(2017年度)と比較すると、週に3日以上(年151日以上)実施している人の割合が増加している。



《クロス集計結果》

性別では、男性より女性のほうが実施頻度は高い(週3日以上:女性34.3%、男性28.8%、週1日以上:女性69.0%、男性65.2%)。

年齢別では、週3日以上実施している人の割合は、30歳以上で年齢があがるほど高く、70歳以上では46.3%と半数以上になっており、運動習慣が定着している人が多い。



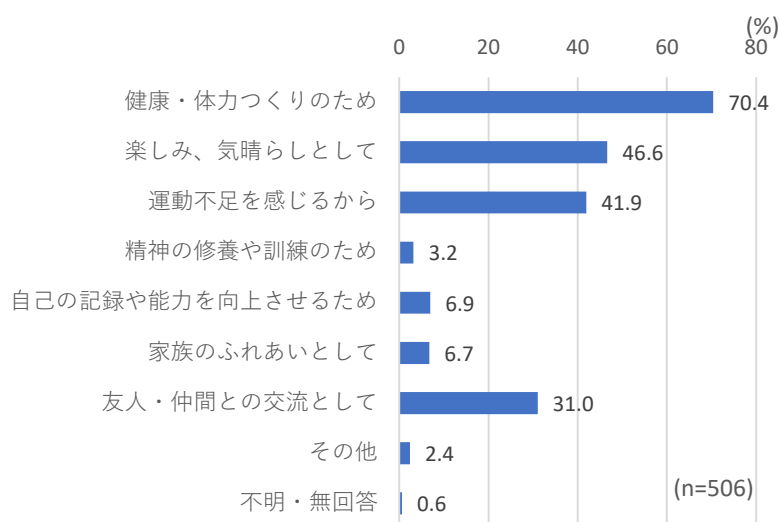
③ 運動・スポーツをした主な理由

問8 あなたが運動・スポーツをしたのは、どのような理由からですか？(複数選択可)

- 約7割が「健康・体力づくりのため」 楽しみや気晴らし、運動不足解消、友人・仲間との交流も
- 性別や年齢(ライフステージ)によって、運動・スポーツをする理由が異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、運動・スポーツをした主な理由を聞いたところ、「健康・体力づくりのため」が70.4%と最も多く、約7割の人があげている。次いで「楽しみ、気晴らしとして」が46.6%、「運動不足を感じるから」が41.9%とつづき、「友人・仲間との交流として」も約3割の人があげている。

前回調査(2017年度)は、主な理由を1つだけ選択する問いであったため単純比較はできないが、「健康・体力づくりのため」、「楽しみ・気晴らしとして」、「運動不足を感じるから」の上位3つは同様である。



《クロス集計結果》

性別では、健康・体力づくりや楽しみ、気晴らしは共通しているが、男性は「友人・仲間との交流として」が、女性は「運動不足を感じるから」を理由にあげる人が多い。

年齢別では、20代までは「楽しみ、気晴らしとして」が、30歳以上は「健康・体力づくりのため」が最も多くなっている。また、30代~40代は「家族のふれあいとして」を理由にあげる人がほかの年代より多く、70歳以上は「友人・仲間との交流として」が2番目に多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	た健康・ 体力つくりの ため	し楽しみ、 気晴らしと して	ら運動不足を 感じるか	た精神の修 養や訓練の ため	自 己の記録や 能力を 向上させる ため	て家族のふ れあいとし	と友人・仲 間との交流 として	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=236)	68.6	47.0	32.6	4.7	8.5	6.4	37.3	2.1	0.8
	女性(n=265)	72.1	46.4	49.4	1.5	4.9	7.2	26.0	2.6	0.4
	答えなし(n=1)	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18歳～29歳(n=48)	41.7	62.5	37.5	2.1	12.5	2.1	39.6	2.1	0.0
	30歳～39歳(n=50)	62.0	48.0	50.0	8.0	10.0	24.0	22.0	2.0	0.0
	40歳～49歳(n=68)	72.1	50.0	45.6	2.9	5.9	16.2	26.5	1.5	0.0
	50歳～59歳(n=90)	74.4	48.9	47.8	4.4	5.6	4.4	26.7	0.0	1.1
	60歳～69歳(n=121)	75.2	47.1	41.3	0.8	6.6	2.5	26.4	4.1	0.0
	70歳以上(n=123)	76.4	36.6	34.1	3.3	5.7	2.4	42.3	3.3	1.6
	総計(n=506)	70.4	46.6	41.9	3.2	6.9	6.7	31.0	2.4	0.6

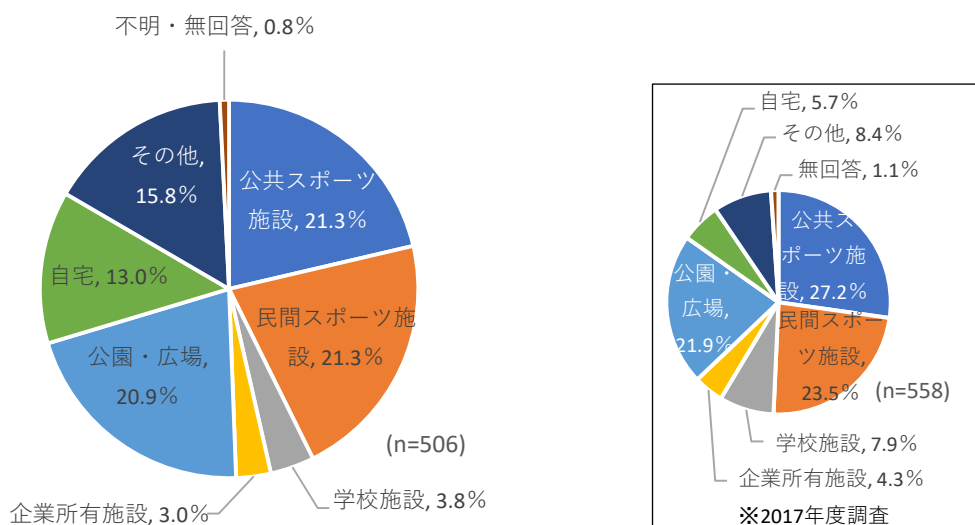
④ 運動・スポーツをした主な場所

問9 あなたが運動・スポーツをする主な場所はどこですか？

- 「公共スポーツ施設」または「民間スポーツ施設」が4割
- 性別・年齢(ライフステージ)によって、運動・スポーツをする場所が異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、運動・スポーツをする主な場所を聞いたところ、「公共スポーツ施設」及び「民間スポーツ施設」がともに21.3%と最も多く、この2つで42.6%を占めている。次いで、「公園・広場」が20.9%とつづく。

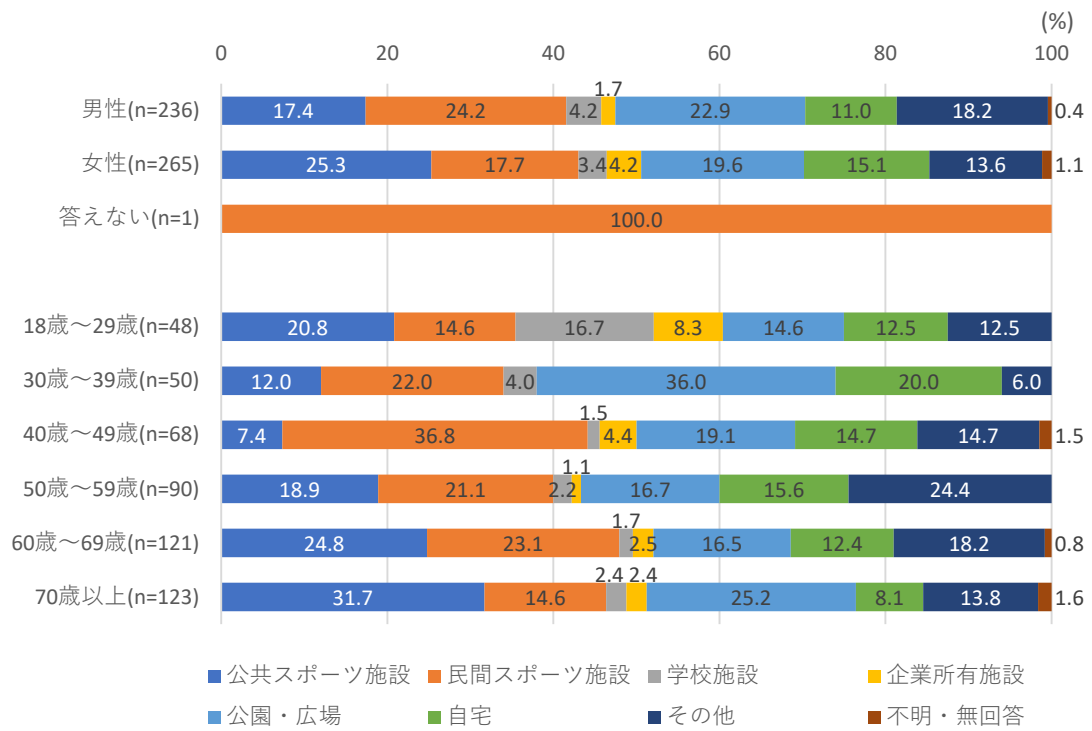
前回調査(2017年度)と比較すると、コロナ禍での影響もあってか、人が集まるスポーツ施設等の割合が減少し、「自宅」や「その他」の割合が増加している(特に、「公共スポーツ施設」や「学校施設」の減少が大きい。)



《クロス集計結果》

性別では、女性は「公共スポーツ施設」が多く、男性は「民間スポーツ施設」や「公園・広場」が多い。

年齢別では、30代は「公園・広場」、40代は「民間スポーツ施設」、50代は「その他」、20代までと60歳以上は「公共スポーツ施設」が最も多い。70歳以上は「公園・広場」も多くなっている。



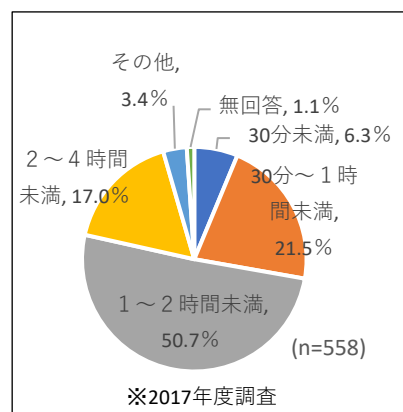
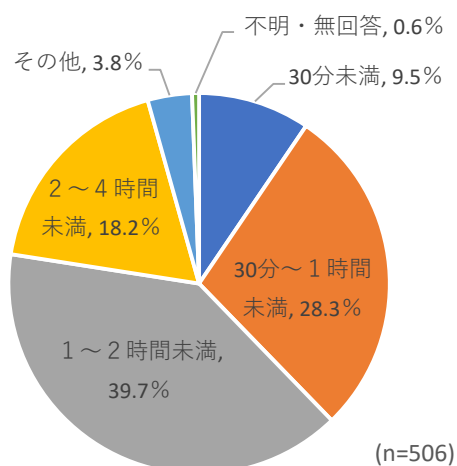
⑤ 運動・スポーツに費やす1回あたりの時間

問10 あなたが運動・スポーツに費やす1回あたりの時間はどれくらいですか？

- 1～2時間未満が約4割、前回調査より運動・スポーツの実施時間が減少
- 女性、40～50代で運動・スポーツ実施時間が短い(1時間未満が半数近く)

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、1回あたりの運動・スポーツに費やす時間を聞いたところ、「1～2時間未満」が39.7%と最も多く、次いで「30分～1時間未満」が28.3%、「2～4時間未満」が18.2%とつづく。

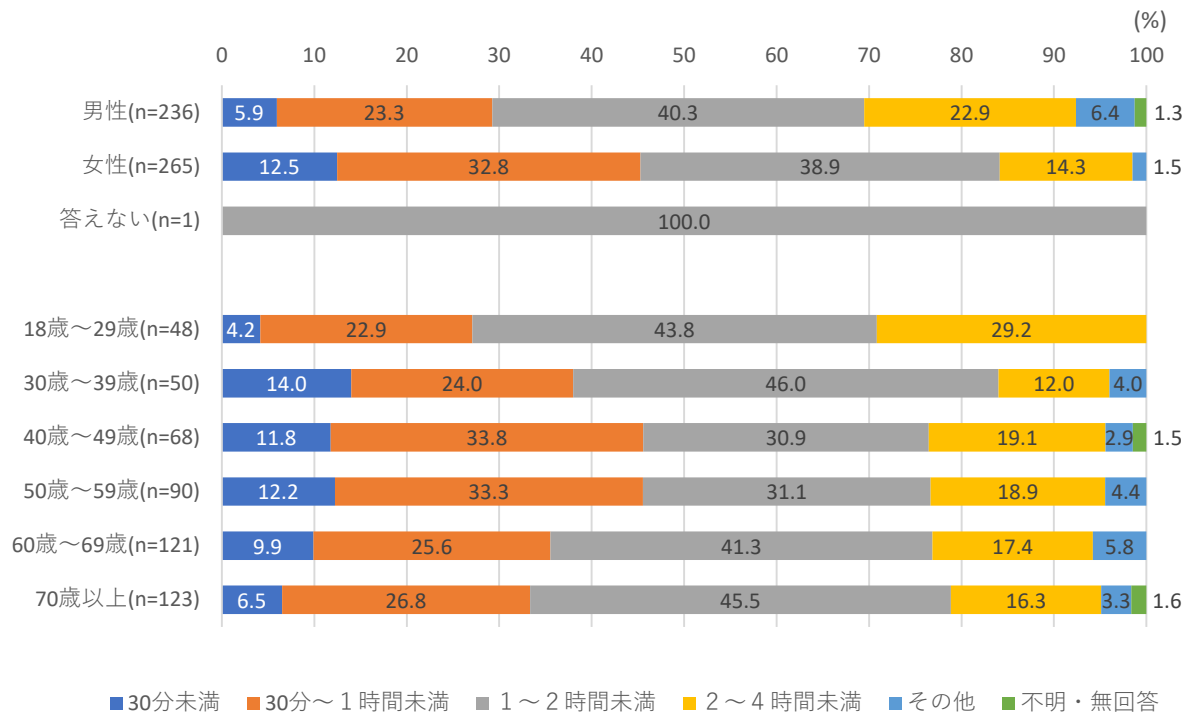
前回調査(2017年度)と比較すると、「1～2時間未満」が約5割から約4割へと減少する一方で、1時間未満の人の割合が約3割から約4割へと増加しており、運動・スポーツの実施時間が短くなっている。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「1～2時間未満」が最も多いが、男性より女性のほうが運動・スポーツ実施時間が短い傾向がみられる(1時間未満:男性29.2%、女性45.3%)。

年齢別では、すべての年代で「1～2時間未満」が最も多いが、40～50代が運動・スポーツ実施時間が短く(1時間未満:50代45.6%、60代45.5%)、2時間以上実施している人の割合は20代までが最も高い。



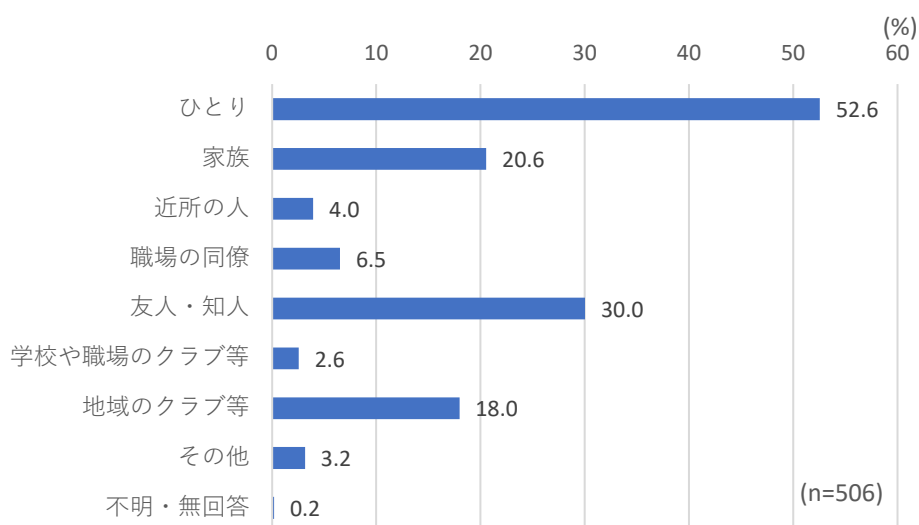
⑥ 運動・スポーツを主に誰とおこなったか

問 11 あなたは運動・スポーツを誰とおこないましたか？(複数選択可)

- 半数以上が「ひとり」で、友人・知人が3割
- 性別・年齢(ライフステージ)によって、誰と一緒に運動・スポーツするかが異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、主に誰とおこなったかを聞いたところ、「ひとり」が52.6%と最も多く半数以上を占めている。次いで「友人・知人」が30.0%、「家族」が20.6%、「地域のクラブ等」が18.0%とつづく。

前回調査(2017年度)は、主に誰とおこなったか1つだけ選択する問いであったため単純比較はできないが、「ひとり」、「友人・知人」、「家族」の上位3つは同様である。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「ひとり」が最も多いが、男性は「職場の同僚」や「友人・知人」が、女性は「地域のクラブ等」の割合が比較的高い。

年齢別では、20代までは「友人・知人」が、30歳以上は「ひとり」が最も多い。そのほか、30~50代は「家族」や「職場の同僚」が、60歳以上は「地域のクラブ等」が、70歳以上は「友人・知人」もほかの年代と比べて多い。

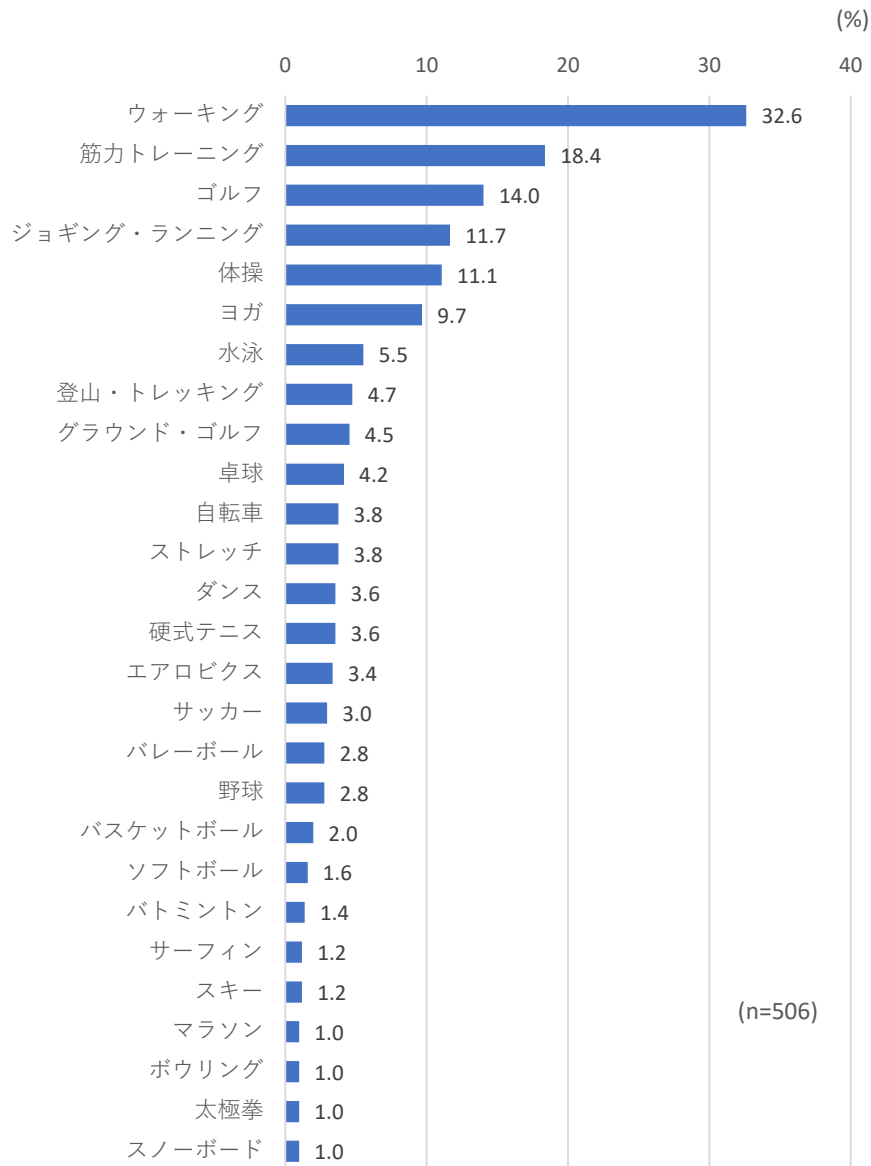
	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	ひとり	家族	近所の人	職場の同僚	友人・知人	学校や職場のクラブ等	地域のクラブ	その他	不明・無回答
性別	男性(n=236)	56.4	18.6	2.5	10.2	35.2	3.4	15.3	2.1	0.0
	女性(n=265)	49.1	22.3	5.3	3.4	25.3	1.9	20.4	4.2	0.4
	答えなし(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	18歳～29歳(n=48)	39.6	27.1	0.0	4.2	43.8	18.8	4.2	2.1	0.0
	30歳～39歳(n=50)	56.0	36.0	0.0	14.0	26.0	2.0	6.0	0.0	0.0
	40歳～49歳(n=68)	60.3	25.0	0.0	10.3	23.5	0.0	8.8	2.9	1.5
	50歳～59歳(n=90)	68.9	21.1	2.2	13.3	25.6	1.1	15.6	1.1	0.0
	60歳～69歳(n=121)	49.6	15.7	4.1	4.1	29.8	1.7	21.5	6.6	0.0
	70歳以上(n=123)	42.3	13.8	10.6	0.0	34.1	0.0	31.7	3.3	0.0
	総計(n=506)	52.6	20.6	4.0	6.5	30.0	2.6	18.0	3.2	0.2

⑦ この1年間で主におこなった運動・スポーツ

問 12 あなたがこの1年間で主におこなった運動・スポーツ(種目)をご記入ください。

●「ウォーキング」や「筋力トレーニング」をはじめ、ひとりのできる運動・スポーツが多い

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、この1年間におこなった主な運動・スポーツの種目を聞いたところ、「ウォーキング」が32.6%と最も多く、次いで「筋力トレーニング」が18.4%、「ゴルフ」14.0%、「ジョギング・ランニング」が11.7%、「体操」が11.1%とつづき、「ひとり」で実施できる運動・スポーツの種目が多くあげられている。



比率	1.0%未満の種目
0.8	クロリテイ、縄跳び
0.6	ソフトバレーボール
0.4	剣道、ウォールクライミング、乗馬、ボクシング・キックボクシング、フットサル、ニュースポーツ
0.2	ゲートボール、スケート、ソフトテニス、ハンドボール、ボディボード、陸上長距離、格闘技、サバイバルゲーム、だんじり、バトントワリング、ブラジリアン柔術、モルック、リハビリ、ラグビー、合気道、居合道、アメリカンフットボール、キックベースボール、リレー、弓道、少林寺拳法、サーキット、ダーツ、つり、トランポリン

⑧ 今後運動・スポーツを継続しておこなうことに対しての問題

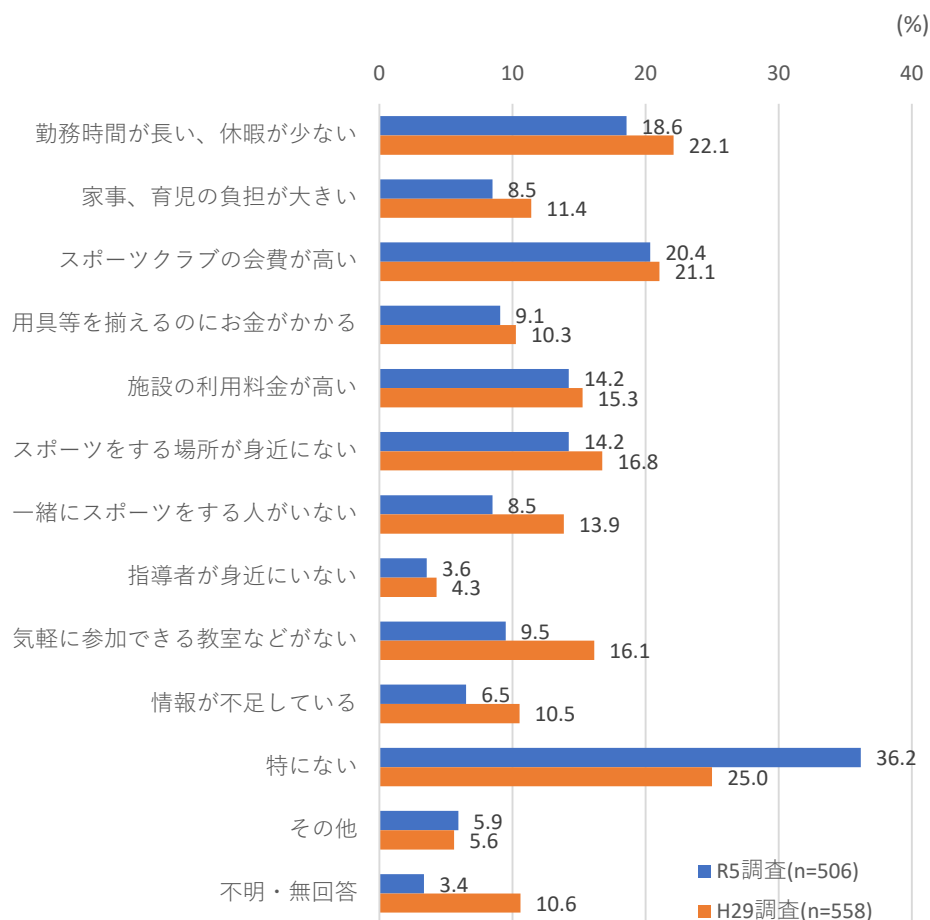
問 13 あなたが今後運動・スポーツを継続しておこなうことに対して何か問題がありますか？

- 4割近くが「特に問題なし」問題は、会費や勤務時間・休暇
- 性別・年齢(ライフステージ)によって、運動・スポーツを継続しておこなうことへの問題が異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなったと回答した方に、今後運動・スポーツをおこなうことに対しての問題があるかを聞いたところ、「特にない」が36.2%で最も多く、4割近くの人が問題はないと回答している。

一方、約6割がなんらかの問題があると回答しており、その内容としては「スポーツクラブの会費が高い」(20.4%)、「勤務時間が長い、休暇が少ない」(18.6%)などがあげられている。

前回調査(2017年度)と比較すると、問題がないとする人の割合が大きく増加しており、問題の中でも「気軽に参加できる教室などがない」、「一緒にスポーツをする人がいない」などの割合が大きく減少している。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「特にない」が最も多いが、男性は「勤務時間が長い、休暇が少ない」が、女性は「スポーツクラブの会費が高い」や「家事、育児の負担が大きい」も比較的多くあげられている。

年齢別では、30代まで及び50代は「勤務時間が長い、休暇が少ない」、40代は「スポーツクラブの会費が高い」、60歳以上は「特にない」が最も多い。そのほか、20代までは「スポーツをする場所が身近にない」が、40代は「気軽に参加できる教室などが無い」も、ほかの年代より多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	休 暇 が 少 し な い	勤 務 時 間 が 長 い	家 事 、 育 児 の 負 担 が 大 き い	会 費 が 高 い	ス ポ ー ツ ク ラ ブ の 会 費 が 高 い	に お 金 が か か る の 多 い	用 具 等 を 揃 え る の 多 い	高 い 施 設 の 利 用 料 金 が 多 い	所 が 身 近 に な い	ス ポ ー ツ を す る 場 所 が 身 近 に な い	一 緒 に ス ポ ー ツ を す る 人 が い な い	指 導 者 が 身 近 に い ない	教 室 な ど が な い	気 軽 に 参 加 で き る 場 所 が な い	情 報 が 不 足 し て い る	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=236)	20.3	3.8	14.4	11.4	14.8	15.3	8.9	3.8	6.8	4.2	39.4	5.1	2.5					
	女性(n=265)	17.0	12.8	24.9	6.8	13.2	13.6	8.3	3.4	11.7	8.7	33.6	6.8	4.2					
	答えなし(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0					
年代別	18歳～29歳(n=48)	43.8	6.3	14.6	10.4	18.8	33.3	14.6	6.3	4.2	4.2	18.8	4.2	0.0					
	30歳～39歳(n=50)	34.0	28.0	26.0	10.0	18.0	22.0	12.0	2.0	10.0	12.0	20.0	2.0	0.0					
	40歳～49歳(n=68)	30.9	14.7	35.3	10.3	19.1	16.2	8.8	2.9	22.1	7.4	22.1	2.9	1.5					
	50歳～59歳(n=90)	32.2	11.1	23.3	12.2	14.4	22.2	12.2	6.7	6.7	3.3	22.2	7.8	1.1					
	60歳～69歳(n=121)	4.1	3.3	20.7	12.4	14.9	8.3	5.8	3.3	10.7	8.3	45.5	6.6	1.7					
	70歳以上(n=123)	0.0	0.8	10.6	2.4	8.1	3.3	4.9	1.6	5.7	4.9	58.5	7.3	10.6					
	総計(n=506)	18.6	8.5	20.4	9.1	14.2	14.2	8.5	3.6	9.5	6.5	36.2	5.9	3.4					

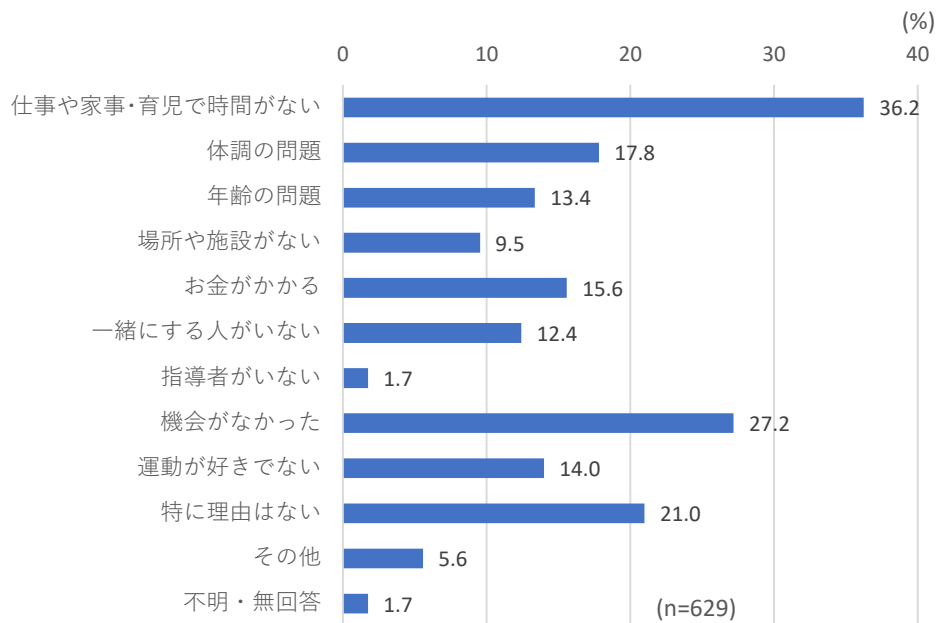
⑨ この1年間に運動・スポーツをおこなわなかった主な理由

問14 問6で「2おこなっていない」とお答えいただいた方にお聞きします。この1年間に、運動・スポーツをおこなっていないのは主にどのような理由からですか？(複数選択可)

- 「仕事や家事・育児で時間がない」が4割近く
- 性別・年齢(ライフステージ)によって、運動・スポーツをおこなわなかった理由は異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなっていないと回答した方に、運動・スポーツをおこなわなかった主な理由を聞いたところ、「仕事や家事・育児で時間がない」が36.2%で最も多く、次いで「機会がなかった」が27.2%、「特に理由はない」が21.0%とつづく。

前回調査(2017年度)は、主な理由を1つだけ選択する問いであったため単純比較はできないが、「仕事や家事・育児」、「機会がなかった」の上位2つは同様である。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「仕事や家事・育児で時間がない」が最も多いが、男性は「特に理由はない」が、女性は「お金がかかる」も比較的多くあげられている。

年齢別では、50代までは「仕事や家事・育児で時間がない」、60代は「機会がなかった」、70歳以上は「年齢の問題」が最も多い。そのほか、20代までは「一緒にする人がいない」や「運動が好きではない」、30代までは「お金がかかる」、30代は「場所や施設がない」、50～60代は「特に理由はない」、70歳以上は「体調の問題」も、ほかの年代より多くあげられている。

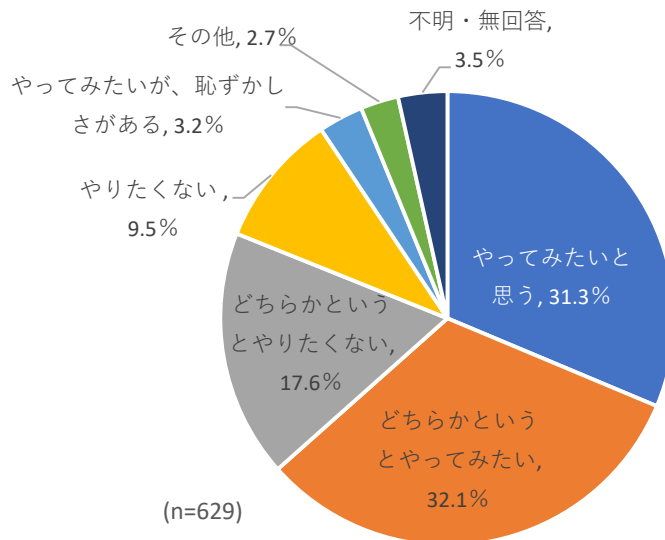
	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	時 間 が な い	仕 事 や 家 事 ・ 育 児 で	体 調 の 問 題	年 齢 の 問 題	場 所 や 施 設 が な い	お 金 が か か る	い 一 緒 に す る 人 が い な い	指 導 者 が い な い	機 会 が な か っ た	運 動 が 好 き で な い	特 に 理 由 は な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=253)	31.6	17.4	14.2	8.7	11.9	11.9	1.6	27.7	9.1	25.7	5.1	2.4	
	女性(n=364)	39.6	17.9	12.6	10.2	18.4	12.6	1.6	26.9	17.0	17.3	5.8	1.1	
	答えなし(n=8)	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5	
年代別	18歳～29歳(n=53)	50.9	9.4	1.9	11.3	24.5	32.1	1.9	41.5	24.5	20.8	1.9	0.0	
	30歳～39歳(n=77)	64.9	7.8	0.0	20.8	24.7	18.2	3.9	35.1	19.5	10.4	5.2	0.0	
	40歳～49歳(n=97)	55.7	9.3	6.2	10.3	19.6	12.4	2.1	32.0	17.5	12.4	4.1	1.0	
	50歳～59歳(n=117)	45.3	12.8	4.3	6.0	14.5	11.1	1.7	22.2	16.2	28.2	6.0	0.9	
	60歳～69歳(n=133)	21.1	16.5	13.5	11.3	15.0	9.0	0.8	30.8	8.3	29.3	9.8	0.8	
	70歳以上(n=144)	9.7	34.7	35.4	3.5	5.6	6.9	1.4	16.0	9.0	19.4	4.2	5.6	
	総計(n=629)	36.2	17.8	13.4	9.5	15.6	12.4	1.7	27.2	14.0	21.0	5.6	1.7	

⑩ 理由が解消されたら定期的にスポーツをやってみたいか

問 15 問 14 のおこなっていない理由が解消されたら、定期的に何かスポーツをやってみたいと思いますか？

- 6割以上がおこなっていない理由が解消されたら、定期的に何かスポーツをやってみたいと回答
- 実施率が低かった女性、30代で「やってみたい」の回答が多い

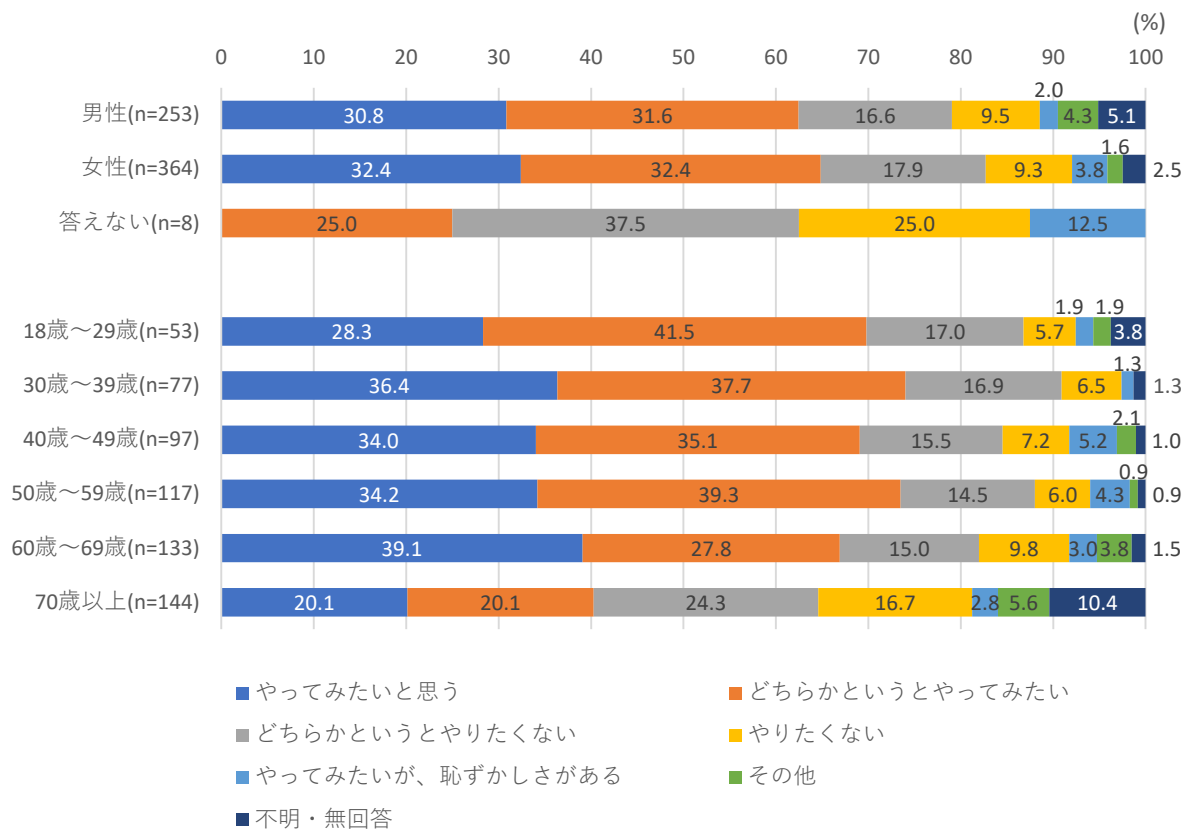
また、過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなっていないと回答した方に、おこなわなかった理由が解消されたら、定期的に何かスポーツをやってみたいと思うか聞いたところ、「やってみたいと思う」が31.3%、「どちらかというやってみたい」が32.1%で、これらをあわせたやってみたいと思う人は6割以上（63.4%）みられた。



《クロス集計結果》

性別では、女性のほうが男性よりやってみたいと回答した人がやや多い（男性 62.4%、女性 64.8%）。

年齢別では、60代まではやってみたいと回答した人が半数を超えているが、70歳以上は、年齢や体調を理由にあげる人が多かったこともあり、4割にとどまっている。一方、「やってみたいと思う」と回答した人の割合は、60代と30代が多い。



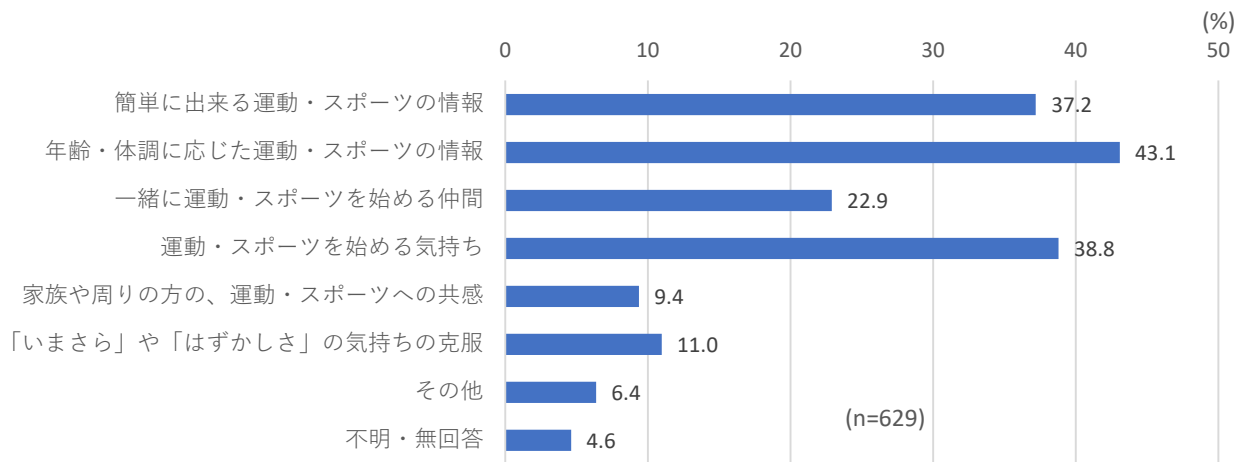
⑪ 運動・スポーツをおこなっていない方が運動・スポーツをはじめするために必要なこと

問 16 運動・スポーツをおこなっていない方が、運動・スポーツを始めるためには何が必要だと思いますか？

- 年齢や体調に応じて、簡単に出来る運動・スポーツの情報や、運動・スポーツを始めようと思う気持ちが必要
- 年齢(ライフステージ)に応じて運動・スポーツを始めるために必要なものが異なる

過去1年間になんらかの運動・スポーツをおこなっていないと回答した方に、運動・スポーツを始めるためには何が必要かを聞いたところ、「年齢・体調に応じた運動・スポーツの情報」が43.1%と最も多く、次いで「運動・スポーツを始める気持ち」が38.8%、「簡単に出来る運動・スポーツの情報」が37.2%、「一緒に運動・スポーツを始める仲間」が22.9%とつづく。

年齢や体調に応じて、気軽に出来る運動・スポーツの情報の提供、運動・スポーツを始めてみようかなと思わせるメニューや仕組み、きっかけづくり、一緒に始められる仲間づくりなどをパッケージ化したアプローチが必要である。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「年齢・体調に応じた運動・スポーツの情報」が最も多いが、男性は「運動・スポーツを始める気持ち」も最も多く、女性は「簡単に出来る運動・スポーツの情報」も多くあげられている。

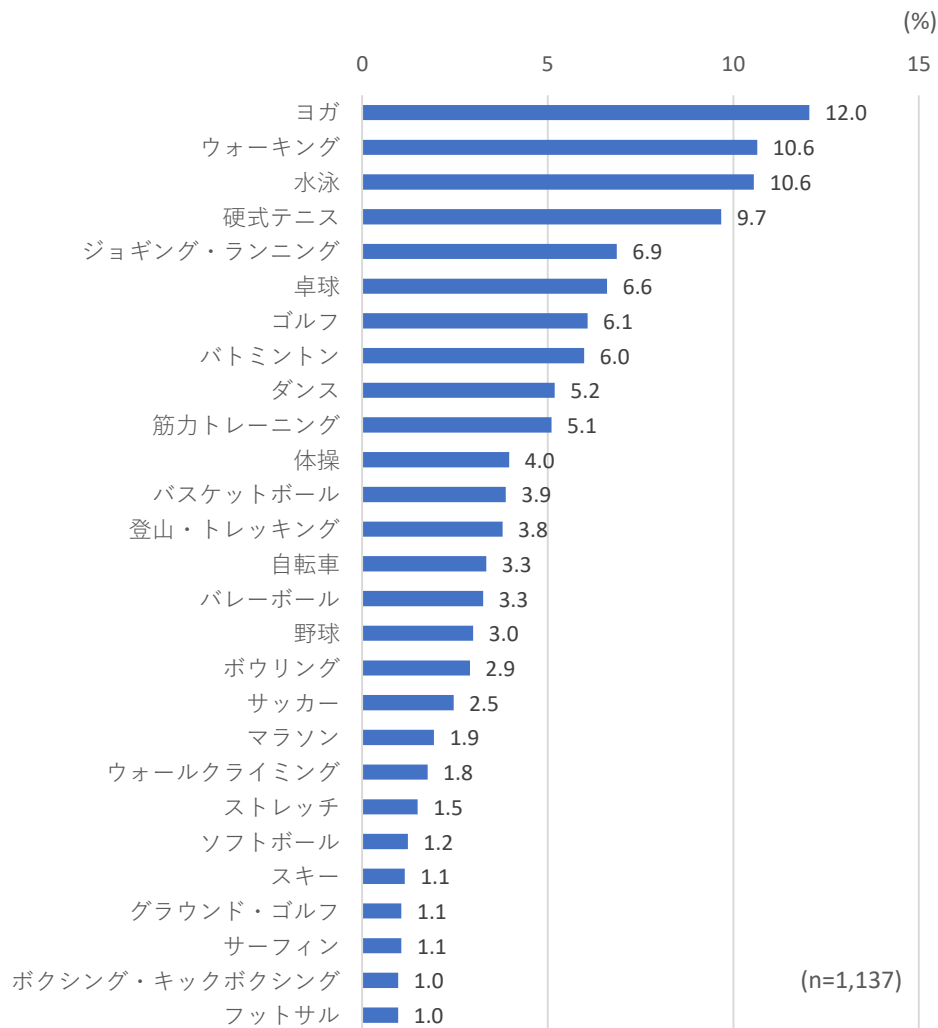
年齢別では、30代までと50代は「運動・スポーツを始める気持ち」、40代は「簡単に出来る運動・スポーツの情報」、60歳以上は「年齢・体調に応じた運動・スポーツの情報」が最も多い。また、30代までは「一緒に運動・スポーツを始める仲間」、30~40代は「家族や周りの方の、運動・スポーツへの共感」などもほかの年代と比べて多くあげられている。

⑫ 今後おこなってみたい運動・スポーツ

問 17 あなたが今後おこなってみたい運動・スポーツ(種目)を3つご記入ください。

●ヨガやウォーキング、水泳など、ひとりでもできる種目が多いが、仲間と一緒に楽しめる種目も多い

今後おこなってみたい運動・スポーツの種目を3つ聞いたところ、「ヨガ」が12.0%で最も多く、次いで「ウォーキング」及び「水泳」がともに10.6%とつづく。「ヨガ」や「ウォーキング」、「水泳」、「ジョギング・ランニング」など、ひとりでもできる運動・スポーツの種目も多いが、「硬式テニス」、「卓球」、「ゴルフ」、「バドミントン」など、仲間と一緒に楽しめる種目も多くあげられている。



比率	1.0%未満の種目
0.9	太極拳
0.8	エアロビクス
0.7	スノーボード、トランポリン
0.5	モルック、柔道
0.4	スケート、合気道、スケートボード、剣道、弓道、アーチェリー、ポッチャ
0.3	ソフトバレーボール、ハンドボール、乗馬、カヌー、球技、競歩、空手、eスポーツ
0.2	ゲートボール、ラグビー、BMX、陸上、アルティメット、インディアカ、スカッシュ
0.1	ソフトテニス、縄跳び、居合道、少林寺拳法、サーキット、つり、アイススケート、ウインドサーフィン、カーリング、グラップリング、スキューバダイビング、ドッチボール、トライアスロン、リハビリ、薙刀、輪投げ、カポエイラ、ジークンドー、ドッジボール、パターゴルフ、パルクール、ボディパンプ、視覚障害スポーツ、誰かに誘われたスポーツ、鉄棒武道、コアトレ、スラックライン、パラグライダー、ホッケー、レスリング、棒高跳び、棒術

3) 公共スポーツ施設について

① 過去1年間に運動・スポーツをするために利用した施設

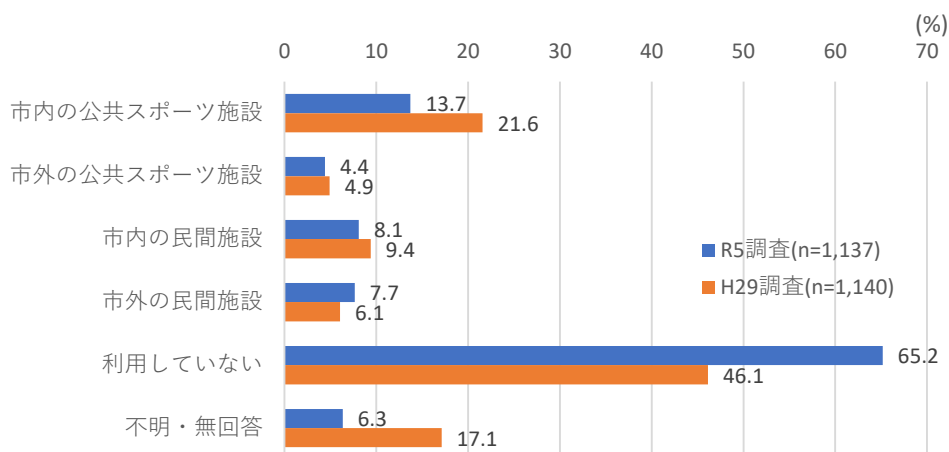
問 18 あなたが、過去1年間に運動・スポーツをするためにどのような施設を利用しましたか？また、民間の施設と回答された方は具体的な種目を()内に記入してください。

- 7割近くが、スポーツをするために施設を利用していない、前回調査の約半数から大きく増加
- 性別・年齢(ライフステージ)によって利用した施設は異なる

過去1年間に利用した施設を聞いたところ、「利用していない」が65.2%と最も多く、7割近くを占めている。一方、利用した施設としては、「市内の公共スポーツ施設」が13.7%と最も多く、次いで「市内の民間施設」が8.1%、「市外の民間施設」が7.7%とつづく。

前回調査(2017年度)と比較すると、「利用していない」と回答した人の割合が約半数から7割近くへと大きく増加している一方で、利用した施設の中では「市内の公共スポーツ施設」の割合が大きく減少している。

民間施設でおこなった具体的な種目としては、スポーツクラブやスポーツジムなどでトレーニング(筋トレ、ウエイトトレーニングなど)、水泳、ゴルフなどが多くあげられている。



【具体的な種目・施設名】

ひとりでもできる種目	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング/筋トレ/ウエイトトレーニング/ジム/ジムトレーニング ・スイミング/プール/水泳 ・トランポリン ・スケート ・ホットヨガ/ヨガ ・気功体操/体操 ・ダンス/ダンスエクササイズ ・ウォーキング ・公園で散歩 ・ランニング ・ボディビル ・乗馬
仲間と一緒にできる種目	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブス ・ボウリング/ボーリング ・グラウンド・ゴルフ ・ゴルフ ・サッカー ・テニス ・バドミントン ・バレーボール ・卓球 ・野球 ・空道 ・合気道 ・剣道 ・ブラジリアン柔術 ・モルック
その他(施設名)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブ/コパンススポーツクラブ/コナミ/ジョイフィット/ビックエス ・スポーツジム/トレーニングジム/ビックエス/フィットネスクラブ ・ゴルフ場/ゴルフ練習場/ダイヤモンドゴルフ ・各地スキー場 ・学校の施設 岸和田C.C

《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「利用していない」が最も多いが、その割合は女性のほうが高い。また、男性は「市外の民間施設」が女性より多くあげられている。

年齢別では、すべての年代で「利用していない」が最も多いが、その割合は50代まで7割前後と高い。利用した施設としては、20代までで「市外の公共スポーツ施設」、30～40代で「市外の民間施設」、40～60代で「市内の民間施設」、60歳以上で「市内の公共スポーツ施設」が比較的多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	ポ ー 市 内 の 施 公 設 ス	ポ ー 市 外 の 施 公 設 ス	市 内 の 民 間 施 設	市 外 の 民 間 施 設	利 用 し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	13.0	4.3	9.0	10.2	64.0	6.3
	女性(n=629)	14.6	4.6	7.2	5.4	66.0	6.5
	答えない(n=9)	0.0	0.0	11.1	11.1	88.9	0.0
年代別	18歳～29歳(n=101)	9.9	13.9	5.0	5.0	69.3	1.0
	30歳～39歳(n=127)	10.2	5.5	5.5	10.2	74.0	0.8
	40歳～49歳(n=166)	9.6	4.2	9.0	12.7	68.1	1.8
	50歳～59歳(n=208)	11.1	2.9	9.1	8.7	72.1	3.4
	60歳～69歳(n=254)	15.7	2.0	10.2	6.7	62.2	7.5
	70歳以上(n=267)	19.9	3.7	7.1	4.5	55.4	14.6
総計(n=1137)		13.7	4.4	8.1	7.7	65.2	6.3

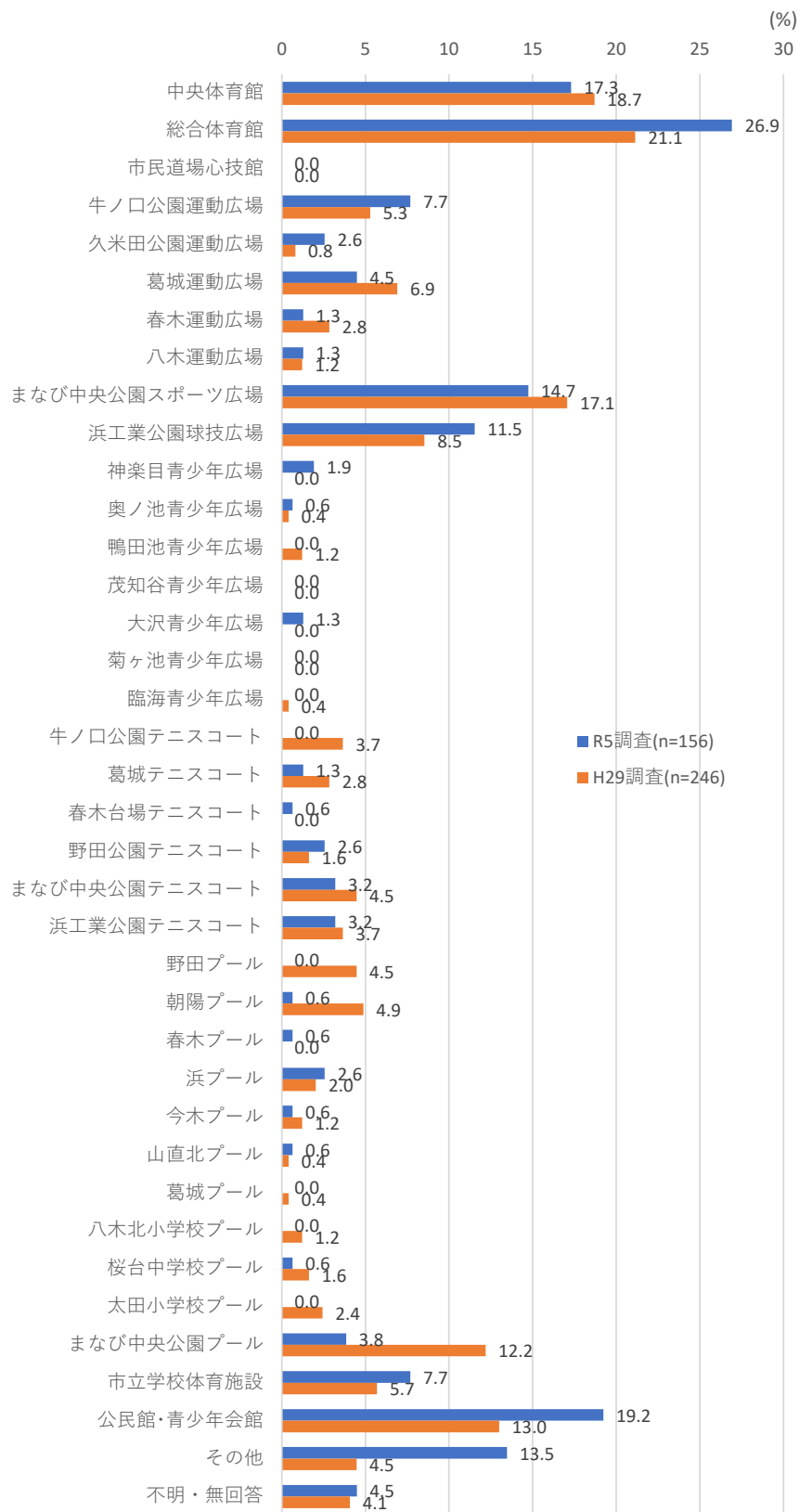
② 利用した市内の公共スポーツ施設

問 19 問 18 で、1 とお答えの方にお聞きします。あなたが、利用した市内の公共スポーツ施設はどこですか？(複数選択可)

- 「総合体育館」や「公民館・青少年会館」、「中央体育館」の利用者が多い
- コロナの影響もあってか、プールの利用が減少

「市内の公共スポーツ施設」を利用したと回答した方に、利用した施設の名称を聞いたところ、「総合体育館」が26.9%と最も多く、次いで「公民館・青少年会館」が19.2%、「中央体育館」が17.3%、「まなび中央公園スポーツ広場」が14.7%とつづく。

前回調査(2017年度)と比較すると、「総合体育館」や「公民館・青少年会館」などの割合が大きく増加する一方で、「まなび中央公園プール」や「野田プール」、「朝陽プール」などの割合が減少している。



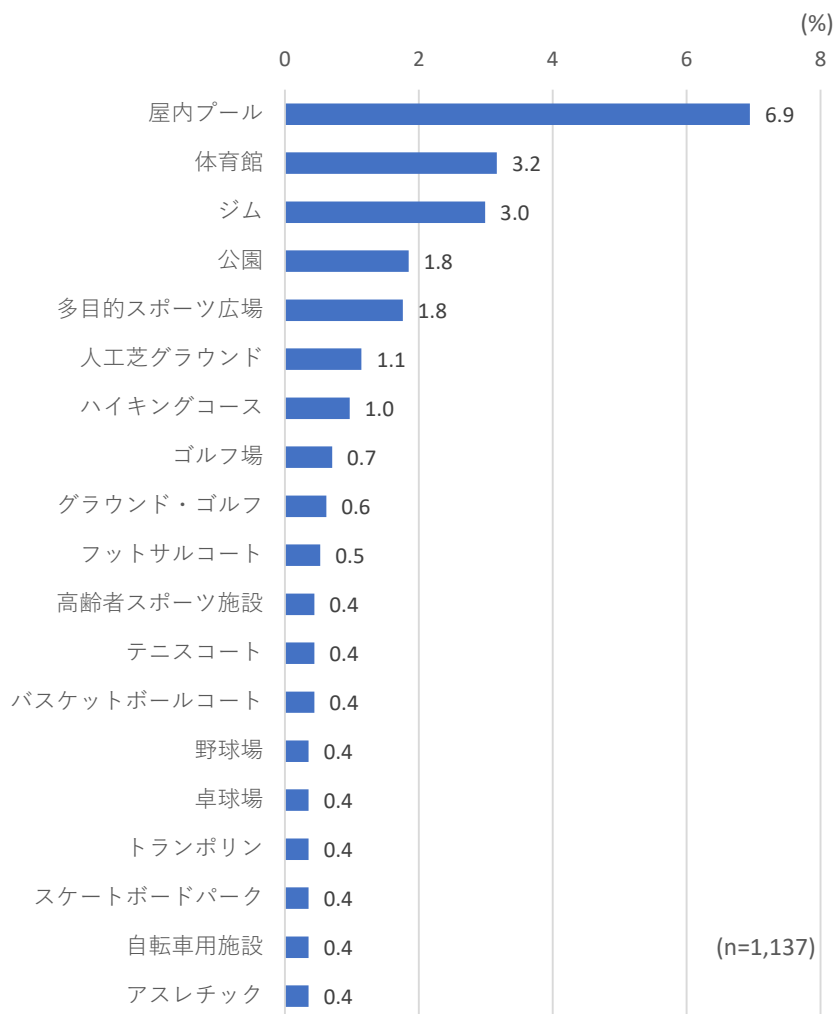
③ 既存施設の他にどのような施設があればよいか

問 20 あなたは問 19 の施設のほか、どこにどのような施設があればいいと思いますか？

●「屋内プール」や「体育館」、「ジム」などの要望が高い

既存施設の他にどのような施設があればいいと思うか聞いたところ、「屋内プール」が6.9%と最も多く、次いで「体育館」(3.2%)、「ジム」(3.0%)、「公園」及び「多目的スポーツ広場」(ともに1.8%)とつづく。

具体的な場所(どこに)については、具体的な地区名などのほか、公園等、公共施設やスポーツ施設などがあげられている。



比率	0.4%未満の種目
0.3	障害者スポーツ施設、クライミング・ボルダリング施設、スケートリンク、テニスの壁打
0.2	BMX コース
0.1	人口サーフィン施設、剣道場、アーチェリー

【どこに】

近所	・家の近く ・マンションの敷地内
具体的な地名	・山滝地区 ・山直南地区 ・春木地区 ・城東地区 ・城北地区 ・太田地区 ・大芝地区 ・新港町 ・内畑町 ・岸の岡町 ・久米田池周辺 ・牛滝 ・海浜側 ・山手
公園等・ スポーツ施設	・中央公園 ・浜工業公園 ・蜻蛉池公園 ・神於山 ・天神山 ・城北プール ・岸和田競輪場
公共施設内	・福祉総合センター ・公民館 ・波切ホール ・八木市民センター
その他	・駅の近く ・スーパーマーケット ・岸和田カンカン

④ 市内の公共スポーツ施設に望むこと

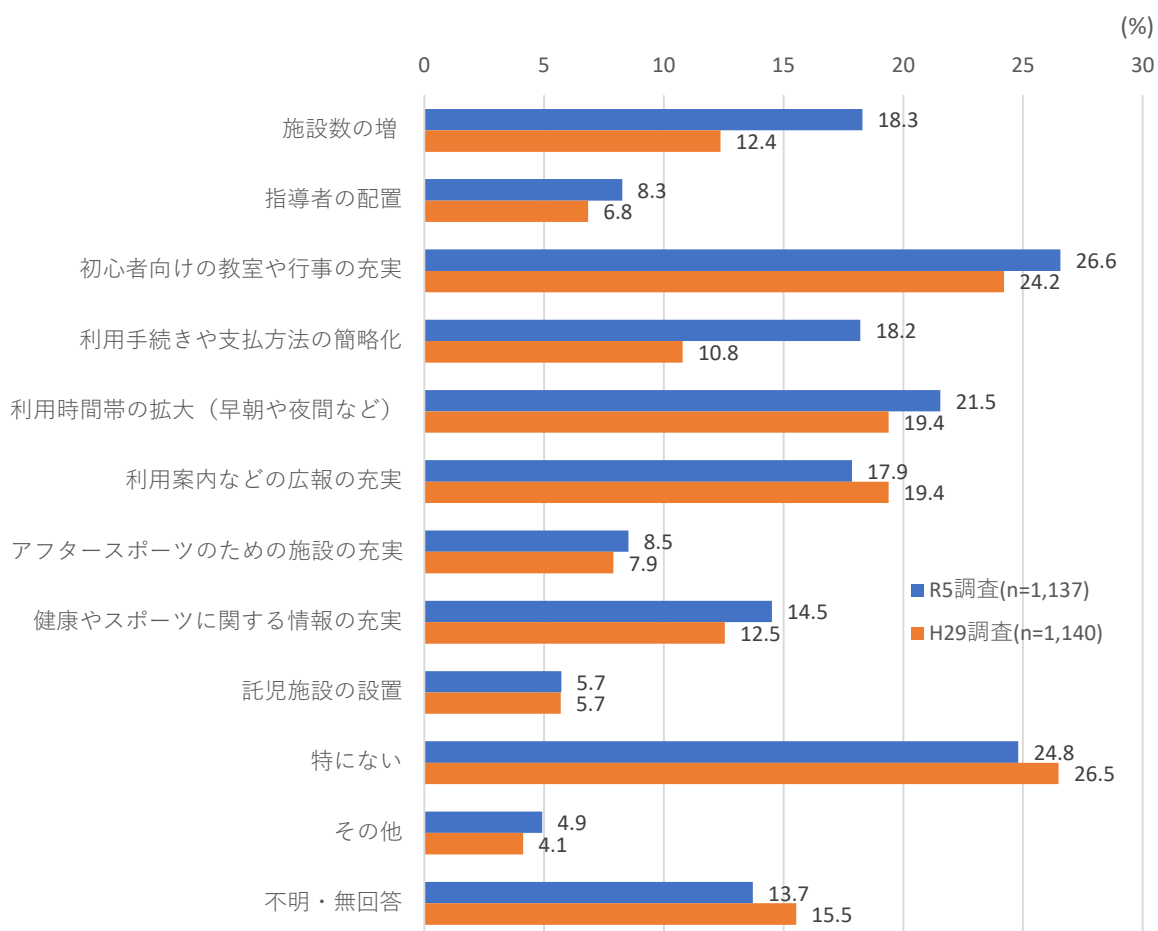
問 21 あなたは、市内の公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか？（複数選択可）

- 初心者向けの教室や行事の充実のほか、利用時間帯の拡大、施設数の増加、利用手続き等の簡略化、広報の充実など
- 30代で託児所の設置要望が高いなど、年代によってニーズが異なる

市内の公共スポーツ施設に望むことを聞いたところ、「初心者向けの教室や行事の充実」が26.6%と最も多く、他にも「利用時間帯の拡大（早朝や夜間など）」が21.5%、「施設数の増」が18.3%、「利用手続きや支払方法の簡略化」が18.2%、「利用案内などの広報の充実」が17.9%とつづく。

一方で、「特にない」も24.8%と2番目に多い。

前回調査（2017年度）と比較すると、「施設数の増」や「利用手続きや支払い方法の簡略化」の割合が大きく増加しており、これらへのニーズが高まっている。



《クロス集計結果》

性別では、男性は「特にない」、女性は「初心者向けの教室や行事の充実」が最も多い。

年齢別では、20代まで、40代は「利用時間帯の拡大（早朝や夜間など）」、30代、50～60代は「初心者向けの教室や行事の充実」、70歳以上で「特にない」が最も多い。また、30代までで「利用手続きや支払い方法の簡略化」が、30代で「利用案内などの広報の充実」や「託児施設の設置」が、50～60代で「健康やスポーツに関する情報の充実」がほかの年代と比べ多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	施設 数の 増	指 導 者 の 配 置	初 心 者 向 け の 教 室 や 行 事 の 充 実	法 の 簡 略 化	利 用 手 続 き や 支 払 方	（ 利 用 時 間 帯 の 拡 大 ）	利 用 案 内 な ど の 広 報	ア フ タ ー ス ポ ー ツ の 充 実	す 健 康 や ス ポ ー ツ に 関 する 情 報 の 充 実	託 児 施 設 の 設 置	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	18.9	8.6	19.8	17.1	22.2	15.5	9.4	12.6	5.5	27.9	4.1	14.5	
	女性(n=629)	17.8	7.9	31.6	19.2	20.5	19.6	7.6	15.7	5.9	21.8	5.7	13.5	
	答えない(n=9)	11.1	22.2	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	33.3	11.1	66.7	0.0	0.0	
年代別	18歳～29歳(n=101)	23.8	5.0	25.7	31.7	36.6	22.8	7.9	10.9	9.9	28.7	2.0	2.0	
	30歳～39歳(n=127)	26.8	8.7	36.2	32.3	35.4	27.6	8.7	10.2	23.6	12.6	9.4	3.9	
	40歳～49歳(n=166)	21.7	12.0	28.9	22.3	33.1	21.7	13.9	9.0	6.0	22.3	6.0	4.2	
	50歳～59歳(n=208)	21.2	8.2	29.3	19.7	28.8	18.3	14.9	19.2	3.4	20.7	6.7	7.2	
	60歳～69歳(n=254)	18.9	8.7	29.9	17.3	15.7	18.9	7.1	18.9	2.0	23.6	3.9	16.1	
	70歳以上(n=267)	7.5	7.1	15.4	4.1	2.2	7.1	2.2	13.5	1.1	34.1	3.0	31.5	
	総計(n=1137)	18.3	8.3	26.6	18.2	21.5	17.9	8.5	14.5	5.7	24.8	4.9	13.7	

けん k

4) 組織でのスポーツ活動について

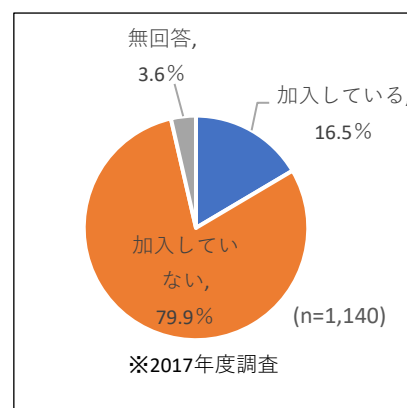
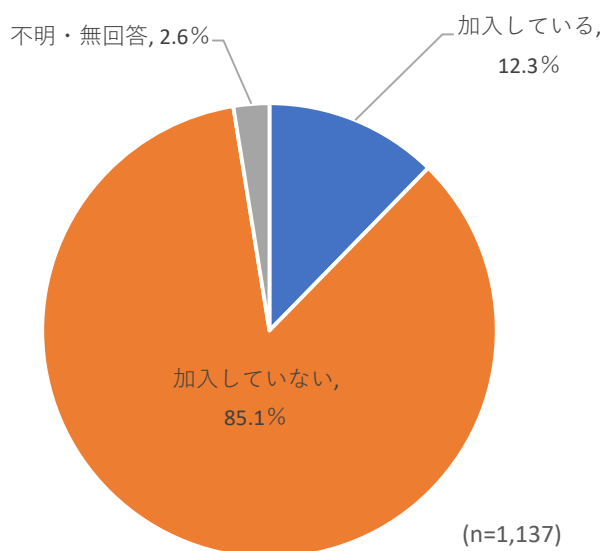
① スポーツの団体、クラブや同好会への加入状況

問 22 あなたはスポーツの団体、クラブや同好会に加入していますか？

- スポーツ団体、クラブや同好会への加入は1割程度
- 特に30～50代の働き盛り世代の加入率が低い

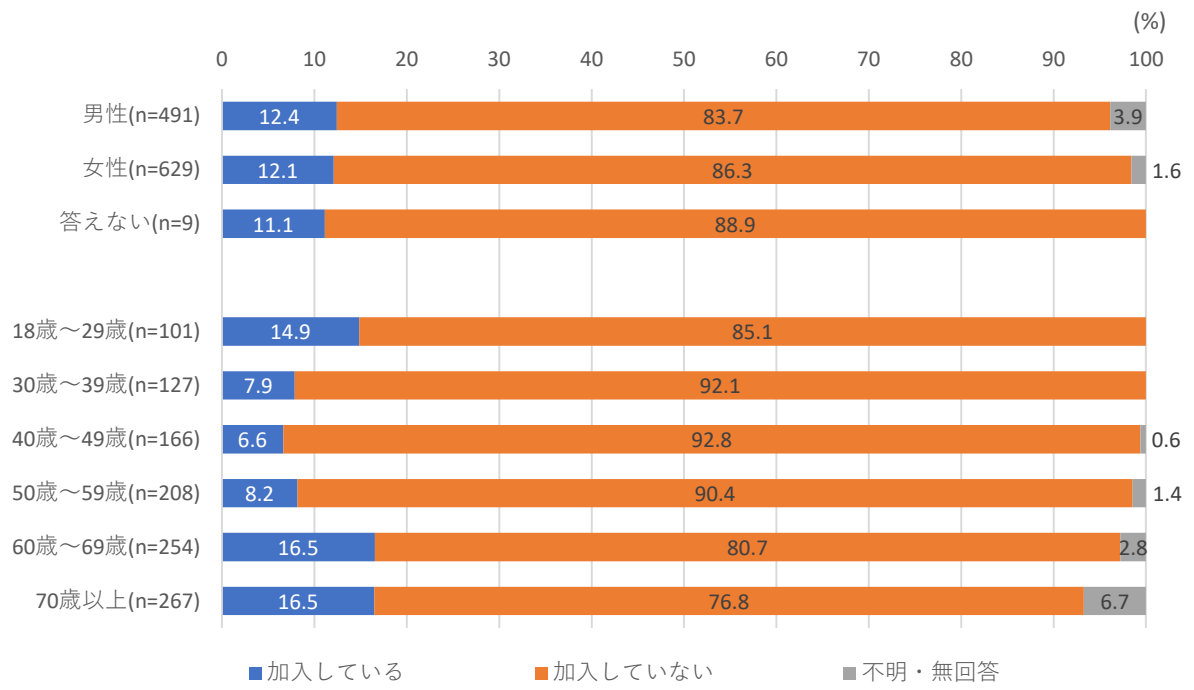
スポーツ団体、クラブや同好会への加入状況については、「加入している」は12.3%と1割程度で、「加入していない」が85.1%である。

前回調査（2017年度）と比較すると、加入率はやや減少している。



《クロス集計結果》

性別・年齢に関わらず、「加入してない」と回答した人は8割を超えているが、特に、30～50代の働き盛り世代で加入率が低く、1割に満たない。



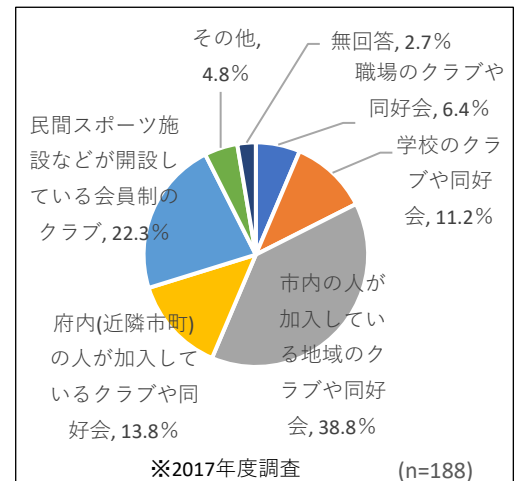
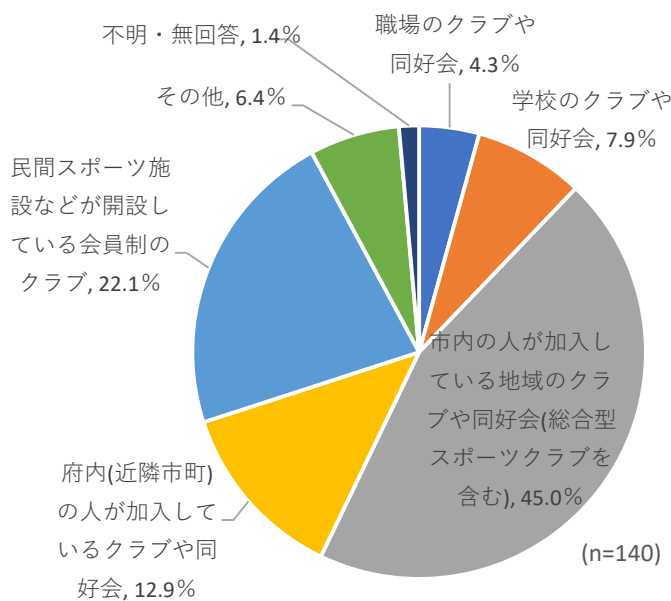
② 加入している団体

問 23 主に活動している加入団体はどういったものですか？

- 地域のクラブや同好会（総合型スポーツクラブを含む）が半数近く
- 女性や 60 歳以上は半数以上が地域のクラブや同好会に加入、30～40 代は会員制のクラブも多い

スポーツ団体、クラブや同好会に加入していると回答した 140 名に、主に活動している加入団体を聞いたところ、「市内の人が加入している地域のクラブや同好会（総合型スポーツクラブを含む）」が 45.0%と最も多く、次いで「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」が 22.1%、「府内（近隣市町村）の人が加入しているクラブや同好会」が 12.9%とつづく。

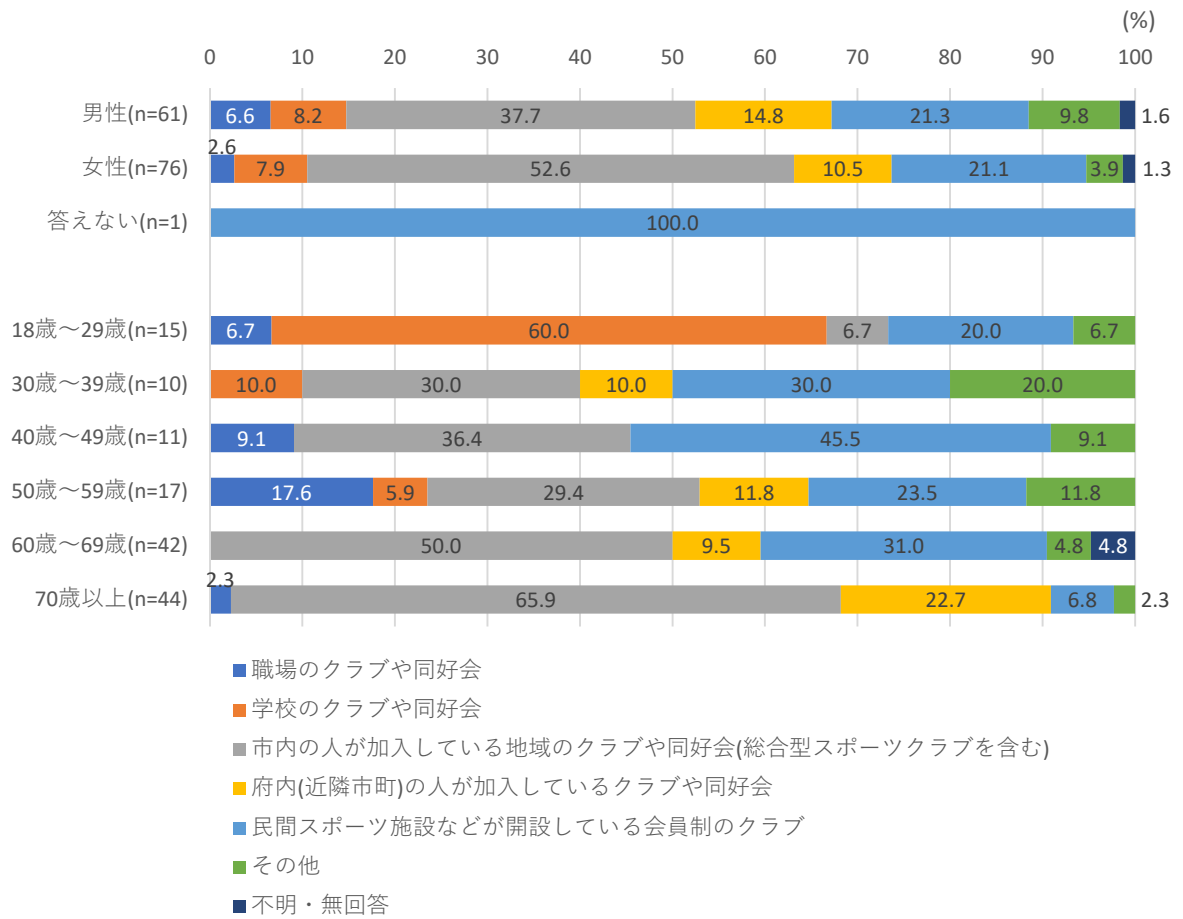
前回調査（2017 年度）と比較すると、「市内の人が加入している地域のクラブや同好会（総合型スポーツクラブを含む）」の割合が増加している。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「地域のクラブや同好会」が最も多いが、その割合は女性で高く、半数を超えている。

年齢別では、サンプル数が少ないため単純比較はできないが、20代までは「学校のクラブや同好会」、30代は「地域のクラブや同好会」と「会員制のクラブ」、40代は「会員制のクラブ」、50歳以上は「地域のクラブや同好会」が最も多い。70歳以上は「府内（近隣市町村）の人が加入しているクラブや同好会」がほかの年代と比べ多くあげられている。



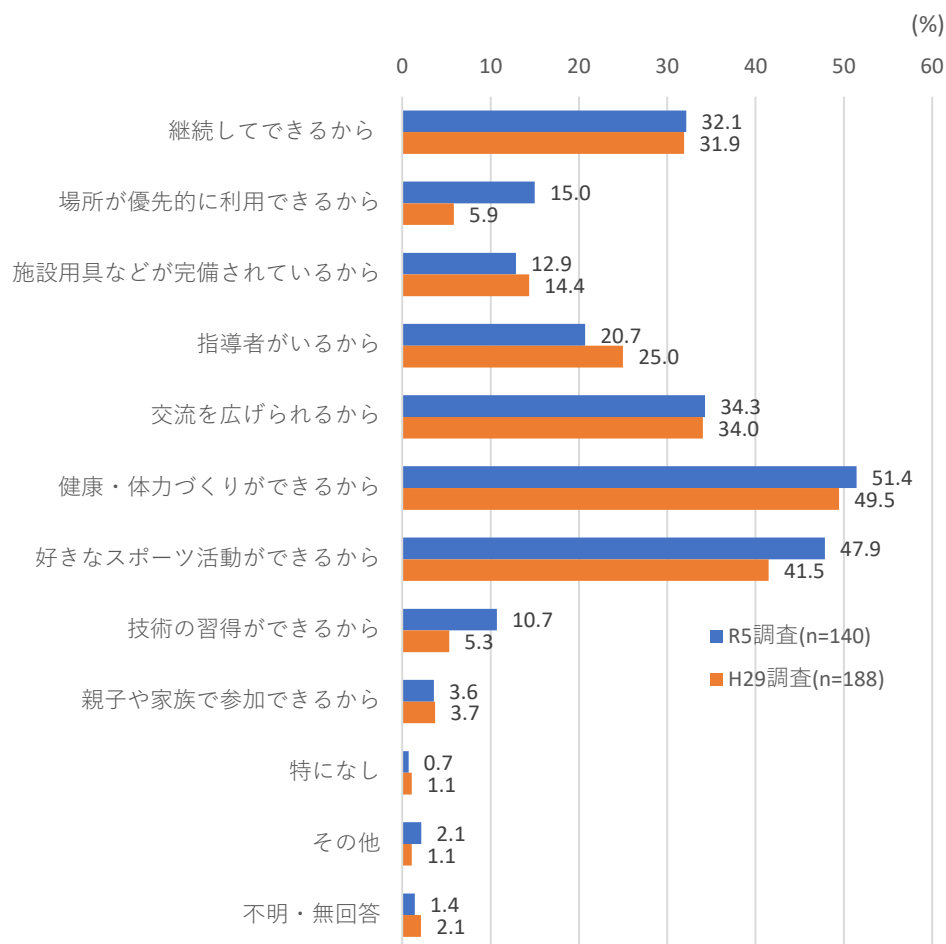
③ 当該団体やクラブに加入した動機

問 24 その団体やクラブに加入した動機は何でしょうか？(複数選択可)

- 健康・体力づくりや好きなスポーツ活動ができる、交流を広げられる、継続できるなど
- 女性や50歳以上は「健康・体力づくりができるから」が最も多い

当該団体やクラブへの加入した動機については、「健康・体力づくりができるから」が51.4%と最も多く、運動・スポーツをする主な理由の第1位「健康・体力づくりのため」と共通している。次いで、「好きなスポーツ活動ができるから」が47.9%、「交流を広げられるから」が34.3%、「継続してできるから」が32.1%とつづく。

前回調査(2017年度)と比較すると、「場所が優先的に利用できるから」や「好きなスポーツ活動ができるから」、「技術の習得ができるから」などの割合が増加している。



《クロス集計結果》

性別では、男性は「好きなスポーツ活動ができるから」、女性は「健康・体力づくりができるから」が最も多い。

年齢別では、サンプル数が少ないため単純比較はできないが、40代までは「好きなスポーツ活動ができるから」、50歳以上は「健康・体力づくりができるから」が最も多く、かつ年代があがるほどその割合は増加している。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	ら継続して できるか	用場が優 先的に利 用できる	備設され ているか が完	指導者が いるから	から交流 を広げら れる	が健康・ 体力づく り	動がで きるから	好きな スポーツ 活	るから 技術の 習得が でき	で親 子や家 族で参 加	特にな し	その他	不明・ 無回 答
性別	男性(n=61)	32.8	16.4	9.8	8.2	31.1	39.3	62.3	11.5	4.9	0.0	1.6	1.6	
	女性(n=76)	32.9	14.5	14.5	28.9	36.8	60.5	38.2	9.2	2.6	1.3	2.6	1.3	
	答えない(n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	18歳～29歳(n=15)	26.7	6.7	20.0	13.3	53.3	20.0	66.7	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	
	30歳～39歳(n=10)	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	70.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	40歳～49歳(n=11)	36.4	18.2	18.2	18.2	54.5	45.5	72.7	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	
	50歳～59歳(n=17)	29.4	23.5	0.0	23.5	23.5	41.2	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	60歳～69歳(n=42)	40.5	14.3	16.7	31.0	33.3	54.8	47.6	16.7	2.4	0.0	2.4	2.4	
	70歳以上(n=44)	34.1	13.6	11.4	15.9	36.4	72.7	38.6	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3	
	総計(n=140)	32.1	15.0	12.9	20.7	34.3	51.4	47.9	10.7	3.6	0.7	2.1	1.4	

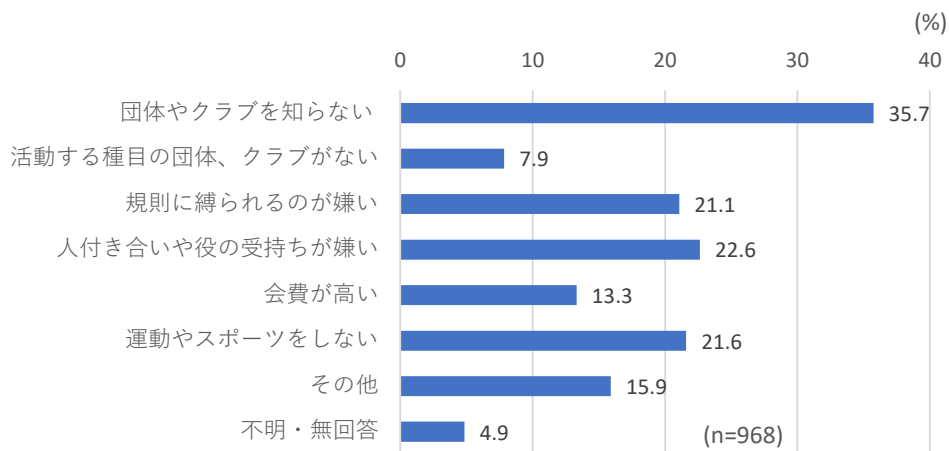
④ 団体やクラブに加入していない理由

問 25 問 22 で 2 とお答えの方にお聞きします。 加入していない理由は何ですか？ (複数選択可)

- 「団体やクラブを知らない」が4割近く
- 30代までは「団体やクラブを知らない」が半数以上

スポーツ団体、クラブや同好会に加入していないと回答した 968 名に、加入していない理由を聞いたところ、「団体やクラブを知らない」が 35.7%と最も多く、次いで「人付き合いや役の受持ちが嫌い」が 22.6%、「運動やスポーツをしない」が 21.6%、「規則に縛られるのが嫌い」が 21.1%とつづく。

前回調査 (2017 年度) は、理由を 1 つだけ選択する問いであったため単純比較はできないが、「団体やクラブを知らない」、「運動やスポーツをしない」などが同様に多くあげられている。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「団体やクラブを知らない」が最も多いが、男性は「規則に縛られるのが嫌い」、女性は「運動やスポーツをしない」も 2 番目に多くあげられている。

年齢別では、70 歳未満は「団体やクラブを知らない」が最も多いが、若い年代ほどその割合が高くなっている。

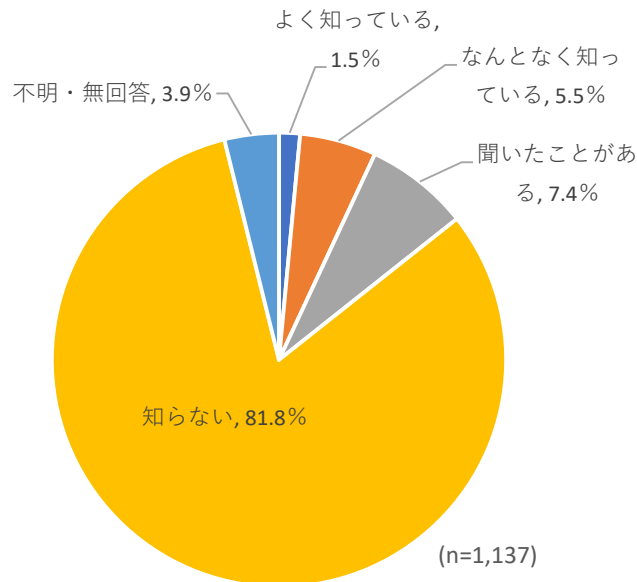
	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	ない 団体 や クラブ を 知 ら	活 動 す る 種 目 の 団	嫌 規 則 に 縛 ら れ る の が	持 人 付 き 合 い や 役 の 受	会 費 が 高 い	な 運 動 や ス ポ ー ツ を し	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=411)	36.7	8.3	24.8	20.2	10.5	16.8	16.8	5.6
	女性(n=543)	34.8	7.4	18.0	23.8	15.7	25.0	15.3	4.1
	答えない(n=8)	50.0	25.0	37.5	62.5	12.5	37.5	25.0	12.5
年代別	18歳～29歳(n=86)	52.3	7.0	22.1	26.7	26.7	26.7	14.0	1.2
	30歳～39歳(n=117)	51.3	6.8	15.4	27.4	17.1	22.2	7.7	1.7
	40歳～49歳(n=154)	41.6	7.8	21.4	31.8	15.6	24.0	11.0	2.6
	50歳～59歳(n=188)	31.4	7.4	23.9	23.4	14.9	23.4	18.6	1.6
	60歳～69歳(n=205)	37.6	9.3	19.5	20.0	9.8	16.6	14.1	5.4
	70歳以上(n=205)	17.1	7.3	22.9	13.2	6.8	20.5	24.4	12.7
	総計(n=968)	35.7	7.9	21.1	22.6	13.3	21.6	15.9	4.9

⑤ 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

問 26 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」についてご存じですか？

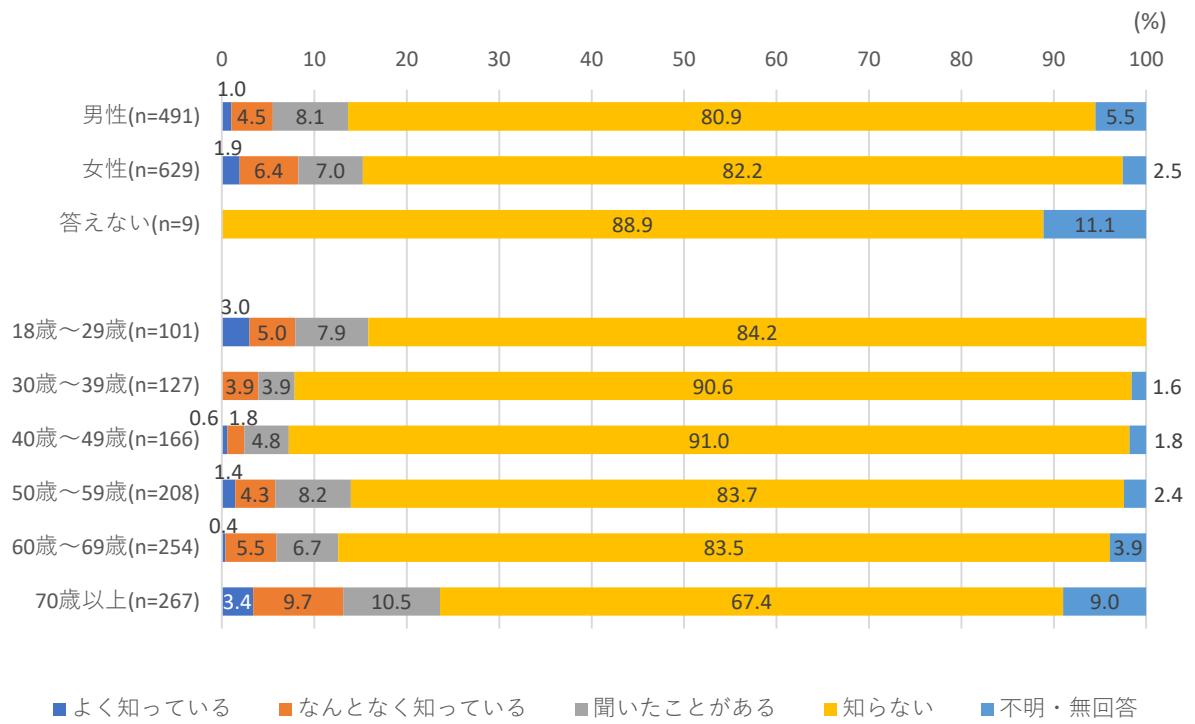
●認知度は 14.4% まだ多くの人に知られていない 特に、30～40 代の認知度が低い

「総合型地域スポーツクラブ」については、「知らない」と回答した人が 81.8%と 8 割を超えている。一方、「よく知っている」が 1.5%、「なんとなく知っている」が 5.5%、「聞いたことがある」が 7.4%で、認知度は 14.4%にとどまっており、まだ多くの人に知られていない。



《クロス集計結果》

年齢別では、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は 70 歳以上が最も高く 23.6%、次いで 18 歳～29 歳 (15.9%)、50 代 (13.9%)、60 代 (12.6%) とつづく。30～40 代の認知度が低い (ともに 7.2%)。

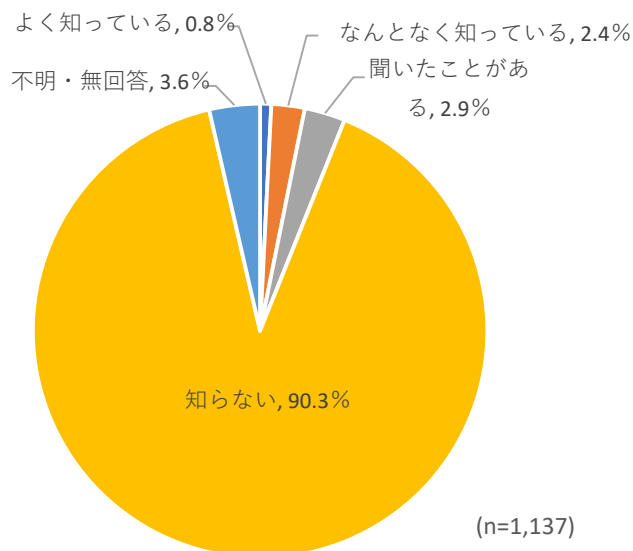


⑥ 岸和田市スポーツリーダークラブの活動の認知度

問 27 岸和田市スポーツリーダークラブの活動を知っていますか？

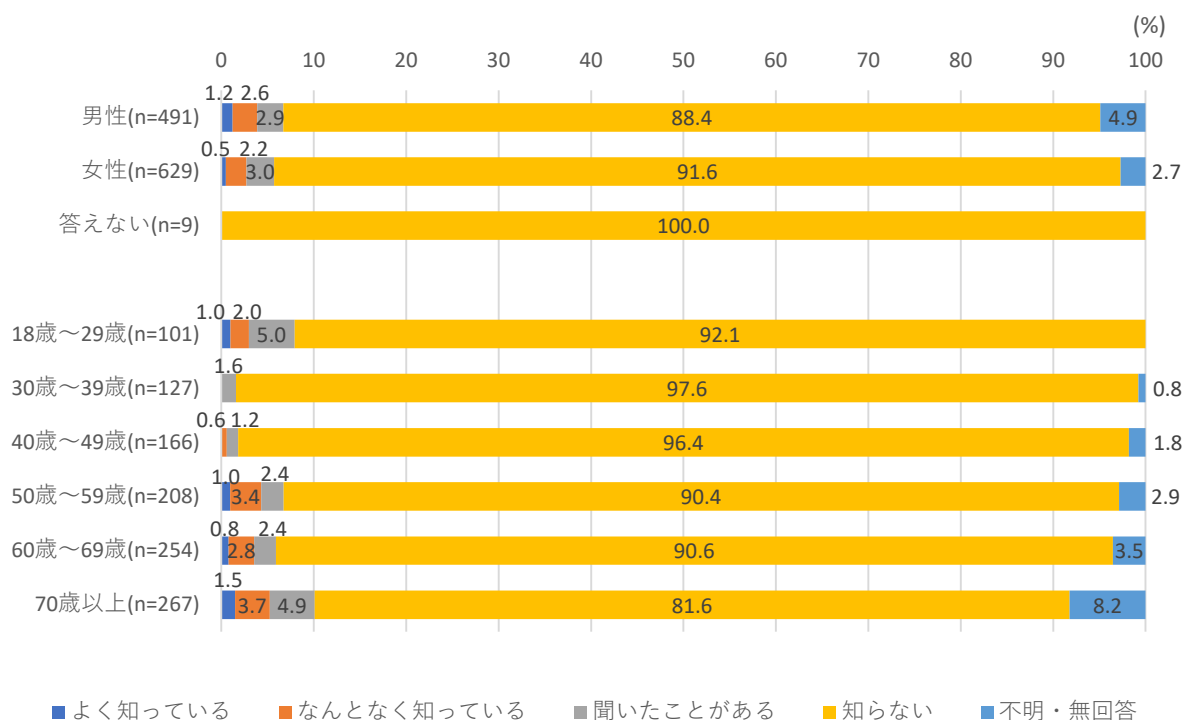
●9割が「知らない」 特に 30～40 代の認知度が低い

岸和田スポーツリーダークラブの活動については、「知らない」と回答した人が 90.3%で、9 割を占めている。一方、「よく知っている」が 0.8%、「なんとなく知っている」が 2.4%、「聞いたことがある」が 2.9%で、認知度は 6.1%と 1 割に満たない。



《クロス集計結果》

年齢別では、岸和田市スポーツリーダークラブの活動の認知度は 70 歳以上が最も高く 10.1%、次いで 18 歳～29 歳 (8.0%)、50 代 (6.8%)、60 代 (6.0%) とつづく。30～40 代の認知度が低い (30 代 1.6%、40 代 1.8%)。



5) 岸和田市のスポーツ推進活動について

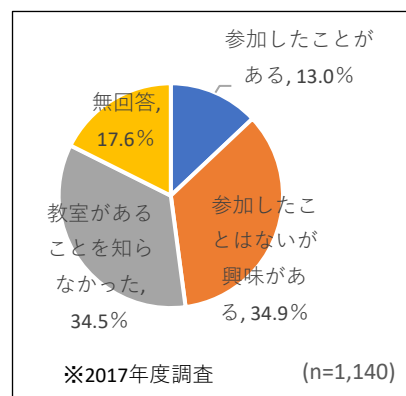
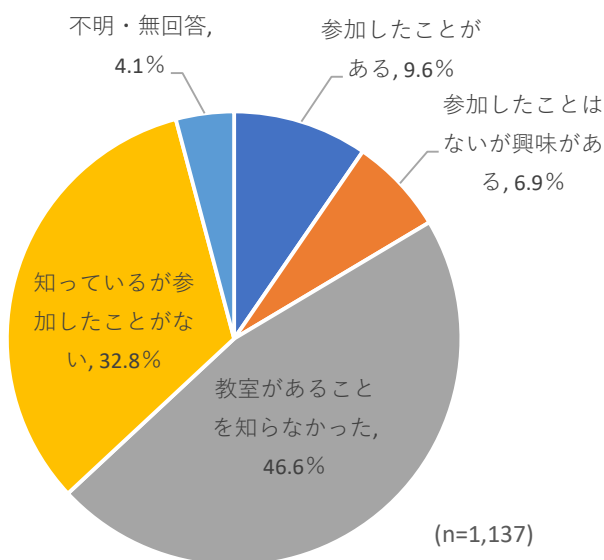
① 市主催のスポーツ教室への参加

問 28 あなたは市のスポーツ施設で行われている、スポーツ教室に参加したことはありますか？

- 「教室があることを知らなかった」が半数近くだが、参加者も含め2割弱の人が関心・興味を示している
- 女性、50歳以上で参加経験者や興味がある人が多い 一方で、若い世代の認知度が非常に低い

市のスポーツ施設で行われているスポーツ教室への参加については、「教室があることを知らなかった」が46.6%と最も多く、半数近くがスポーツ教室について知らないと回答している。次いで「知っているが参加したことがない」が32.8%とつづく。一方、「参加したことがある」と回答した人はわずか9.6%のみである。「参加したことはないが興味がある」（6.9%）を加えると、16.5%の人が興味をもっている。

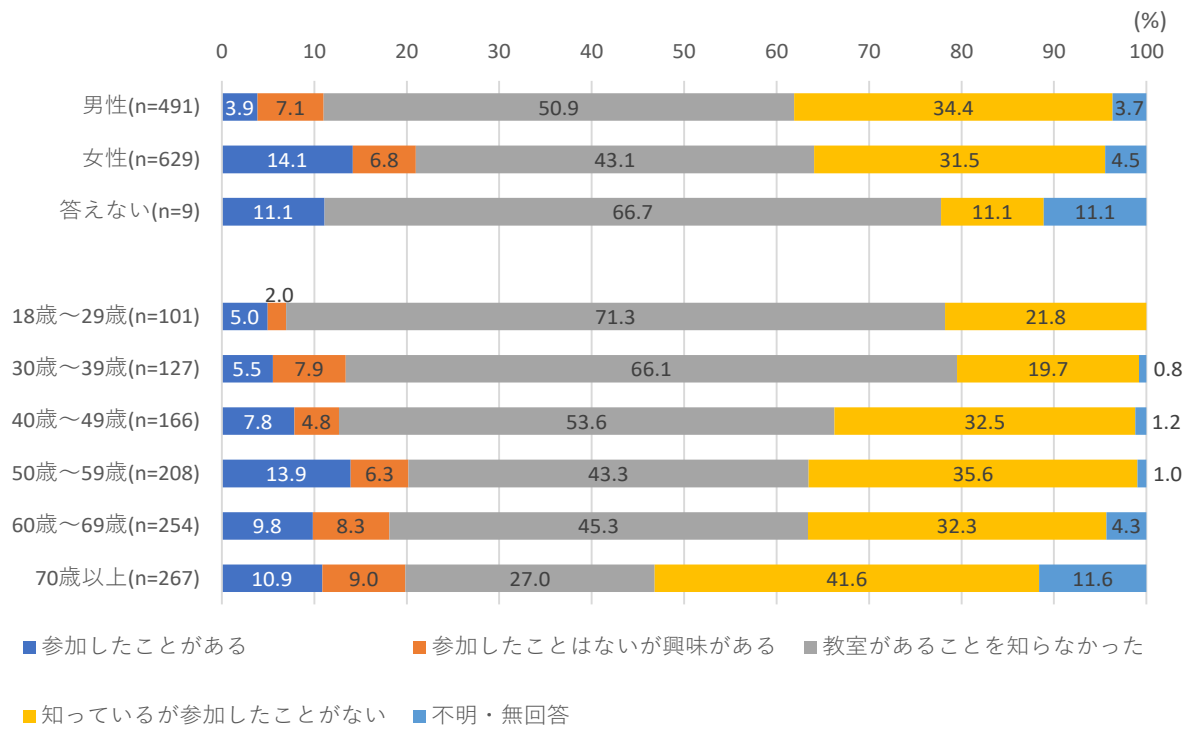
前回調査（2017年度）と比較すると、選択肢の内容が異なるため、単純比較はできないが、スポーツ教室の参加経験者や興味がある人の割合は減少している。



《クロス集計結果》

性別では、男性よりも女性のほうが参加経験者を含む興味・関心がある人の割合が高い。

年齢別では、参加したことがある人の割合は50代が最も高く、参加経験者を含む興味・関心がある人の割合は50歳以上で比較的高い。また、30代までは、「教室があることを知らなかった」と回答した人の割合が7割前後とほかの年代と比べて高い。



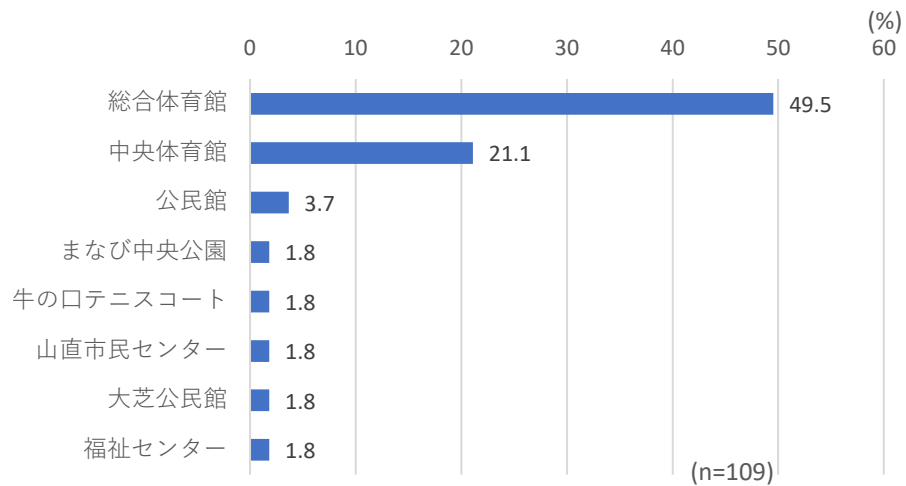
② 参加したスポーツ教室

問 29 問 28 で、1 とお答えの方にお聞きます。どこで実施している、どんな教室に参加しましたか？
(3つまで)

●総合体育館や中央体育館で、ヨガやエアロビクスの教室に参加

【どこで】

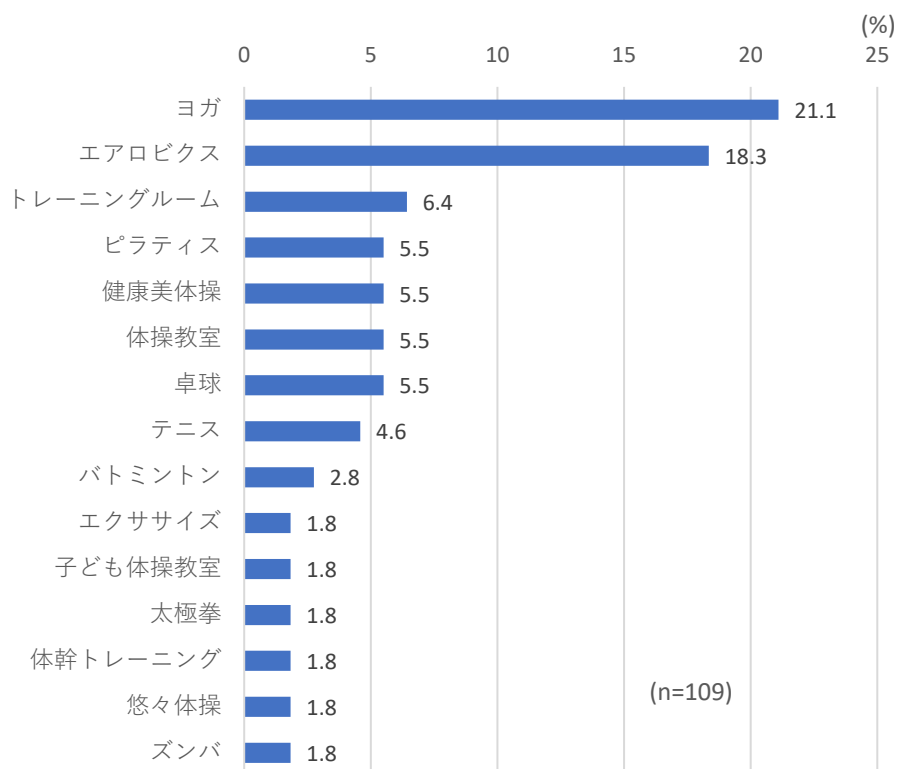
市主催のスポーツ教室に「参加したことがある」と回答した 109 人に、参加した教室について3つまで聞いたところ、実施された場所としては、「総合体育館」が 49.5%と最も多く、半数近くを占めている。次いで「中央体育館」が 21.1%とつづく。



その他	エアロビクス、バトミントン、葛城地区公民館、桜台市民センター、山滝地区公民館、市の体育館、春木体育館、新条グラウンド・ゴルフ、総合体育館、塔原の上地区公民館、東岸和田市民センター、浜、浜工業公園、野田公園テニスコート、新条カラオケクラブ、朝陽プール
-----	--

【教室の内容】

教室の内容としては、「ヨガ」が21.1%と最も多く、次いで「エアロビクス」が18.3%とつづく。



その他	ウォーキング、おやじの体操、コンディショニング体操、トランポリン教室、フラダンス、ベリーダンス、弓道教室、高齢者体力維持講座、子供バレエ、障がい者健康維持講座、親子体操、中高年エアロ、グラウンド・ゴルフ、ゆらぎ体操、ジャズ体操、ボクシングエクササイズ、ソフトテニス、水練教室、ウォーキング教室、シェイプアップ
-----	--

③ 市主催のスポーツイベントへの参加

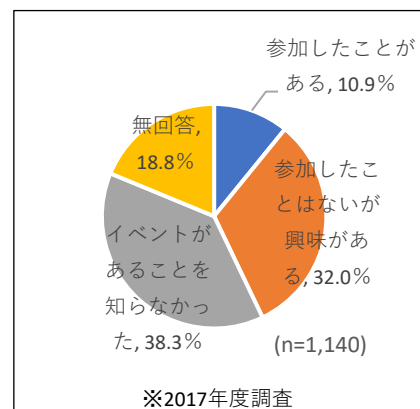
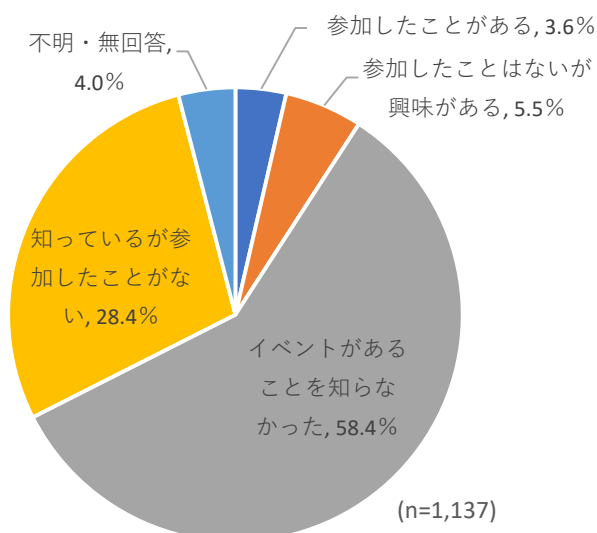
問 30 あなたは市が主催しているスポーツイベント（グランドゴルフ体験会・ウォークラリー・ファミリー登山等）に参加したことはありますか？

- 6割近くが「イベントがあることを知らなかった」、参加経験者も含めた興味・関心を示している人も少ない
- 知っているが参加したことがない人は、年代があがるほど増加 一方で、若い世代の認知度が非常に低い

市が主催しているスポーツイベントへの参加については、「イベントがあることを知らなかった」が58.4%と最も高く、6割近くを占めている。次いで、「知っているが参加したことがない」が28.4%とつづく。

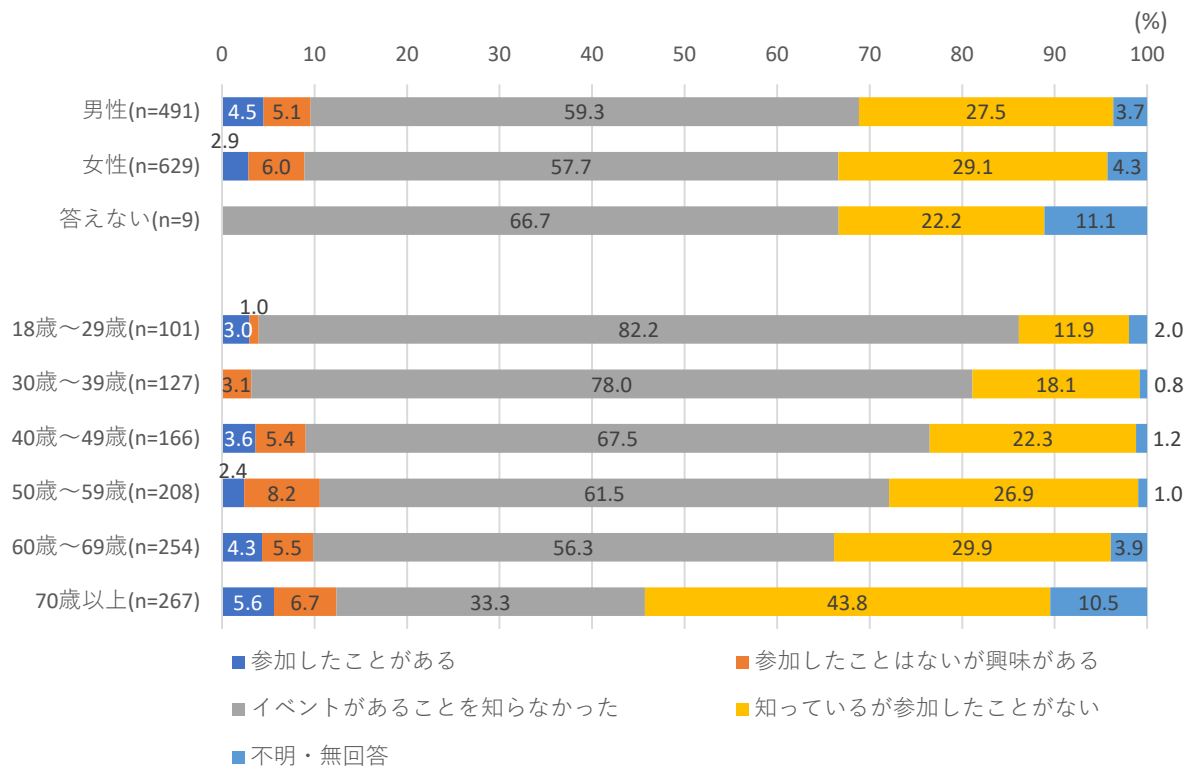
一方、「参加したことがある」と回答した人は、わずか3.6%で、「参加したことはないが興味がある」(5.5%)を加えても9.1%と1割に満たない。

前回調査（2017年度）と比較すると、選択肢の内容が異なるため、単純比較はできないが、スポーツイベントへの参加経験者や興味がある人の割合は減少している。



《クロス集計結果》

年齢別では、参加経験者を含む興味・関心がある人の割合は30代までで低く、「知っているが参加したことがない」と回答した人の割合は年代があがるほど増加する傾向がみられる。また、30代までは「イベントがあることを知らなかった」と回答した人の割合が8割前後とほかの年代と比べて高い。

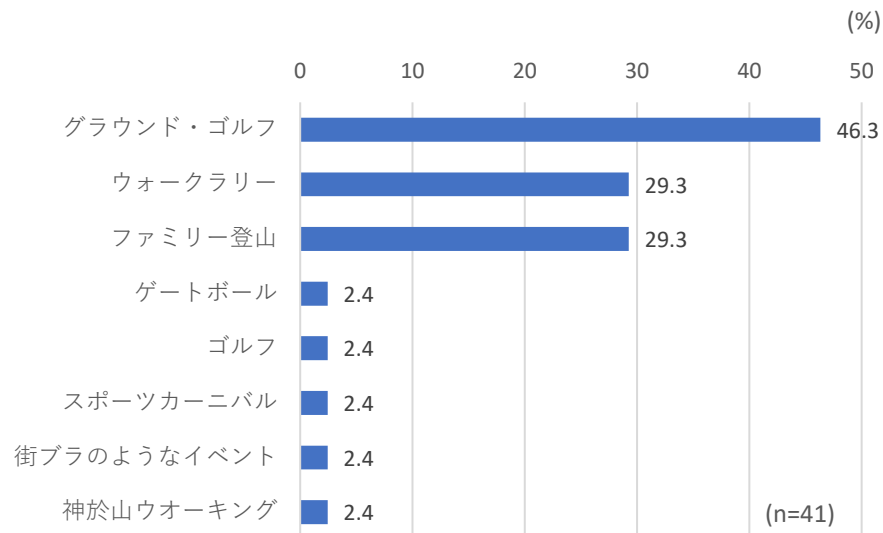


④ 参加したスポーツイベント

問 31 問 30 で、1とお答えの方にお聞きします。どのようなスポーツイベント(グラウンドゴルフ体験会・ウォークラリー・ファミリー登山等)に参加しましたか?(3つまで)

●グラウンド・ゴルフや、ウォークラリー、ファミリー登山の参加経験者が多い

市主催のスポーツイベントに「参加したことがある」と回答した41人に、参加したスポーツイベントについて3つまで聞いたところ、「グラウンド・ゴルフ」が46.3%と最も多く、次いで「ウォークラリー」及び「ファミリー登山」がともに29.3%とつづく。



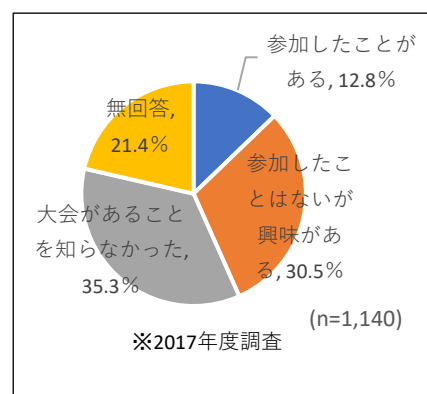
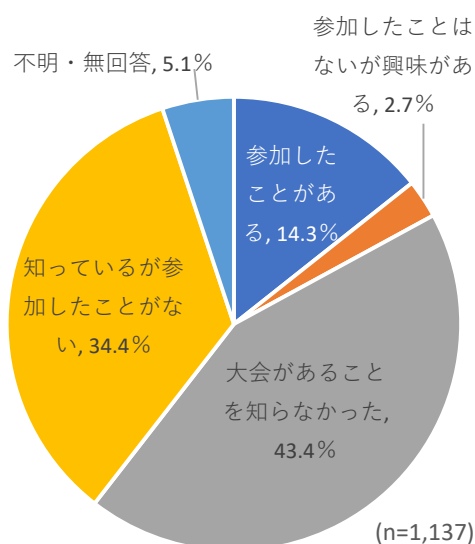
⑤ 市主催のスポーツ大会への参加

問 32 あなたは、市が主催しているスポーツ大会(市民大会(野球・サッカー等)や、過去にスポーツ少年団の各種大会等)に参加したことはありますか？

- 4割が「大会があることを知らなかった」参加者を含めて興味・関心を示している人は2割弱
- 若い世代の認知度が非常に低い

市が主体しているスポーツ大会への参加については、「大会があることを知らなかった」が43.4%と最も多く、次いで「知っているが参加したことがない」が34.4%とつづく。一方、「参加したことがある」と回答した人は14.3%で、「参加したことはないが興味がある」(2.7%)を加えても17.0%と2割に満たない。

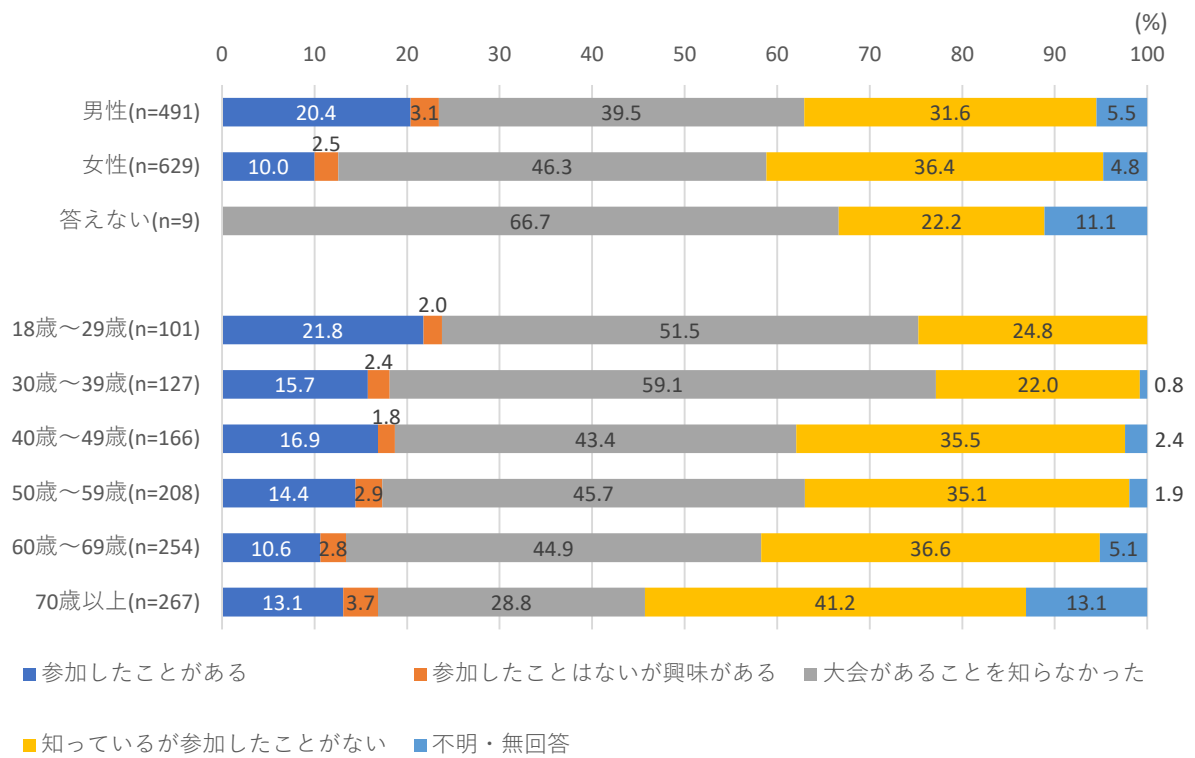
前回調査(2017年度)と比較すると、選択肢の内容が異なるため、単純比較はできないが、スポーツ大会への参加経験者や興味がある人の割合は減少している。



《クロス集計結果》

性別では、女性より男性のほうが参加経験者も、参加したことはないが興味がある人も多い。女性は「大会があることを知らなかった」と回答した人の割合が高い。

年齢別では、参加経験者は18歳～29歳が21.8%と最も多く、比較的若い世代の参加経験者が多い一方で、「大会があることを知らなかった」と回答した人の割合が30代まで半数を超えている。また、40歳以上は「知っているが参加したことがない」と回答した人の割合が比較的高い。

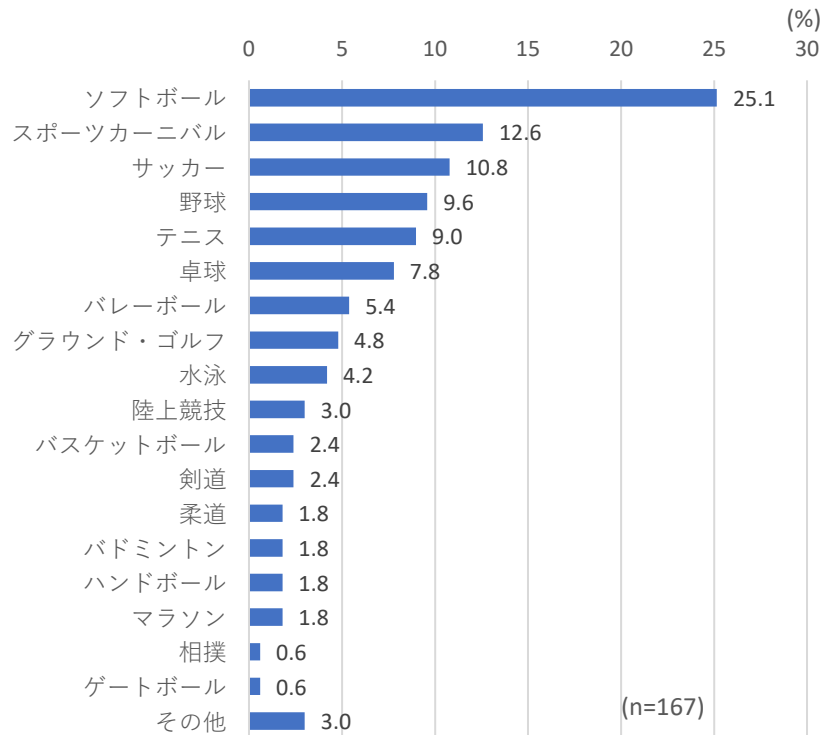


⑥ 参加した市主催のスポーツ大会

問 33 問 32 で、1 とお答えの方にお聞きします。どのようなスポーツ大会に参加しましたか？

●ソフトボールやスポーツカーニバル、サッカーなどに参加

市が主体しているスポーツ大会に参加したことがあると回答した人に、どのようなスポーツ大会に参加したかを聞いたところ、「ソフトボール」が25.1%で最も高く、次いで「スポーツカーニバル」が12.6%、「サッカー」が10.8%とつづく。



⑦ 市主催のスポーツイベントやスポーツ教室の情報源

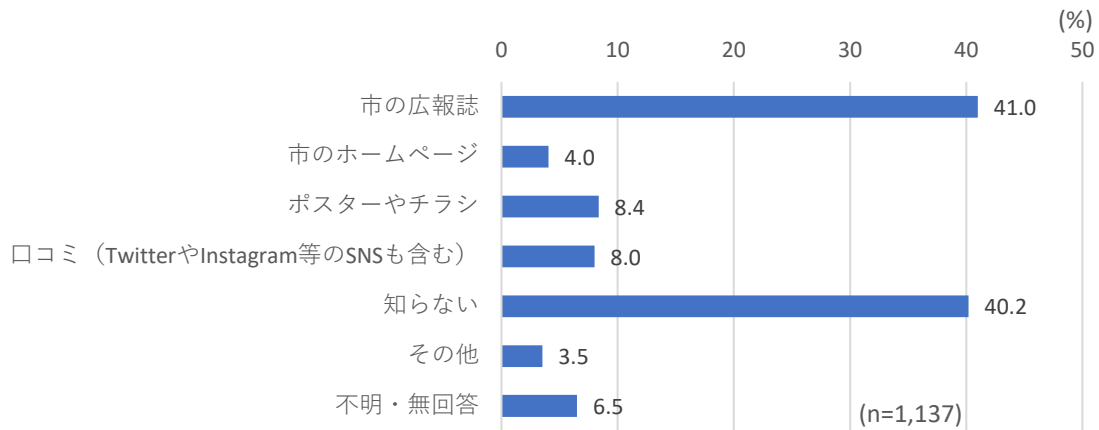
問 34 あなたは市が主催するスポーツイベント（市民大会等を含む）や、市施設で行われるスポーツ教室を何で知りますか？

- 4割近くが「知らない」一方、情報源としては「市の広報誌」が中心
- 男性、40代までで「知らない」と回答した人が多く、情報が届いていない

市主催のスポーツイベントやスポーツ教室についての情報については、「知らない」が40.2%と4割近くが知らないと回答している。

一方、情報源としては、「市の広報誌」が41.0%と最も多く、次いで「ポスターやチラシ」が8.4%、「口コミ（TwitterやInstagram等のSNSも含む）」が8.0%とつづく。

これらの情報について、いずれも「知らなかった」という回答者が最も多いことから、発信内容や手段（媒体含む）等について見直し、受け手の目に留まる、確実に届く周知方法の工夫・強化を図っていく必要がある。



《クロス集計結果》

性別では、男性は「知らない」、女性は「市の広報誌」が最も多い。

年齢別では、40代まで「知らない」、50歳以上は「市の広報誌」が最も多い。特に、30代までは「知らない」と回答した人の割合が6割前後とほかの年代と比べ高い。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	市の 広報誌	市の ホーム ページ	ポ ス タ ー や チ ラ シ	ロ コ ミ	知 ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	35.8	5.3	9.2	8.4	44.2	2.6	7.3
	女性(n=629)	45.2	2.9	7.8	7.6	36.7	4.3	5.9
	答えない(n=9)	22.2	22.2	0.0	11.1	66.7	0.0	11.1
年代別	18歳～29歳(n=101)	11.9	4.0	11.9	11.9	62.4	5.0	2.0
	30歳～39歳(n=127)	28.3	7.9	12.6	7.9	55.9	3.1	2.4
	40歳～49歳(n=166)	37.3	3.0	7.2	9.0	42.8	4.8	4.2
	50歳～59歳(n=208)	44.2	3.8	8.2	7.2	39.4	4.3	3.4
	60歳～69歳(n=254)	47.6	3.5	7.1	8.3	37.4	2.4	7.1
	70歳以上(n=267)	51.3	3.7	6.4	6.4	25.8	2.6	13.5
	総計(n=1137)	41.0	4.0	8.4	8.0	40.2	3.5	6.5

⑧ スポーツを推進するために今後力をいれるべきこと

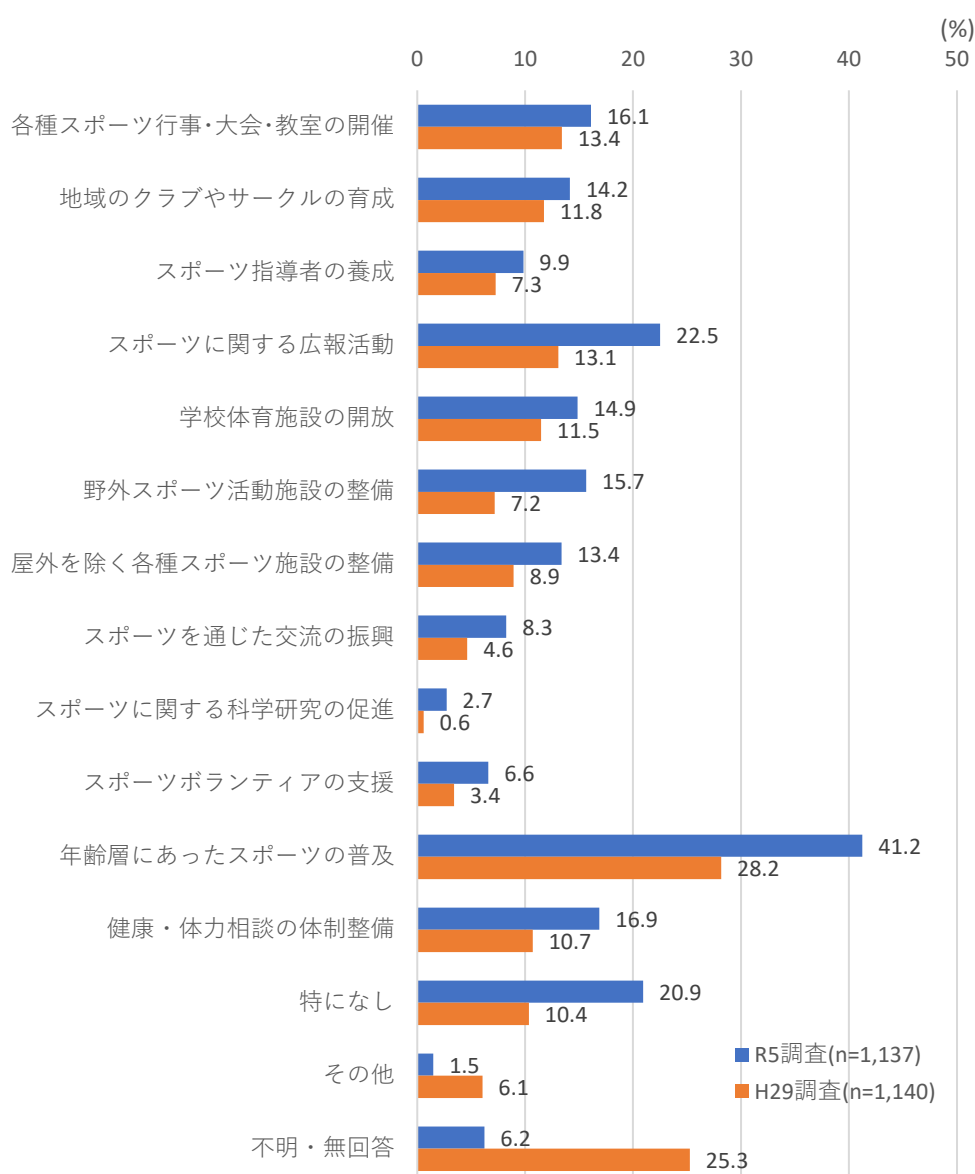
問 35 スポーツを推進するために今後市はどのようなことに力を入れればよいと思いますか？（複数選択可）

●年齢層にあったスポーツの普及のほか、スポーツに関する広報活動、健康・体力相談の体制整備、各種スポーツ行事・大会・教室の開催へのニーズが高い

スポーツ推進に向けて、今後市が力をいれるべきこととしては、「年齢層にあったスポーツの普及」が41.2%と最も多く、次いで「スポーツに関する広報活動」が22.5%、「健康・体力相談の体制整備」が16.9%、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が16.1%とつづく。

一方、「特になし」は20.9%と約2割みられる。

前回調査（2017年度）と比較すると、「年齢層にあったスポーツの普及」や「スポーツに関する広報活動」、「野外スポーツ活動施設の整備」などが大きく増加している。一方、「特になし」と回答した人の割合も1割から2割に増加している。



具体的な要望

各種スポーツ行事・大会・教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者でも気軽にできるスポーツの種類を増やす。 ・土日にも活動するスポーツ教室・サークルがあるとよい。 ・小中学生を対象としたクラブを今後も支えていって欲しい。 ・親子で参加できる行事を充実して欲しい。 ・ダイエットや体力維持、健康の為にスポーツができる施設があれば嬉しい。 ・腰痛や肩こりなど、困り事に特化した教室の開催 ・初心者でも楽しくできるものがあれば良い。 ・気軽に参加できる卓球教室 ・ウォーキング、登山などの教室を、土、日に開催して欲しい。 ・障害者が参加できるスポーツ ・障害者向けのヨガ・ストレッチ教室
地域のクラブやサークルの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校を通じて野球をしたい子どもたちに野球をさせてやりたい。 など
スポーツ指導者の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動に顧問の教師だけでなく、専門のコーチが必要 ・高齢化社会の中各自に頼った形が主になっていると思う。介護施設なども利用できる方は限られているため在宅でできるものを指導員養成や施設の充実地域に出向いた指導があればと思う。 ・指導者の招集 ・町会館に指導者が来て指導してもらえれば簡単に参加できる。 ・普段運動は全くしないので、体が硬く前屈も出来ません。家で行くにもストレッチなどの方法もやり方もわかりませんのでストレッチ教室やウエイトトレーニング教室などで、指導員の方と一緒にできるのならば、やってみようかなという気持ちになります。
スポーツに関する広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動をもっとわかりやすく、誰もが参加したいと思えるような。 ・もっと広報した方がよい。 ・宣伝 ・もっと認知度をあげる ・新聞を取っていないので広報を見る機会があまりない。 ・スポーツ・教室等、どこで開催され、年齢層等の広報の充実* ・テレビ岸和田、広報、町内放送で大会の周知をするとか。* ・ホームページで見られるのは知っているが仕事、家事で忙しくなかなか見ないので何が行われてるか知る機会がほとんどない。 ・情報が得れるようにしてほしい。ホームページ等では興味がない限り検索することがないので、強制的に目に入るようにしてほしい ・興味の有無に関わらず誰もが知れるチャンスに出会えるようになれるといいなと思うので今回送付された封筒へ施設・時間帯や料金などの一覧表等が記載されているものを同封して欲しいです ・スマホのアプリを利用した広報、スポーツ体験無料券配布、参加毎にポイント付与し買物券に変える。 ・SNS で情報が欲しい。
学校体育施設の開放	—
野外スポーツ活動施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイター設備のある施設の新設 ・人工芝を敷いたグラウンドが欲しい。 ・天然芝もしくは人工芝グラウンド ・観客スタンドのあるグラウンドがあれば、大会の開催や集客による、地域連携や地域産業への利益などを見込む事が出来るのではないのでしょうか。 ・バスケットゴールがある公園を増やして欲しい。 ・どの公園にもバスケットゴールを1つ設置してほしい。 ・ボール遊びが可能な施設 ・岸和田の春木体育館が台風で無くなってしまって気軽にいける施設だったので小さくていいので気軽に行ける体育館 ・市民プールの施設が欲しい。 ・私は自転車(ロードバイク、クロスバイクを趣味としています。)を例えますと、いざ趣味にしようとする初期費用が掛かります。その負担を軽減させるためにスポーツバイクのレンタルサイクルを充実してはどうでしょうか？(現在も岸和田駅にありますが、知名度はかなり低いと思います。) ・岸和田市のまるごとをサイクリングで楽しむ企画が可能だと思います。途中で休憩point(色々なお店もありますし)海～山までの地形をフル活用！ ・誰でもいつでも参加 OK の5～10分程度でできる運動が屋外で気軽にできる場所(ラジオ体操・太極拳・簡単なダンス・なわとび他)

	<ul style="list-style-type: none"> ・テニス野球サッカーなどの球技の壁あて、バスケのゴール。そういった各スポーツの初歩的、基礎的な運動ができる施設があるといいと思います。特に今の時代みんないろんな時間帯で忙しいと思うので決められた時間に集まるのは難しいので24時間開放してる中型の施設があるといいです。 ・平日働いている年齢層が使える施設 ・中央校区にもスポーツ施設がほしい。 ・利用者の少ない広場など整理統合 ・公園での大会時、トイレがなく女性が苦勞されてるので洋式トイレを増やしてほしい。
屋外を除く各種スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの様な施設！例→熊取町のひまわりドームの様な施設 ・福祉センターの講座はストレッチとゲートボールのみ。筋肉トレーニングのマシーンもないので、障がい者が筋肉トレーニングできるものがほしい。 ・民間のトレーニングジムは利用料がかなり高いと感じるので、公共のトレーニングジムを作って欲しい。 ・温水プール ・ジム* ・施設の新設、イノベーション(屋内化や照明、シャワールームの整備)。また運営の民間委託による利用率の平準化、サービス向上。岸和田城などの歴史遺産を活用したランニングコースの整備など。 ・施設を新設する。* ・大阪市の科学館のようにスポーツ館をつくる。どんなスポーツがあるのかパネルをつくり展示。実際に体験できる場所をつくる(VRも可)適性を判断できる(占いの様なもの)など楽しんでスポーツを学び体験できる場所があればおもしろいと思う。* ・短時間公共の場所で手軽に運動できる場所があれば良い。 ・予約不要の施設 ・ネットで手続きや、予約なしで利用できる施設* ・シャワーや温泉があるとよい。スポーツ宿泊施設など ・市の施設は営業時間が短く、仕事をしていると利用できない。* ・土日利用できる施設を増やして欲しい。* ・いつでも誰でも無料で使えるような施設
スポーツを通じた交流の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて岸和田市をアピールできる種目を見つける。例えば綱引きとか ・プロスポーツ選手のイベント ・子どもから大人まで全てが岸和田市に来て競技や大会を楽しんで安全に帰宅することで岸和田市の思い出がずっと残る。 ・市のスポーツ大会は所属のスポーツクラブを通してしか参加できないのでもう少し門戸を広げる活動を希望。団体競技であっても初心者未参加者が軽い感じで参加できるような大会もしくはイベントがあればよいと思う。そこから広がっていくものがあると感じます。 ・地域からの呼びかけや近隣との交流もない。チラシを配布以外に地域協力者を募って顔の見える関係が大事ではないか。 など
スポーツに関する科学研究の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・野外スポーツをもっと盛んにしてほしい。環境保護にも繋がるような。
スポーツボランティアの支援	—
年齢層にあったスポーツの普及	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康の為に参加できるものがあれば良い。 ・年を取ると近くで年齢にあったスポーツができることがよい。 ・高齢者向けが多すぎて利用・参加する気にはなれない。 ・中高年で初心者だと参加しづらい。どうしてもヨガなどになってしまう。 ・子育て世代が気軽に利用でき、地域内でコミュニティの輪が広がるような支援策 ・子供達が気軽に利用できる施設がない。 ・小学生から体験できる又は、学校と共同して体験させるシステムを使っていくどんなスポーツが自分に合うのか体験する。 ・親子それぞれ運動できるようなイベントがあればうれしい。 ・親子で参加できるようにしてほしい。 ・市のイベントは高齢者や子供のイメージがあります。 ・誰でも簡単に参加できるような仕組みや継続できるような環境 ・年代別・男女別などグラウンド・ゴルフの振興 ・施設を24時間利用可能にする。 ・全員が昼間に働いて夜に時間があつたり、土日休日となっているわけでは無いので、平日朝にも活動するクラブがほしい。 など

健康・体力相談の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは苦手なので一人でも参加できるハイキングや指導者がいてのオリエンテーリングなどがあればいいと思う。 ・ダイエット・体の回復に役立つ方法等 ・高齢者の体力に合ったものが望まれる。健康維持や増進を主とした指導を行うべき方策を考えるべきではないか。 ・自身の体力測定・アドバイス など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市の援助 ・屋内・屋外スポーツ施設の駐車場完備 ・山手地区に増やす。 ・とにかくスポーツが好きな人ばかり利用するような施設であってほしくない。スポーツが苦手な人づきあいが苦手な市民もいるので、1人でもがんばれるような造りにしてほしい。 ・市が運営するプール、スクールなど市民はなるべく安くする。 ・スポーツは自身はしなくても見るのが好きな人がいます。それはプロにかかわらず小学、中学そして地元の高校生もそうです。活躍している結果だけでなくビデオや写真の紹介など ・スポーツをするための余裕が必要 ・身体を動かすだけでなく、頭を使った事もいいのでは。

《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「年齢層にあったスポーツの普及」が最も多いが、男性は「野外スポーツ活動施設の整備」が女性より多い。

年齢別では、いずれの年代でも「年齢層にあったスポーツの普及」が最も多いが、特に60歳以上で半数前後と多い。また、30代で「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、30代までで「野外スポーツ活動施設の整備」、30～40代で「学校体育施設の開放」、50代までで「スポーツに関する広報活動」がほかの年代と比べ多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	大会 各種 スポーツ 教室の 開催 行事・	各 種 ス ポ ー ツ の 育 成	地 域 の ク ラ ブ や サ ー	成 ス ポ ー ツ 指 導 者 の 養	報 ス ポ ー ツ に 関 する 広	学 校 体 育 施 設 の 開 放	設 野 外 ス ポ ー ツ 活 動 施	ポ ー ツ を 除 く 各 種 ス	流 ス ポ ー ツ を 通 じ た 交	学 ス ポ ー ツ に 関 する 科	ア ス ポ ー ツ の 支 援 ボ ラ ン テ	年 齢 層 に あ っ た ス	制 健 康 ・ 体 力 相 談 の 体	特 に な し	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	15.3	11.6	10.0	22.4	14.9	20.6	14.1	8.6	2.4	7.1	36.5	15.9	20.4	2.4	6.7	
	女性(n=629)	16.7	16.1	9.9	22.4	15.1	11.8	12.7	7.6	2.9	6.2	44.8	17.5	21.3	0.8	5.9	
	答えない(n=9)	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	44.4	33.3	22.2	0.0	11.1	
年代別	18歳～29歳(n=101)	15.8	19.8	13.9	29.7	17.8	24.8	18.8	16.8	4.0	10.9	29.7	18.8	24.8	1.0	2.0	
	30歳～39歳(n=127)	26.0	15.7	7.1	29.1	22.0	22.0	17.3	9.4	3.9	3.1	34.6	9.4	15.0	0.8	2.4	
	40歳～49歳(n=166)	16.3	13.3	10.2	25.3	23.5	19.9	22.3	6.6	4.8	7.2	32.5	10.2	19.3	3.0	3.6	
	50歳～59歳(n=208)	20.7	16.8	12.0	27.9	13.9	17.3	17.3	9.6	2.9	6.7	39.4	20.7	17.3	2.4	1.0	
	60歳～69歳(n=254)	15.4	12.2	10.6	22.4	12.2	13.4	9.8	7.5	1.6	8.7	51.2	20.1	20.1	1.2	7.1	
	70歳以上(n=267)	9.0	12.0	7.5	10.9	8.2	6.7	4.1	5.2	1.5	4.5	46.1	18.0	26.2	0.7	14.6	
	総計(n=1137)	16.1	14.2	9.9	22.5	14.9	15.7	13.4	8.3	2.7	6.6	41.2	16.9	20.9	1.5	6.2	

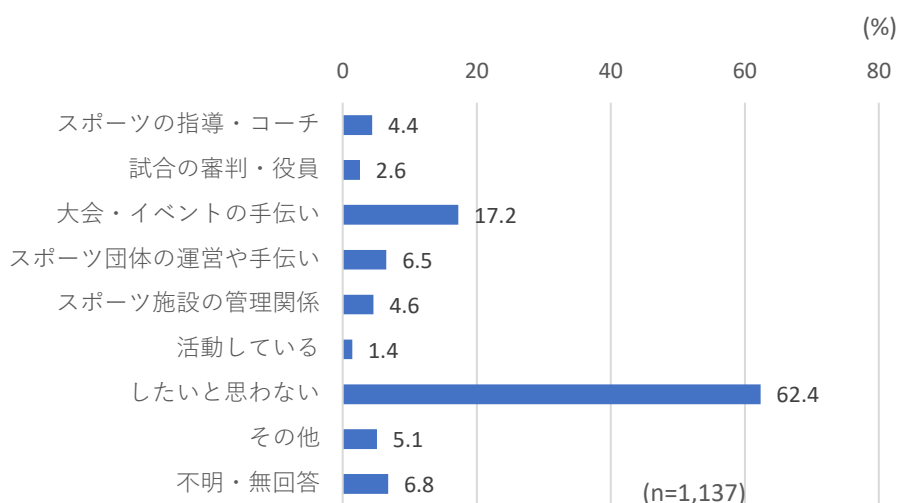
⑨ やってもよいスポーツボランティア活動

問 36 あなたはどのようなスポーツボランティア活動であればしてもよいとお考えですか？（複数選択可）

- 6割以上が、スポーツボランティア活動を希望していない
- やってもよい活動は、「大会・イベントの手伝い」や「スポーツ団体の運営や手伝い」など

スポーツボランティアの活動については、「したいと思わない」が62.4%と最も多く、6割以上が希望していない。

一方で、やってもよい活動としては、「大会・イベントの手伝い」が17.2%と最も多く、次いで「スポーツ団体の運営や手伝い」（6.5%）、「スポーツ施設の管理関係」（4.6%）、「スポーツの指導・コーチ」（4.4%）とつづく。



《クロス集計結果》

年齢別では、30歳以上はスポーツボランティア活動を希望しない人が6割を超えているが、20代までは4割と低い。また、50代までは「大会・イベントの手伝い」を希望する人が多い。

	※表内網掛けは総計に対して比率が高くなっているもの	コ	試	手	大	営	ス	理	活	し	そ	不
		ス	合	伝	会	ス	理	動	たい	他	明	
		ポ	の	い	・	ポ	ス	し	い			
		ー	審	大	イ	ポ	ポ	たい	思			
		チ	判	ベ	ン	ー	ー	たい	わ			
		の	・	ト	ト	ツ	ス	な	な			
		指	役	の	の	施	ポ	い	い			
		導	員	の	運	設	ー	っ	っ			
		・		の	営	の	ス	っ	っ			
		コ		の	営	管	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	理	ー	っ	っ			
		チ		の	営	係	ス	っ	っ			
		の		の	営	の	ポ	っ	っ			
		指		の	営	管	ー	っ	っ			
		導		の	営	理	ス	っ	っ			
		・		の	営	係	ポ	っ	っ			
		コ		の	営	の	ー	っ	っ			
		ー		の	営	管	ス	っ	っ			
		チ		の	営	理	ポ	っ	っ			
		の		の	営	係	ー	っ	っ			
		指		の	営	の	ス	っ	っ			
		導		の	営	管	ポ	っ	っ			
		・		の	営	理	ス	っ	っ			
		コ		の	営	係	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	の	ー	っ	っ			
		チ		の	営	管	ス	っ	っ			
		の		の	営	理	ポ	っ	っ			
		指		の	営	係	ー	っ	っ			
		導		の	営	の	ス	っ	っ			
		・		の	営	管	ポ	っ	っ			
		コ		の	営	理	ス	っ	っ			
		ー		の	営	係	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	の	ー	っ	っ			
		の		の	営	管	ス	っ	っ			
		指		の	営	理	ポ	っ	っ			
		導		の	営	係	ー	っ	っ			
		・		の	営	の	ス	っ	っ			
		コ		の	営	管	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	理	ス	っ	っ			
		チ		の	営	係	ポ	っ	っ			
		の		の	営	の	ー	っ	っ			
		指		の	営	管	ス	っ	っ			
		導		の	営	理	ポ	っ	っ			
		・		の	営	係	ー	っ	っ			
		コ		の	営	の	ス	っ	っ			
		ー		の	営	管	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	理	ス	っ	っ			
		の		の	営	係	ポ	っ	っ			
		指		の	営	の	ー	っ	っ			
		導		の	営	管	ス	っ	っ			
		・		の	営	理	ポ	っ	っ			
		コ		の	営	係	ー	っ	っ			
		ー		の	営	の	ス	っ	っ			
		チ		の	営	管	ポ	っ	っ			
		の		の	営	理	ス	っ	っ			
		指		の	営	係	ポ	っ	っ			
		導		の	営	の	ー	っ	っ			
		・		の	営	管	ス	っ	っ			
		コ		の	営	理	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	係	ー	っ	っ			
		チ		の	営	の	ス	っ	っ			
		の		の	営	管	ポ	っ	っ			
		指		の	営	理	ス	っ	っ			
		導		の	営	係	ポ	っ	っ			
		・		の	営	の	ー	っ	っ			
		コ		の	営	管	ス	っ	っ			
		ー		の	営	理	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	係	ー	っ	っ			
		の		の	営	の	ス	っ	っ			
		指		の	営	管	ポ	っ	っ			
		導		の	営	理	ス	っ	っ			
		・		の	営	係	ー	っ	っ			
		コ		の	営	の	ス	っ	っ			
		ー		の	営	管	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	理	ス	っ	っ			
		の		の	営	係	ポ	っ	っ			
		指		の	営	の	ー	っ	っ			
		導		の	営	管	ス	っ	っ			
		・		の	営	理	ポ	っ	っ			
		コ		の	営	係	ー	っ	っ			
		ー		の	営	の	ス	っ	っ			
		チ		の	営	管	ポ	っ	っ			
		の		の	営	理	ス	っ	っ			
		指		の	営	係	ポ	っ	っ			
		導		の	営	の	ー	っ	っ			
		・		の	営	管	ス	っ	っ			
		コ		の	営	理	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	係	ー	っ	っ			
		チ		の	営	の	ス	っ	っ			
		の		の	営	管	ポ	っ	っ			
		指		の	営	理	ス	っ	っ			
		導		の	営	係	ポ	っ	っ			
		・		の	営	の	ー	っ	っ			
		コ		の	営	管	ス	っ	っ			
		ー		の	営	理	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	係	ー	っ	っ			
		の		の	営	の	ス	っ	っ			
		指		の	営	管	ポ	っ	っ			
		導		の	営	理	ス	っ	っ			
		・		の	営	係	ー	っ	っ			
		コ		の	営	の	ス	っ	っ			
		ー		の	営	管	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	理	ス	っ	っ			
		の		の	営	係	ポ	っ	っ			
		指		の	営	の	ー	っ	っ			
		導		の	営	管	ス	っ	っ			
		・		の	営	理	ポ	っ	っ			
		コ		の	営	係	ー	っ	っ			
		ー		の	営	の	ス	っ	っ			
		チ		の	営	管	ポ	っ	っ			
		の		の	営	理	ス	っ	っ			
		指		の	営	係	ポ	っ	っ			
		導		の	営	の	ー	っ	っ			
		・		の	営	管	ス	っ	っ			
		コ		の	営	理	ポ	っ	っ			
		ー		の	営	係	ー	っ	っ			
		チ		の	営	の	ス	っ	っ			
		の		の	営	管	ポ	っ	っ			
		指		の	営	理	ス	っ	っ			
		導		の	営	係	ポ	っ	っ			
		・		の	営	の	ー	っ	っ			
		コ		の	営	管	ス	っ	っ			
		ー		の	営	理	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	係	ー	っ	っ			
		の		の	営	の	ス	っ	っ			
		指		の	営	管	ポ	っ	っ			
		導		の	営	理	ス	っ	っ			
		・		の	営	係	ー	っ	っ			
		コ		の	営	の	ス	っ	っ			
		ー		の	営	管	ポ	っ	っ			
		チ		の	営	理	ス	っ	っ			
		の		の	営	係	ポ	っ	っ			

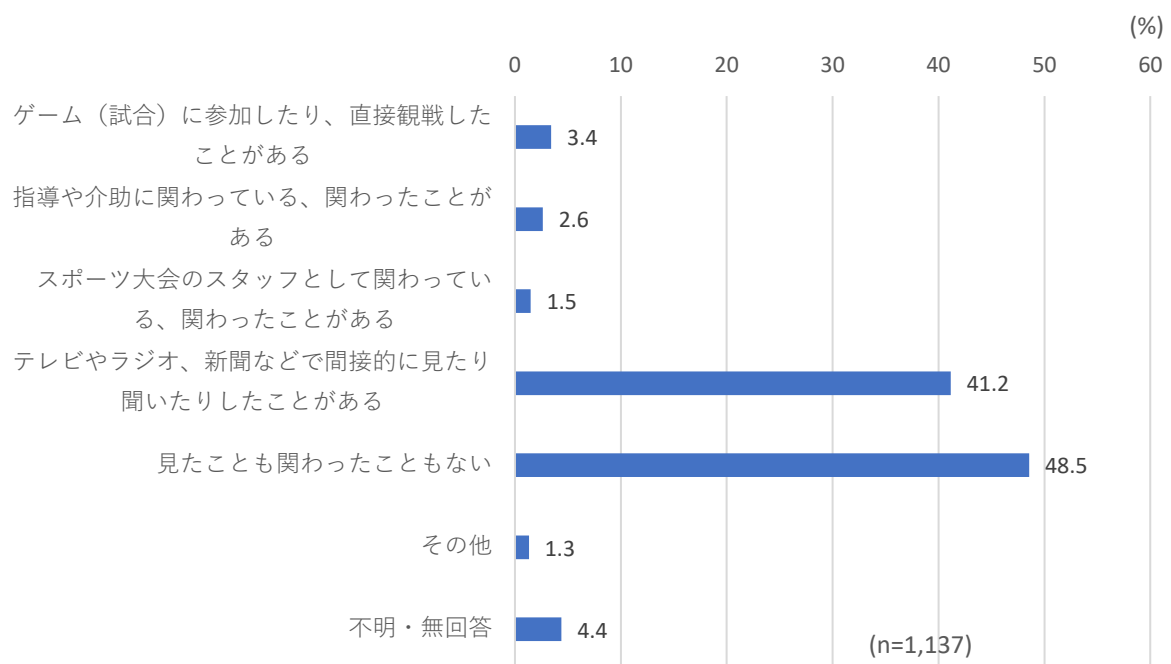
⑩ 障害者スポーツの参加・観戦等

問 37 障害者スポーツについて、参加・観戦したり、関わったことがありますか？（複数回答可）

- 半数近くが「見たことも関わったこともない」
- テレビなどでの間接的な観戦が4割近く、50代や70歳以上で多い

障害者スポーツの参加・観戦等については、「見たことも関わったこともない」が48.5%と最も多く、半数近くを占めている。一方、「テレビやラジオ、新聞などで間接的に見たり聞いたりしたことがある」と回答した人も41.2%と4割近くみられる。

「ゲーム（試合）に参加したり、直接観戦したことがある」は3.4%、「指導や介助に関わっている、関わったことがある」が2.6%、「スポーツ大会のスタッフとして関わっている、関わったことがある」1.5%となっており、わずかではあるが、障害者スポーツに関わった経験がある人もみられる。



《クロス集計結果》

年齢別では、60代までは「見たことも関わったこともない」、70歳以上は「テレビやラジオ、新聞などで間接的に見たり聞いたりしたことがある」が最も多い。また、50代でも「テレビやラジオ、新聞などで間接的に見たり聞いたりしたことがある」と回答した人がほかの年代と比べ多い。

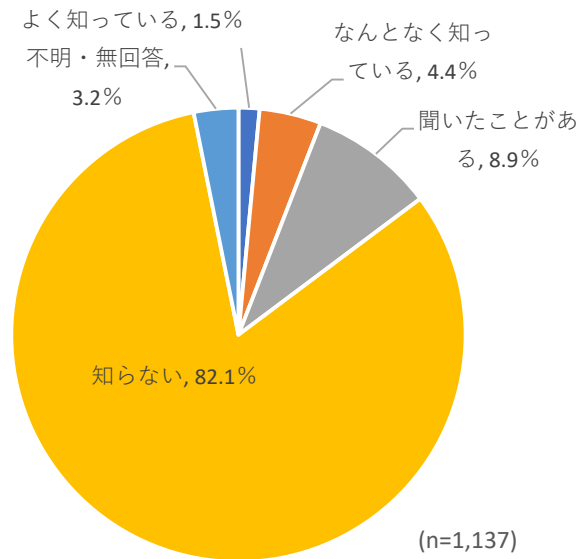
	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	観 戦 し た こ と が あ る	ゲ ー ム （ 試 合 ） に 参 加 し た り 、 直 接	指 導 や 介 助 に 関 わ っ て い る 、 関 わ っ た こ と が あ る	ス ポ ー ツ 大 会 の ス タ フ と し て 関 わ っ て い る 、 関 わ っ た こ と が あ る	テ レ ビ や ラ ジ オ 、 新 聞 な ど で 間 接 的 に 見 た り 聞 い た り し た こ と が あ る	見 た こ と も 関 わ っ た こ と も な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	3.7	2.0	1.6	38.3	50.5	1.0	5.5	
	女性(n=629)	3.2	3.0	1.4	43.4	46.9	1.6	3.7	
	答えない(n=9)	11.1	11.1	0.0	22.2	66.7	0.0	0.0	
年代別	18歳～29歳(n=101)	5.0	5.0	2.0	55.4	35.6	2.0	1.0	
	30歳～39歳(n=127)	3.9	2.4	0.0	34.6	56.7	2.4	0.8	
	40歳～49歳(n=166)	2.4	3.0	1.2	36.1	56.6	1.8	2.4	
	50歳～59歳(n=208)	5.3	1.4	1.4	44.2	48.1	1.0	1.9	
	60歳～69歳(n=254)	3.1	3.5	3.1	36.6	53.9	0.4	3.1	
	70歳以上(n=267)	2.2	1.5	0.7	44.6	39.0	1.5	12.0	
	総計(n=1137)	3.4	2.6	1.5	41.2	48.5	1.3	4.4	

⑪ 岸和田市スポーツ推進委員の活動

問 38 岸和田市スポーツ推進委員の活動を知っていますか？

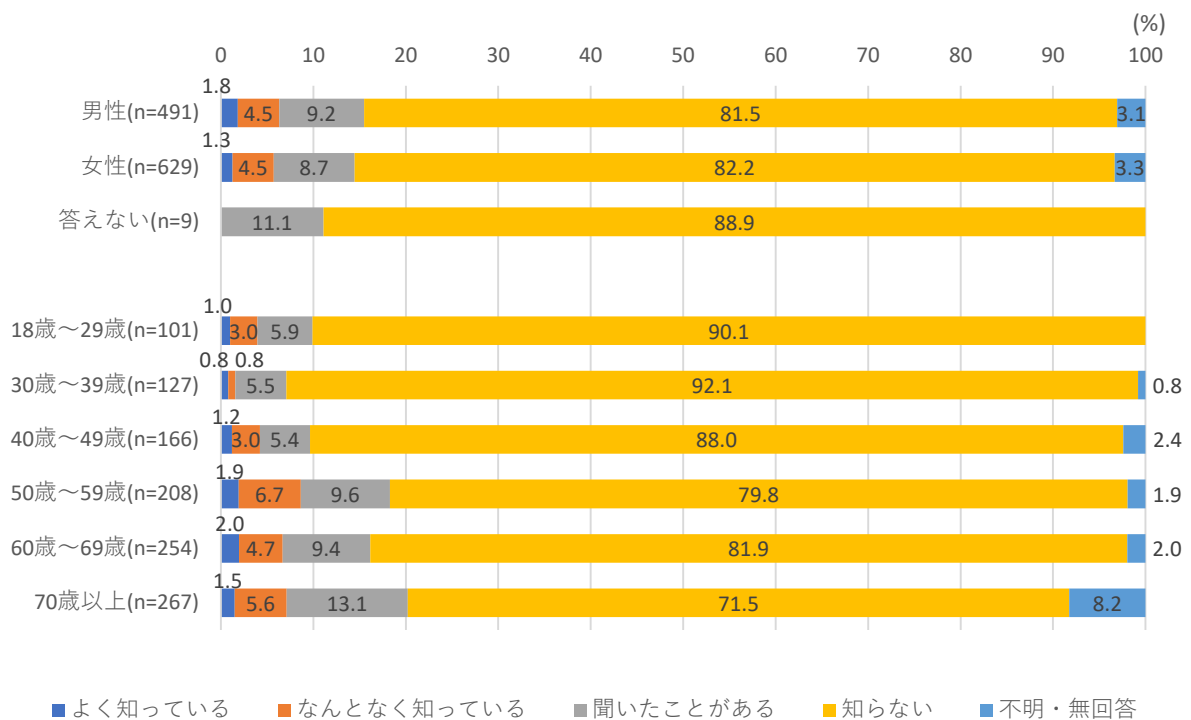
●8割が「知らない」 認知度は 14.8% 40 代までで特に低い

岸和田市スポーツ推進委員の活動については、「知らない」が 82.1%と 8 割を超えている。一方、「よく知っている」が 1.5%、「なんとなく知っている」が 4.4%、「聞いたことがある」が 8.9%で、認知度は 14.8%となっている。



《クロス集計結果》

年齢別では、40 代までで「知らない」と回答した人の割合 9 割前後と高く、認知度も低い。

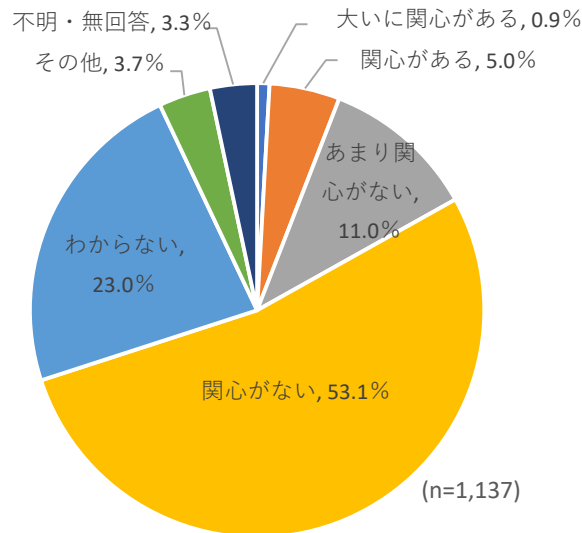


⑫ 中学校の部活動の地域移行への関わり

問 39 中学校の部活動の段階的な地域移行が検討されていますが、指導者等として関わることに関心はありますか？

●半数以上が「関心がない」 男性、若い世代のほうが関心は高い

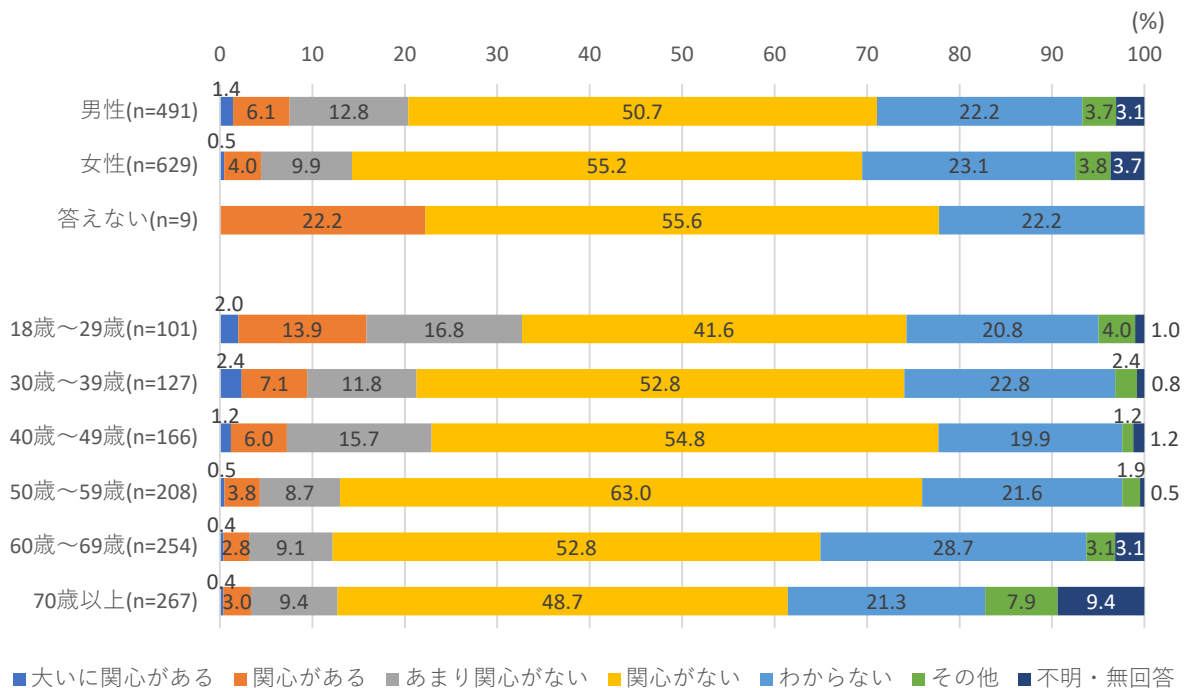
中学校の部活動の地域移行に際し、指導者等として関わることへの関心については、「関心がない」が53.1%と最も多く、半数を超えている。一方、「大いに関心がある」が0.9%、「関心がある」が5.0%と、これらを合わせた関心がある人はわずか5.9%にとどまっている。



《クロス集計結果》

性別では、女性より男性のほうが関心がある人の割合がやや高い。

年齢別では、年齢が上がるほど関心がある人の割合は減少する傾向がみられる。



6) 健康・体力に関する意識について

① 現在、健康だと思うか

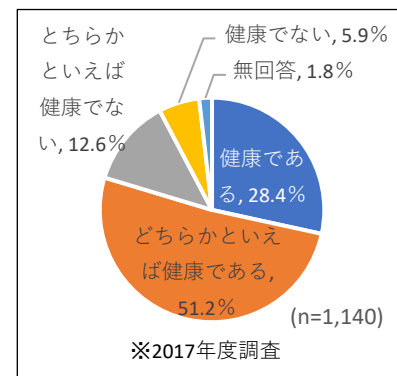
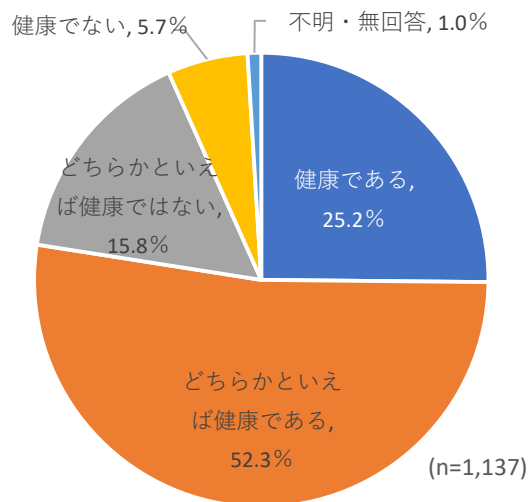
問 40 現在、あなたは健康だと思いますか？

●8割近くが健康だと思っている 30～50代は年齢があがるほど健康だと思う人が増加

現在、健康だと思うかについては、「健康である」が25.2%、「どちらかといえば健康である」が52.3%で、これらを合わせた健康だと思っている人の割合は、77.5%と8割近くを占めている。

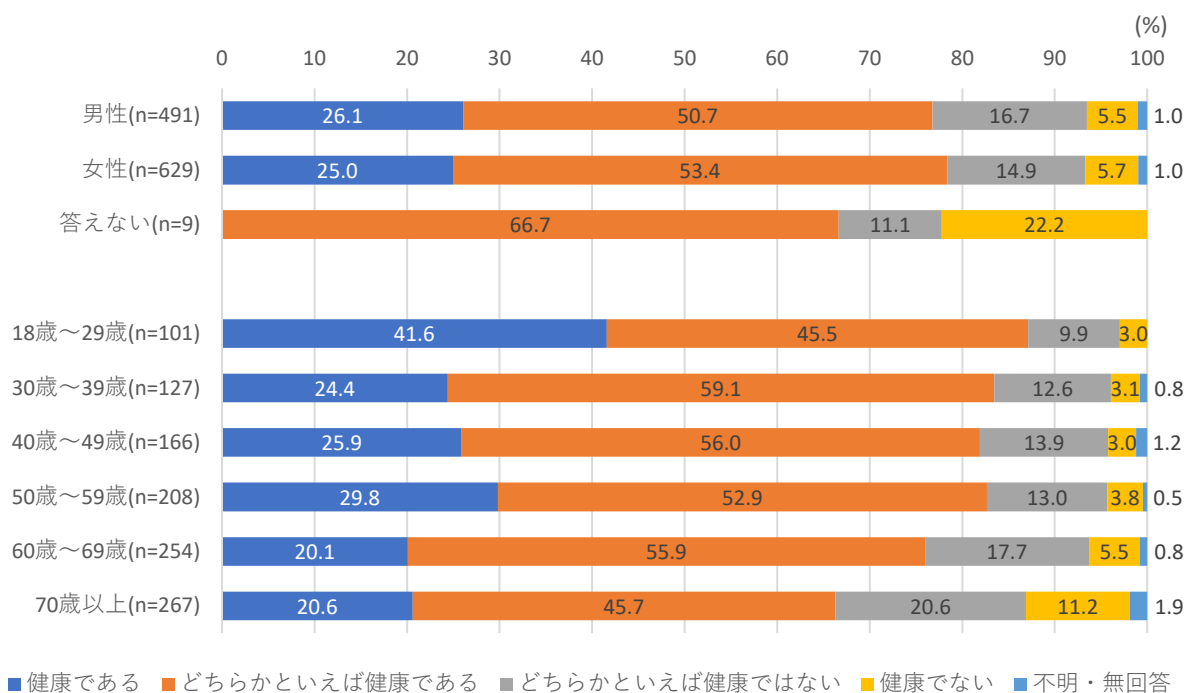
一方、「健康ではない」が5.7%、「どちらかといえば健康ではない」が15.8%で、これらを合わせた健康ではないと思っている人の割合は、21.5%となっている。

前回調査（2017年度）と比較すると、回答者の高齢化の影響もあってか、「健康である」と回答した人の割合がやや減少し、「どちらかといえば健康ではない」と回答した人の割合がやや増加している。



《クロス集計結果》

年齢別では、健康だと思う人は20代までは4割で、30～50代は年齢があがるほど増加する。



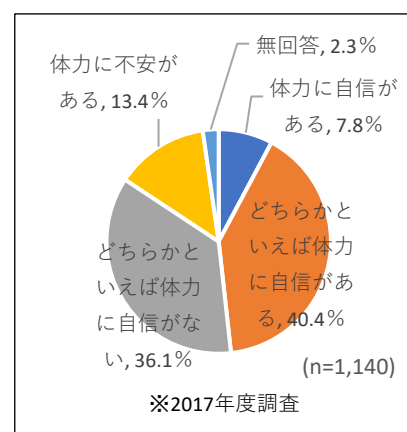
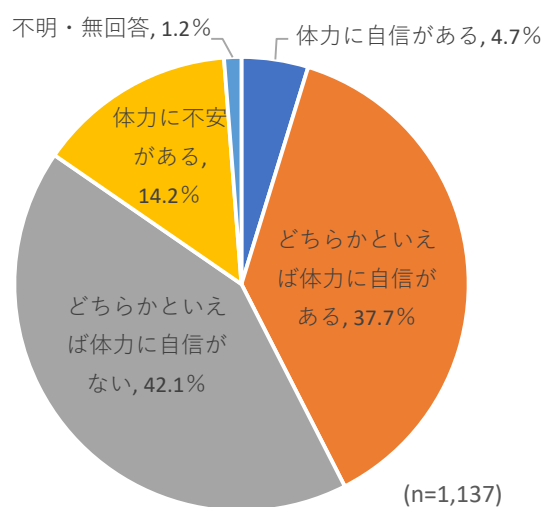
② 自分の体力について

問 41 あなたご自分の体力についてどのように感じていますか？

●半数以上が体力に自信がないが、50代が最も体力に自信あり

自分の体力について、どのように感じているかについては、「体力に自信がある」が4.7%、「どちらかといえば体力には自信がある」が37.7%で、これらを合わせた体力に自信があると回答した人の割合は42.4%と、体力に自信がないと回答した人の割合（「体力に不安がある」と「どちらかといえば体力に自信がない」の合計）の56.3%を大きく下回っている。

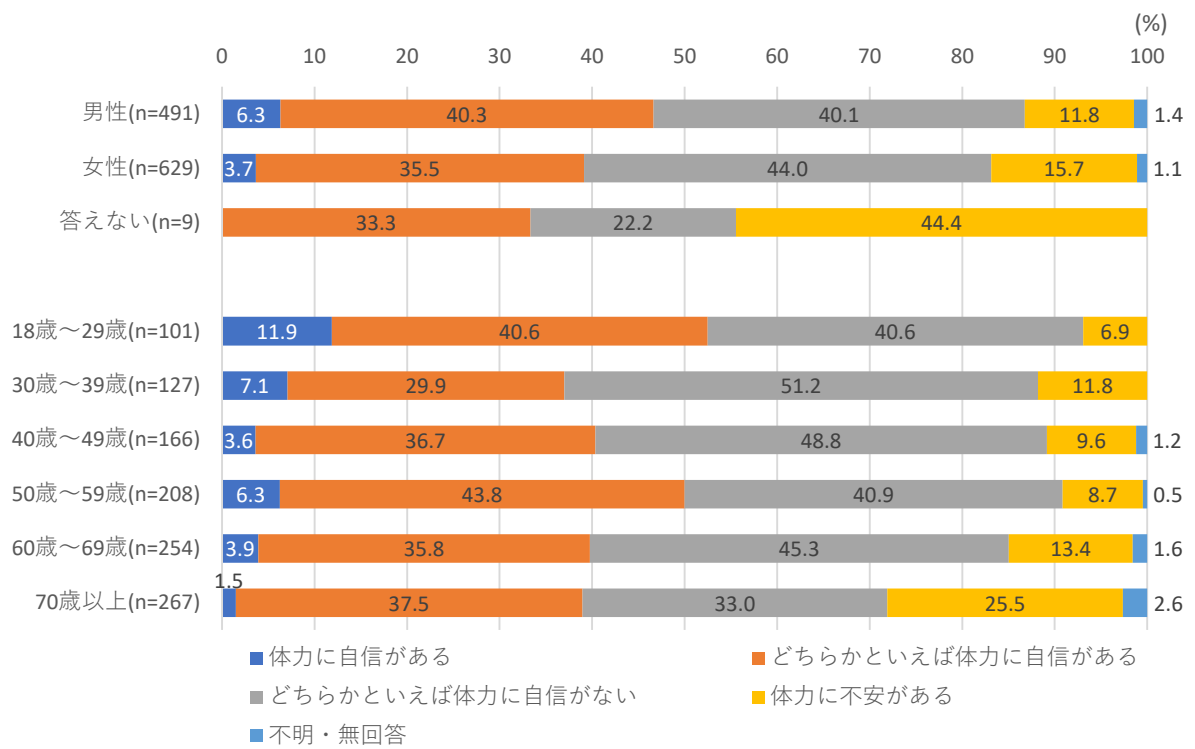
前回調査（2017年度）と比較すると、回答者の高齢化の影響もあってか、体力に自信があると回答した人の割合が減少し、体力に自信がないと回答した人の割合が増加している。



《クロス集計結果》

性別では、女性より男性のほうが体力に自信がある人が多い。

年齢別では、年齢があがるほど「体力に自信がある」と回答した人の割合は減少する傾向にあるが、40代より50代のほうが多い。また、「どちらかといえば体力には自信がある」を含めた体力に自信がある人の割合は、30代が最も低く、50代まで年齢があがるほど増加しており、50代が最も高い。



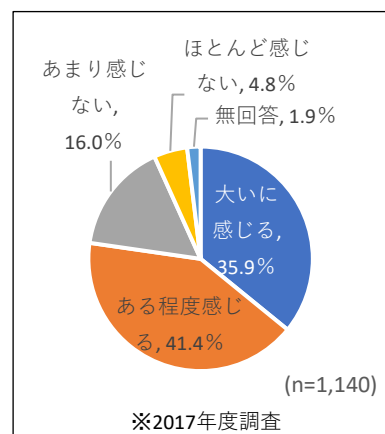
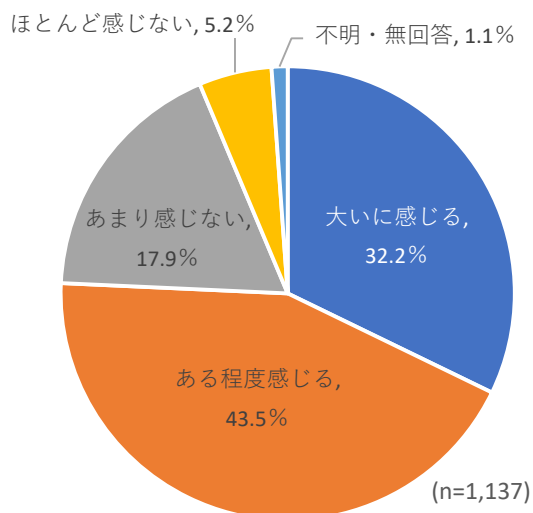
③ 運動不足を感じるか

問 42 あなたは普段運動不足を感じますか？

- 8割近くが運動不足を感じている
- 30歳以上で若い世代ほど運動不足を感じている 30代は半数以上が「大いに感じる」

普段運動不足を感じるかについては、「大いに感じる」が32.2%、「ある程度感じる」が43.5%で、これらを合わせた運動不足を感じている人は75.7%と8割近くにのぼっている。

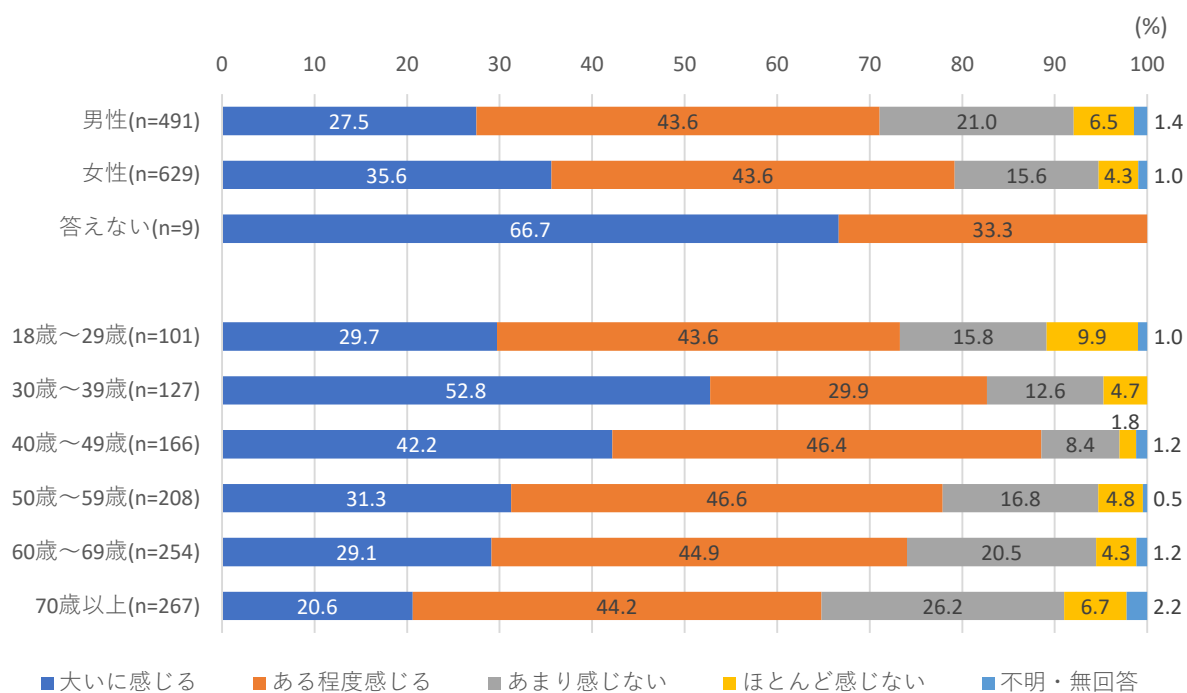
前回調査（2017年度）と比較すると、運動不足を感じている人の割合は、わずかだが減少している（77.3%→75.7%）。



《クロス集計結果》

性別では、男性より女性のほうが運動不足を感じている人が多い。

年齢別では、30歳以上で若い世代ほど運動不足を感じている人が多く、30代では半数以上が「大いに感じる」と回答している。



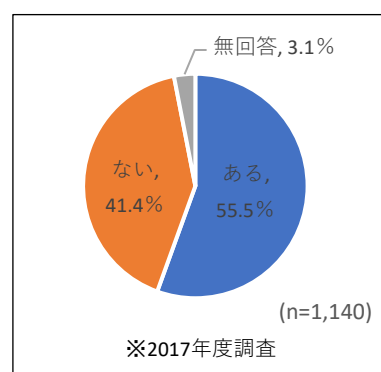
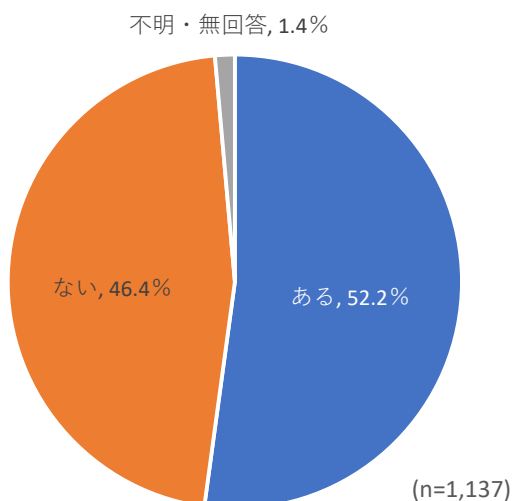
④ 日常的に意識しておこなっている健康法

問 43 あなたは日常的に意識しておこなっている健康法などがありますか？

- 半数以上が日常的に意識しておこなっている健康法がある
- 女性、50歳以上で「ある」と回答した人が多い

日常的に意識しておこなっている健康法の有無については、「ある」と回答した人が52.2%で、「ない」と回答した人（46.4%）を上回っている。

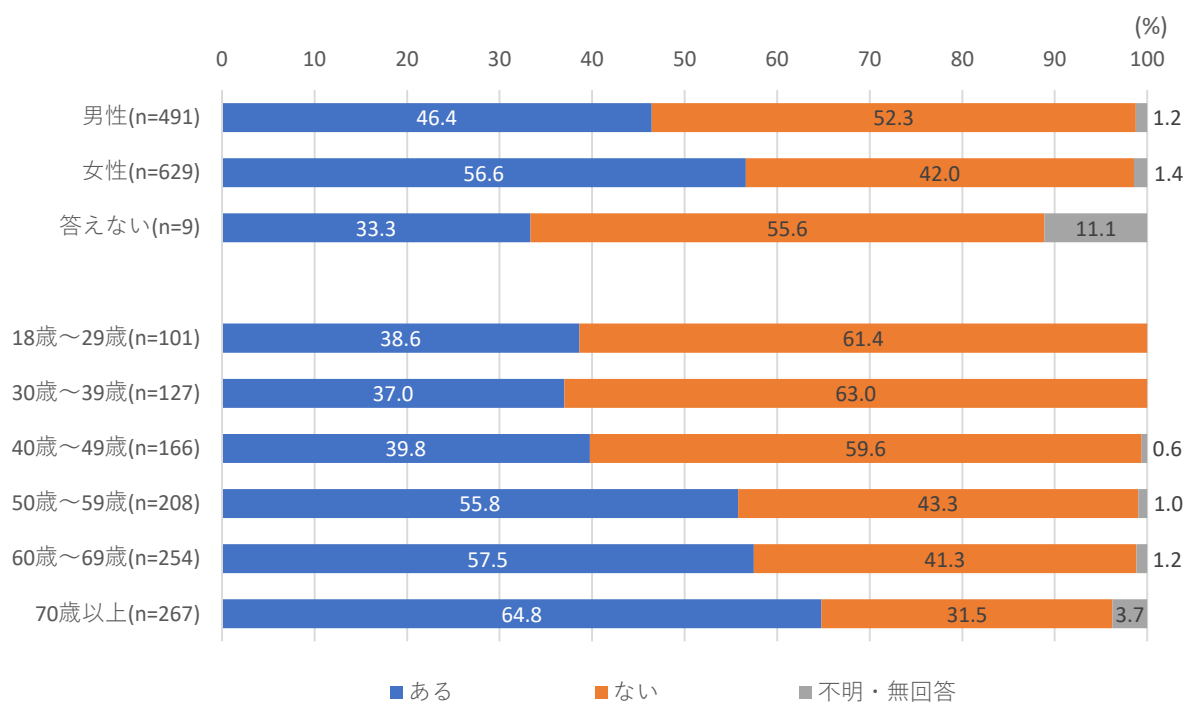
前回調査（2017年度）と比較すると、「ある」と回答した人の割合がやや減少している。



《クロス集計結果》

性別では、男性より女性のほうが日常的に意識している健康法があると回答している。

年齢別では、日常的に意識している健康法があると回答した人の割合は、40代までは4割前後だが、50歳以上は6割前後に増加。

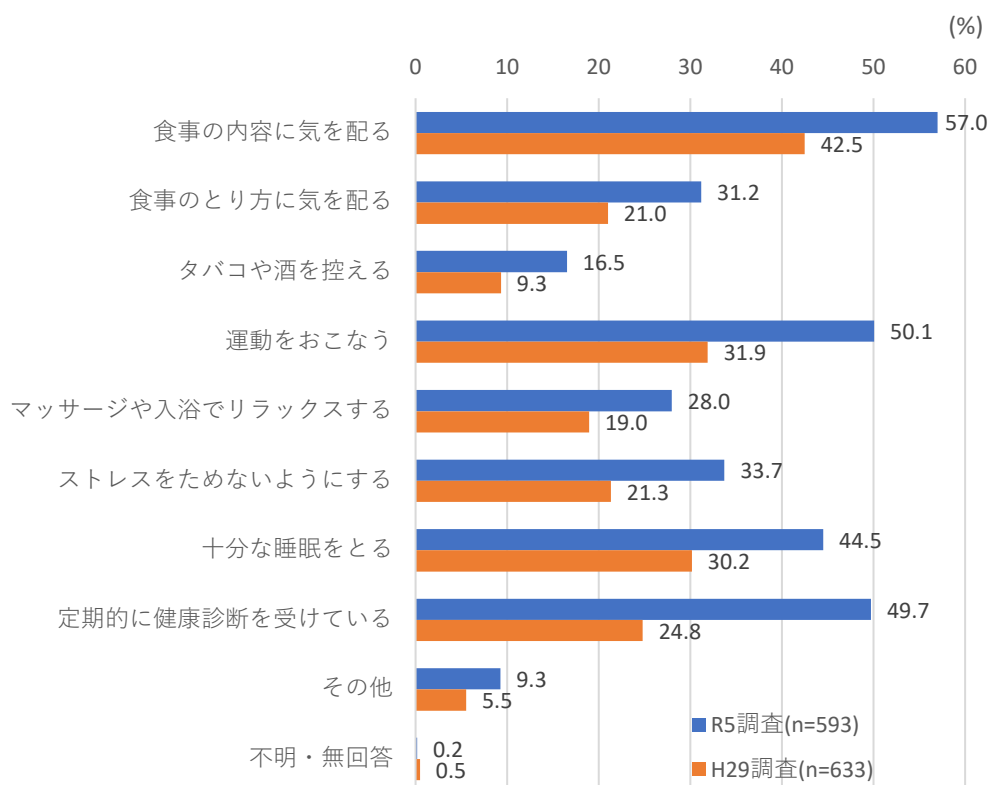


⑤ おこなっている健康法

問 44 問 43 で、1 と答えた方にお聞きします。どのような健康法を実施していますか？(複数選択可)

- 食事の内容に気を配る、運動をおこなう、定期的に健康診断を受けている
- 性別や年齢(ライフステージ)によって、健康法は異なる

日常的に意識しておこなっている健康法があると回答した 593 人に、どのような健康法を実施しているか聞いたところ、「食事の内容に気を配る」が 57.0%と最も多く、次いで「運動をおこなう」が 50.1%、「定期的に健康診断を受けている」が 49.7%とつづき、半数前後の人が実践している。



《クロス集計結果》

性別では、男性は「運動をおこなう」、女性は「食事の内容に気を配る」が最も多い。また、特に女性は「食事のとり方に気を配る」や「マッサージや入浴でリラックスをする」などが男性より多い。

年齢別では、60代までは「食事の内容に気を配る」、70歳以上は「定期的に健康診断を受けている」が最も多い。そのほか、20代までで「食事のとり方に気を配る」や「タバコや酒を控える」、50代までで「マッサージや入浴でリラックスをする」、40歳以上で「運動をおこなう」や「定期的に健康診断を受けている」などがほかの年代と比べ多い。

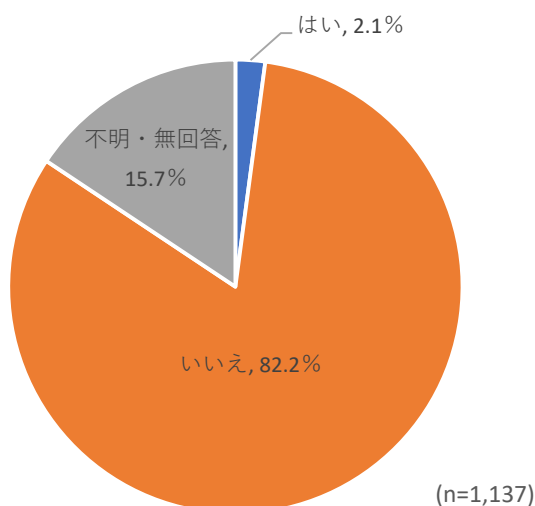
	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	食事の内容に気を配る	食事のとり方に気を配る	タバコや酒を控える	運動をおこなう	マッサージや入浴でリ ラックスする	ストレスをためないよう にする	十分な睡眠をとる	定期的に健康診断を受け ている	その他	不明・無回答
性別	男性(n=228)	42.1	21.9	18.0	57.0	20.2	33.8	40.8	50.9	9.2	0.0
	女性(n=356)	66.6	36.5	14.3	46.1	33.4	33.4	46.6	50.0	9.0	0.3
	答えなし(n=3)	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
年代別	18歳～29歳(n=39)	53.8	46.2	30.8	43.6	46.2	28.2	51.3	5.1	7.7	0.0
	30歳～39歳(n=47)	76.6	27.7	21.3	40.4	48.9	40.4	40.4	34.0	8.5	0.0
	40歳～49歳(n=66)	62.1	30.3	12.1	51.5	42.4	25.8	45.5	56.1	7.6	0.0
	50歳～59歳(n=116)	55.2	33.6	19.8	52.6	29.3	34.5	43.1	53.4	12.9	0.0
	60歳～69歳(n=146)	57.5	30.1	19.2	52.1	19.2	37.7	44.5	49.3	9.6	0.7
	70歳以上(n=173)	50.9	28.9	9.8	50.3	19.1	32.4	43.9	59.5	8.1	0.0
	総計(n=593)	57.0	31.2	16.5	50.1	28.0	33.7	44.5	49.7	9.3	0.2

⑥ 職場でのお昼休み等における運動・スポーツ

問 45 職場でのお昼休み等で、運動やスポーツをおこなっていますか？おこなっている場合は、何を
おこなっているか教えてください。

●8割が、職場でのお昼休み等における運動・スポーツをおこなっていない

職場でのお昼休み等に、運動やスポーツをおこなっているかについては、「いいえ」が82.2%で、「はい」と回答した人はわずか2.1%である。

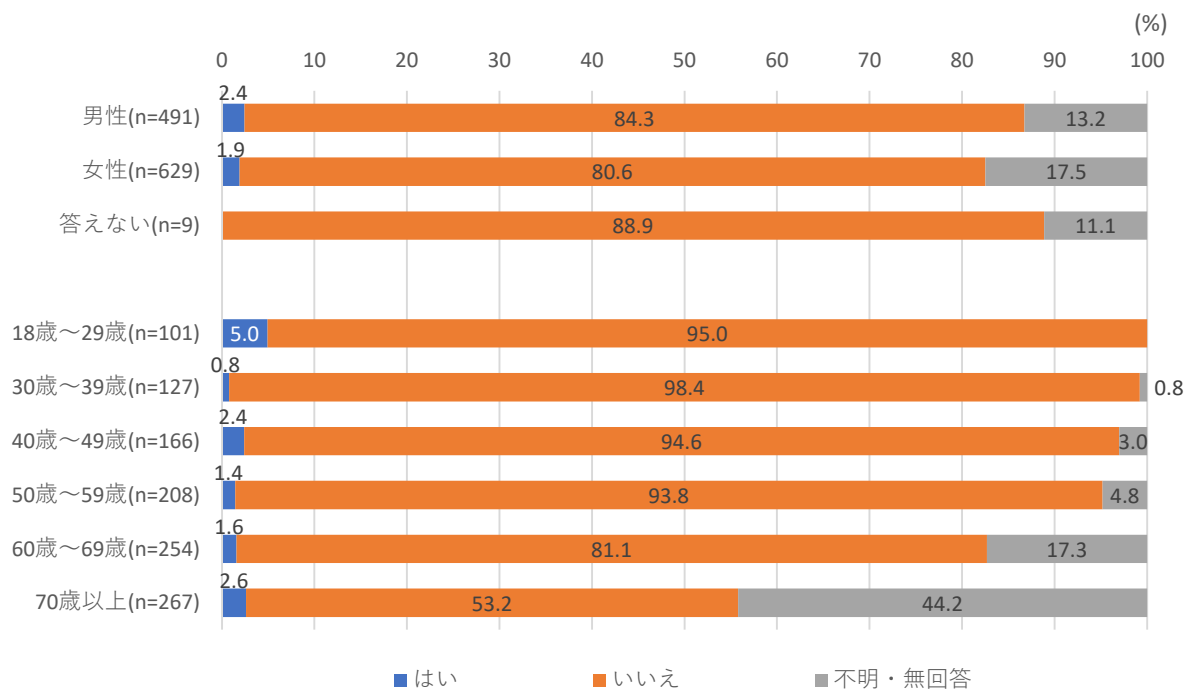


《おこなっている運動・スポーツの内容》

体操	7
ウォーキング	6
ジム・筋トレ	3
ストレッチ	2
ランニング	2
その他 散歩、ダンス、ドッジボール、階段を使う	

《クロス集計結果》

年齢別では、職場でのお昼休み等に、運動やスポーツをおこなっていると回答した人の割合は、いずれの年代でも低く、20代までが最も高いがわずか5.0%である。

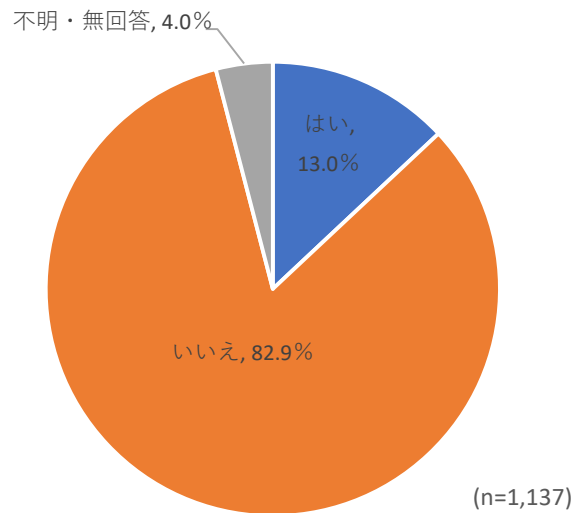


⑦ WMG 関西においてBMX（自転車競技）が市で開催されることの認知度

問 46 30 歳以上であれば、だれもがエントリー可能な国際大会である、WMG (ワールドマスターズゲームズ) 関西で、BMX という自転車競技が岸和田市で開催されることをご存じですか？

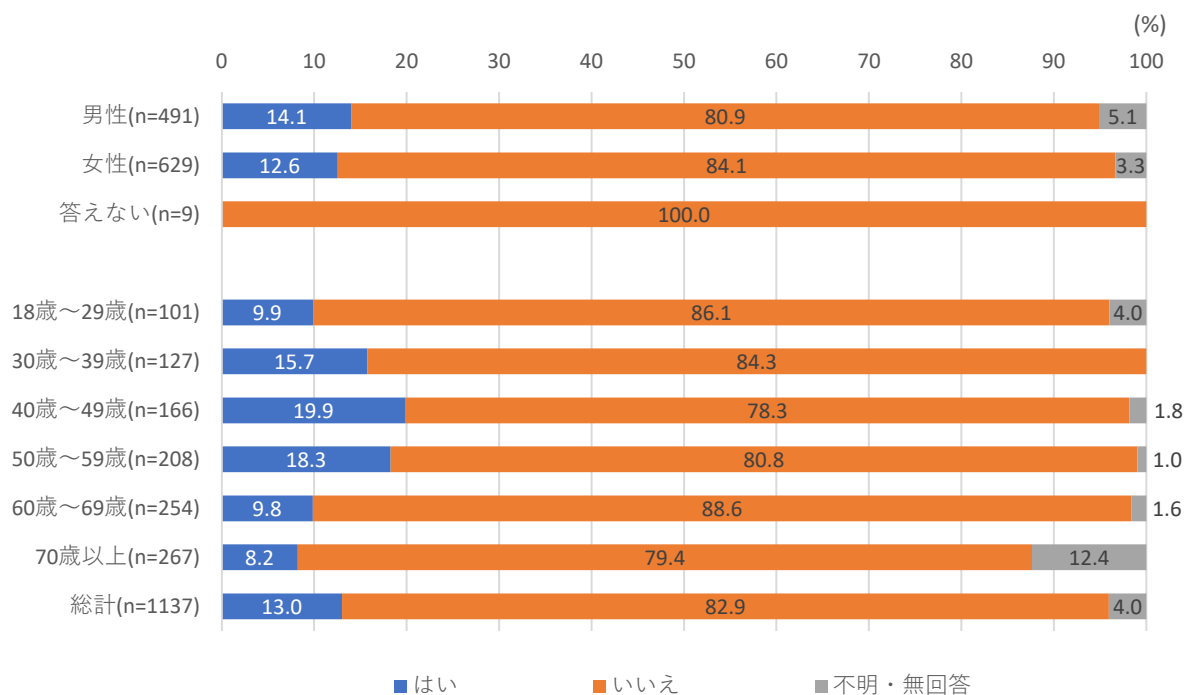
●8割以上が「知らない」 30～50 代は知っている人が2割弱

「いいえ」が82.9%で、8割以上の方が知らないと回答している。一方で、「はい」（知っている）と回答した人は13.0%で、1割ほどである。



《クロス集計結果》

年齢別では、認知度は30～50代でやや高いが、いずれも2割弱である。

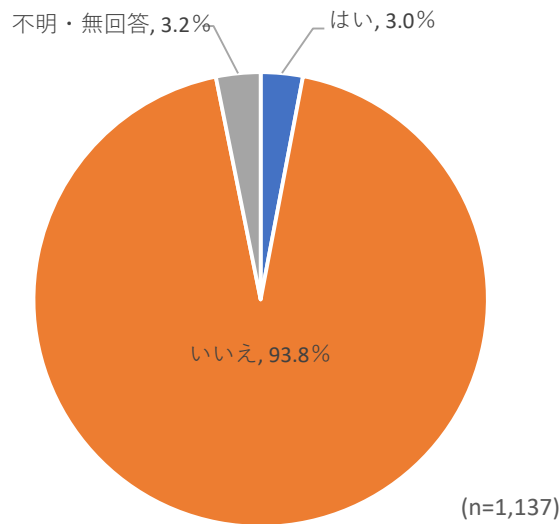


⑧ 「大阪体育大学」と連携協力の協定について

問 47 市では、地域住民の健康づくり及び地域の活性化に向けて、相互の連携を推進するため「大阪体育大学」と連携協力の協定を結んでいることをご存じですか？

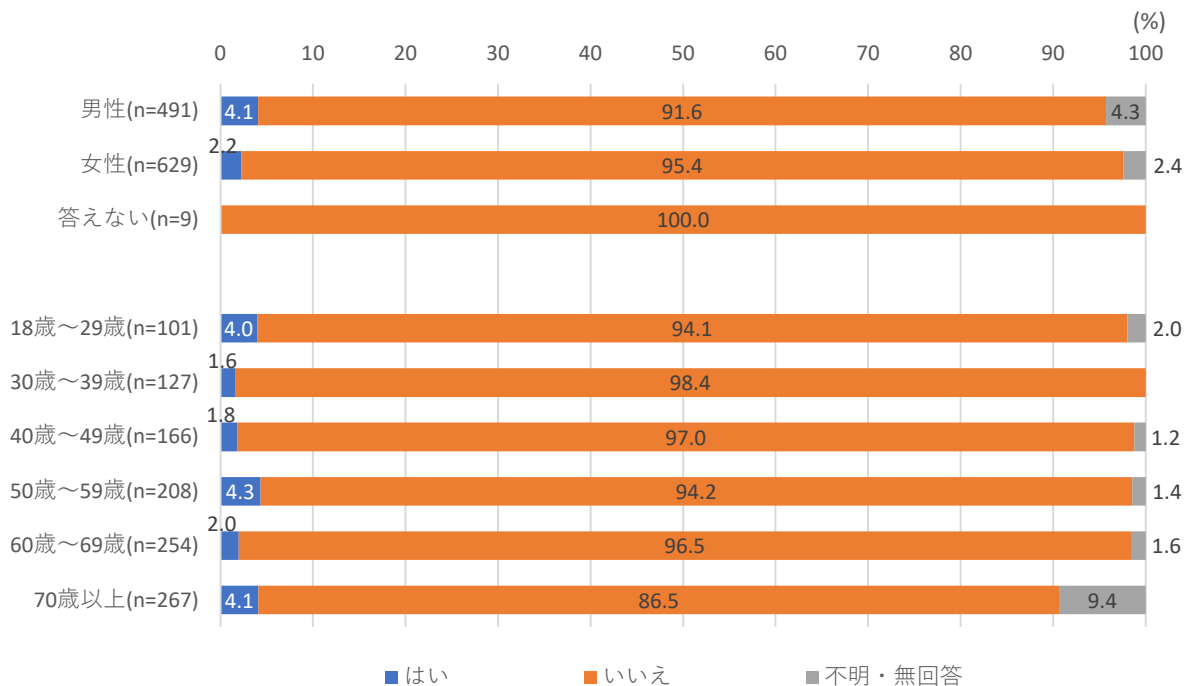
●ほとんどの人が「知らない」

「大阪体育大学」との連携協力の協定締結について知っていたかの回答は、「いいえ」が93.8%で、ほとんどの人が知らないと回答している。認知度は、わずか3.0%である。



《クロス集計結果》

性別では男性、年齢別では20代までと50代、70歳以上で「知っている」と回答した人の割合がやや高いが、いずれも4%台である。

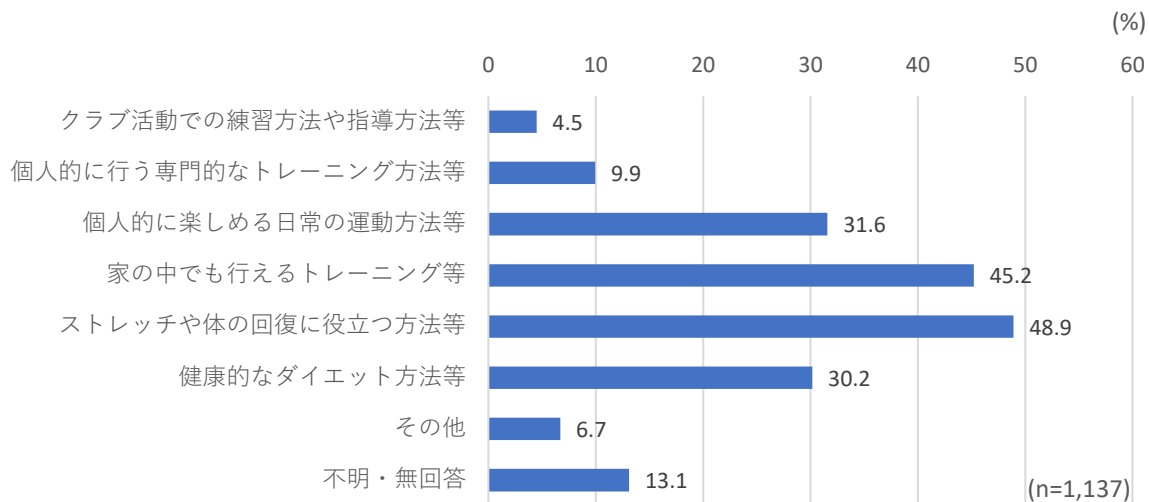


⑨ 「大阪体育大学」に教えてもらいたいこと

問 48 スポーツ(全般)について「大阪体育大学」に教えてもらいたいことはありますか？(複数回答可)

●ストレッチや体の回復に役立つ方法や家の中でも行えるトレーニング等、日々の暮らしの中での健康づくりや体力づくりに関する情報についてのニーズが高い

大阪体育大学に教えてもらいたいこととしては、「ストレッチや体の回復に役立つ方法等」が48.9%と最も多く、次いで、「家の中でも行えるトレーニング等」が45.2%、「個人的に楽しめる日常の運動方法等」が31.6%、「健康的なダイエット方法等」が30.2%とつづく。日々の暮らしの中での健康づくりや体力づくりに関する情報についてのニーズが高い。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「ストレッチや体の回復に役立つ方法等」が最も多いが、女性は「家の中でも行えるトレーニング等」や「個人的に楽しめる日常の運動方法等」などをあげる人が男性より多い。

年齢別では、60代までは「ストレッチや体の回復に役立つ方法等」、70歳以上は「家の中でも行えるトレーニング等」が最も多い。また、20代までは「健康的なダイエット方法等」も同様に最も多くあげられている。

	※表内網掛けは総計に対して 比率が高くなっているもの	や 指 導 方 法 等	ク ラ ブ 活 動 で の 練 習 方 法	レ ー ニ ン グ 方 法 等	個 人 的 に 行 う 専 門 的 な ト	運 動 方 法 等	個 人 的 に 楽 し め る 日 常 の	ニ 家 の 中 で も 行 え る ト レ ー 	役 立 つ 方 法 等	ス ト レ ッ チ や 体 の 回 復 に	健 康 的 な ダ イ エ ッ ト 方 法	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(n=491)	4.5	10.8	28.5	38.3	45.8	23.8	8.1	16.5				
	女性(n=629)	4.5	9.4	33.9	50.6	50.9	35.0	5.6	10.5				
	答えなし(n=9)	11.1	11.1	33.3	66.7	44.4	44.4	11.1	11.1				
年代別	18歳～29歳(n=101)	9.9	14.9	33.7	40.6	46.5	46.5	9.9	7.9				
	30歳～39歳(n=127)	9.4	18.1	38.6	58.3	50.4	41.7	6.3	4.7				
	40歳～49歳(n=166)	6.6	18.7	35.5	43.4	54.8	44.0	6.0	7.8				
	50歳～59歳(n=208)	3.8	11.1	37.0	47.6	55.8	33.7	8.2	5.8				
	60歳～69歳(n=254)	3.1	5.5	30.3	48.0	53.9	26.4	4.3	12.2				
	70歳以上(n=267)	0.7	2.2	22.8	36.7	36.0	10.9	6.7	28.8				
	総計(n=1137)	4.5	9.9	31.6	45.2	48.9	30.2	6.7	13.1				

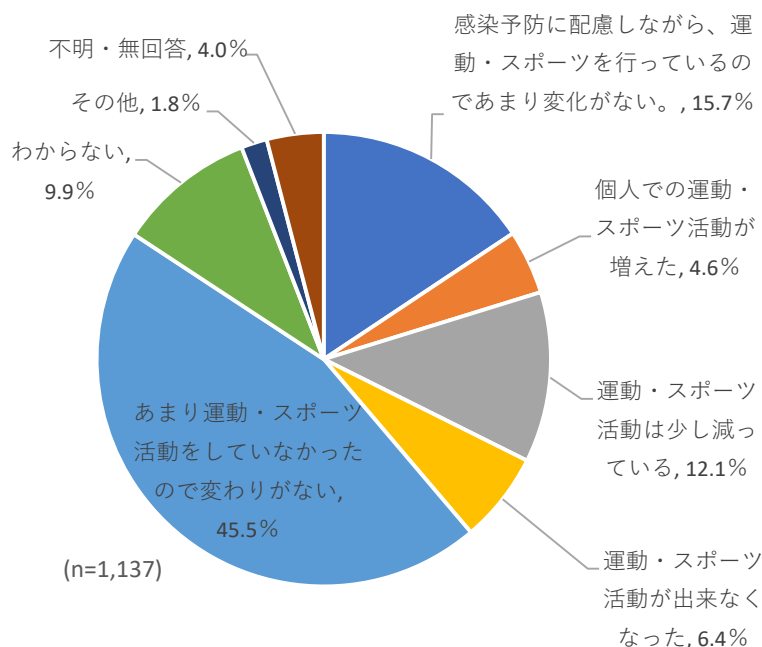
⑩ 緊急事態宣言時のスポーツ活動量の変化

問 49 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言時の、あなたのスポーツの活動量ほどの程度変わりましたか？

- 6割以上があまり変化がない
- 変化があった人は、増えた人よりも減った人の方が多い(30代までは増加、40～60代は減少した人が多い)

「あまり運動・スポーツ活動をしていなかったので変わりがない」が45.5%と最も多く、次いで「感染予防に配慮しながら、運動・スポーツを行っているのであまり変化がない」が15.7%とつづき、あまり変化がないと回答した人が61.2%と6割を超えている。

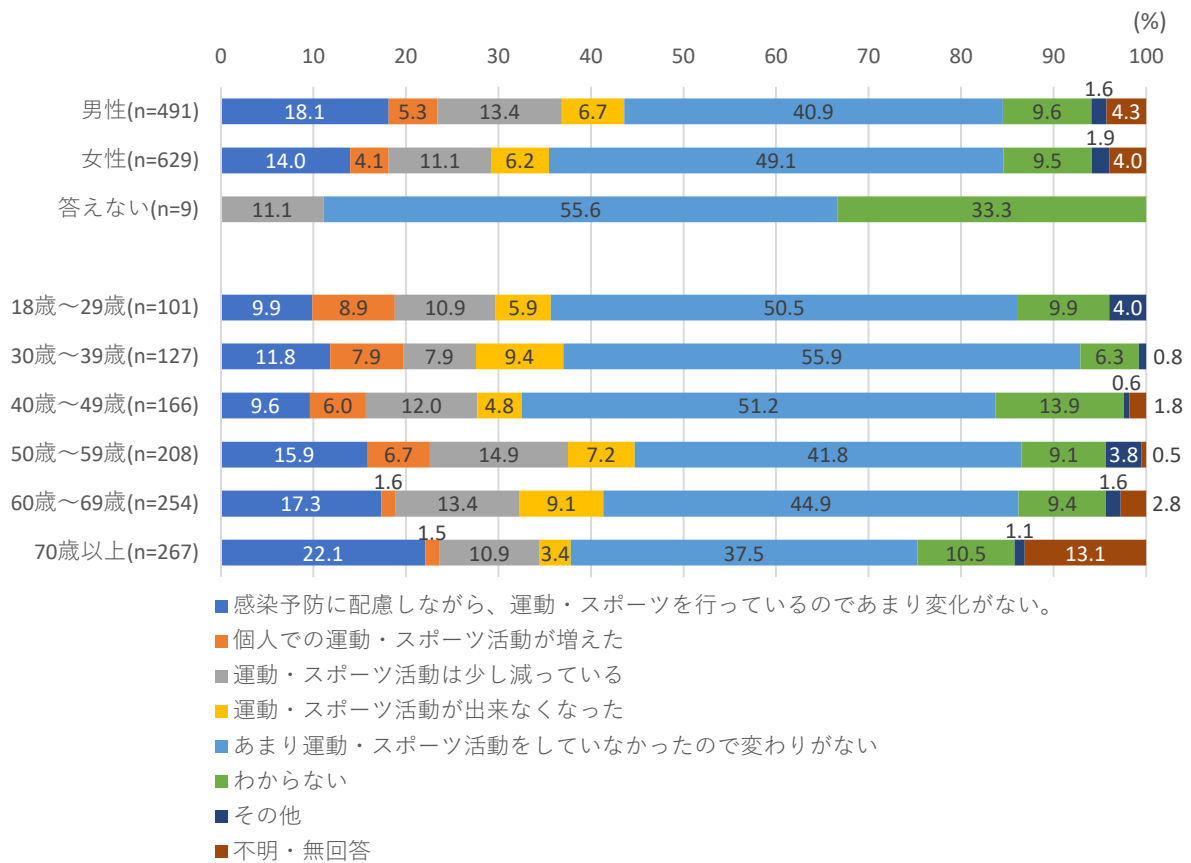
一方、変化があった人は、「個人での運動・スポーツ活動が増えた」が4.6%に対して、「運動・スポーツ活動は少し減っている」が12.1%、「運動・スポーツ活動が出来なくなった」が6.4%で、減った人のほうが多い。



《クロス集計結果》

性別では、男女ともに「あまり運動・スポーツ活動をしていなかったので変わりがない」が最も多いが、女性は半数近くと男性より多い。また、男性は

年齢別では、すべての年代で「あまり運動・スポーツ活動をしていなかったので変わりがない」が最も多いが、40歳以上で年齢があがるほど「感染予防に配慮しながら、運動・スポーツを行っているのであまり変化がない」の割合が高くなっている。また、30代までで増えた人が、40～60代で減った人がほかの年代より多くみられる。



⑪ コロナ禍で新たに始めた運動・スポーツ

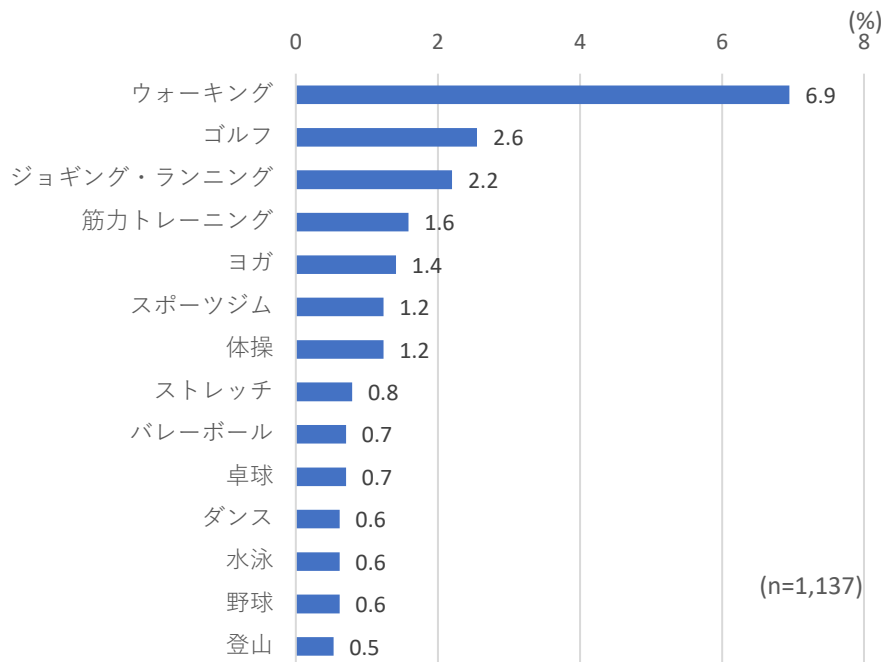
問 50 新型コロナウイルス感染症の予防等の影響で、新たに始めた運動、スポーツがあれば記入してください。

●ウォーキングやヨガ、家でできるトレーニングなど、ひとりででき、かつ自宅や近所でもできる運動・スポーツ

コロナ前から行っていた（今も継続している）運動・スポーツとしては、「ウォーキング」が最も多く6.9%、次いで「ゴルフ」が2.6%、「ジョギング・ランニング」が2.2%、「筋力トレーニング」が1.6%とつづき、「ひとり」でもできる運動・スポーツが上位にあげられている。

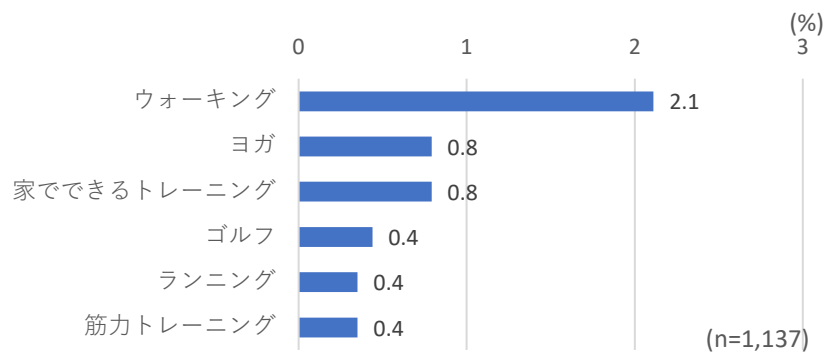
一方、新型コロナウイルス感染症の予防等の影響で、新たに始めた運動・スポーツとしては、「ウォーキング」が最も多く2.1%、次いで「ヨガ」や「家でできるトレーニング」（ともに0.8%）など、今間で行っていたスポーツと同様にひとりででき、かつ自宅や近所でもできる運動・スポーツなどが多くあげられている。

《今までしていた（今も継続している）スポーツ》



比率	0.5%未満の種目
0.4	エアロビクス、硬式テニス
0.4	バスケットボール
0.3	グラウンド・ゴルフ、自転車、ボウリング
0.2	サーフィン、サッカー、トレッキング、ハンドボール、マラソン、太極拳、縄跳び
0.1	ゲートボール、スケート、ソフトテニス、バトミントン、居合道、空手、剣道、合気道、バドミントン、柔道、カーブス、サーフィン、サバイバルゲーム、バレエ、野外運動、スキー、ボルダリング、スポーツジムの控え、スノーボード、乗馬、レスリング、フットサル

《新しく始めたスポーツ》



比率	0.4%未満の種目
0.3	ストレッチ、ダンス
0.2	スポーツジム、体操、水泳、太極拳、バイクツーリング
0.1	自転車、バトミントン、野球、プール

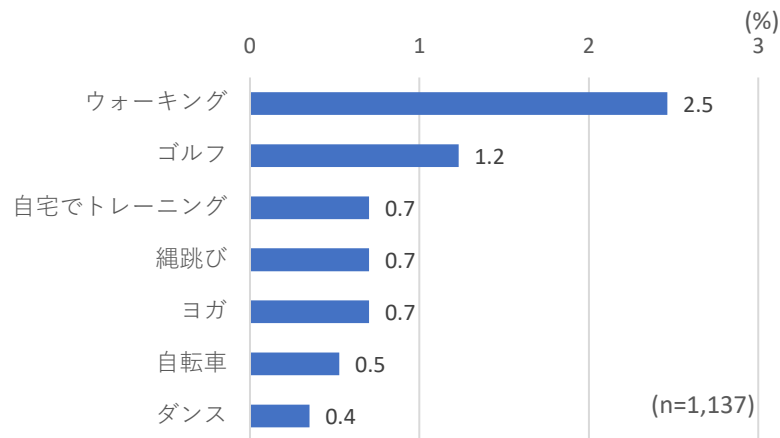
⑫ 感染予防配慮しながら工夫しておこなったスポーツ

問 51 新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、工夫して行ったスポーツについて記入してください。

●ウォーキングをはじめ、屋外や自宅で、人とあまり接触せずにできる運動・スポーツ

新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、工夫しておこなったスポーツは、「ウォーキング」が2.5%と最も多く、次いで「ゴルフ」が1.2%、「自宅で筋力トレーニング」や「縄跳び」、「ヨガ」がともに0.7%とつづく。

屋外や自宅で、人とあまり接触せずにできる運動・スポーツが多くあげられている。



比率	0.4%未満の種目
0.2	ランニング・ジョギング、自宅でトレーニング、体操、登山
0.1	グラウンド・ゴルフ、バスケットボール、体操、少林寺拳法

II 小中学生

(1) 調査概要

1) 調査対象

市内に通学の小中学生

2) 調査日

令和5年●月●日～●月●日

3) 調査方法及び回収状況

調査方法	配布数	回収数	回収率
郵送による配布、回収	市内の小学校に通う児童●●●名	1,050 通	●●%
郵送による配布、回収	市内の中学校に通う生徒●●●名	977 通	●●%

4) 調査結果の留意点

- 調査結果の図表の数値は、原則として回答者の構成比（百分率）で示している。
- 図表の右下の「n 値（n = ○）」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数（有効回答者数）を示している。
- 百分率による集計では、母数（有効回答者数）を 100% として算出し、本文及び図表に示した数値は小数点第 2 位を四捨五入した小数点第 1 位までの値で示している。そのため、各選択肢の比率の合計が 100.0% にならない場合がある。
- 回答者を限定する設問（前問である選択肢を回答した人のみが回答するなど）は、回答権のない回答者が回答している場合はその回答は無効とする。
- 母数（有効回答数）の少ない調査結果は、統計的誤差が大きい場合があり、数値の扱いに留意する必要がある。
- クロス集計のグラフについては、グラフ中の「0.0」は省略している。
- 選択肢の語句が長い場合は、本文中で省略している場合がある。

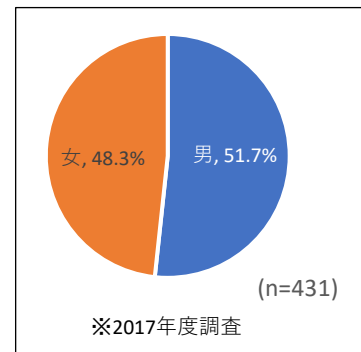
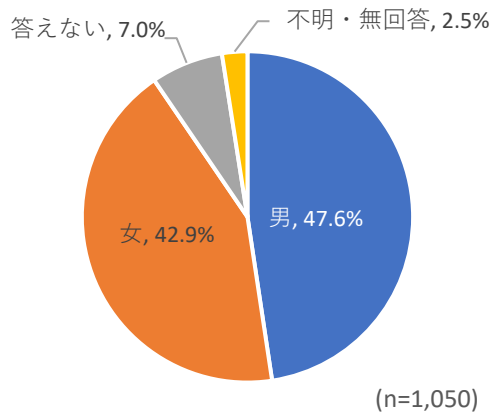
(2) 調査結果

1) 回答者の属性

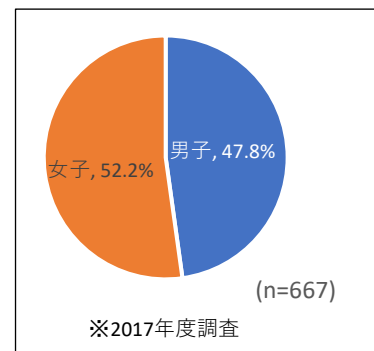
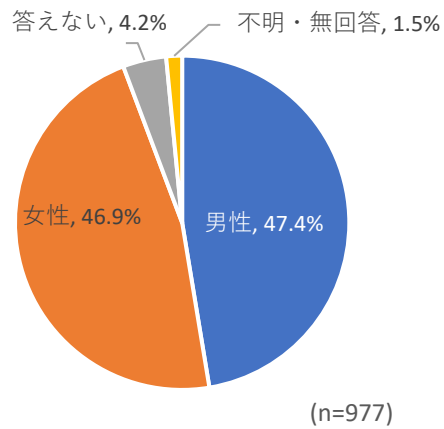
① 性別

小学生は男子が47.6%、女子が42.9%と男子がやや多く、中学生は男子47.4%、女性が46.9%と女性がやや多い。

<小学生>



<中学生>



2) 運動・スポーツの実施状況について

① 学校の自由時間でのスポーツや運動の実施状況

問2 学校での自由時間や昼休みにスポーツや運動をしていますか？

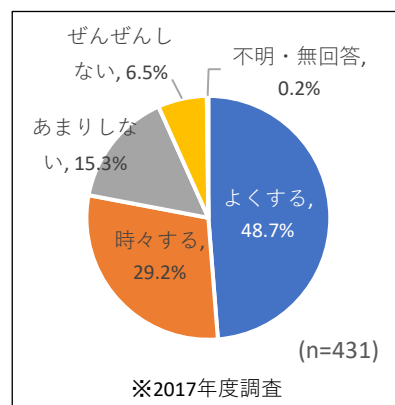
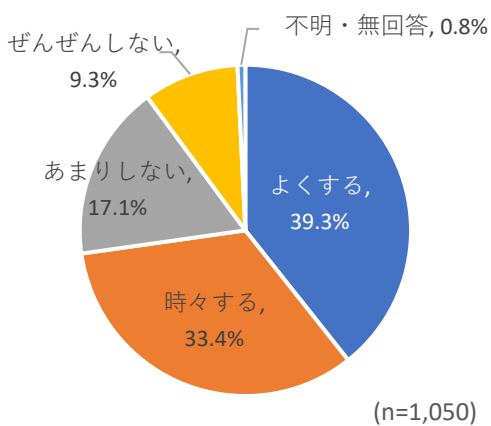
- 小学生は7割以上が学校の自由時間等にスポーツや運動をしているが、中学生は7割近くが「していない」
- 小学生男子の6割近くが「よくする」一方、中学生女子の半数以上が「ぜんぜんしない」

小学生は、「よくする」が39.3%と最も多く、つづく「時々する」(33.4%)を合わせると7割以上(72.7%)の児童が、学校の自由時間や昼休みにスポーツや運動をしていると回答している。

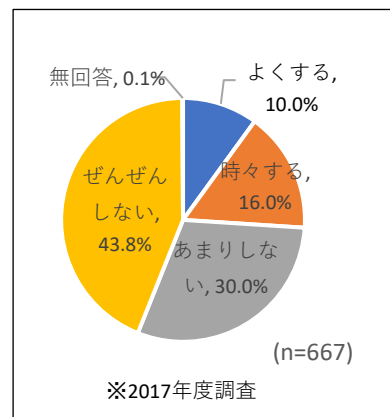
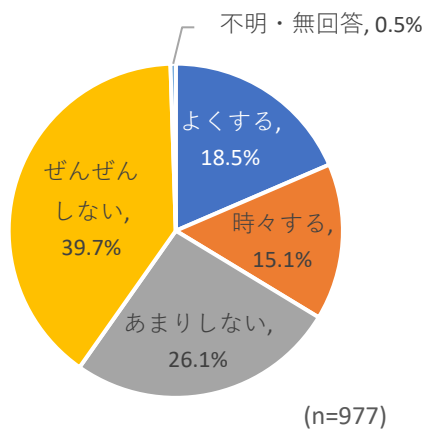
一方、中学生は、「ぜんぜんしない」が39.7%と最も多く、つづく「あまりしない」(26.1%)を合わせると7割近く(65.8%)の生徒が学校の自由時間や昼休みにスポーツや運動をしていないと回答している。

中学生になると、部活動が始まることも影響してか、結果は大きく逆転している。

<小学生>



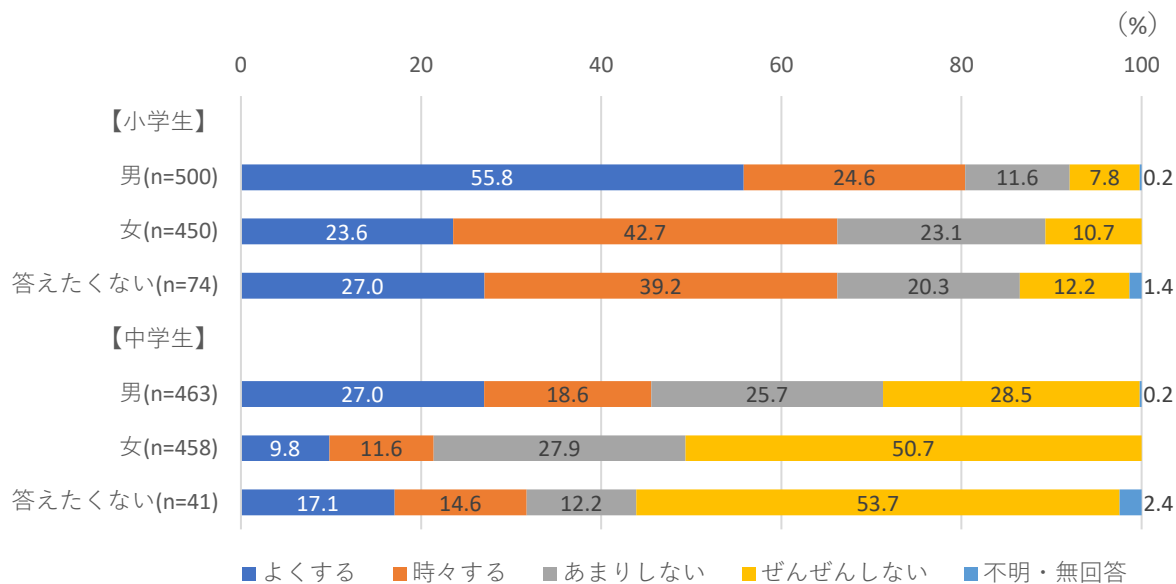
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「よくする」と回答した児童・生徒の割合が高く、その傾向は小学生で顕著である。

小学生男子の6割近くが「よくする」と回答しているのに対し、中学生女子の半数以上が「ぜんぜんしない」と回答している。



① - 1 学校の自由時間でやっているスポーツや運動

(問2の答えが1、2のみ回答)

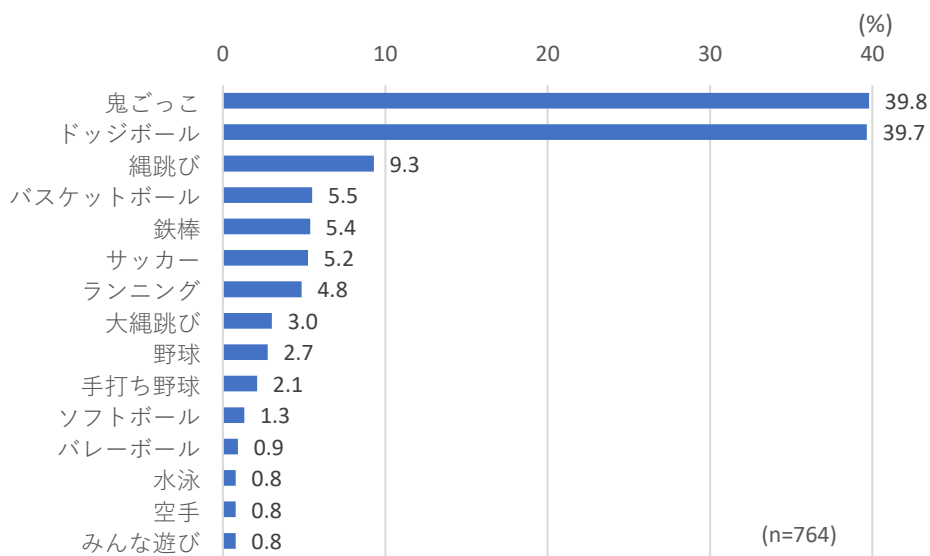
問2-1 どんなスポーツや運動をしていますか？

●小学生は鬼ごっこやドッジボール、中学生はサッカーやバレーボールが多い

学校の自由時間等にスポーツや運動をしていると回答した児童・生徒に、どんなスポーツや運動をしているかを聞いたところ、小学生は、「鬼ごっこ」や「ドッジボール」が突出して多く（それぞれ39.8%、39.7%）、友だちと一緒にできる遊びやスポーツなどが多くあげられている。

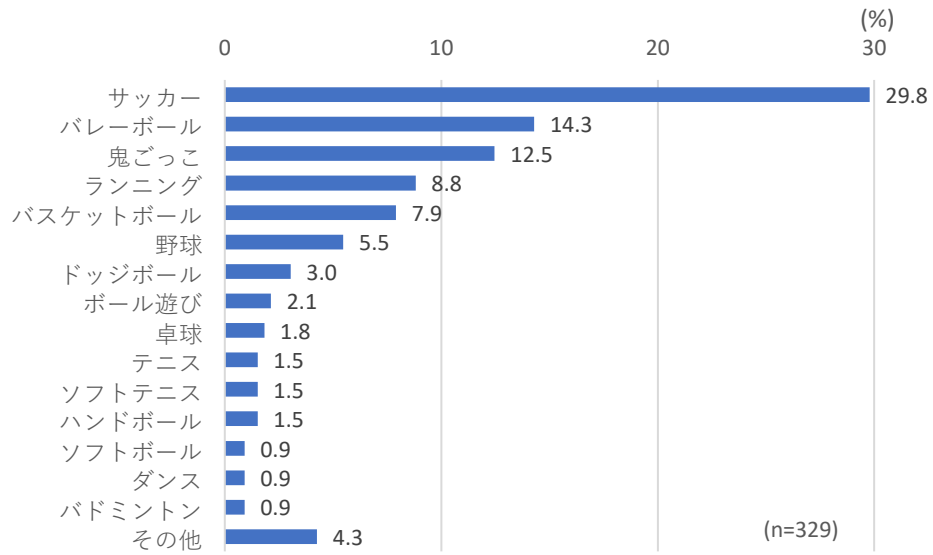
一方、中学生は、「サッカー」が29.8%と最も多く、次いで「バレーボール」が14.3%、「鬼ごっこ」が12.5%とつづき、小学生と比べ競技スポーツの割合が増えてくる。

<小学生>



比率	遊びの種類
0.5	うんてい
0.4	登り棒、ボルダリング、登り棒
0.3	歩く、テニス、バスケット
0.1	バドミントン、一輪車、ジャンピングボード、スイミング、いろんな遊び、かくれんぼ、やごっこ、や一輪車、スケボー、体操

<中学生>



比率	遊びの種類
0.6	なわとび、水泳、空手
0.3	鉄棒、だんじり、犬の散歩

① - 2 学校の自由時間でスポーツや運動をしない理由

(問2の答えが3、4のみ回答)

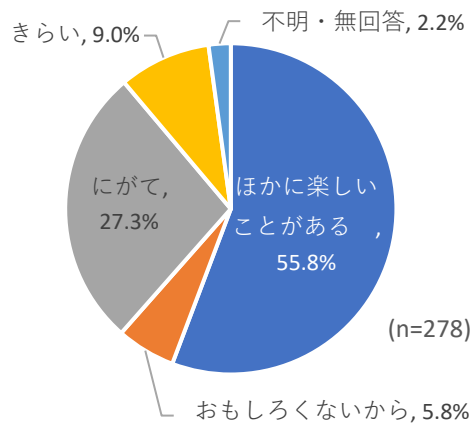
問2-2 なぜ学校でスポーツや運動をしないのですか？

- 小学生・中学生ともに「ほかに楽しいことがあるから」女子より男子のほうが多い(中学生男子7割以上)
- 小学生は「にがて」も3割近く(女子は3割以上)

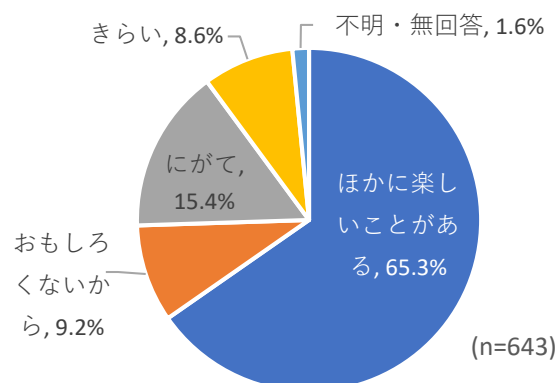
学校の自由時間等にスポーツや運動をしないと回答した児童・生徒に、その理由を聞いたところ、小学生は、「ほかに楽しいことがある」が55.8%と最も多く、次いで「にがて」が27.3%とつづく。中学生も、「ほかに楽しいことがある」が65.3%と最も多いが、小学生よりもその割合が高くなっている。

スポーツや運動が「にがて」、「きれい」、「おもしろくない」と回答した児童・生徒の割合は、小学生は42.1%、中学生は33.2%である。

<小学生>

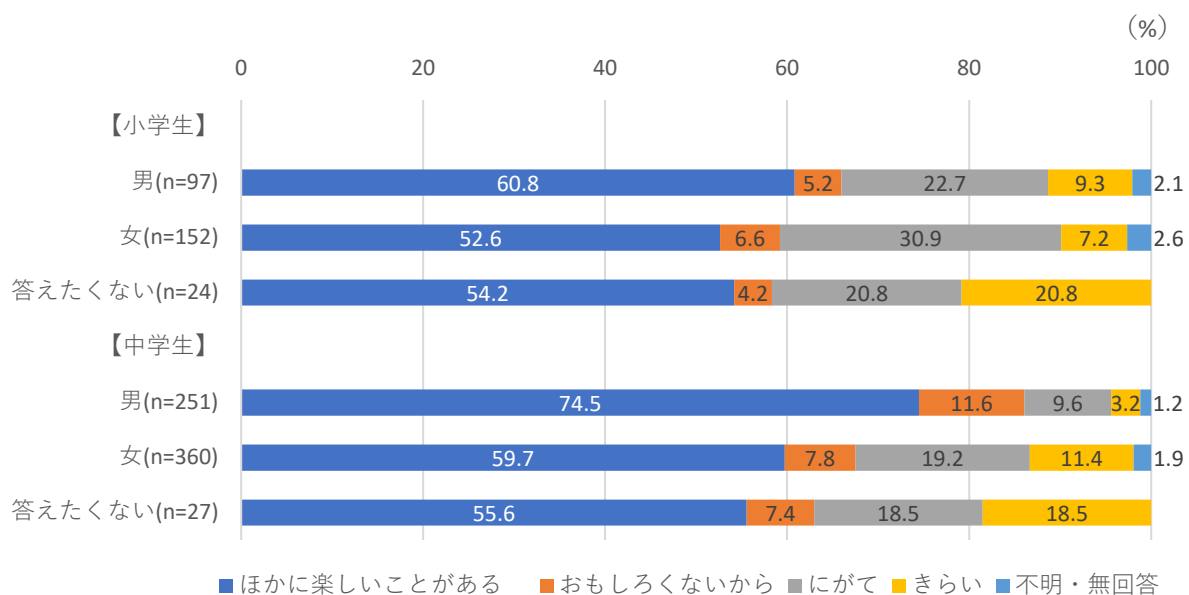


<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「ほかに楽しいことがある」と回答した児童・生徒の割合が高く、中学生男子は7割を超えている。



② 学校から家に帰って、外で遊ぶことがあるか

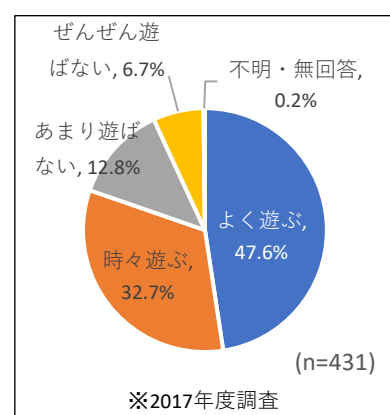
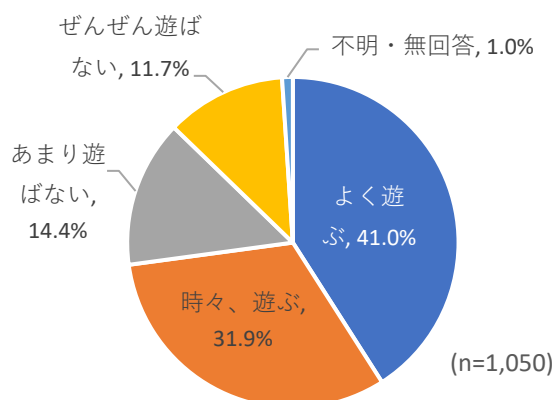
問3 学校から家に帰って、外で遊ぶことがありますか？

- 小学生は7割以上が帰宅後外で遊んでいるが、中学生は外で遊ばない生徒が増加
- 中学生女子は、半数以上が帰宅後外で遊んでいない

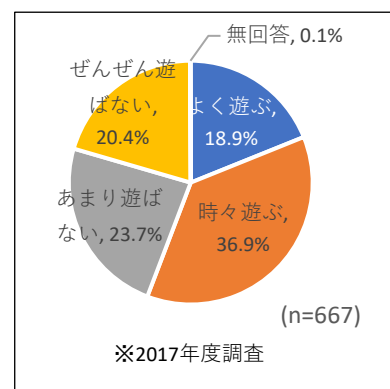
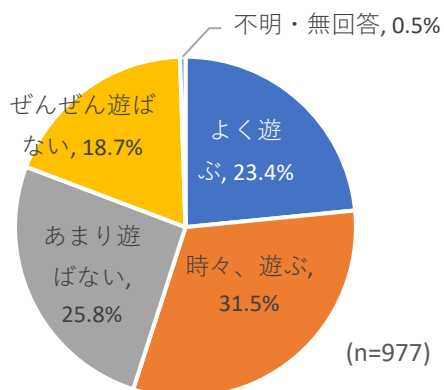
学校から家に帰って、外で遊ぶことがあるかについては、小学生は、「よく遊ぶ」が41.0%と最も多く、つづく「時々、遊ぶ」(31.9%)を合わせると7割以上(72.9%)の児童が遊ぶと回答している。

一方、中学生は、「時々、遊ぶ」が31.5と最も多いが、「あまり遊ばない」が25.8%と2番目に多くなっており、部活動の影響も考えられるが小学生と比べて帰宅後、外で遊ぶ生徒は少ない。

<小学生>



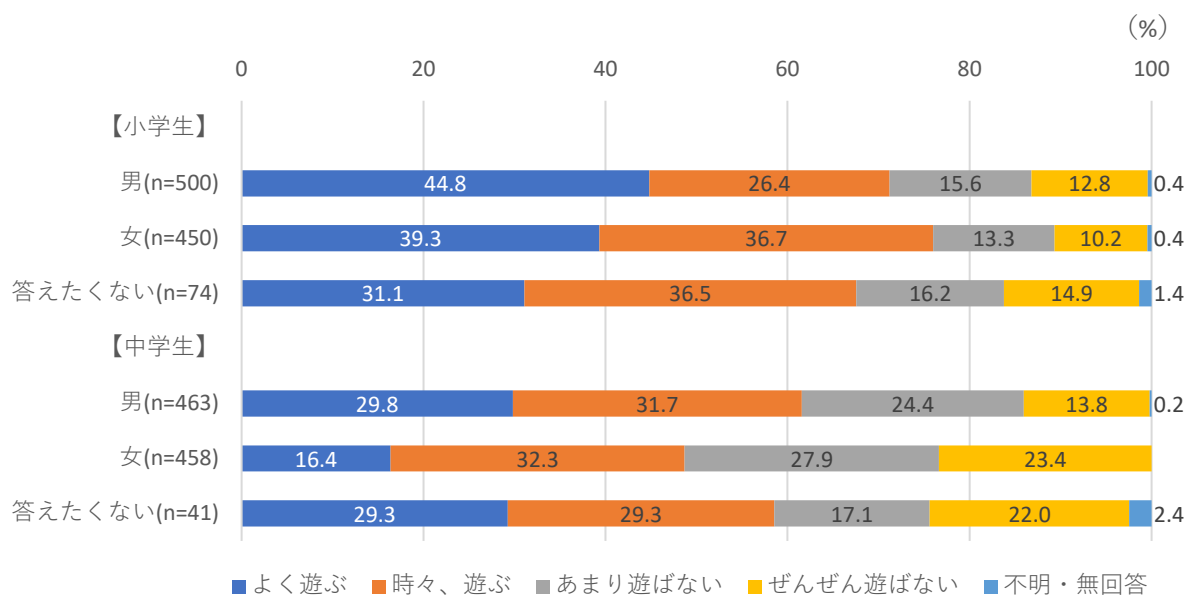
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「よく遊ぶ」と回答した児童・生徒の割合が高い。

中学生の女子は、遊ばない（「ぜんぜん遊ばない」と「あまり遊ばない」の合計）と回答した生徒が半数を超えている。



②-1 どんなことをして遊ぶか

(問3の答えが1、2のみ回答)

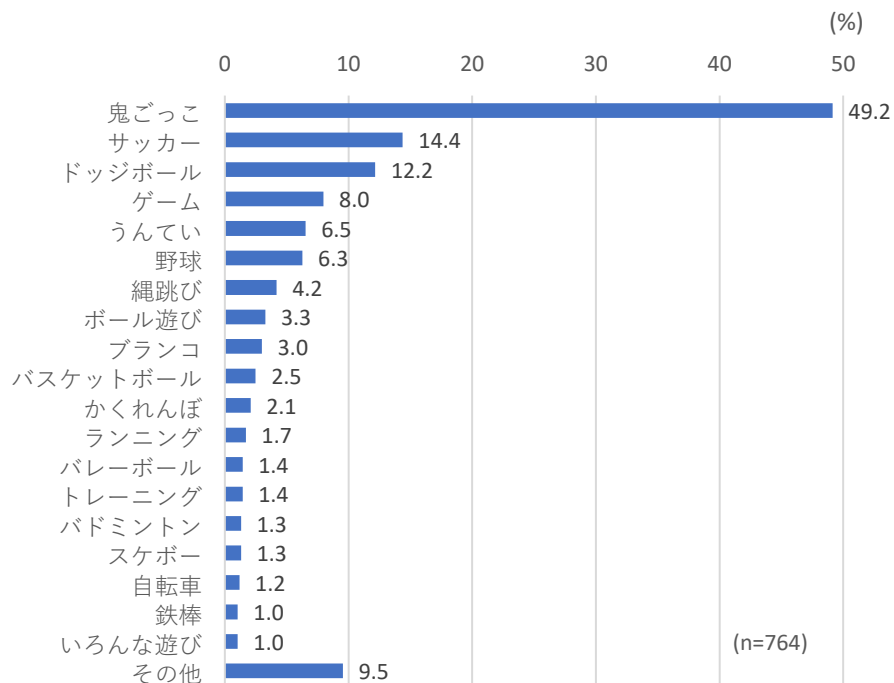
問3-1 どんなことをして遊んでいますか。

●小・中学生共通して「鬼ごっこ」が第1位

帰宅後、外で遊んでいると回答した児童・生徒に、どんなことをして遊んでいるかを聞いたところ、小学生は、学校での自由時間と同様に「鬼ごっこ」が49.2%と突出して多い。次いで「サッカー」が14.4%、「ドッジボール」が12.2%とつづく。

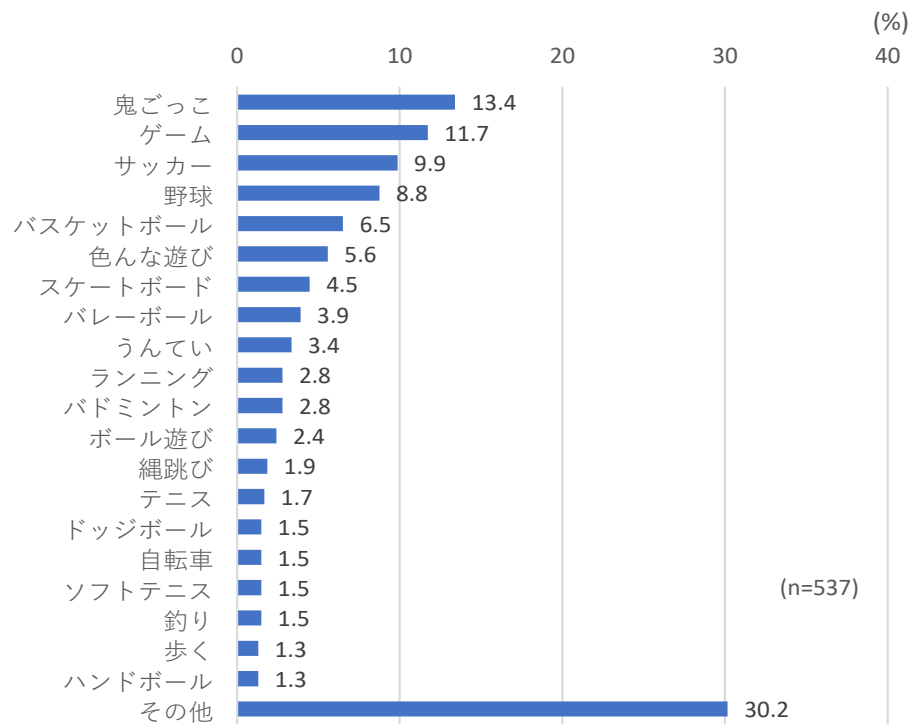
一方、中学生は、「鬼ごっこ」が13.4%と最も多く、次いで「ゲーム」が11.7%、「サッカー」が9.9%とつづく。

<小学生>



比率	遊びの種類
0.7	絵
0.5	だんじり、ぶらんこ
0.4	うんてい、ダンス、ジェイボード
0.3	大縄跳び、一輪車、タコ公園でアスレチック、バドミントン、フリスビー
0.1	ソフトボール、手打ち野球、テニス、空手、アスレチック、げん、犬といっしょにはしる

<中学生>



比率	遊びの種類
0.7	だんじり
0.6	かくれんぼ
0.4	鉄棒、一輪車、わからない、お菓子を食べる
0.2	ソフトボール、水泳、ダンス、ブランコ、フリスビー

② - 2 学校から家に帰って、外で遊ばない理由

(問3の答えが3、4のみ回答)

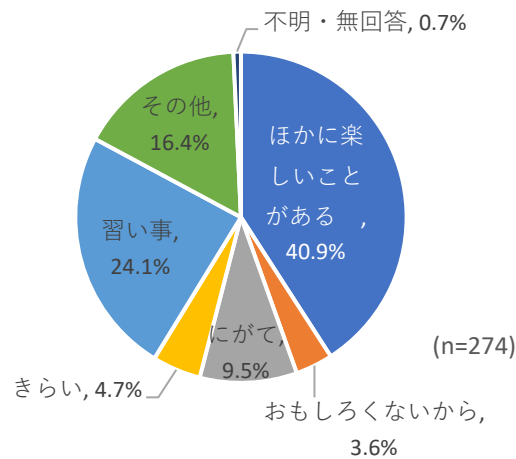
問3-2 なぜ外で遊ばないのですか？

- 小・中学生共通して「ほかに楽しいことがある」女子より男子のほうが多い
- 小学生女子は「習い事」が3割近く

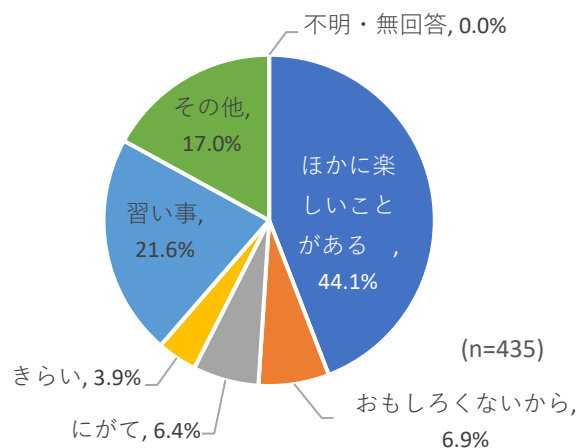
帰宅後、外で遊ばないと回答した児童・生徒にその理由を聞いたところ、小学生・中学生共通して「ほかに楽しいことがある」が最も多く（それぞれ40.9%、44.1%）、次いで「習い事」がそれぞれ24.1%、21.6%とつづく。

小・中学生を比べると、小学生は、「にがて」と回答した児童がやや多く、中学生は「おもしろくないから」と回答した生徒がやや多い。

<小学生>



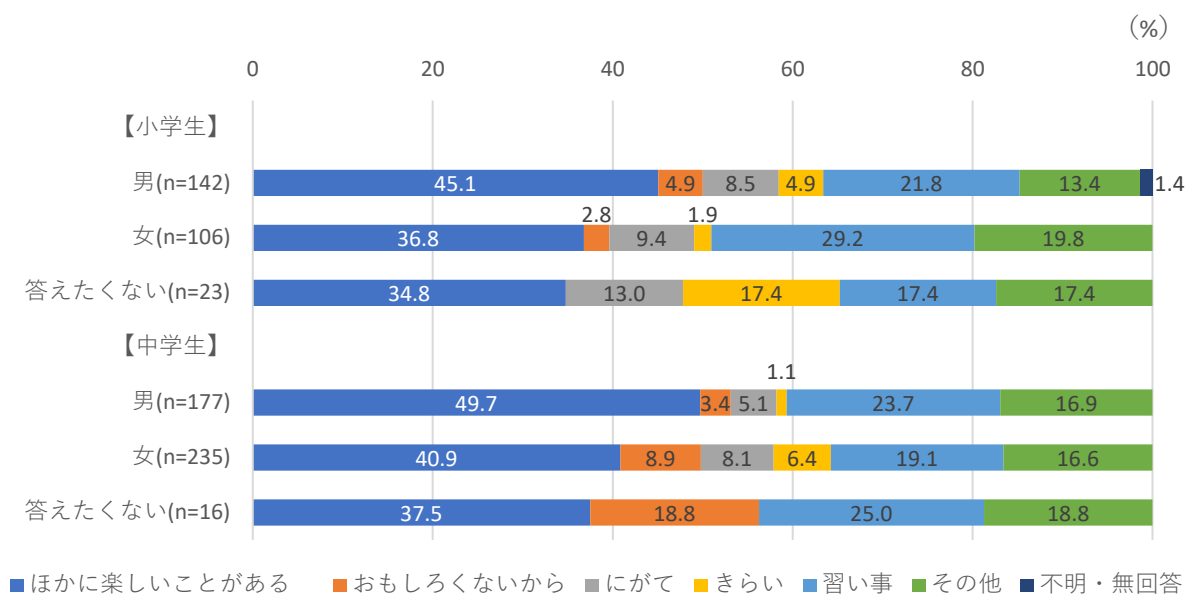
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「ほかに楽しいことがある」と回答した児童・生徒の割合が高く、中学生男子は半数近くとなっている。

小学生の女子で「習い事」が、中学生女性で「おもしろくないから」がほかと比べて多い。



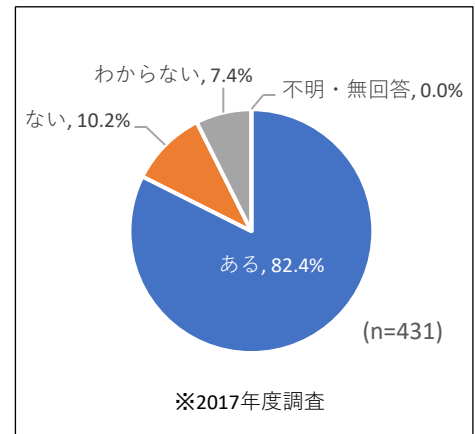
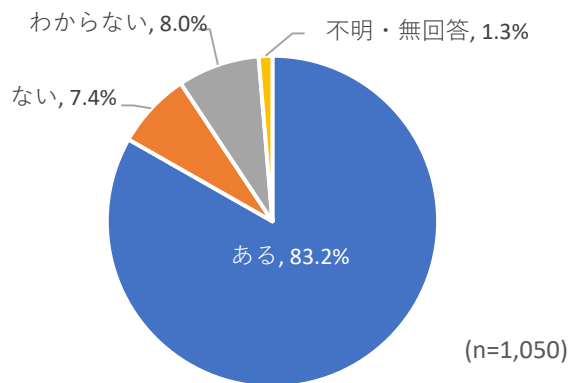
③ 家の近くに、外で遊べる場所があるか

問4 家の近くに、外で遊べる場所がありますか？

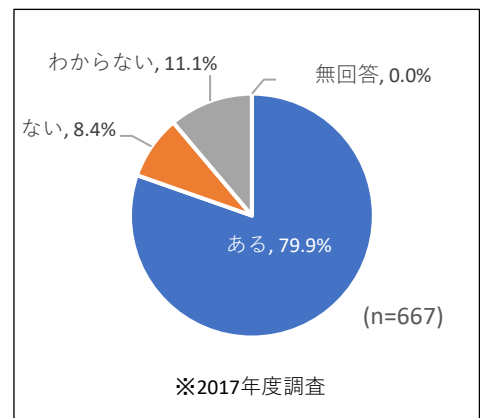
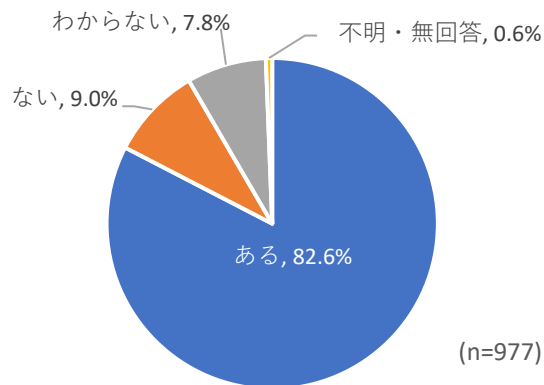
●小・中学生ともに8割以上が、家の近くに、外で遊べる場所があると回答

家の近くに、外で遊べる場所があるについては、小学生・中学生ともに、8割以上（それぞれ83.2%、82.6%）が「ある」と回答している。

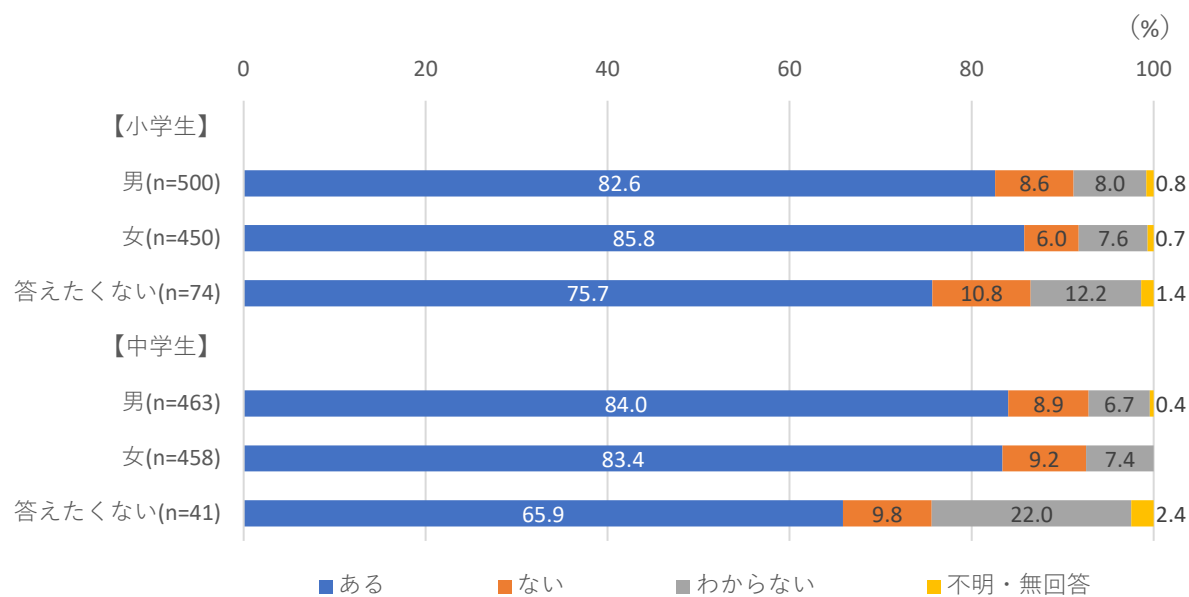
<小学生>



<中学生>



《クロス集計結果》



④ 学校の自由時間や体育の授業以外のスポーツや運動

問6 あなたは、学校の自由時間や体育の授業以外で、スポーツや運動をどのくらいしていますか？

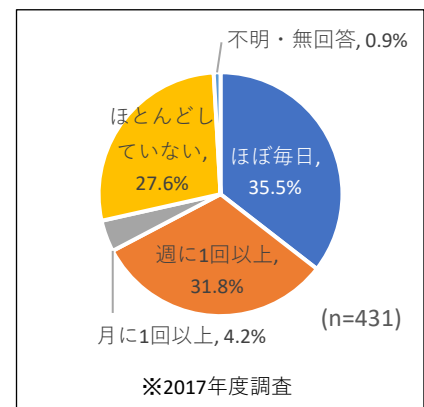
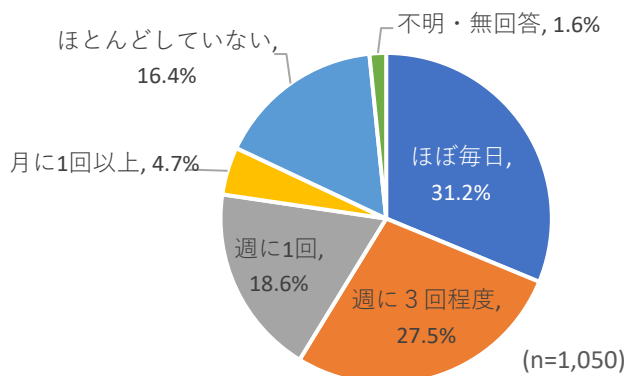
- 小学生は3割、中学生は半数以上が「ほぼ毎日」実施するも、前回調査よりはやや減少
- 小学生・中学生ともに女子より男子のほうが「ほぼ毎日」している児童・生徒が多い(中学生男子は6割以上)

学校の自由時間や体育の授業以外のスポーツや運動をどのくらいしているかについては、「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合が、小学生は31.2%に対し、中学生は51.4%と半数を超えている。また、週に3回以上している児童・生徒は、小学生が58.7%、中学生が66.0%となっている。

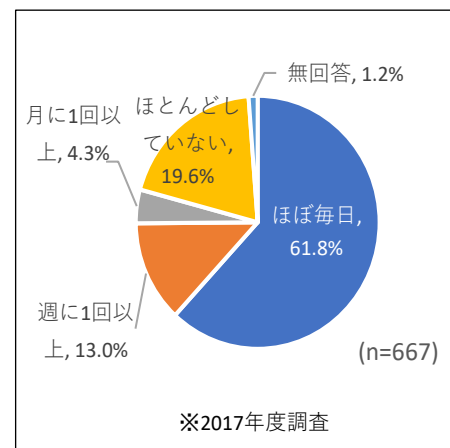
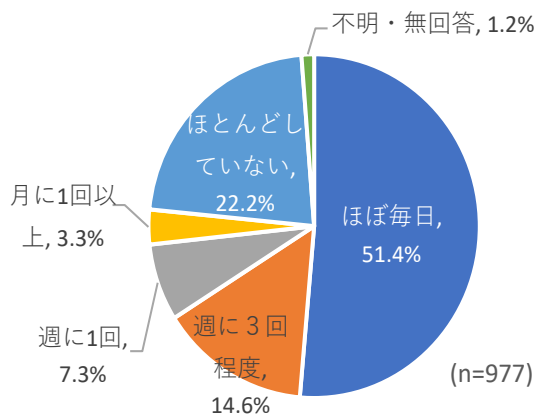
学校の自由時間での運動やスポーツ、また帰宅後の外遊びは小学生のほうがしている児童が多かったが、学校の自由時間や体育の授業以外のスポーツや運動の頻度は、中学生のほうが高くなっている。

前回調査(2017年度)と比較すると、選択肢の数が異なるため単純比較はできないが、「ほとんどしていない」と回答した児童・生徒の割合が、小学生は減少、中学生は増加している。

<小学生>



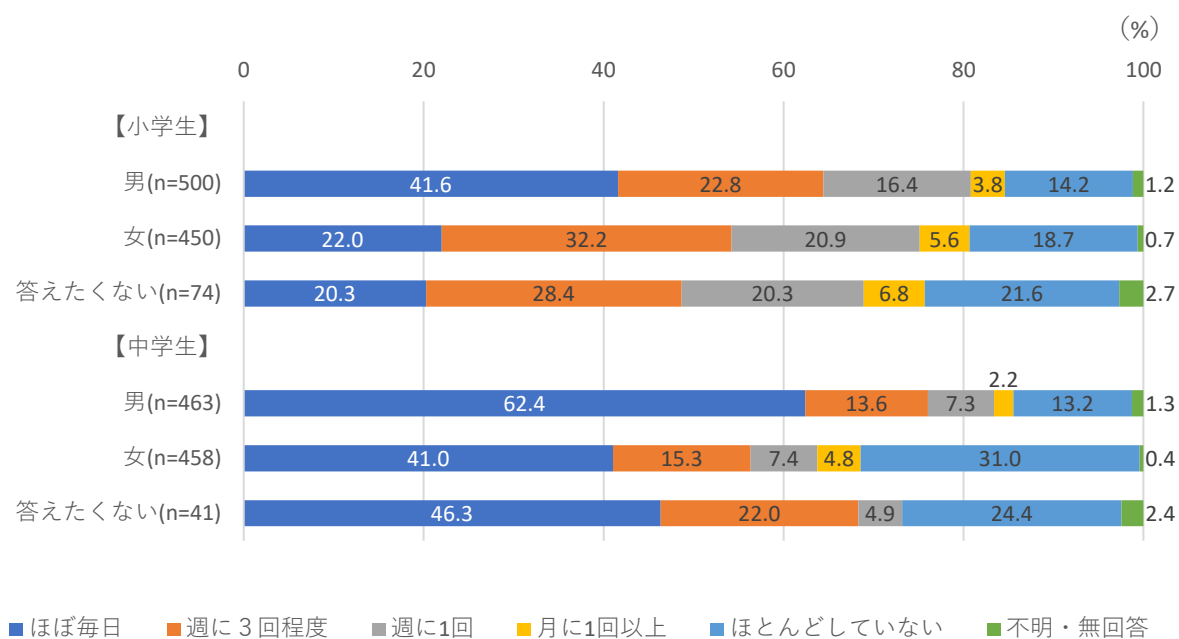
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合が高く、中学生男子は6割以上となっている。

一方、中学生女子は3割以上が「ほとんどしていない」と回答している。



⑤ スポーツや運動をはじめたきっかけ

(問6の答えが、1、2、3、4のみ以降問7-2～問11-2を回答)

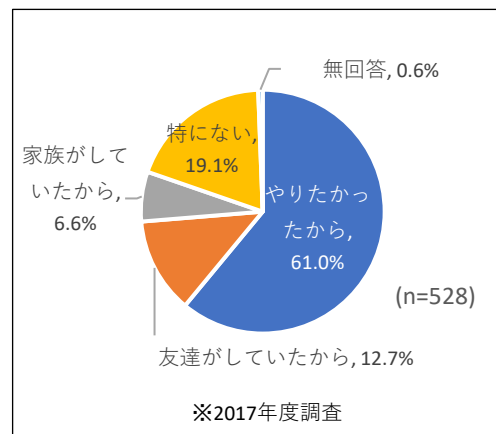
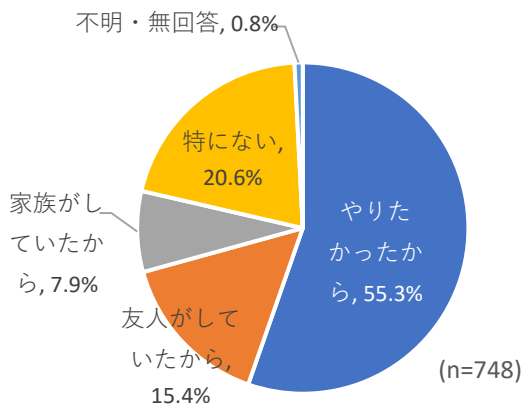
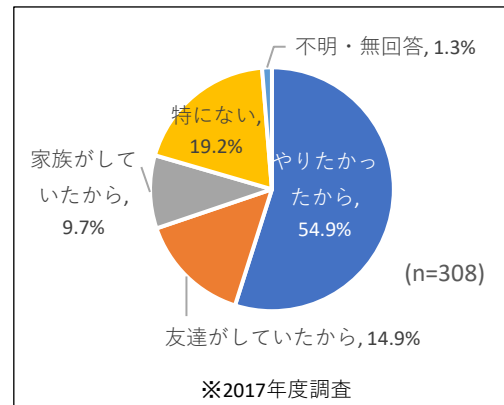
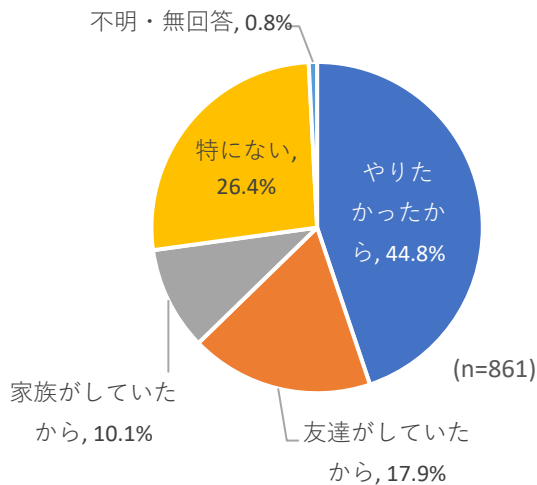
問7-2 スポーツや運動をはじめたきっかけは何ですか？

●小・中学生共通して「やりたかったから」が第1位 女子より男子のほうが多い

学校の自由時間や体育の授業以外で、スポーツや運動をしていると回答した児童・生徒に、スポーツや運動をはじめたきっかけが何かを聞いたところ、小学生、中学生ともに「やりたかったから」が最も多く(それぞれ44.8%、55.3%)、次いで「特にない」(それぞれ26.4%、20.6%)、「友達がしていたから」(それぞれ17.9%、15.4%)とつづく。

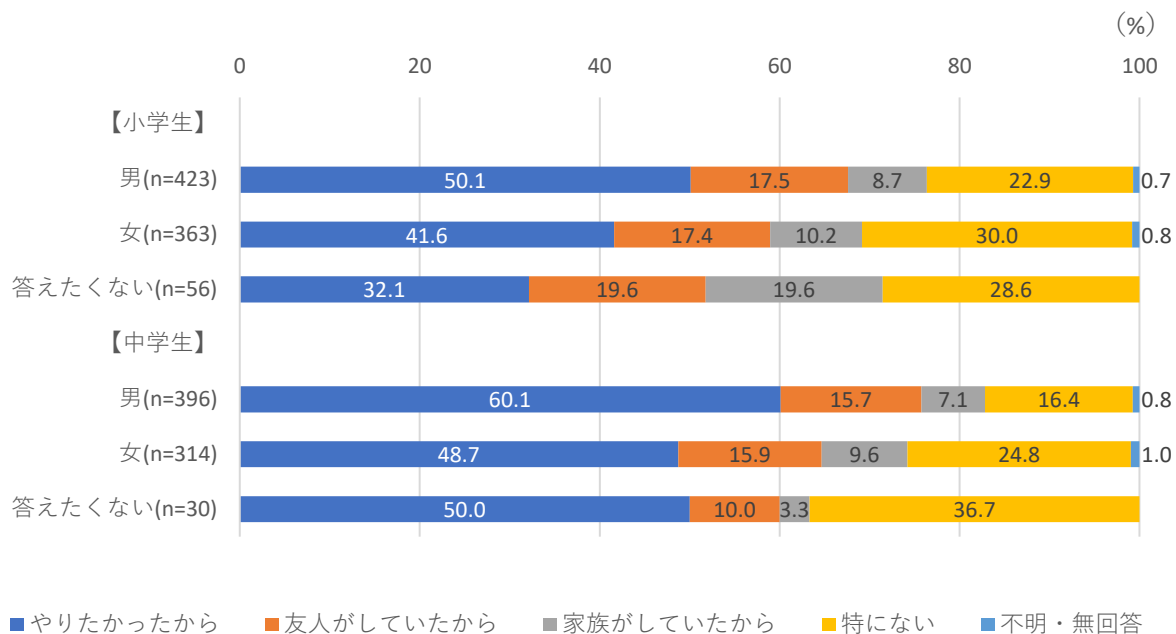
前回調査(2017年度)と比較すると、「やりたかったから」と回答した児童・生徒の割合が減少している。

<小学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「やりたかったから」と回答した児童・生徒の割合が高く、中学生男子は約6割となっている。



⑥ スポーツや運動をするチームや場所の情報源

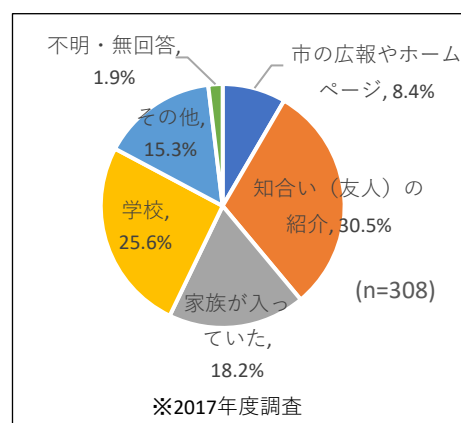
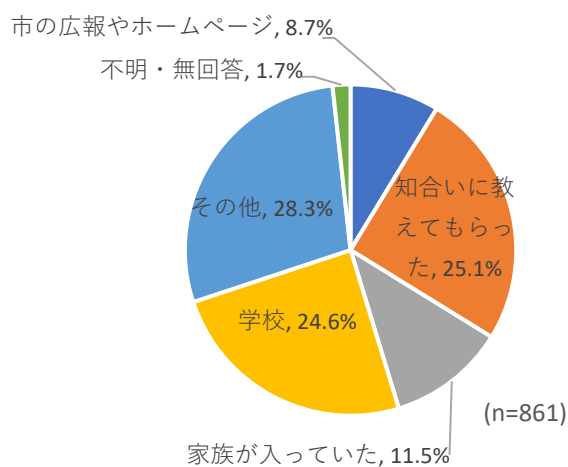
問8-2 スポーツや運動をするチームや場所をどのように知りましたか？

●小学生は知合いからの口コミや学校、中学生は学校が4割以上

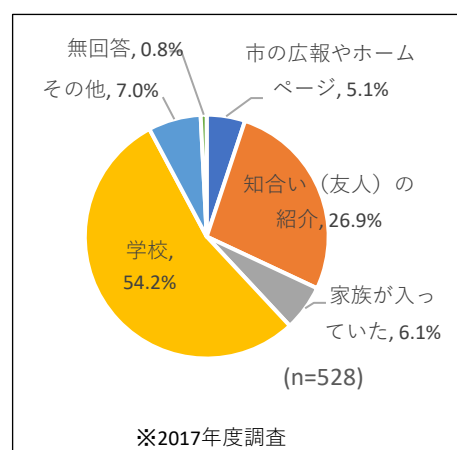
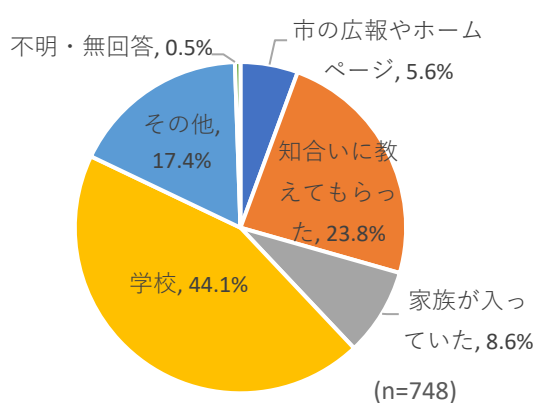
スポーツや運動をするチームや場所の情報源については、小学生は、「知合いに教えてもらった」が25.1%で最も多く、次いで「学校」が24.6%とつづく。

一方、中学生は、「学校」が44.1%で最も多く、次いで「知合いに教えてもらった」が23.8%となっている。

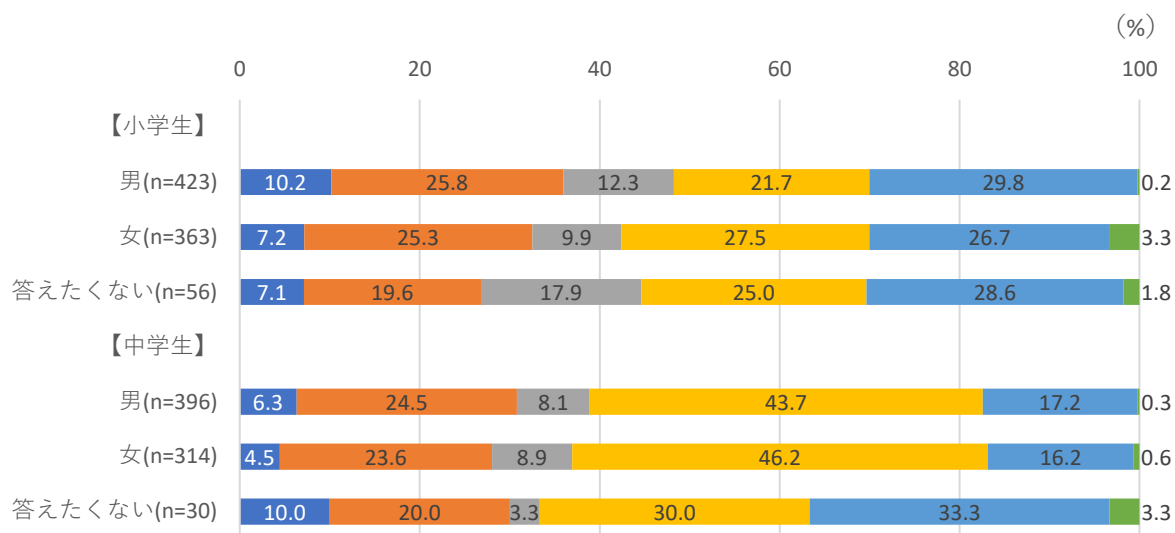
<小学生>



<中学生>



《クロス集計結果》



■ 市の広報やホームページ ■ 知合いに教えてもらった ■ 家族が入っていた ■ 学校 ■ その他 ■ 不明・無回答

⑦ スポーツや運動の実施形態

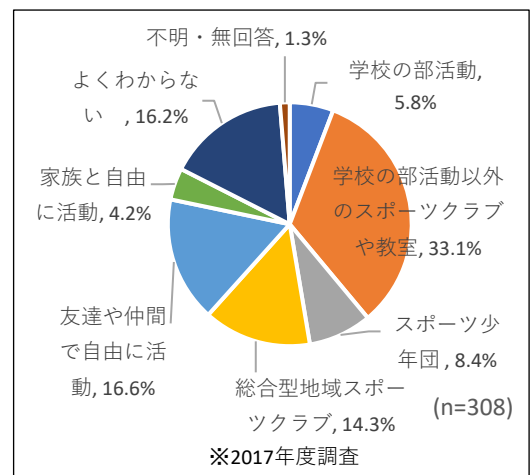
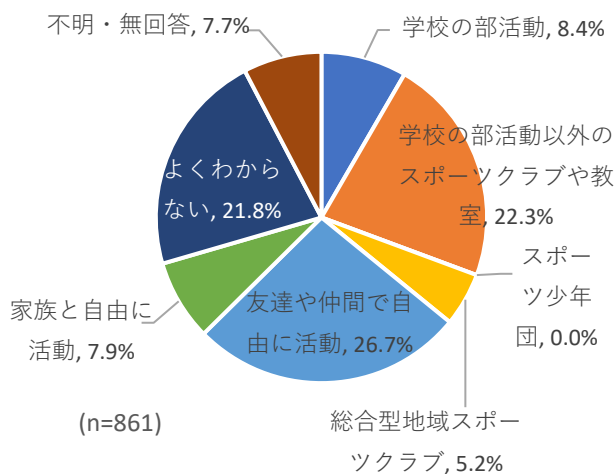
問9-2 どのようなかたちでスポーツや運動を行っていますか？

- 中学生は「学校の部活動」、小学生は「友達や仲間自由に活動」や「部活動以外のスポーツクラブや教室」
- 小中学生ともに、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブへの加入は女子より男子のほうが多い

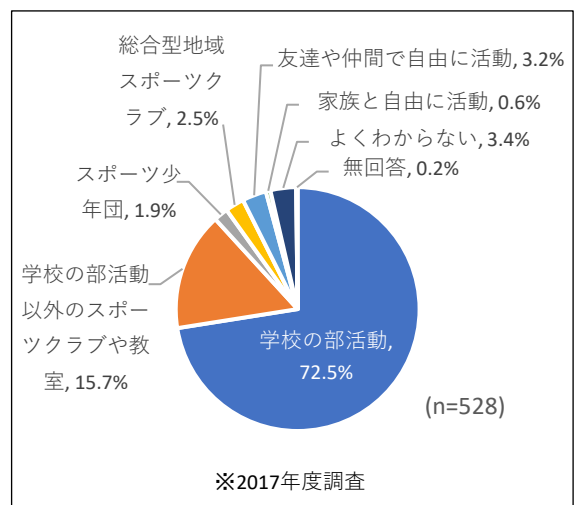
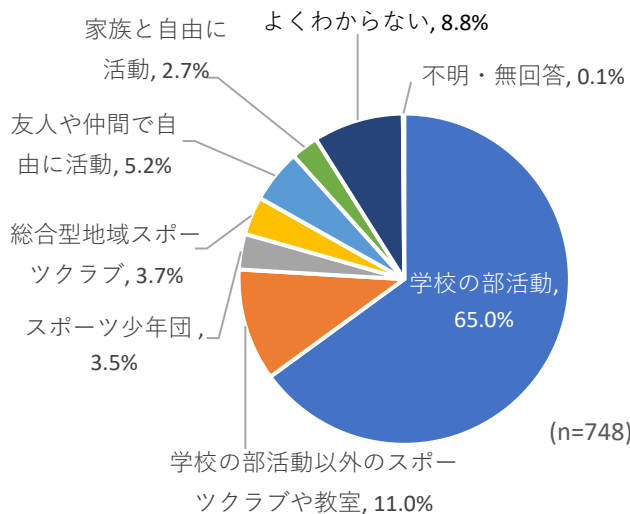
どのようなかたちでスポーツや運動を行っているかについては、中学生になると、「学校の部活動」が65.0%を占めているが、小学生は「友達や仲間自由に活動」が26.7%と最も多く、次いで「学校の部活動以外のスポーツクラブや教室」が22.3%とつづく。

「スポーツ少年団」や「総合型地域スポーツクラブ」と回答した児童・生徒の割合は、小中学生ともに低い（小学生5.2%、7.2%）。

<小学生>

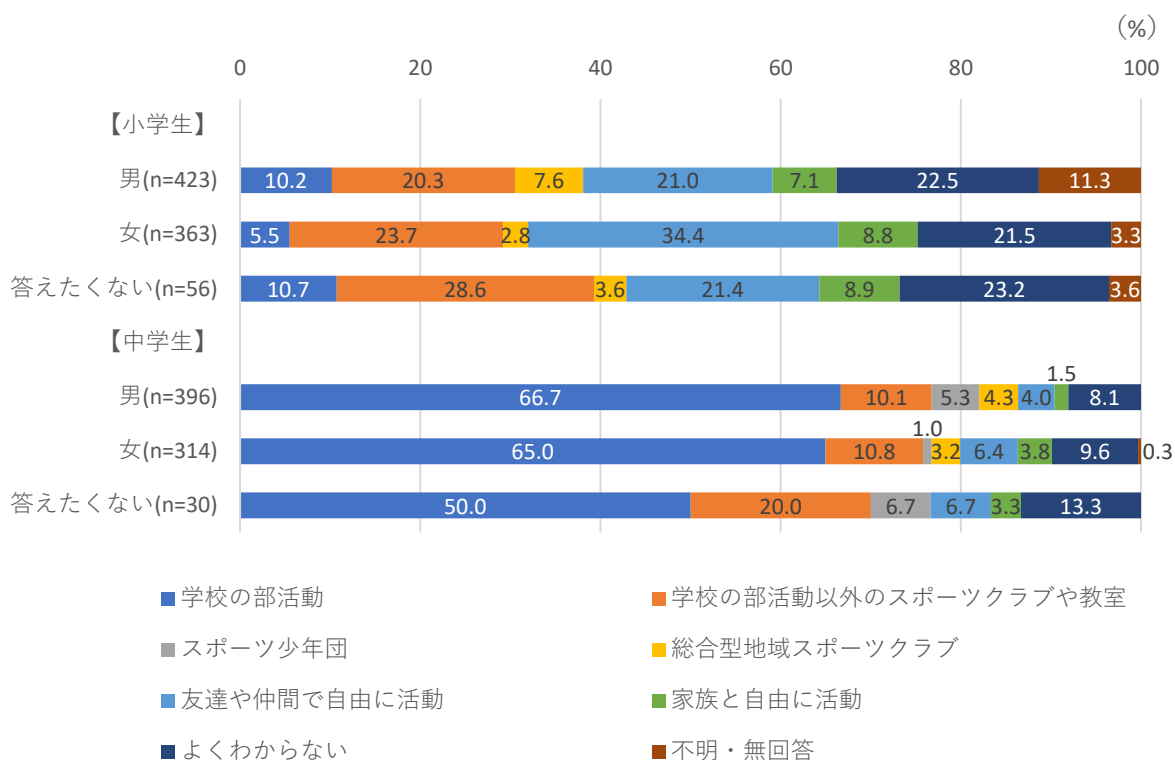


<中学生>



《クロス集計結果》

男女ともに、小学生は「友達や仲間で自由に活動」が、中学生は「学校の部活動」が最も多いが、小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「スポーツ少年団」や「総合型地域スポーツクラブ」と回答した児童・生徒の割合が高い。



⑧ スポーツや運動の実施種目

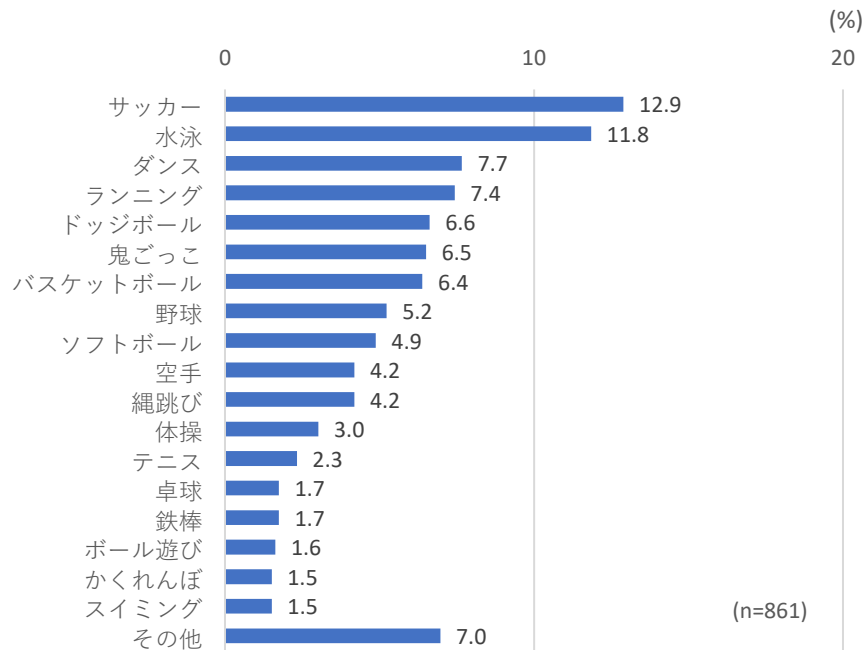
問 10-2 どのような種目のスポーツや運動を行っていますか？

●小学生は「サッカー」、中学生は「バスケットボール」

やっているスポーツや運動の種目については、小学生は、「サッカー」が12.9%で最も多く、次いで「水泳」が11.8%とつづく。

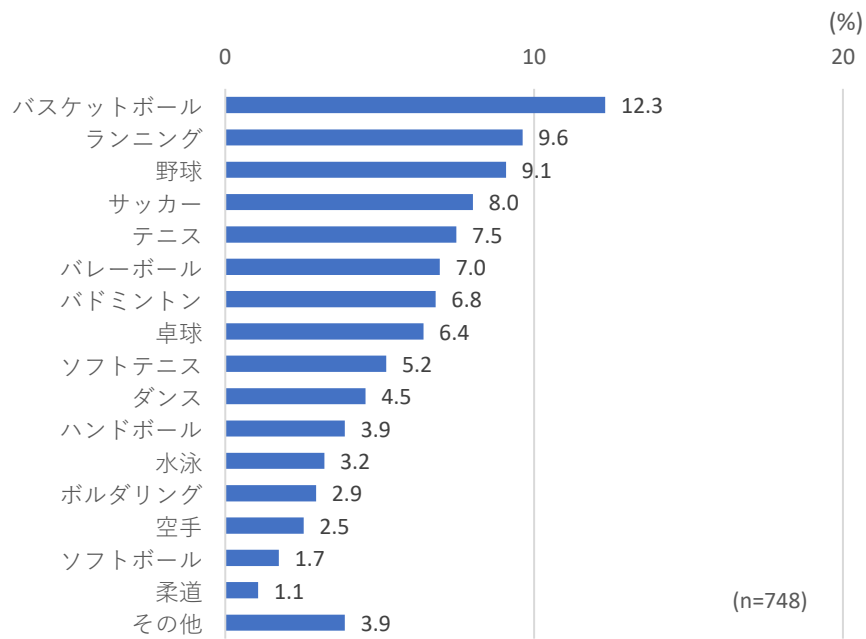
中学生は、「バスケットボール」が12.3%で最も多く、次いで「ランニング」が9.6%、「野球」が9.1%とつづく。

<小学生>



比率	遊びの種類
0.9	バレーボール、いろんな遊び
0.8	跳び箱、トランポリン、ボルダリング
0.7	バレエ、スケボー、大縄跳び
0.5	少林寺拳法、バドミントン、歩く
0.2	宅トレ よさこい、自転車
0.1	うんてい、トレーニング、ブランコ、登り棒、一輪車

<中学生>



比率	遊びの種類
0.9	バレーボール、いろんな遊び
0.8	跳び箱、トランポリン、ボルダリング
0.7	パレエ、スケボー、大縄跳び
0.5	少林寺拳法、バドミントン、歩く
0.2	宅トレ よさこい、自転車
0.1	うんてい、トレーニング、ブランコ、登り棒、一輪車

⑨ スポーツや運動の活動をするにあたっての不満（その主な理由）

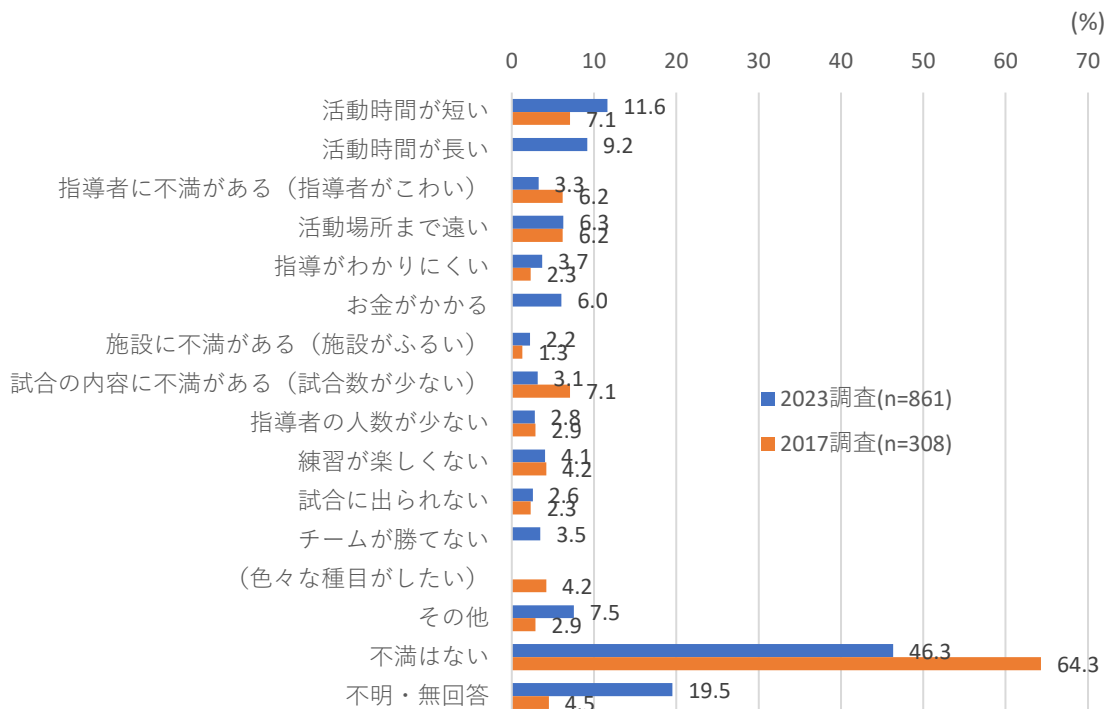
問 11-2 あなたは、スポーツや運動の活動をするにあたって、不満はありますか？不満がある場合は理由として、あてはまる主な理由を3つ以内で選んでください。

- 小・中学生ともに半数前後が「不満はない」
- 不満の理由としては、活動時間について(短い・長い)が多い

スポーツや運動の活動をするにあたっての不満があるか聞いたところ、小学生は46.3%、中学生は53.9%が「不満はない」と回答している。

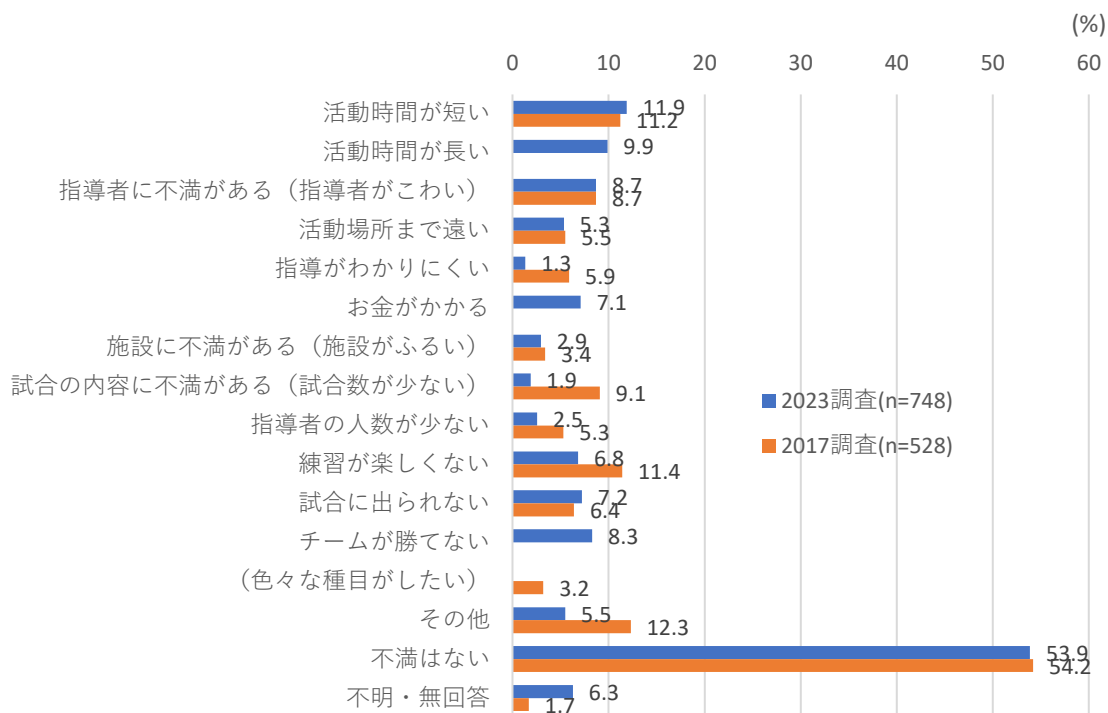
不満がある場合の理由としては、小学生、中学生共通して、活動時間について（「短い」がそれぞれ11.6%、11.9%、「長い」がそれぞれ9.2%、9.9%）が多く、そのほか、中学生は「指導者に不満がある（指導者がこわい）」(8.7%) や「チームが勝てない」(8.3%) も比較的多くあげられている。

<小学生>



※（ ）カッコ内は2017年調査時の設問

<中学生>



※ () カッコ内は2017年調査時の設問

《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、男子よりスポーツ・運動実施率が低い女子のほうが「不満はない」と回答した児童・生徒の割合が高い。

不満の内容としては、中学生で男子は「活動時間が短い」が最も多いのに対し、女子は「活動時間が長い」が最も多いのが対照的である。また、中学生の男女で比べると、男子は「チームが勝てない」が、女子は「練習が楽しくない」が比較的多くあげられている。

	活動時間が短い	活動時間が長い	指導者に不満がある	活動場所まで遠い	指導がわかりにくい	お金がかかる	施設に不満がある	試合の内容に不満がある	指導者の人数が少ない	練習が楽しくない	試合が少ない	チームが勝てない	その他	不満はない	不明・無回答
【小学生】															
男(n=423)	14.2	11.8	4.3	7.3	5.0	7.6	2.6	3.8	2.8	5.2	3.5	4.0	6.1	39.7	21.0
女(n=363)	8.8	6.1	2.2	5.8	2.5	4.7	1.7	2.2	2.8	2.8	1.4	2.2	8.0	53.4	18.2
答えたくない(n=56)	14.3	8.9	1.8	3.6	1.8	5.4	0.0	3.6	1.8	5.4	3.6	3.6	10.7	51.8	17.9
【中学生】															
男(n=396)	14.1	7.6	8.1	6.3	1.3	5.8	4.0	2.3	2.5	4.8	7.6	10.6	5.1	53.0	5.8
女(n=314)	9.6	11.8	8.6	4.1	1.3	8.3	1.9	1.6	2.5	8.9	6.4	5.7	5.7	57.3	6.4
答えたくない(n=30)	10.0	20.0	13.3	6.7	3.3	13.3	0.0	0.0	3.3	13.3	10.0	3.3	10.0	30.0	6.7

⑩ スポーツや運動をしたいか

(問6の答えが5、以降問7-1～問10-1を回答)

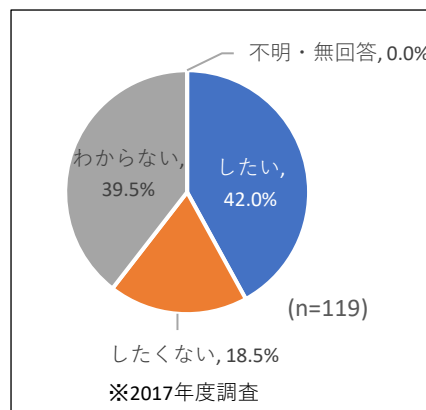
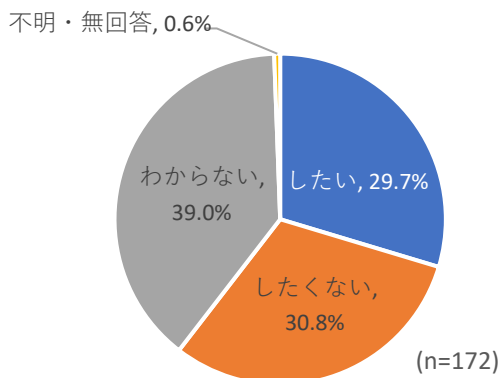
問7-1 スポーツや運動をしたいと思いますか？

- 小・中学生共通して「わからない」が約4割、小学生は約3割が「したい」と回答
- 小・中学生ともに女子より男子のほうが「したい」と回答 一方、中学生男子の半数近くが「したくない」

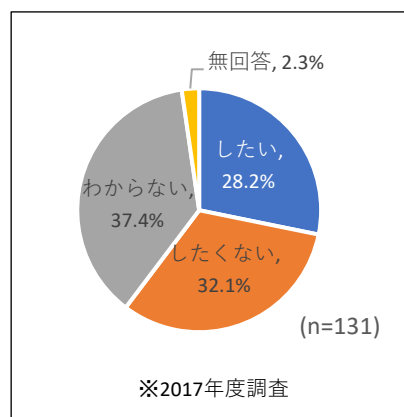
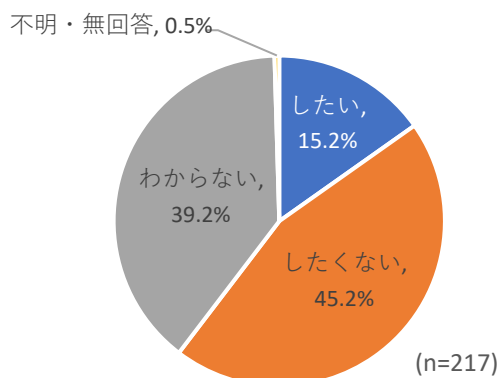
学校の自由時間や体育の授業以外で、スポーツや運動をほとんどしていないと回答した児童・生徒に、スポーツや運動をしたいと思うかを聞いたところ、小学生、中学生ともに「わからない」が最も多く（それぞれ39.0%、39.2%）、次いで「したくない」（それぞれ30.8%、45.2%）とつづく。

「したい」と回答した児童・生徒は、小学生が29.7%、中学生が15.2%と、小学生でやや多いが、前回調査（2017年度）と比較すると、その割合はともに減少している。

<小学生>



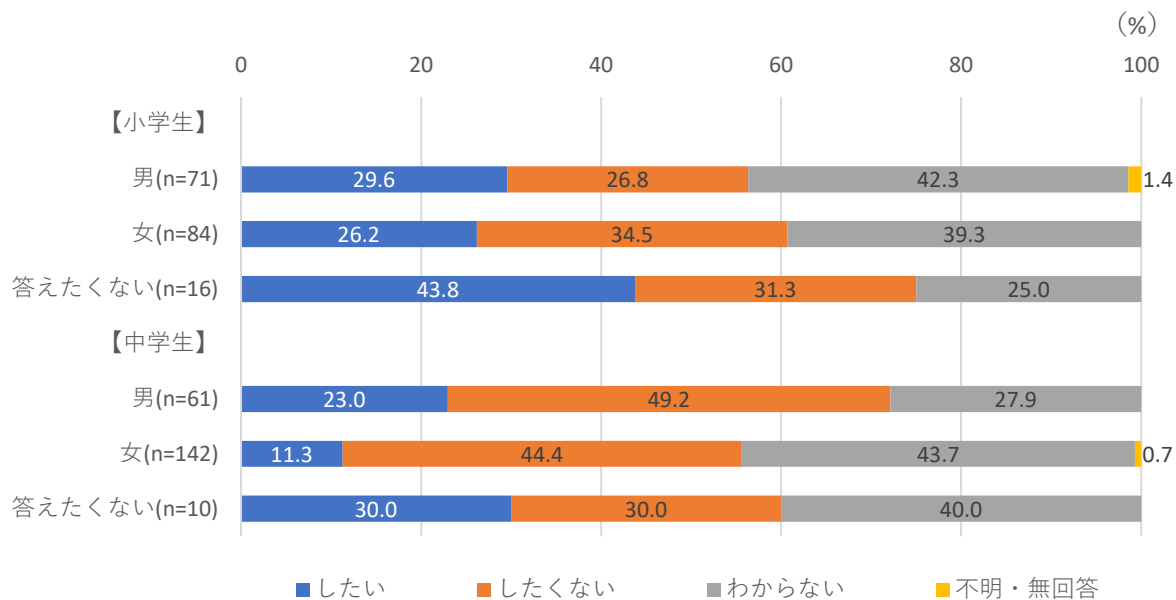
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが「したい」と回答した児童・生徒の割合が高い。

一方で、小学生男子は「したい」と回答した児童数が「したくない」と回答した児童数を上回っているが、そのほかは「したくない」と回答した児童・生徒数のほうが上回っており、その割合は中学生男子が最も高く、半数近くとなっている。



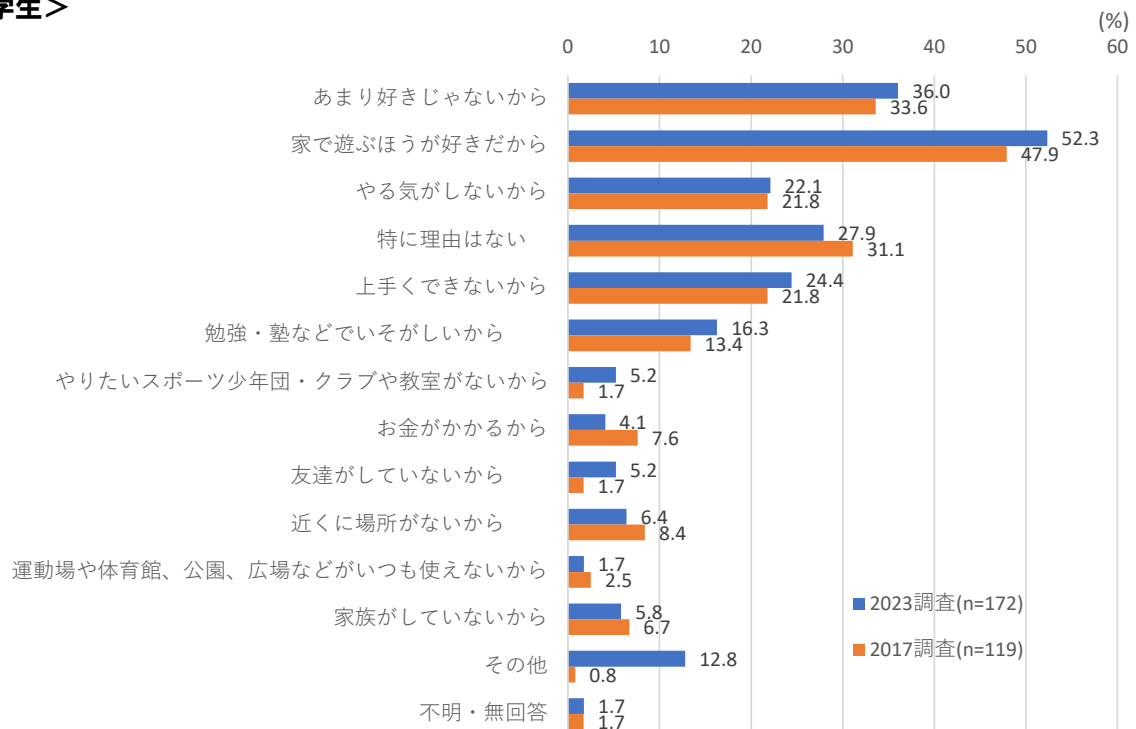
⑪ スポーツや運動をしていない理由

問9-1 あなたがスポーツや運動をしていない理由は何ですか？※あてはまる理由を3つ以内で選んでください。(3つまで)

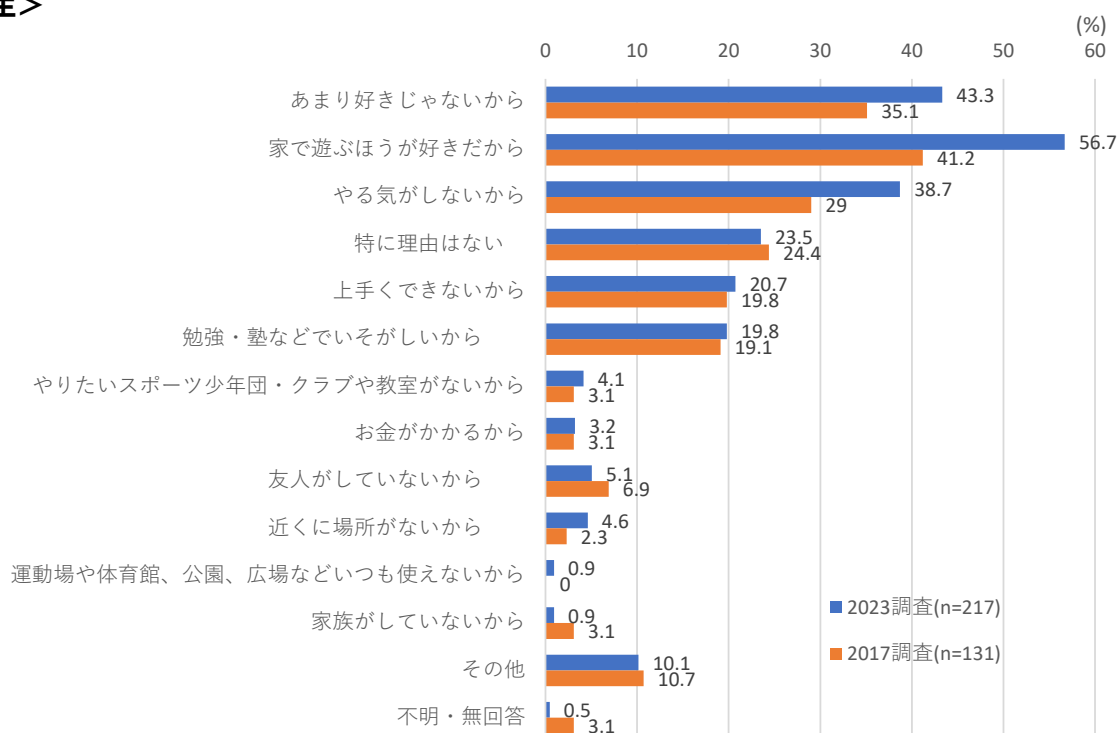
- 小・中学生共通して「家で遊ぶほうが好きだから」
- 小・中学生ともに、女子は「あまり好きじゃないから」も半数前後

スポーツや運動をしていない理由としては、小学生、中学生共通して、「家で遊ぶほうが好きだから」と回答した児童・生徒が最も多い(それぞれ52.3%、47.9%)。次いで、「あまり好きじゃないから」(それぞれ36.0%、33.6%)も共通して多く、3番目は小学生が「特に理由はない」(27.9%)、中学生が「やる気がしないから」(24.4%)となっている。

<小学生>



<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、男女ともに「家で遊ぶほうが好きだから」が最も多いが、女子は「あまり好きじゃないから」も2番目に多く半数前後となっている。また、中学生女子は「やる気がしないから」も4割以上の生徒があげている。

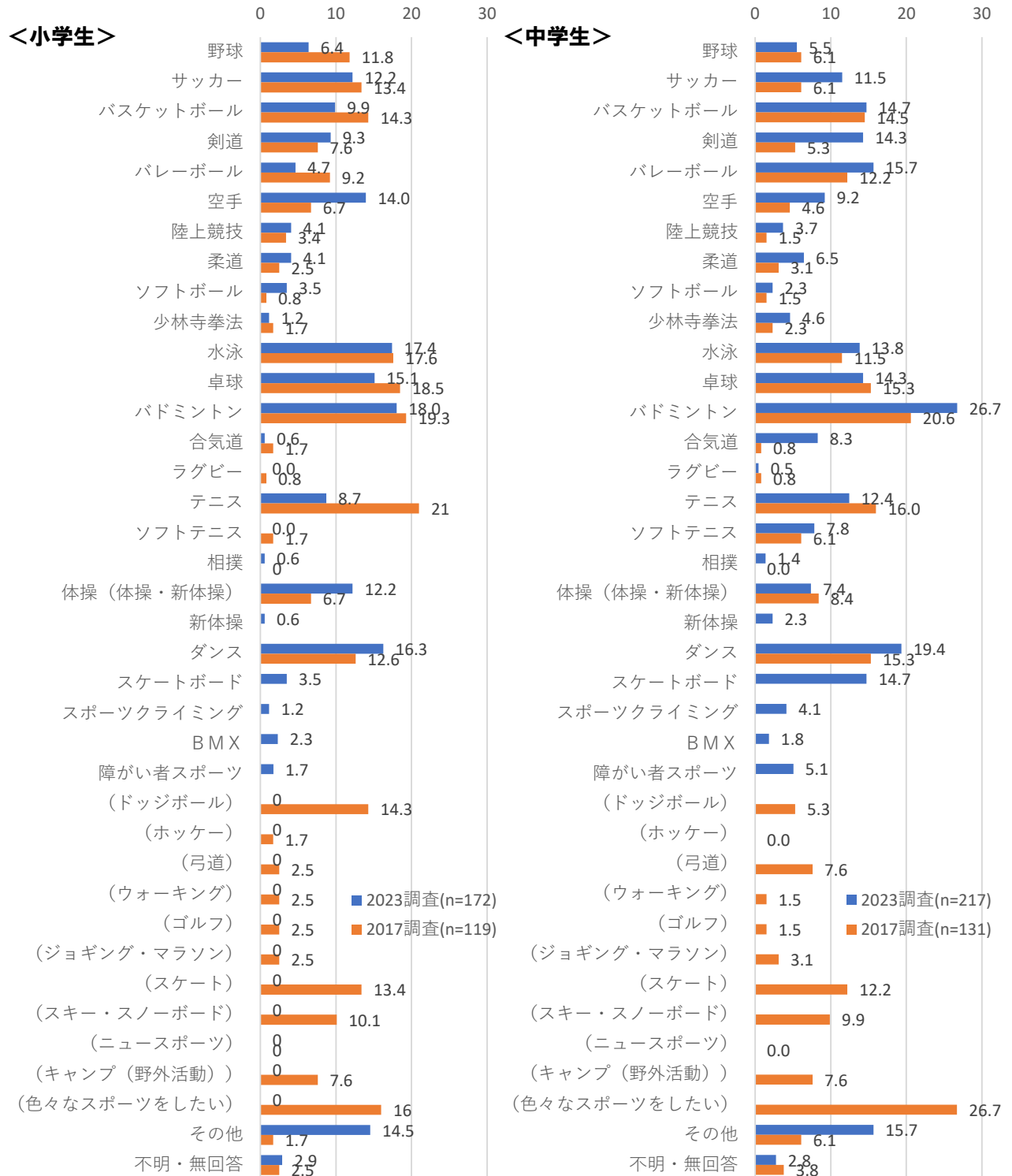
	あまり好きじゃないから	家で遊ぶほうが好きだから	やる気がしないから	特に理由はない	上手くできないから	勉強・塾などでいそがしいから	やりたいスポーツ少年団・クラブや教室がないから	お金がかかるから	友人がしていないから	近くに場所がないから	運動場や体育館、公園、広場などいつも使えないから	家族がしていないから	その他	不明・無回答
【小学生】														
男 (n=71)	21.1	53.5	26.8	29.6	26.8	18.3	5.6	7.0	5.6	11.3	0.0	9.9	9.9	0.0
女 (n=84)	50.0	51.2	17.9	27.4	22.6	17.9	4.8	1.2	4.8	3.6	2.4	2.4	11.9	2.4
答えたくない(n=16)	31.3	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	31.3	6.3
【中学生】														
男 (n=61)	36.1	65.6	27.9	19.7	23.0	13.1	3.3	3.3	4.9	6.6	1.6	1.6	16.4	0.0
女 (n=142)	49.3	52.8	44.4	25.4	21.1	21.1	4.9	3.5	5.6	3.5	0.7	0.7	8.5	0.0
答えたくない(n=10)	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0

⑫ やってみたいスポーツや運動

問 10-1 もしもスポーツや運動をしたら、どのようなスポーツや運動をしてみたいですか。
 したいと思う種目をすべて選んでください。

- 小・中学生共通して「バドミントン」や「ダンス」が人気
- いずれも、女子はバドミントン、ダンス、男子はサッカーが人気

やってみたいスポーツや運動としては、小学生、中学生ともに「バドミントン」が最も多く（それぞれ18.0%、26.7%）、人気が高い。次いで、小学生は「水泳」（17.4%）、「ダンス」（16.3%）、中学生は「ダンス」（19.4%）、「バレーボール」（15.7%）とつづく。



※ () カッコ内は2017年調査時の設問

《クロス集計結果》

小学生は、女子は「バドミントン」や「ダンス」、「水泳」が、男子は「サッカー」や「空手」、「バスケットボール」が多くあげられている。

中学生は、女子は「バドミントン」や「ダンス」、「バレーボール」、男子は「サッカー」や「卓球」などが多くあげられている。

	野球	サッカー	バスケットボール	剣道	バレーボール	空手	陸上競技	柔道	ソフトボール	少林寺拳法	水泳	卓球	バドミントン	合気道	ラグビー	テニス	ソフトテニス	相撲	体操	新体操	ダンス	スケートボード	スノーボード	BMX	障がい者スポーツ	その他	不明・無回答
【小学生】																											
男 (n=71)	15.5	21.1	16.9	14.1	1.4	19.7	7.0	5.6	4.2	2.8	9.9	14.1	4.2	1.4	0.0	4.2	0.0	1.4	4.2	0.0	7.0	1.4	0.0	4.2	2.8	15.5	1.4
女 (n=84)	0.0	6.0	6.0	7.1	8.3	7.1	2.4	3.6	2.4	0.0	22.6	16.7	31.0	0.0	0.0	13.1	0.0	0.0	16.7	1.2	25.0	4.8	2.4	0.0	1.2	10.7	2.4
答えたくない(n=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	6.3	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	0.0	31.3	12.5
【中学生】																											
男 (n=61)	9.8	24.6	9.8	11.5	9.8	4.9	4.9	3.3	3.3	6.6	13.1	21.3	11.5	9.8	1.6	11.5	4.9	1.6	0.0	0.0	1.6	13.1	3.3	1.6	6.6	11.5	83.6
女 (n=142)	4.2	6.3	17.6	14.8	18.3	11.3	3.5	7.7	1.4	4.2	14.8	11.3	33.1	7.7	0.0	12.7	9.9	1.4	10.6	3.5	28.2	16.2	4.2	2.1	3.5	14.8	95.1
答えたくない(n=10)	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	40.0	90.0

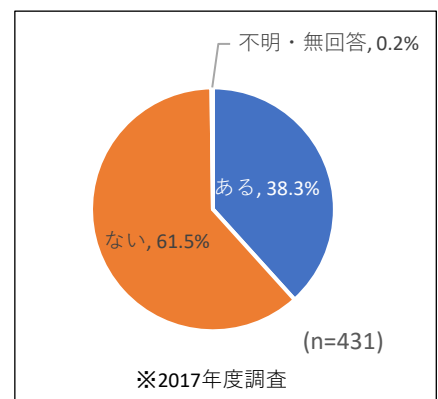
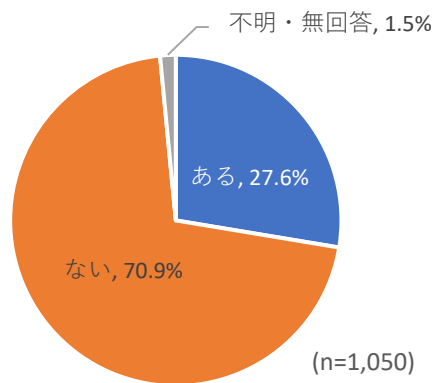
⑬ 市で行っているスポーツ大会・イベント・教室への参加

問5 岸和田市で行っているスポーツ大会やスポーツイベントやスポーツ教室に参加したことがありますか？

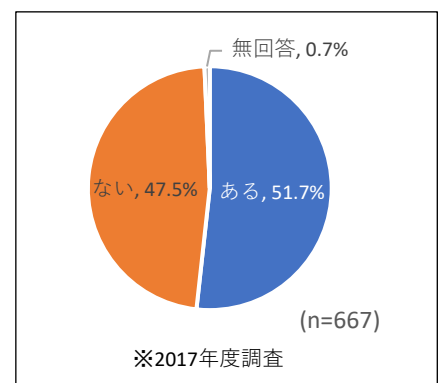
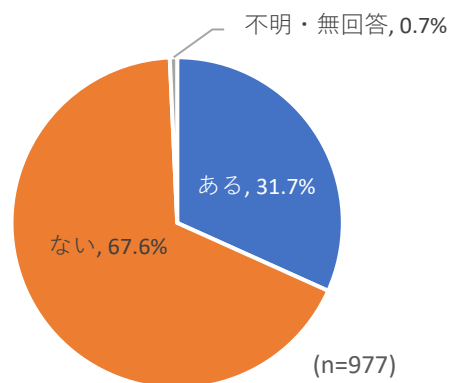
- 小・中学生ともに、3割前後が参加したことがある
- 小学生より中学生、女子より男子のほうが参加したことがある

岸和田市で行っているスポーツ大会やスポーツイベント等に参加したことがあるかについては、小学生、中学生ともに3割前後（それぞれ27.6%、31.7%）が「（参加したことが）ある」と回答している。

<小学生>

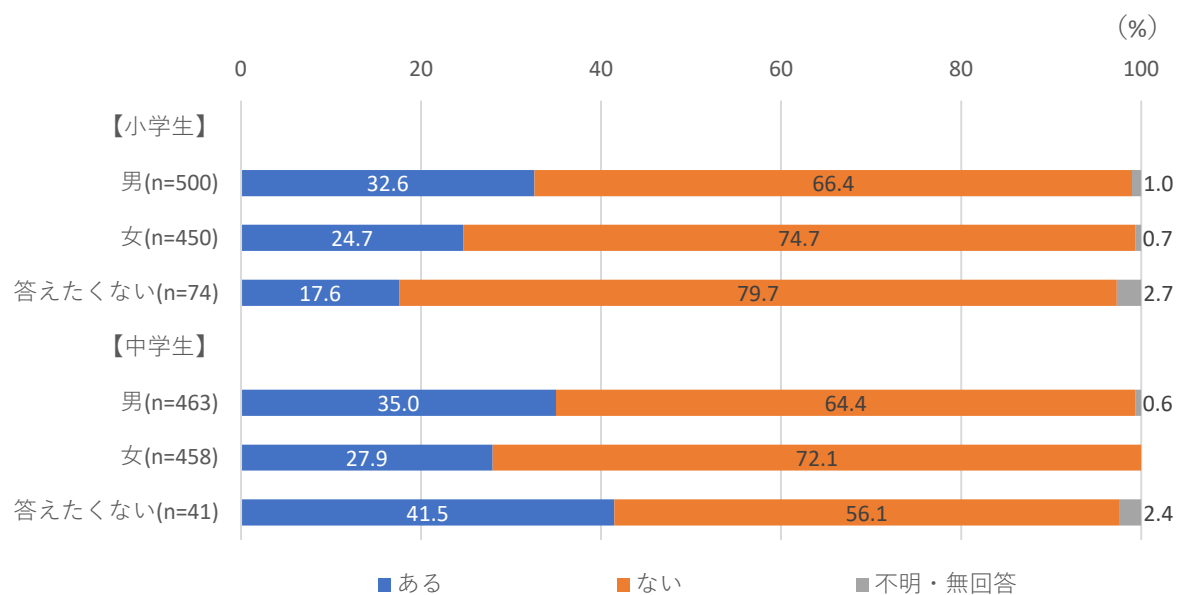


<中学生>



《クロス集計結果》

小学生、中学生ともに、女子より男子のほうが岸和田市で行っているスポーツ大会やスポーツイベント等に参加したことがあると回答した児童・生徒の割合が高く、中学生男子が最も高い。



⑬ - 1 参加したスポーツ大会・イベント・教室

(問5の答えが1のみ回答)

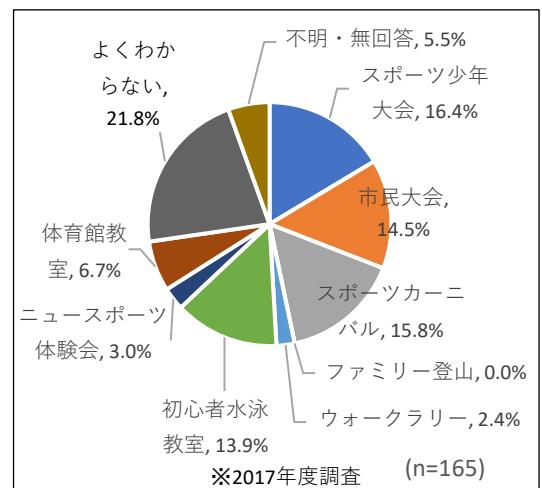
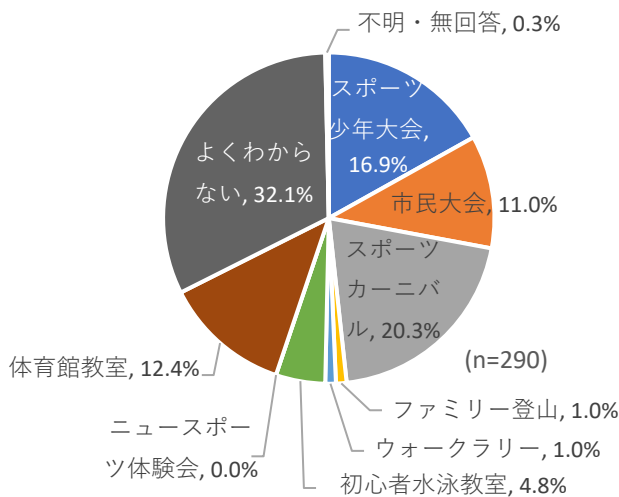
問5-1 どのようなものに参加しましたか？

- 小学生はスポーツカーニバル、中学生は市民大会への参加者が多い
- 小学生は、男子がスポーツ少年大会、女子がスポーツカーニバルへの参加者が多い

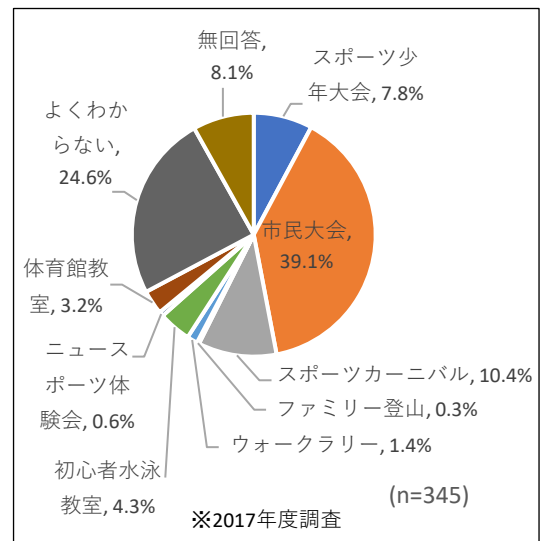
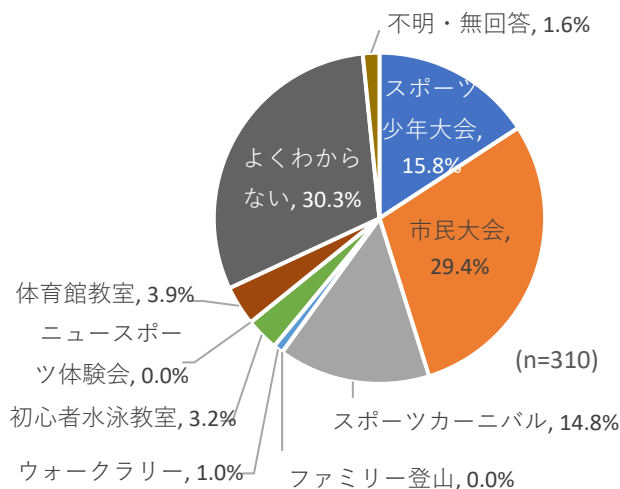
岸和田市で行っているスポーツ大会やスポーツイベント等に参加したことがあると回答した児童・生徒に、どのようなものに参加したかを聞いたところ、小学生は、「スポーツカーニバル」が20.3%で最も多く、次いで「スポーツ少年大会」が16.9%、「体育館教室」が12.4%とつづく。一方、中学生は、「市民大会」が29.4%で最も多く、次いで「スポーツ少年大会」が15.8%、「スポーツカーニバル」が14.8%とつづく。

前回調査（2017年度）と比較すると、小学生は、「初心者水泳教室」の割合が減少した一方、「スポーツカーニバル」や「体育館教室」の割合が増加している。中学生は、「市民大会」の割合が減少し、「スポーツ少年大会」や「スポーツカーニバル」の割合が減少している。

<小学生>



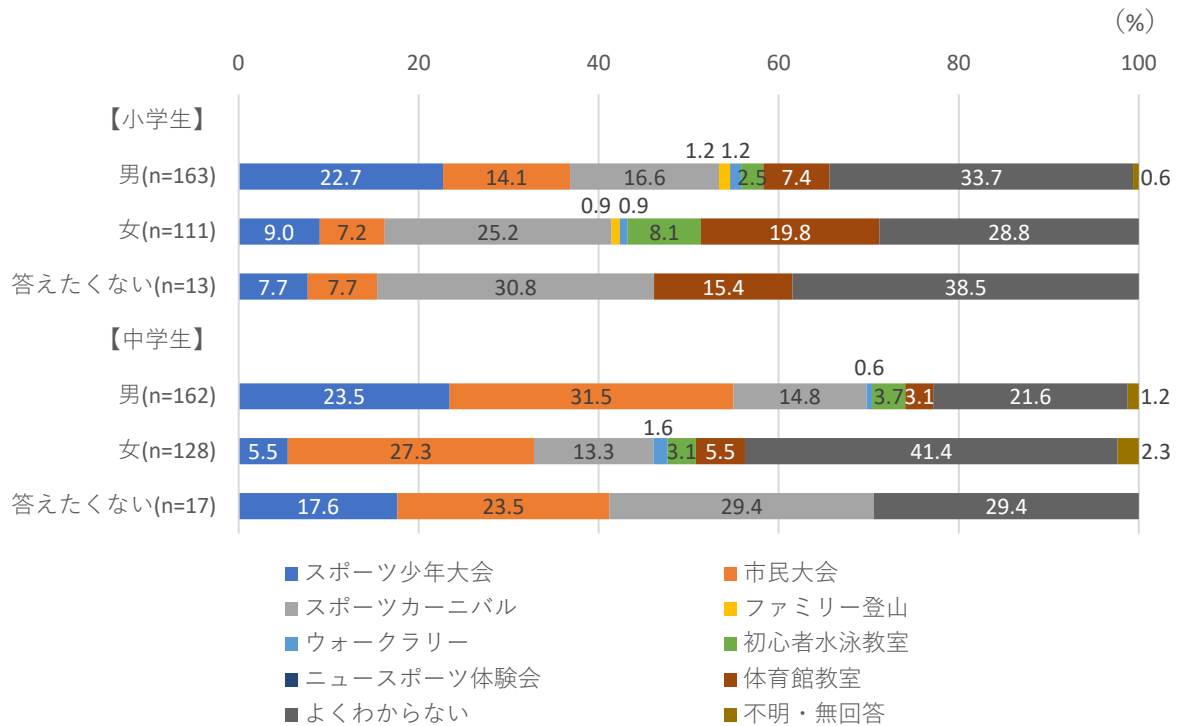
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生は、「よくわからない」を除いて、男子は「スポーツ少年大会」が、女子は「スポーツカーニバル」が最も多い。男子は「市民大会」が、女子は「体育館教室」や「初心者水泳大会」も比較的多くあげられている。

一方、中学生は、「よくわからない」を除いて、男子女子ともに「市民大会」が最も多いが、男子は「スポーツ少年大会」も女子より多くあげられている。



⑭ スポーツ観戦について

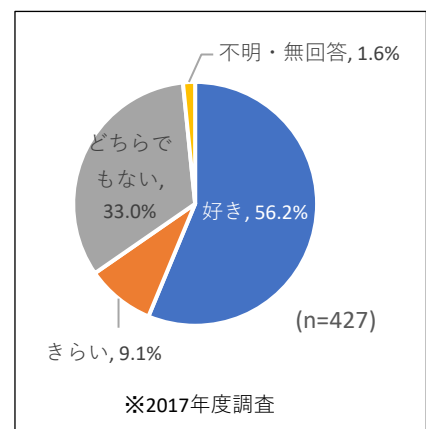
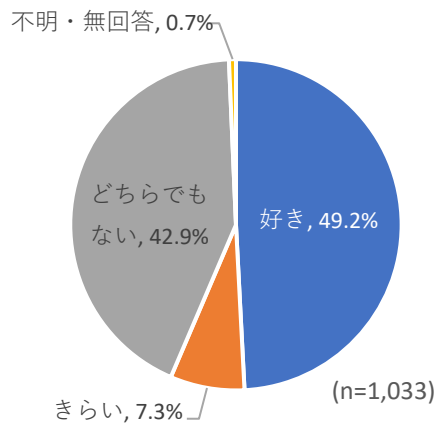
問 8-1、問 12-1 スポーツを観ることが好きですか？

- 小・中学生ともに半数前後が、スポーツ観戦が「好き」と回答
- 小・中学生ともに、女子より男子のほうが「好き」と回答した児童・生徒の割合が高く、6割以上

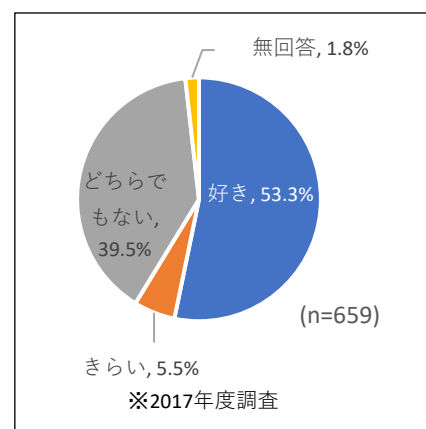
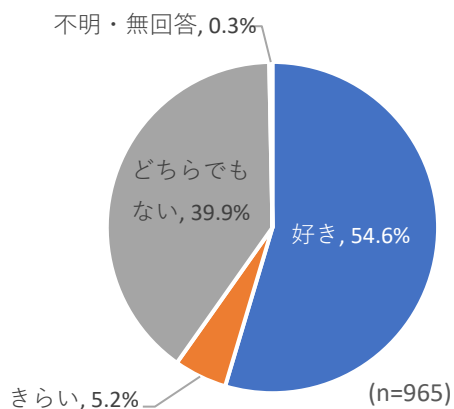
スポーツ観戦について、「好き」と回答した児童・生徒は、小学生が49.2%、中学生が54.6%で、中学生のほうがやや多い。

小学生・中学生ともに、「きれい」と回答した児童・生徒は、ごくわずかである。

<小学生>



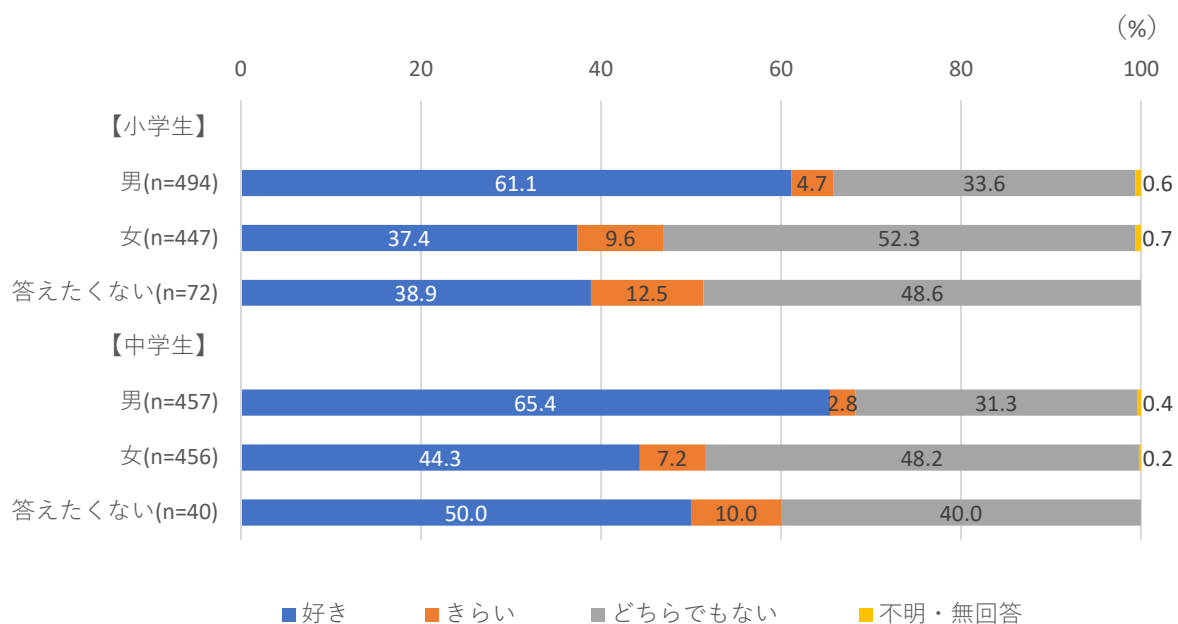
<中学生>



《クロス集計結果》

小学生は、男子は「好き」が6割以上、一方女子は「どちらでもない」が半数以上で、それぞれ最も多い。

中学生は、男子女子ともに「好き」が最も多いが、男子は6割以上なのに対し、女子は4割となってい



III 未就学児の保護者

(1) 調査概要

1) 調査対象

市内在住の未就学児（幼稚園・保育園在園）の保護者●●●人

2) 調査日

令和5年●月●日～●月●日

3) 調査方法及び回収状況

調査方法	配布数	回収数	回収率
郵送による配布、回収	●●●通	252通	●●%

4) 調査結果の留意点

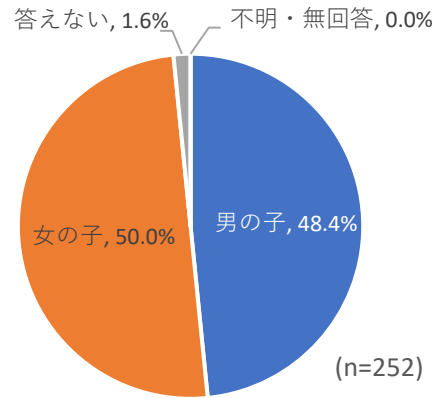
- 調査結果の図表の数値は、原則として回答者の構成比（百分率）で示している。
- 図表の右下の「n値（n = ○）」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数（有効回答者数）を示している。
- 百分率による集計では、母数（有効回答者数）を100%として算出し、本文及び図表に示した数値は小数点第2位を四捨五入した小数点第1位までの値で示している。そのため、各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答者を限定する設問（前問である選択肢を回答した人のみが回答するなど）は、回答権のない回答者が回答している場合はその回答は無効とする。
- 母数（有効回答数）の少ない調査結果は、統計的誤差が大きい場合があり、数値の扱いに留意する必要がある。
- クロス集計のグラフについては、グラフ中の「0.0」は省略している。
- 選択肢の語句が長い場合は、本文中で省略している場合がある。

(2) 調査結果

1) 回答者の属性

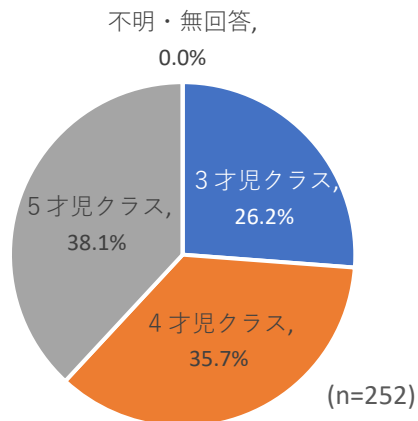
① 子どもの性別

「男の子」が48.4%、「女の子」が50.0%で、やや女の子のほうが多い。



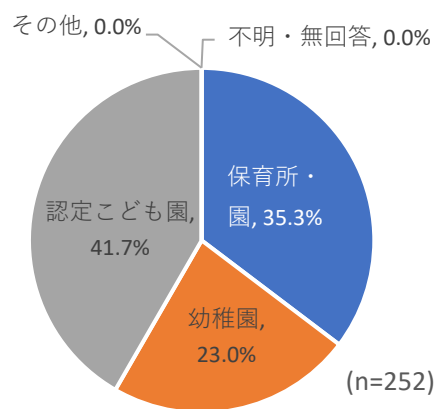
② クラス

「5才児クラス（年長）」が38.1%と最も多く、次いで、「4才児クラス（年中）」が35.7%、「3才児クラス（年少）」が26.2%とつづく。



③ 通園先

「認定こども園」が41.7%と最も多く、次いで「保育所・園」が35.3%、「幼稚園」が23.0%とつづく。



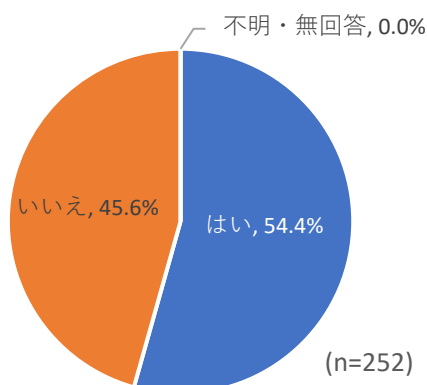
2) 運動・遊びの実施状況

① 幼稚園や保育所等以外での定期的な運動・遊び

問4 お子様は、幼稚園や保育所（園）等以外で、定期的に運動を伴う遊びをしていますか？

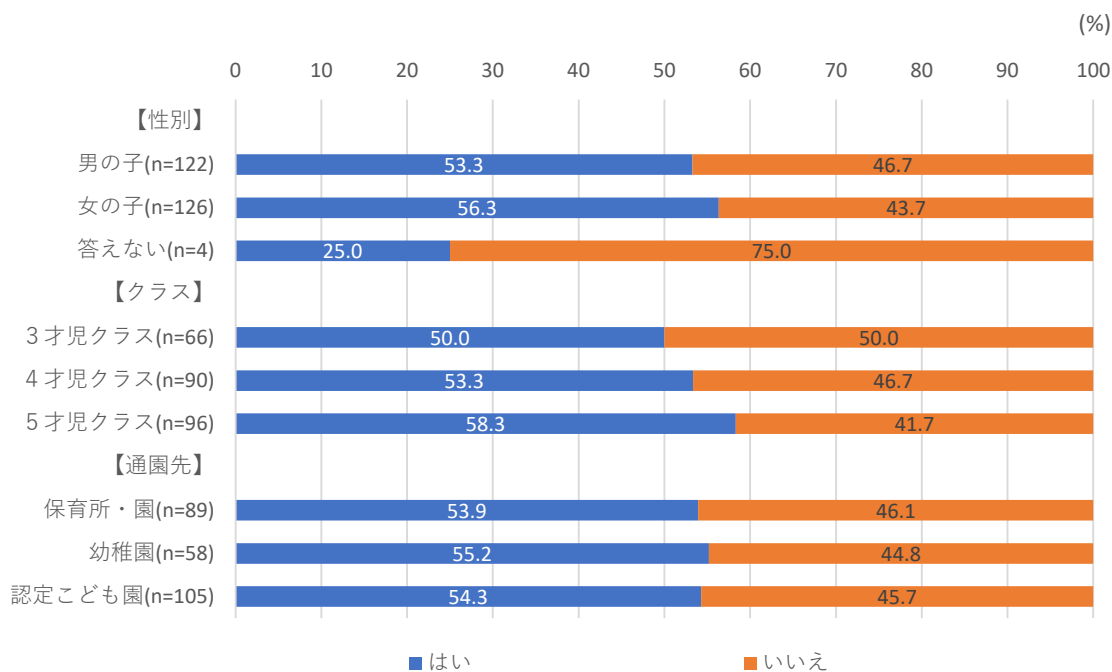
- 幼稚園や保育所等以外での定期的な運動を伴う遊びは半数以上がしている
- 年齢があがるほど、定期的な運動を伴う遊びをしている子どもが増加

幼稚園や保育所（園）等以外で、定期的に運動を伴う遊びをしているかについては、「はい（している）」が54.4%、「いいえ（していない）」が45.6%で、している子どものほうがやや多い。



《クロス集計結果》

子どもの年齢があがるほど、幼稚園や保育所（園）等以外で、定期的に運動を伴う遊びをしている割合が増加する傾向がみられ、5才児クラス（年長）は6割近くである。



① - 1 幼稚園や保育所等以外での主な遊び

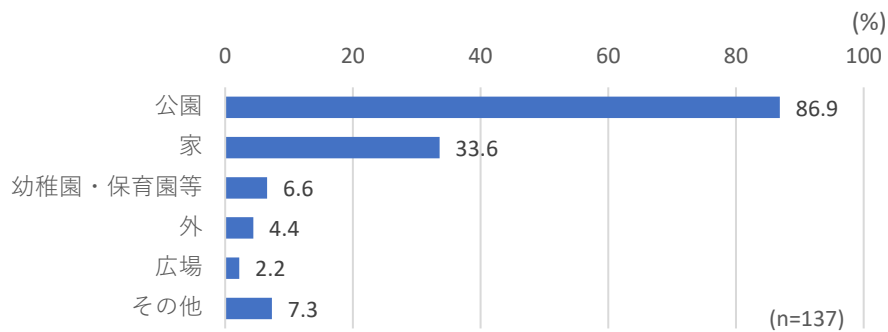
(問4で「はい」と回答→以下問5～6に回答)

問5 お子様は、どこで、どのような遊びをしていますか？(主な遊びを最大3つまで)

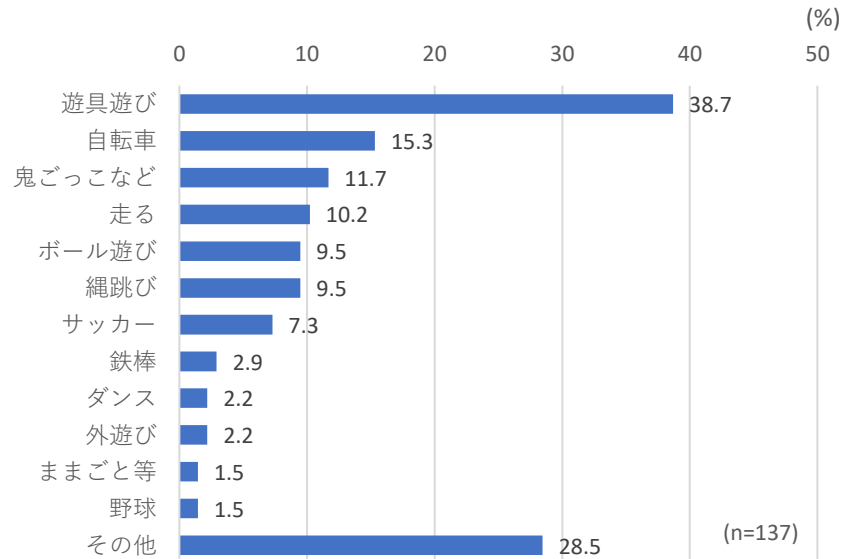
●公園や家で、遊具遊びや自転車、鬼ごっこなどが多い

子どもが幼稚園や保育所等以外での定期的な運動を伴う遊びをしていると回答した保護者に、どこで、どのような遊びをしているかを聞いたところ、場所(どこで)は「公園」が86.9%で最も多く、次いで「家」が33.6%とつづく。また、遊びの内容(どのような遊び)は「遊具遊び」が38.7%で最も多く、次いで「自転車」が15.3%、「鬼ごっこなど」が11.7%、「走る」が10.2%とつづく。

《どこで》



《どのような遊びか》

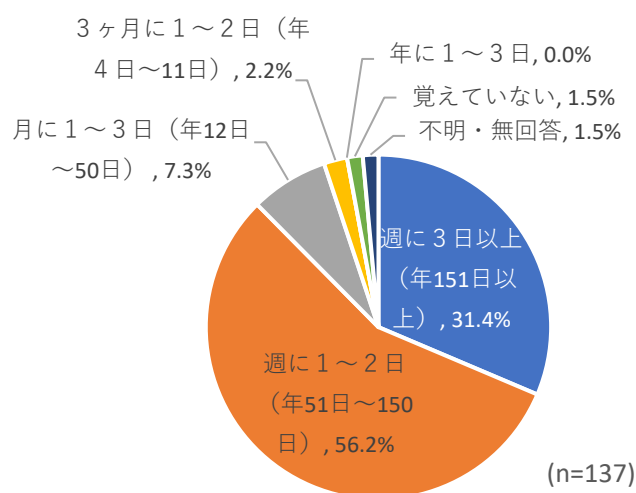


② 遊ぶ頻度

問6 お子様が遊ぶ頻度を教えてください。

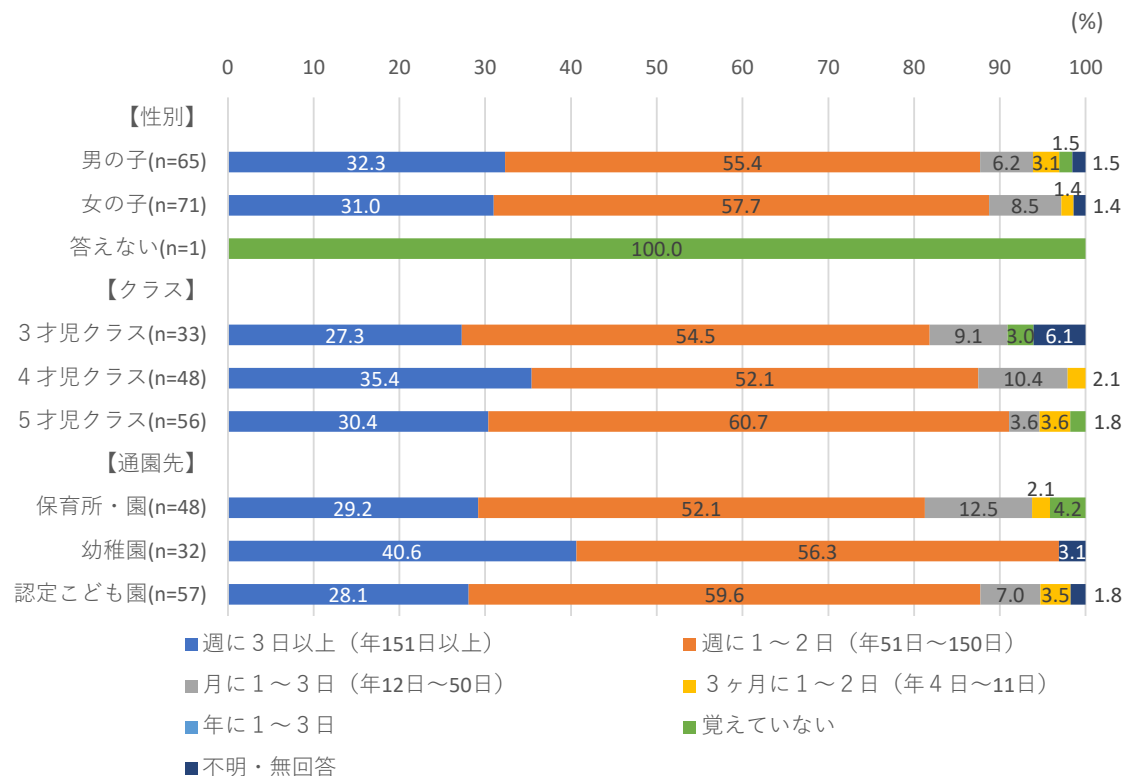
●6割近くが「週に1～2日」、週1日以上遊んでいる子どもは9割近く

遊ぶ頻度については、「週に1～2日（年51日～150日）」が56.2%で最も多く、次いで「週に3日以上（年151日以上）」が31.4%とつづき、週1日以上遊んでいる子どもが87.6%と9割近くを占めている。



《クロス集計結果》

週3日以上遊んでいる子どもは、クラス別では4才児クラス（年中）、通園先別では幼稚園がそれぞれ最も多い。



③ 子どもと定期的に遊んでいるか

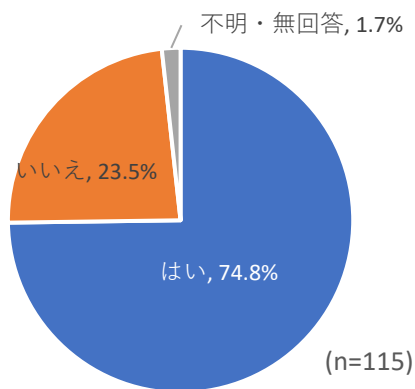
(問4で「いいえ」と回答→以下問7に回答)

問7 保護者の方は、お子様と定期的に遊んでいますか？

●定期的な運動を伴う遊びはできていなくても、7割以上が親子で定期的遊んでいる

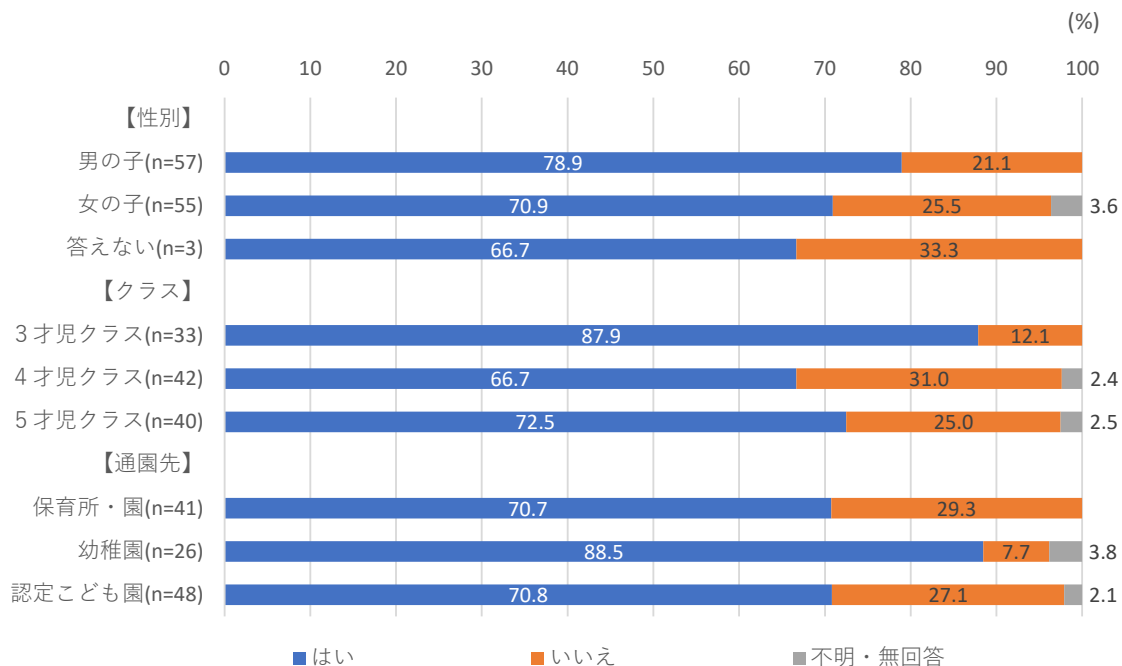
子どもが幼稚園や保育所等以外での定期的な運動を伴う遊びをしていないと回答した保護者に、子どもと定期的に遊んでいるかを聞いたところ、「はい」が74.8%と7割以上が遊んでいると回答している。

一方、2割が「いいえ（定期的に遊べていない）」と回答している。



《クロス集計結果》

親子で定期的遊んでいる子どもは、女の子より男の子で、クラス別では3才児クラス（年少）で、通園先別では幼稚園が多い。

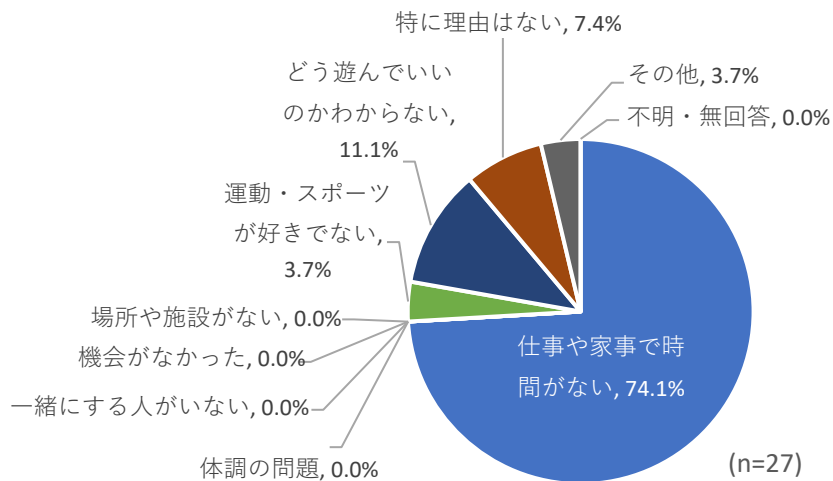


③ - 1 子どもと定期的に遊べていない理由
 (問7で「いいえ」と回答→以下問8に回答)

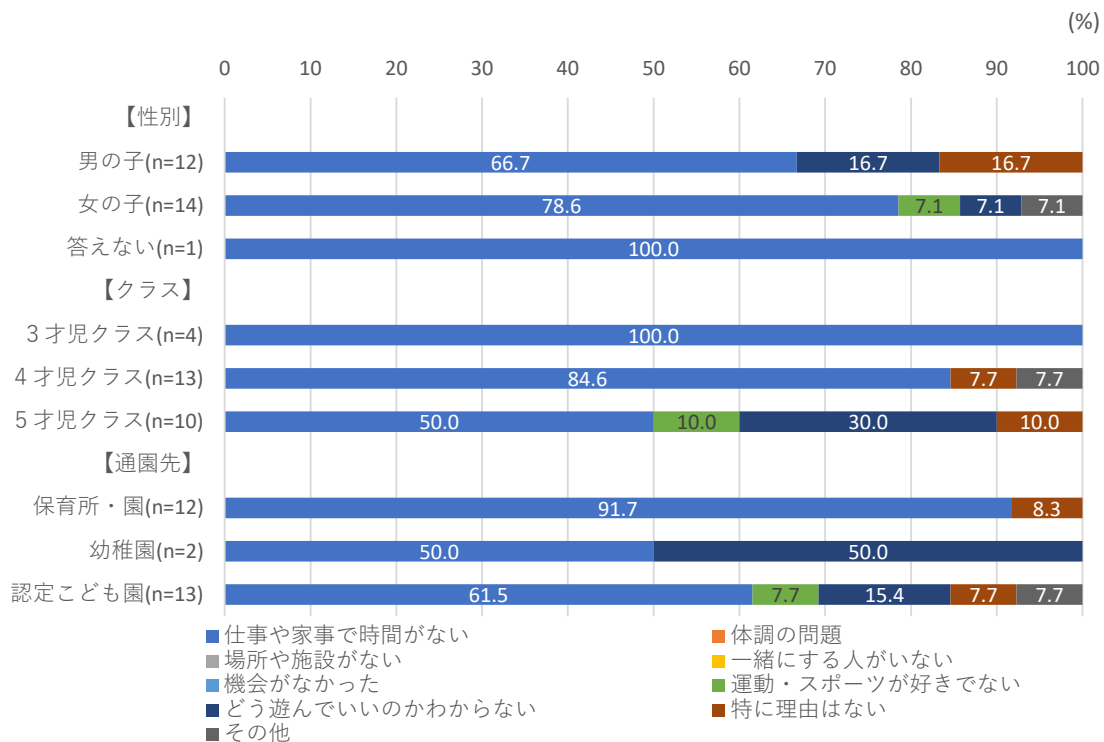
問8 保護者の方と、お子様が定期的に遊べていない場合は、理由をおしえてください。

●7割以上が「仕事や家事で時間がない」

親子で定期的な遊びができていないと回答した保護者にその理由を聞いたところ、「仕事や家事で時間がない」が74.1%で最も多くなっている。また、「どう遊んでいいのかわからない」も1割程みられる。



《クロス集計結果》



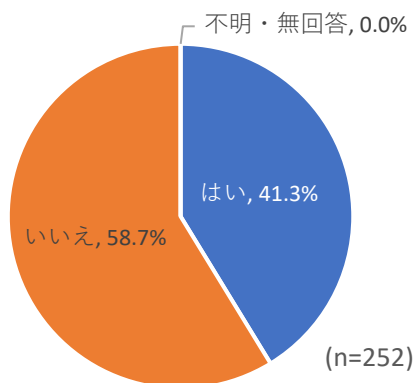
④ 運動・スポーツの習い事

問9-1 お子様の習い事として、運動・スポーツをされていますか？

●4割が運動・スポーツの習い事をしている

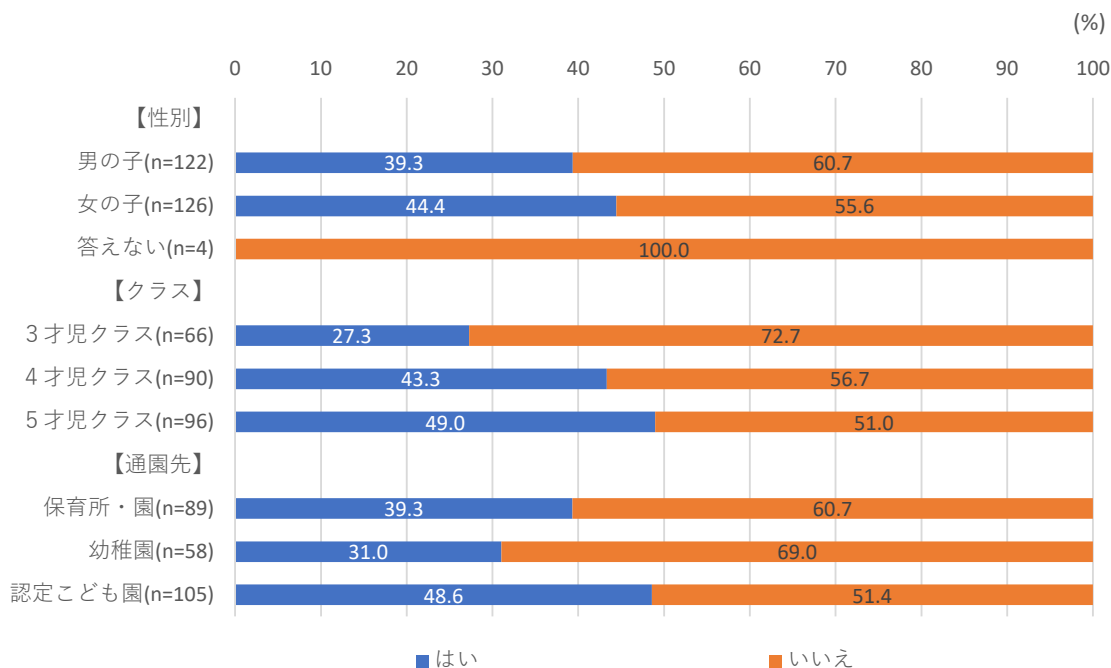
運動やスポーツの習い事については、「はい（している）」が41.3%で、4割が習い事として、運動・スポーツをしていると回答している。

一方、「いいえ（していない）」は58.7%と6割近くを占めている。



《クロス集計結果》

習い事として運動・スポーツをしている子どもは、男の子より女の子で、クラス別では5才児クラス（年長）で、通園先別では認定こども園が多い。



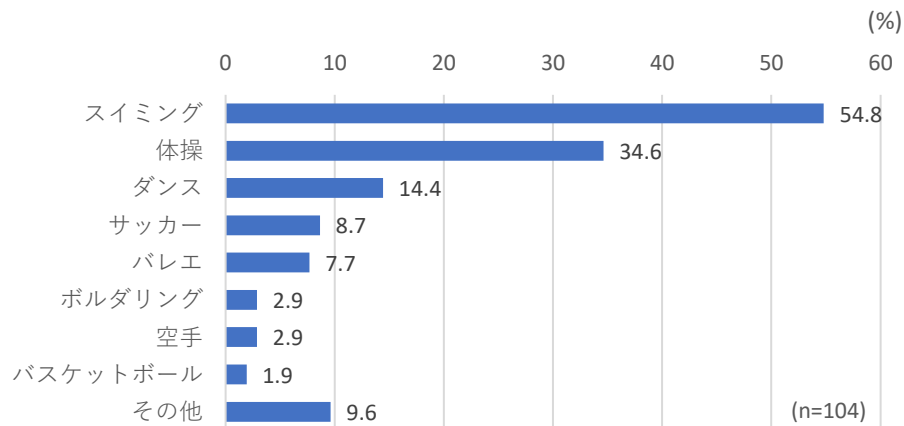
④ - 1 具体的な内容

(問9-1で「はい」と回答→以下問9-2に回答)

問9-2 その内容を教えてください。複数ある場合、主な内容を最大3つまで教えてください。

●半数以上が「スイミング」、体操が3割、ダンスが1割

習い事として運動・スポーツをしていると回答した保護者に、具体的な内容を聞いたところ、「スイミング」が54.8%と最も多く、半数以上があげている。次いで「体操」が34.6%、「ダンス」が14.4%とつづく。



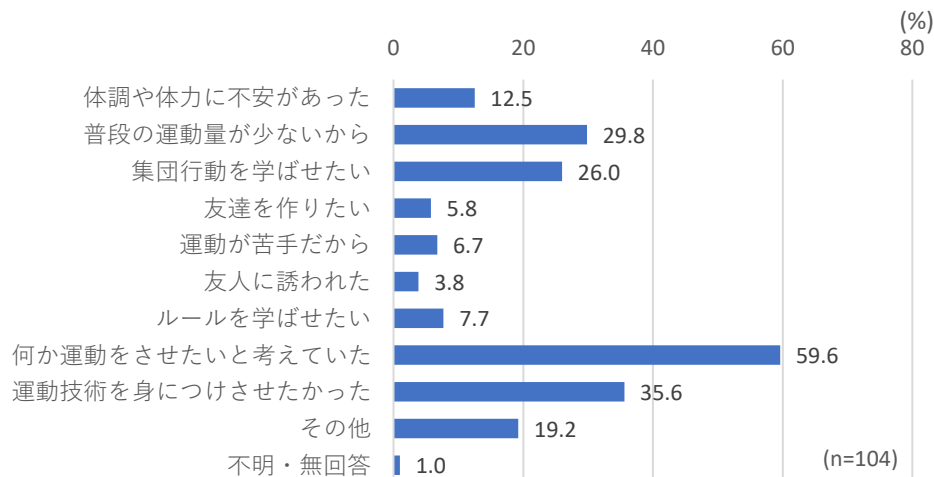
④ - 2 習い事をさせようと思ったきっかけ

(問9-1で「はい」と回答→以下問11~12に回答)

問11 お子様に習い事をさせようと思ったきっかけを教えてください。(3つまで)

●6割近くが「何か運動をさせたいと考えていた」

習い事をさせようと思ったきっかけについては、「何か運動をさせたいと考えていた」が59.6%で最も多く、次いで「運動技術を身につけさせたかった」が35.6%、「普段の運動量が少ないから」が29.8%、「集団行動を学ばせたい」が26.0%と、体力・運動能力の向上だけでなく、集団行動を学ばせたいなど、多岐にわたっている。



《クロス集計結果》

子どもの年齢があがるほど「何か運動をさせたいと考えていた」と回答した割合が増加する傾向がみられ、5才児クラス（年長）は7割を超えている。

	が体な普た集友運友いルい何け運そ不 あ調い段い団団達が動人いとかさ動その他 っやかのの行ををが苦人にルと考運せ技 た体ら運動を作手誘ををえ動た術 力に動量が学ばせ 不安少せ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ	た集友運友いルい何け運そ不 い団団達が動人いとかさ動その他 行ををが苦人にルと考運せ技 動を学ばせ
【性別】											
男の子(n=48)	18.8	25.0	25.0	2.1	4.2	6.3	6.3	56.3	35.4	25.0	2.1
女の子(n=56)	7.1	33.9	26.8	8.9	8.9	1.8	8.9	62.5	35.7	14.3	0.0
答えない(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
【クラス】											
3才児クラス(n=18)	11.1	22.2	27.8	5.6	0.0	0.0	5.6	38.9	33.3	33.3	0.0
4才児クラス(n=39)	10.3	30.8	23.1	5.1	7.7	2.6	7.7	56.4	35.9	17.9	0.0
5才児クラス(n=47)	14.9	31.9	27.7	6.4	8.5	6.4	8.5	70.2	36.2	14.9	2.1
【通園先】											
保育所・園(n=35)	17.1	17.1	25.7	2.9	8.6	5.7	8.6	51.4	22.9	20.0	2.9
幼稚園(n=18)	11.1	44.4	33.3	5.6	5.6	11.1	11.1	72.2	33.3	0.0	0.0
認定こども園(n=51)	9.8	33.3	23.5	7.8	5.9	0.0	5.9	60.8	45.1	25.5	0.0

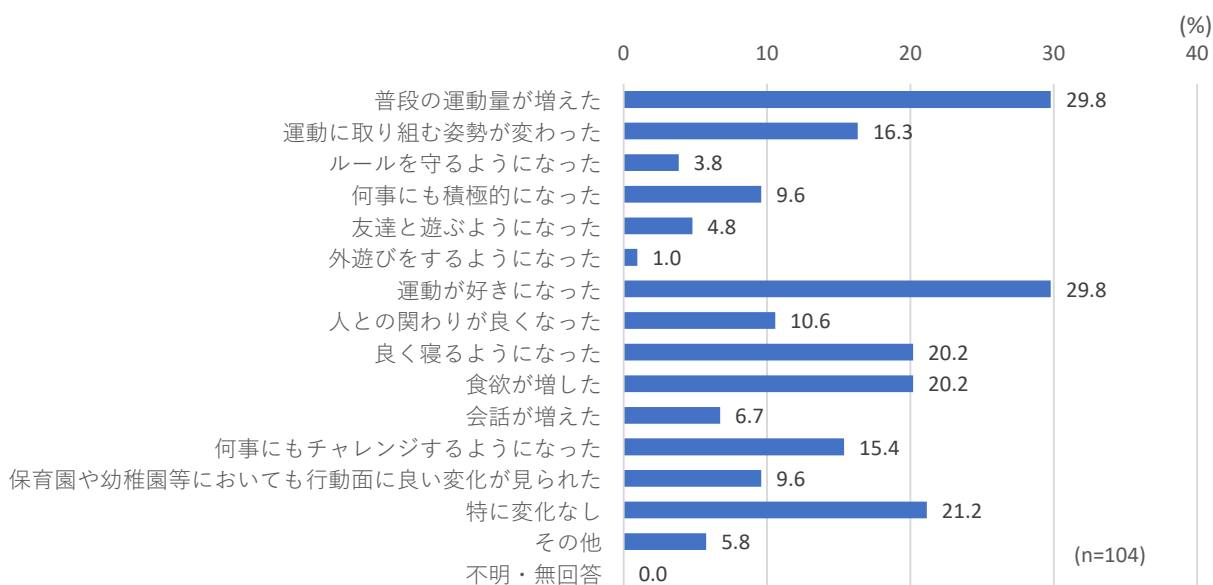
④ - 3 習い事による良い影響・変化

問 12 習い事に参加してから日常生活において何か良い影響・変化がありましたか。

● 普段の運動量の増加、運動が好きたただけでなく、生活や健康面、行動面でもよい影響がみられている

習い事の参加による良い影響や変化があったかについては、「特になし」が21.2%と2割程度で、多くの人何らかの良い影響や変化があったと回答している。

その内容としては、「普段の運動量が増えた」や「運動が好きた」がともに29.8%で最も多く、次いで、「良く寝るようになった」や「食欲が増した」など生活や健康面での変化(ともに20.2%)、「運動に取り組む姿勢が変わった」(16.3%)、「何事にもチャレンジするようになった」(15.4%)など、行動面ややる気などにも影響がみられている。



《クロス集計結果》

男の子や4才児クラス(年中)以上、保育所・園は「運動が好きた」が、女の子や3才児クラス(年少)、幼稚園は「普段の運動量が増えた」が、認定こども園は両方が最も多い。

	普段の運動量が増えた	変化した	運動量が増えた	ルールを守るようになった	何事にも積極的になった	友達と遊ぶようになった	外遊びをするようになった	運動が好きた	人との関わりが良くなった	良く寝るようになった	食欲が増した	会話が増えた	何事にもチャレンジするようになった	化が見られた	保育園や幼稚園等に良い変化が見られた	特に変化なし	その他	不明・無回答
【性別】																		
男の子(n=48)	29.2	12.5	4.2	8.3	6.3	0.0	33.3	8.3	27.1	25.0	8.3	14.6	8.3	22.9	2.1	0.0		
女の子(n=56)	30.4	19.6	3.6	10.7	3.6	1.8	26.8	12.5	14.3	16.1	5.4	16.1	10.7	19.6	8.9	0.0		
答えなし(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【クラス】																		
3才児クラス(n=18)	33.3	22.2	11.1	16.7	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	16.7	11.1	27.8	0.0	0.0		
4才児クラス(n=39)	28.2	10.3	2.6	10.3	2.6	2.6	30.8	12.8	17.9	20.5	5.1	23.1	10.3	17.9	5.1	0.0		
5才児クラス(n=47)	29.8	19.1	2.1	6.4	8.5	0.0	31.9	8.5	25.5	27.7	6.4	8.5	8.5	21.3	8.5	0.0		
【通園先】																		
保育所・園(n=35)	28.6	17.1	0.0	11.4	0.0	0.0	20.0	8.6	8.6	20.0	5.7	17.1	5.7	28.6	2.9	0.0		
幼稚園(n=18)	33.3	11.1	16.7	22.2	5.6	0.0	50.0	22.2	27.8	27.8	5.6	27.8	22.2	5.6	0.0	0.0		
認定こども園(n=51)	29.4	17.6	2.0	3.9	7.8	2.0	29.4	7.8	25.5	17.6	7.8	9.8	7.8	21.6	9.8	0.0		

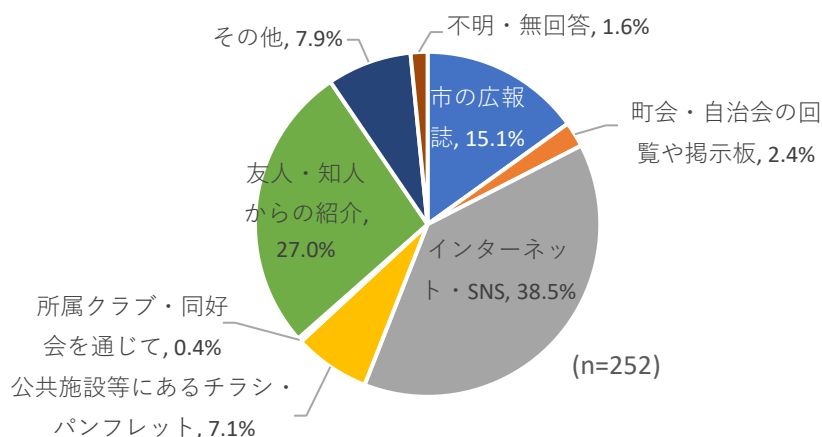
⑤ 子どもの運動やスポーツに関する情報源

問 10 普段、お子様の運動やスポーツに関する情報をどのように入手していますか。

●インターネット・SNS が4割近く 5才児クラス(年長)や幼稚園では、友人・知人からの紹介のほうが多い

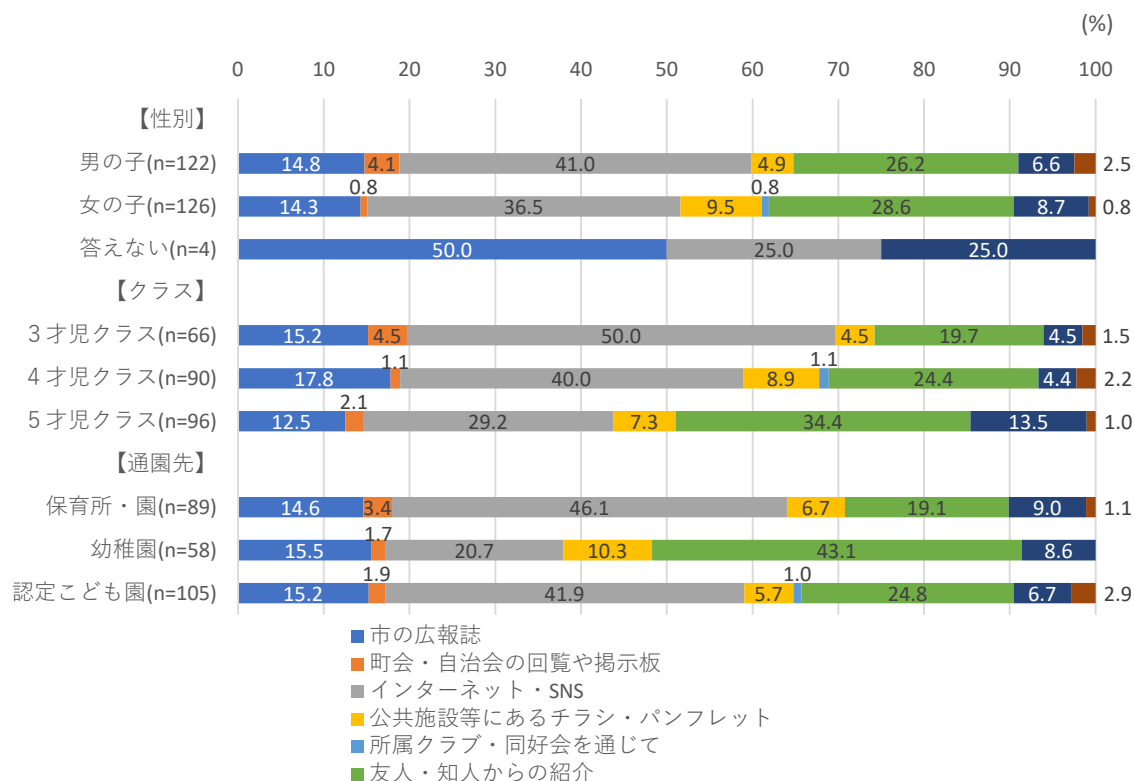
子どもの運動やスポーツに関する情報源としては、「インターネット・SNS」が38.5%で最も多く、次いで「友人・知人からの紹介」が27.0%、「市の広報誌」が15.1%とつづく。

未就学児の保護者は、比較的若い世代が中心ということもあって、「インターネット・SNS」の活用が多いと考えられる。



《クロス集計結果》

4才児クラス(年中)までや保育所・園、認定こども園は「インターネット・SNS」が、5才児クラス(年長)や幼稚園は「友人・知人からの紹介」が最も多い。



3) 岸和田市のスポーツ推進活動について

① 子どもの運動やスポーツに関することで市に期待すること

問 13 お子様の運動やスポーツに関することで、岸和田市に期待することはありますか？

- 小さい子どもや親子一緒に運動・スポーツできる場所・機会の充実
- 共働き世帯の土日や夜間、保育所等でのスポーツイベント・教室の開催などの希望も多い

公園をはじめ、子どもが運動・スポーツができる場所の充実に関する意見が最も多く、そのほか、スポーツを体験できる機会の充実、スポーツ教室・講座等の開催、小さい子どもや親子で参加できるスポーツイベントの充実、学校（幼稚園等を含む）等でのスポーツ機会の充実などの意見が多くあげられている。

また、習い事の送迎ができないため保育所等から通えるスポーツ教室や、保育所等でのスポーツ教室、スポーツイベントや教室についても土日や夜間の開催などを希望する声や、習い事の月謝が高いため市主催の教室等開催や補助金を希望する声も聞かれた。

回答	性別	年齢	通園先
●公園をはじめ、子どもが運動・スポーツができる場所の充実			
運動できる場所欲しい	男の子	4才児	認定こども園
施設を充実させてほしい	女の子	4才児	認定こども園
小さな子どもがのびのび体を動かせる施設があれば嬉しい	女の子	3才児	認定こども園
外遊びや、運動がたくさんできる環境づくり	男の子	5才児	認定こども園
(公園の充実、遊具の充実)			
走り回って遊べる安全な公園	男の子	5才児	認定こども園
子どもが安心して遊べる公園・屋内施設があればいいと思います。近場にはそういった楽しんで遊べる公園はなく、公園があっても整備があまりされていないので子どもを楽しく遊ばせようとは思えません。	女の子	5才児	認定こども園
年齢層に沿った、遊具で遊べる公園を増やしてほしい。幼児なら小さい子用のブランコや小さい遊具。小学生なら、フワフワドームやアスレチック系の遊具。高学年なら、スケートボードスペースやバスケットゴールスペース、ゆっくりできるベンチなど。	女の子	5才児	認定こども園
子どもが遊んで楽しい遊具がない。だから携帯電話やゲームなどして体力が落ちていく。	女の子	4才児	幼稚園
1、2歳くらいの子向けの遊具のある公園が少ない	女の子	5才児	保育所・園
たくさんの遊具がある公園を作ってほしい	女の子	5才児	認定こども園
岸和田は遊具に特化した公園がなさすぎる。スケートボードや、バイクなどオリンピック競技になったのだし、岸和田は競技者が、多いのだからそのスペースを作ってあげてほしい。現状小さい子供がいる場所でスケートボードやっていて危険。	女の子	5才児	認定こども園
公園に、身体を動かす遊具が欲しい。数が、あまり無くて遊びづらい。	男の子	3才児	認定こども園
公園の遊具が増えて欲しい	女の子	5才児	保育所・園
公園は滑り台とブランコばかりなので、シーソーやジャングルジムなどを増やしてほしい	男の子	4才児	保育所・園
近くで、遊具の充実した大きな公園がほしい。	女の子	4才児	認定こども園
蜻蛉池公園以外の大きな遊具のある公園	男の子	5才児	認定こども園
大きな遊具や走り回れる広い広場のある公園「蜻蛉池公園以外」	女の子	3才児	認定こども園
屋外公園は、郊外だけでなく、自宅から自転車で行ける場所に芝生広場が欲しい。遊具が無くても 子どもは遊び方を考えて楽しむ事が出来る。	男の子	5才児	認定こども園
公園が小さく子どもたちが遊ぶのに窮屈そう	女の子	4才児	幼稚園
雨天時でも、子どもが思い切り走り回れる屋内公園の設立を希望する。	男の子	5才児	認定こども園
無料の公園を増やして欲しい、山手に	女の子	5才児	認定こども園
運動施設（大型公園含む）の増設及び修繕	男の子	4才児	認定こども園
(公園の管理・清掃等)			
もっと公園を綺麗にして欲しい 遊具も老朽化も目立つので安全面の対策もして欲しい	女の子	3才児	保育所・園

回答	性別	年齢	通園先
古い遊具は安全衛生のために新調してほしい。その際保護者や専門家の意見を集めて子どものためにより良い遊具にしてほしい。	男の子	4才児	認定こども園
遊具が古いので公園の整備をして欲しい	女の子	5才児	保育所・園
幼児が安全に遊べるよう遊具の点検をしてほしい	男の子	4才児	認定こども園
中央公園に大きな遊具	女の子	3才児	認定こども園
中央公園に大きな遊具や大きな遊び場	男の子	5才児	認定こども園
今後も子供が遊べる公園は取り壊さず維持してほしい	男の子	4才児	認定こども園
今ある公園の整備、掃除	女の子	5才児	認定こども園
公園のトイレの整備等	女の子	4才児	認定こども園
公園の雑草をどうにかしてほしい	男の子	3才児	認定こども園
公園の草むしりなどの環境整備	男の子	3才児	認定こども園
犬のフンなど衛生面が気になり公園に行きづらいのでシルバー人材などで定期的に整備してほしい。また、遊んだ後に手洗いでできる水道がほしい。	男の子	4才児	認定こども園
(スポーツ施設等の充実)			
家の近所に夕刻に通えるスポーツ施設を運営してほしい。	女の子	4才児	認定こども園
運動できる設備無料で提供	男の子	4才児	認定こども園
子ども達が楽しめる運動施設を作してほしい。	女の子	4才児	保育所・園
てんとう虫パークみたいな室内スポーツパーク	女の子	3才児	認定こども園
岸和田に陸上クラブを。陸上競技場をつくってほしい。	男の子	5才児	幼稚園
アイススケートができる場所があったらいい。	男の子	4才児	認定こども園
近隣の市はどれも人工芝グラウンドがあるのに、岸和田だけがない。一つくらいあってもいいのでは。	女の子	4才児	幼稚園
芝生のグラウンド	女の子	3才児	保育所・園
春木体育館を復活させてほしい	女の子	5才児	幼稚園
真夏や雨が降ると公園に行けないので、支援センターのような子どもが屋内で遊べる施設がほしい。(ショッピングモールのキッズコーナーのような)	女の子	4才児	幼稚園
夜にランニングできるような施設や、道が30号線より山手にはない。または暗くて利用できない	女の子	5才児	幼稚園
(ボール遊び)			
だんだん子ども達がボールで遊べる公園がなくなっている。	女の子	4才児	幼稚園
ボールを使える公園や広場が少ないので、増えると嬉しい	女の子	4才児	保育所・園
ボール遊びが出来る場所を作って欲しい。公園でもボール遊びが出来ないところが多い。	男の子	5才児	認定こども園
バスケットゴールの増設	女の子	5才児	認定こども園
岸和田市内で、卓球、バスケット、硬式野球の競技ができる環境が少ないので、子供がやりたいことにすぐ挑戦できる環境を作って欲しい。本人が興味があっても岸和田市内や近くにその環境が無ければ、本人のやりたい気持ちがあっても、両親仕事もしていることもあり、応援や挑戦をしてあげられない。	男の子	4才児	保育所・園
(公園利用のルールやマナー)			
ちゃんとルールに従って遊ぶスペースがないから、コンビニでたむろしたり、悪いことに手を出したりすると思う。あと、幼児の為にいつでも遊べるおもちゃが置いてある部屋、育児センターなど解放してほしい。大阪府ならあって自由に出来る場所があったのに、岸和田市は予約制でハードルが高く、行きにくい。	女の子	5才児	認定こども園
近くの公園で土日など定期的に遊ばせたいが、小学生高学年ぐらいの子どもたちが遊具で小さい子にとっては危険な遊びをするので安心して遊ばせられるような対策を検討してもらいたい。	女の子	4才児	認定こども園
小学生と幼稚園生と一緒に遊ぶと事故が怒りそうで怖くて、小学生がくると怖くて帰っている	女の子	4才児	幼稚園
●イベントの開催			
イベントを開催して欲しい	男の子	5才児	認定こども園
積極的にイベントを開催してほしい	女の子	4才児	認定こども園
カンカンでスポーツのイベントをしていたのはすごく楽しかったのでまた企画をして欲しいです	男の子	3才児	認定こども園
とんば池公園や中央公園で2ヶ月に一度ぐらいでキッチンカーやマジシャンなどのイベントを開催頂ければ、同時に公園で遊びが出来る	女の子	5才児	保育所・園
中央公園でやってた逃走中みたいなイベントをやしてほしい	男の子	5才児	幼稚園

回答	性別	年齢	通園先
中央公園などでイベント開催	男の子	5才児	認定こども園
運動会みたいイベント	男の子	4才児	認定こども園
スポーツ大会	男の子	5才児	幼稚園
小学校対抗の陸上大会をひらいてほしい。	男の子	5才児	幼稚園
子供向けのイベント	男の子	5才児	認定こども園
子どもと一緒に参加できる市民マラソンを開催して欲しい	男の子	5才児	認定こども園
岸和田市が主催する親子スポーツイベントがあれば、是非参加したい	女の子	4才児	保育所・園
親子で参加できるスポーツイベントを増やしてほしい。	男の子	5才児	認定こども園
体力に自信のない親子でも参加しやすい催しがあれば嬉しい。子どもの体調や機嫌に合わせて当日自由に参加、見学など選べるとありがたい。	女の子	3才児	認定こども園
子供会に入っていないなくても参加できるシステムにしてほしい。	女の子	4才児	保育所・園
自治会や子供会に入っていないなくても参加出来るイベントがあれば嬉しいです	女の子	4才児	認定こども園
手軽にスポーツに触れる機会のあるイベントや行事を増やして欲しい	男の子	4才児	認定こども園
就学前児童が参加できるスポーツイベント	男の子	4才児	認定こども園
休日に子供が運動できる催しをしてほしい	女の子	4才児	認定こども園
無料で子どもに運動を体験させてあげられるイベントの開催	女の子	5才児	保育所・園
無料でスポーツイベント	男の子	3才児	認定こども園
無料で取り組めるイベントや遊具をふやしてほしい	女の子	4才児	保育所・園
●スポーツを体験できる機会等の充実			
気楽に参加できる場所がもっと多く、周知されたらいいなと思う	女の子	5才児	幼稚園
気軽に通える場がほしい	女の子	4才児	保育所・園
スポーツの体験が出来たら自分にあったスポーツの選択も出来そう	男の子	3才児	認定こども園
スポーツ体験ができる機会を定期的に開催して欲しい	女の子	3才児	認定こども園
スポーツ体験会を開いて、一日でいろいろなスポーツに参加して、スポーツに興味を持たず機会を設けてほしい	女の子	4才児	認定こども園
スポーツ活動を通じて得られるものは多いと思います。その機会を公の機関を通してより多く作ってあげてほしい	男の子	3才児	保育所・園
運動できる機会をふやしてほしい	女の子	3才児	幼稚園
もっと運動する機会を増やしてあげたい	女の子	5才児	保育所・園
色々な体験の機会をもっと増やしてほしい	男の子	5才児	保育所・園
運動やスポーツを気軽に体験できる機会をつくってほしい（特に土日）	男の子	3才児	保育所・園
家や公園では出来ないスポーツをさせてあげたい	女の子	4才児	認定こども園
仕事をしていると広報に記載されている運動あそびなどに参加するのは厳しいので土日にも機会を設けていただくか園に体験のような形でできる機会をつくってほしい	男の子	3才児	保育所・園
体操教室などの開始時間を遅い時間の設定を設けてほしい。働いているので、日中連れてはいけない。	男の子	4才児	保育所・園
体操教室を身近な公民館で開催して欲しいです	男の子	3才児	幼稚園
体操教室を増やしてほしい。	女の子	5才児	認定こども園
体操教室を夕方の時間帯で市民センターでやってほしいです。	女の子	4才児	幼稚園
●スポーツ教室・講座等の開催			
市が中心となりスポーツ習い事の会を定期的に開催してほしいです	女の子	5才児	認定こども園
子供がスポーツに触れ合えるように無料もしくは低価格でできる施設や、習い事を市主催で開催して欲しい	女の子	3才児	保育所・園
市町村主催のスポーツ体験等、習い事の検討や、子供の協調性等を見る機会があれば嬉しい	男の子	3才児	保育所・園
自然教室(親子で参加出来るようなバードウォッチングや昆虫採取等々が増えたら嬉しいです)	男の子	5才児	認定こども園
自転車教室や一輪車教室が、増えたら嬉しいです。	男の子	5才児	認定こども園
小さい子供（1歳～4歳ぐらい）が参加できる体操やスポーツなどの教室や催しを増やしてほしいです。	男の子	4才児	認定こども園
幼児から受け付けてくれるスポーツ教室を体大やスポーツクラブなどと組んでたくさんつくってほしい。	男の子	4才児	保育所・園
マラソン教室があったら参加してみたいです。	男の子	5才児	認定こども園
子供向けの体操教室	男の子	5才児	認定こども園
旭、太田校区の公民館では、幼児向け講座が開催されていないのでぜひして欲しいです。	男の子	3才児	幼稚園

回答	性別	年齢	通園先
市の施設で体操とか教えて欲しい	女の子	3才児	保育所・園
市の体育館や運動場でしている運動教室をもっと増やしてほしい	男の子	5才児	幼稚園
体育館で通いやすい価格で運動できる教室などあれば嬉しいです	女の子	5才児	認定こども園
市営のスイミングスクール、ジムを開設してほしい。忠岡のような。	男の子	4才児	認定こども園
以前、中央公園でミズノが主催の「逃走中」や「マラソン教室」に参加し、子供も楽しそうに参加していました。そのようなイベントがあると良いと思います。	女の子	3才児	認定こども園
就学前でも参加できる公民館のこども講座を休日にして欲しい。	女の子	3才児	保育所・園
共働き世帯でも平日の日中に習い事に通えるように、通っている保育園までのお迎えサービスがあれば嬉しい。	男の子	5才児	保育所・園
仕事をしているので夕方から行われるさまざまな運動教室を開いてほしい。	女の子	4才児	保育所・園
働いていても通わせれる運動系クラブ	男の子	3才児	認定こども園
親の都合で送迎が難しくても子供がスポーツできる環境が欲しい	女の子	4才児	認定こども園
共働き世帯なので、夜7時からがベストですが…	男の子	5才児	認定こども園
時間の融通がきく習い事	女の子	5才児	保育所・園
公民館とかの運動クラブをもっと盛んにしてほしい。土日の種類を多くして下さい。	女の子	4才児	認定こども園
土日に開催される スポーツ教室 体育館での体操やダンス 単発でも参加できる内容だと嬉しい	女の子	3才児	認定こども園
土日のイベントや教室をしてほしい。平日のイベントや教室がほとんどなので参加したくてもできないため。	女の子	4才児	保育所・園
平日は仕事で習い事へ連れて行けないので、土日にも市で習い事を開いて欲しい。	女の子	3才児	保育所・園
堺みたいに、一日で乗れるようになると評判の自転車教室？講習を定期開催	男の子	5才児	認定こども園
夏の期間、プールを毎日開けて欲しいです。はちまんプールなどほとんどしまっています。	女の子	5才児	認定こども園
校区の市民プールがほとんど開いていなくて残念。中央公園のプールへ連れて行くのが大変なので、大人ひとりでも気軽に連れていける校区内のプールをもっと利用出来る様にしてほしい。防災防災というわりに、個々の水泳能力を付ける夏の機会を奪わないでほしい。	女の子	4才児	保育所・園
定期的な指導をしてほしい。週1とか。	男の子	4才児	保育所・園
中央公園や蜻蛉池公園や競輪場などで自転車の指導や海、山、川、や自然の体験を教えてください	男の子	3才児	保育所・園
●習い事の月謝が高い・補助希望			
月謝が安いスポーツの習い事を作って欲しい。	女の子	3才児	幼稚園
月謝が高い 7千円前後がほとんど	男の子	4才児	保育所・園
習い事が正直値段が高くて驚いている。市でリーズナブルな価格で参加できるクラブがあれば有難い	男の子	4才児	認定こども園
習い事になると費用がかさむのであまり費用をかけずにできたらいいと思う	男の子	3才児	認定こども園
習い事に関してお金がかかり過ぎて、諦めてしまう事もあるので、月謝の補助金などがあれば有難いです。	男の子	3才児	認定こども園
習い事の補助が出てくれたら助かる	女の子	5才児	保育所・園
習い事への助成金	女の子	4才児	保育所・園
スイミングなどの運営施設に補助金を。(お月謝の値上がり最近あったので運営大変なのだと思います)	男の子	5才児	認定こども園
スポーツの習い事への補助(必要な用具を無料でレンタルできるサービスなど)があれば、子どもに気兼ねなく色々なスポーツにチャレンジさせることができます。	男の子	5才児	認定こども園
スポーツの習い事費用が高いので、安く習わせられるスポーツがあると助かります	男の子	5才児	認定こども園
安く習える所を作って欲しい	男の子	4才児	認定こども園
近くに安く通えるものがあれば嬉しい まずは体験会などしてもらえれば行きやすいのかもしれない	女の子	3才児	認定こども園
教育に関わる費用が増加しているので、比較的安価で受けられる体操教室(長期休み限定とかでも)の開催など、多様であればと思います	男の子	5才児	認定こども園
格安で運動できる場所があれば嬉しい	男の子	5才児	認定こども園
無料でかけっこ教室	男の子	3才児	認定こども園
無料でスポーツを学べる場があると嬉しいです。	女の子	3才児	保育所・園

回答	性別	年齢	通園先
無料で体操教室	男の子	3才児	認定こども園
無料のダンス教室	男の子	3才児	認定こども園
無料体験講座など、新しく運動に触れ合う機会を作ってほしい。	女の子	5才児	認定こども園
●スポーツに関する情報の周知・充実			
そして情報が仕事をしているとなかなか入ってこないし知った時にはもう休めない、とかなどで行けないので早くに情報を知れるようにしてほしい	女の子	3才児	認定こども園
もっと情報がほしい	女の子	4才児	保育所・園
情報があまり入ってこないため、積極的に、保育所や学校などに情報提供や情報が掲載されたお知らせが欲しい。	男の子	4才児	保育所・園
地域別に、習い事一覧の作成	女の子	4才児	保育所・園
幼稚園や保育園で運動系のイベントがある時はチラシを入れて欲しい(自治会に入っていないので回覧が回ってこない)	男の子	4才児	幼稚園
地域の野球やサッカー人口の減少に伴い、募集の掲載の協力	女の子	4才児	保育所・園
●地域スポーツ団体の設立・育成			
バレーボールクラブを作ってほしい。子どもに団体競技を検討したが、選択肢が岸和田では少なすぎる。もっと沢山のスポーツを市内で選択できるようにしてほしい!!!例えばドッジボール、アメフト、ラグビー、バレーボール、陸上	男の子	5才児	幼稚園
市のスポーツクラブを増やして欲しい	女の子	3才児	保育所・園
●学校等での運動・スポーツができる環境づくり			
学校(幼稚園)を通じた取り組み	女の子	5才児	幼稚園
幼稚園でも運動を教えてもらえたりすると嬉しい	女の子	4才児	幼稚園
全ての保育園やこども園で体操だけでも保育カリキュラムに取り入れてほしい。	女の子	4才児	保育所・園
幼稚園では習い事が多くあるが、こども園にも、習い事を兼ねられると良い	男の子	5才児	認定こども園
学童の時にスポーツの習い事を開催してほしい	女の子	4才児	認定こども園
保育園児が通える時間帯の習い事も考えてほしい。どれも、早い時間帯で習いに行きたいのに無理と諦める事が多いので。	男の子	3才児	保育所・園
公立幼稚園からも、そのまま送りでもできるスポーツなどをして欲しい。兄弟などがある場合、そこが難しくて習い事させるのに抵抗ある。	女の子	3才児	幼稚園
こども園から、運動の習い事に参加できるようなシステムづくり	男の子	5才児	認定こども園
送り迎えが出来ないので、色々させてあげられない	男の子	5才児	認定こども園
保育所にお迎えに来てくれて習い事にいけるとか	女の子	5才児	保育所・園
保育所等(小学校でも)で専門の体操講師などに来てもらってスポーツ教室を保育の一環として行う	男の子	5才児	保育所・園
有料でも希望者だけでも、保育園課外などで受けられる運動系クラブ	男の子	3才児	認定こども園
学校でもサッカーボールを蹴れる環境を作ってほしい	男の子	5才児	幼稚園
学校水泳の回数を増やして欲しい	女の子	5才児	幼稚園
色々なスポーツが近くの公園、小学校などで身近に始められたらいいと思います。また、学童の時間に小学校でできるスポーツ事業があれば、働く親にとってとても助かります。市をあげてスポーツがさかんな町にしたいです。	男の子	4才児	認定こども園
最近学校の運動部の顧問がいなくてやりたい部活ができないと聞いたのでそう言うのをなくしてほしい!外部顧問を募って再開させてあげてほしい!	男の子	4才児	幼稚園
小学生になるまでに逆上がりができる環境を作ってくれること。	男の子	3才児	保育所・園
和泉市のようにスイミングにもっと力を入れて夏休み中の講習を、もっと増やしてほしい	男の子	5才児	幼稚園
地域によって放課後の活動にばらつきがある。	女の子	4才児	保育所・園
土曜日や日曜日に校区の学校体育館でスポーツを教えてくれたらいいと思う	女の子	5才児	幼稚園
●市による子どものスポーツ推進方針について			
スポーツに関する事を聞いてくれましたが、子育てにおいても他の市と足並みを揃えて欲しいです	男の子	3才児	保育所・園
すみませんが、岸和田市だけスポーツにおいても子育て支援についても施設においてもサービスが遅れています。だから他の市までネットで探して遊びに連れて行っています。他の市ではしめ縄やピザ、バーベキューや焚き火、キャンプや鳴く虫探し、鳥を探したり、山に登ったり、川に行ったり、海に行ったり、カニを探しに行ったり、いろいろあります	男の子	3才児	保育所・園
岸和田市がスポーツや運動に力を入れてもらいたい	男の子	4才児	認定こども園
子どもたちがこれからものびのび運動ができるようにしてほしい	男の子	4才児	幼稚園

回答	性別	年齢	通園先
同学年だけではなく、いろいろな世代と交流できる機会が欲しい	女の子	4才児	認定こども園
スポーツを通して人間性の強化。	女の子	4才児	保育所・園
礼儀	女の子	4才児	保育所・園
特に無いので他の事にお金を使って欲しいです。0歳から3歳の保育園代が高すぎます。	女の子	5才児	認定こども園
他市のように、プールの民間委託をしてほしい。	女の子	5才児	認定こども園
子連れで気軽に行けるように道路の安全化	男の子	4才児	認定こども園
補助金	男の子	5才児	幼稚園
●その他			
サッカー	女の子	5才児	認定こども園
サッカー	男の子	5才児	保育所・園
モータースポーツ	男の子	3才児	保育所・園
水泳	女の子	5才児	認定こども園
陸上	女の子	5才児	認定こども園
ダンスを取り入れる	男の子	5才児	幼稚園
外で積極的に遊ばせる	男の子	5才児	幼稚園

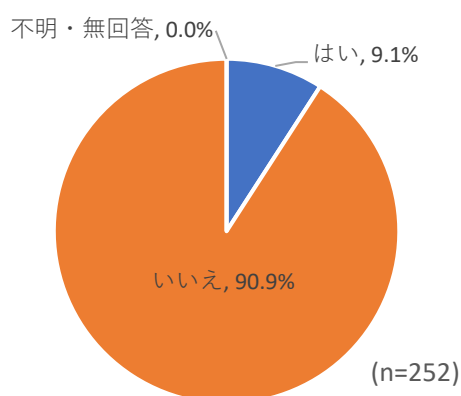
② 市が行っているスポーツイベント等への参加

問 14 お子様、岸和田市で行っているスポーツイベント（グランドゴルフ体験会・ウォークラリー・ファミリー登山等）や、市のスポーツ施設で行われている、スポーツ教室に参加したことがありますか？

●ほとんどが参加したことがない

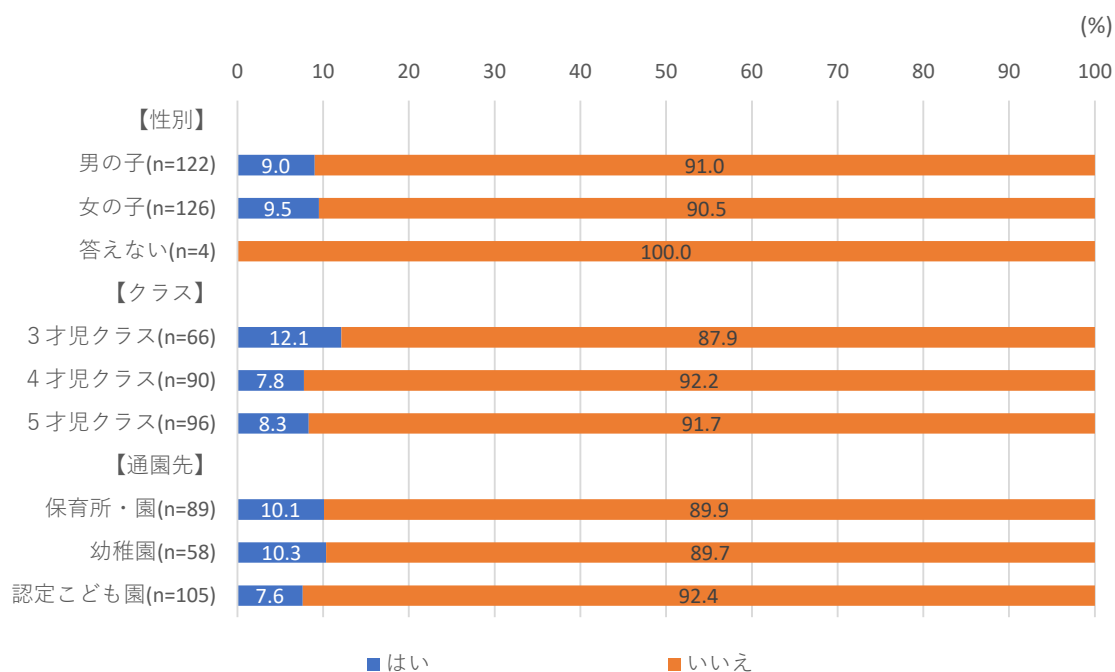
市が行っているスポーツイベントやスポーツ教室に参加したことがあるかについては、「いいえ」が90.9%で、ほとんどの人が参加したことがないと回答している。

「はい（参加したことがある）」は9.1%と、1割未満である。



《クロス集計結果》

3才児クラス（年少）で、市が行っているスポーツイベントやスポーツ教室に参加したことがある子どもが比較的多く、1割を超えている。

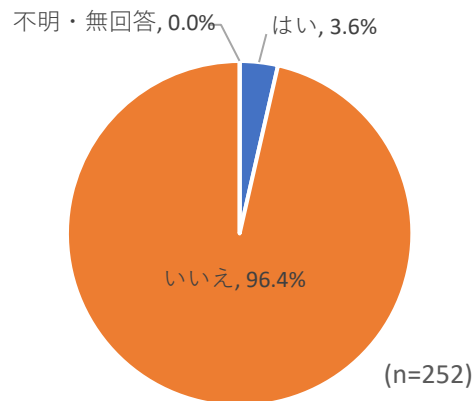


③ 「大阪体育大学」との連携協定の認知度

問 15 市では、地域住民の健康づくり及び地域の活性化に向けて、相互の連携を推進するため「大阪体育大学」と連携協力の協定を結んでいることをご存じですか？

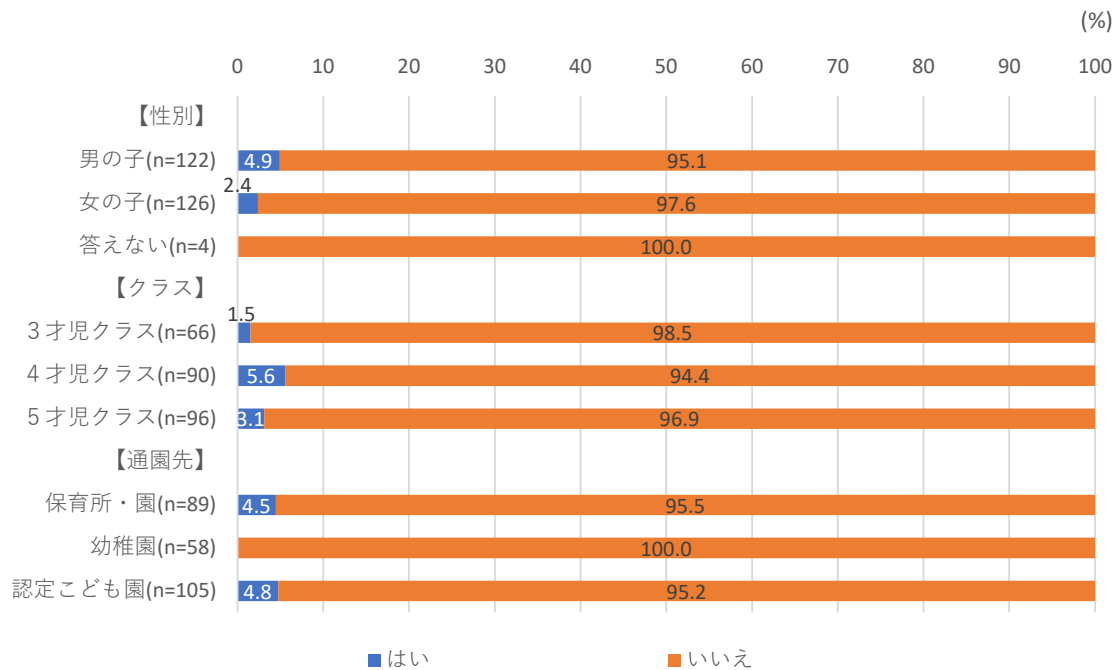
●ほとんどの人に知られていない

「大阪体育大学」との連携協定の締結について知っているか聞いたところ、「いいえ」と回答した人が96.4%で、ほとんどの未就学児の保護者に知られていない。認知度は、わずか3.6%であった。



《クロス集計結果》

女の子、3才児クラス（年少）、幼稚園で、「知らない」と回答した保護者が特に多い。



③-1 子どもの運動・スポーツについて「大阪体育大学」に教えてもらいたいこと

問 16 お子様の運動・スポーツ(全般)について「大阪体育大学」に教えてもらいたいことはありますか？

●基本的な体の使い方や基礎体力づくり、運動が楽しくなり、苦手意識が克服できる指導が望まれている

「大阪体育大学」に教えてもらいたいこととしては、基本的な体の使い方や基礎体力づくりのほか、具体的には早く走る方法など「走り方」や鉄棒、マット運動、跳び箱など、小学校の体育での種目についてのポイント、運動が楽しくなる、苦手克服に向けた指導、またスポーツに向かう姿勢や礼儀などを教えてほしいと望む声も聞かれる。

指導方法・形態としては、学校等への出前授業（授業枠内でのスポーツ教室）など、継続した指導を望む声あげられている。

回答	性別	年齢	通園先
●具体的な種目等			
スポーツ全般	男の子	5才児	幼稚園
基礎体力づくり	男の子	5才児	幼稚園
基礎体力作り	女の子	4才児	保育所・園
基礎的な体の使い方(跳び箱鉄棒体操など)	男の子	3才児	保育所・園
体の使い方	男の子	5才児	保育所・園
自分の体の使い方(走り方や縄跳びの仕方、でんぐり返りの仕方など)を教えてあげて欲しい	男の子	4才児	幼稚園
身体の体幹や基礎運動のやり方	男の子	3才児	保育所・園
基本的な運動遊びを教えて欲しいです。	男の子	3才児	幼稚園
運動神経を良くするためには普段どのようなことをしたら役立つか。	男の子	4才児	保育所・園
お兄ちゃん(10歳)にはもっとストレッチや身体のつくり方を教えてあげれる機会がほしい。	男の子	5才児	幼稚園
柔軟	男の子	3才児	認定こども園
柔軟性の大切さ、身体づくりについて。	男の子	4才児	認定こども園
体幹の鍛え方	女の子	3才児	保育所・園
体幹を鍛えるには	男の子	5才児	幼稚園
全身運動	女の子	4才児	保育所・園
逆上がりのコツや、早く走るコツ	男の子	5才児	認定こども園
早くはしる方法	女の子	4才児	保育所・園
早く走る方法。	女の子	4才児	認定こども園
早く走る方法など、コツ的なものがあれば教えてほしい	男の子	5才児	幼稚園
早く走れるように教えてもらいたい。	男の子	4才児	保育所・園
子供にとって足が速いは人気者になれるステータスです。	男の子	4才児	保育所・園
走り方	男の子	3才児	認定こども園
走り方	男の子	4才児	保育所・園
走り方	男の子	5才児	幼稚園
走り方の指導	女の子	5才児	認定こども園
走り方や、鉄棒	女の子	3才児	保育所・園
走り方やボールの投げ方など。	女の子	5才児	認定こども園
走り方教室	女の子	4才児	認定こども園
走り方教室	男の子	4才児	保育所・園
走る事？	男の子	5才児	認定こども園
息子がマラソンに興味があり、一緒に走ったりしたこともあります。でも、ただ走るだけになってしまっていて、トレーニング的なことを教えてもらいたいです。	男の子	5才児	認定こども園
器械体操のコツや走り方など	女の子	3才児	保育所・園
ボール投げ方	男の子	3才児	認定こども園
ボール遊びが好きになる方法。	女の子	4才児	認定こども園
スイミング	男の子	3才児	保育所・園

回答	性別	年齢	通園先
水泳	女の子	5才児	認定こども園
水泳	女の子	5才児	幼稚園
鉄棒	女の子	5才児	認定こども園
鉄棒	男の子	5才児	幼稚園
鉄棒	女の子	5才児	幼稚園
鉄棒	男の子	4才児	幼稚園
鉄棒、マット運動等の体操	男の子	4才児	認定こども園
鉄棒やマット運動	女の子	5才児	認定こども園
マット運動	男の子	5才児	幼稚園
バク転	男の子	5才児	幼稚園
鉄棒や側転、跳び箱などのコツ	男の子	4才児	保育所・園
とびばこ	女の子	3才児	保育所・園
跳び箱	男の子	4才児	幼稚園
体操	女の子	5才児	保育所・園
体操	女の子	5才児	認定こども園
体操	男の子	3才児	保育所・園
体操	女の子	5才児	認定こども園
体操	女の子	4才児	保育所・園
体操	女の子	3才児	幼稚園
体操？	男の子	5才児	認定こども園
ラジオ体操。	女の子	4才児	認定こども園
なわとび	女の子	5才児	認定こども園
縄跳び	女の子	3才児	保育所・園
縄跳び	男の子	4才児	幼稚園
トランポリン	男の子	5才児	幼稚園
ダンス？	男の子	5才児	認定こども園
球技	女の子	3才児	認定こども園
ドッチボールなど	男の子	4才児	幼稚園
空手。	男の子	5才児	幼稚園
例えばボール投げや早く走るコツ、縄跳びや跳箱など苦手意識を克服できれば体を動かして遊んだり体育の授業が好きになったりすると思う。	男の子	4才児	認定こども園
子供達がよくやりたがる、上手になりたい、早く走りたい等言う事が多いので。	男の子	5才児	幼稚園
走ったり、ボールを投げたり、蹴ったり、登ったりする時の基本的なポイントなど。	女の子	3才児	認定こども園
小学校、中学校でされる縄跳び、鉄棒等テスト項目に出る所を教えてください	男の子	3才児	保育所・園
走るフォームや野球などの玉の投げ方などの体の動かし方のコツが知りたいです。	男の子	5才児	幼稚園
習い事で人気の水泳、ダンス、鉄棒やマット運動等の体操など。	女の子	3才児	認定こども園
普段子供達が園・学校生活中によくする運動のポイントを教えてください	男の子	5才児	幼稚園
小学校の体育に対応した事を教えてください	男の子	4才児	幼稚園
園や学校で行う遊びや授業で得意なことを習得できる教室があればと思う。	男の子	4才児	認定こども園
学校で教わってもできないことをゆっくり教えてください。	女の子	5才児	認定こども園
(スポーツの楽しさ)			
苦手、嫌いとする子供へのアプローチ方法	女の子	5才児	幼稚園
体を動かすことの楽しさ	女の子	3才児	認定こども園
体育、運動が好きになる方法。	女の子	4才児	認定こども園
運動の楽しさ。私は運動が苦手なので子供に伝えてあげられないです。	男の子	5才児	認定こども園
未就学児にはスポーツの楽しさを経験できるような遊びを交えたスポーツの楽しみ方を学べる場があったらいいと思う。	男の子	5才児	幼稚園
(姿勢)			
姿勢がもたらす良いところ、悪いところ	女の子	4才児	保育所・園
姿勢や運動の重要性についてや、健康との関連性などについて学びながら、子供が楽しめる遊び。	女の子	3才児	認定こども園

(家でもできる運動)			
お家でできる簡単な体力づくり。	男の子	5才児	認定こども園
部屋のなかで出来る体を有効的に動かす方法を教えてほしい。	女の子	4才児	幼稚園
普段取り入れる事が出来そうな、遊び感覚で出来る運動。	女の子	4才児	認定こども園
(幼児期に必要な運動等)			
詳しくないのでわからないのですが、幼児期に経験し、能力を開花させたり高められるような分野を幼児教育に取り込む。	男の子	5才児	認定こども園
就学前に運動することの大切さは理解しているつもりだが、どの程度やらせてあげるべきなのか知りたい	男の子	3才児	保育所・園
(スポーツする姿勢・礼儀等)			
スポーツのスキルの習得だけでなく、子供がスポーツに興味を持ち、努力する大切さ、達成感を味わえるような事を教えてほしい	男の子	4才児	認定こども園
前向きな気持ちを育てる方法。	男の子	4才児	保育所・園
諦めない心	女の子	3才児	保育所・園
持久力の付け方	女の子	3才児	保育所・園
挨拶等礼儀を身につけさせたいので、教えていただけると助かります。	男の子	5才児	幼稚園
私はスポーツを通して、礼儀や他人を思う心、努力する事、そして感謝する事。人生において大切な事をたくさん学ばせて頂きました。子どももスポーツをしたい気持ちがあるならば、勝ち負けじゃなく人生で糧になる学びをたくさんして欲しいと思っています。	女の子	4才児	保育所・園
(その他)			
年齢にあった運動の進め方	女の子	5才児	認定こども園
オリンピック競技になっている種目を体験したり教えてあげて欲しい	女の子	3才児	保育所・園
競技に特化した内容	女の子	4才児	保育所・園
マイナーなスポーツや親子ヨガなど親子でできるのが増えたらいいと思う。	男の子	4才児	幼稚園
長く続けられるスポーツ	女の子	5才児	幼稚園
怪我をしないようなサポートの仕方	女の子	4才児	保育所・園
小学校の跳び箱で3人けがしたと娘から聞くことがあったので、まずは小学校の体育の先生または体育を担当される方に、安全な指導方法を指導してほしいです。	男の子	5才児	認定こども園
●指導方法・形態など			
大体大の方に、日々続けて指導してもらえることがベスト。	女の子	4才児	認定こども園
小学校や中学校に出前授業的なものはやってもらえないか？	女の子	4才児	幼稚園
クラブ活動のコーチ等。	女の子	4才児	保育所・園
子供達の運動不足が増えているならば学校の体育の授業に当てたり、保育園などでの平等なサービスに充てて欲しいです。	女の子	5才児	認定こども園
質問がざっくりすぎるとは思いますが、体育指導に貢献していただけるならありがたいです。	男の子	5才児	保育所・園
通しやすい施設で、同世代や同等レベルの友達と一緒に、安価で通える教室があれば参加させたい。	男の子	4才児	認定こども園
保育園や学校の授業枠内でのスポーツ教室	女の子	4才児	保育所・園
放課後の学童保育でのスポーツ教室	女の子	4才児	保育所・園
スポーツは、日々練習して続けることが必要なので、近所で続けて通える施設が必要。	女の子	4才児	認定こども園
仕事している家庭でも、利用できる時間か、週末にいろいろな体験をさせてほしい。	男の子	4才児	保育所・園
費用が高いのでスポーツ系の習い事に通っていない子どもにもそれらを無料または一部負担で経験する機会があると嬉しい。	女の子	3才児	認定こども園
勉強中の学生たちはあくまで補助であり、実際の指導に関しては専門家を招聘されることを望みます。	男の子	5才児	認定こども園
●知らなかった			
そもそもそんな活動あるのを知らない	女の子	5才児	認定こども園
グランドゴルフ体験、ウォークラリー、登山等はよくネットで探していますが、知りませんでした。	男の子	3才児	保育所・園
一部の人たちにしか知らないし、特別に教えて貰う機会や時間もありません。	女の子	5才児	認定こども園
まずは何を教えてもらえるかの情報がありません。	男の子	5才児	認定こども園

●その他			
市民の考えが統一出来る様にしてもらえるとストレスが減ります。	女の子	4才児	幼稚園
各スポーツクラブにおいてコロナ対策がバラバラなんで、専門家が考える方向性を決めて発表してもらいたいです。	女の子	4才児	幼稚園

4) 健康・体力に関する意識について

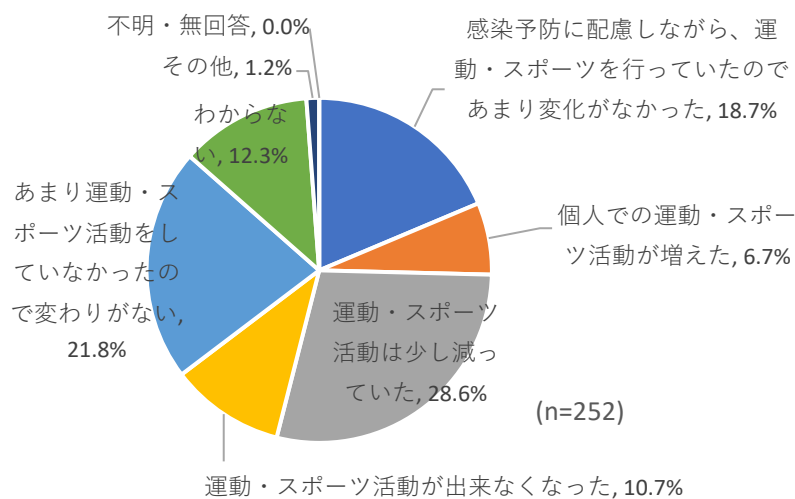
⑨ 緊急事態宣言時の子どものスポーツ活動量の変化

問 17 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言時の、お子様のスポーツの活動量はどの程度変わりましたか？

- 少し減ったが3割弱
- 一方、コロナ前の運動量に関わらず、あまり変化なしが4割程度

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言時の、お子様のスポーツの活動量はどの程度変わったかについては、「運動・スポーツ活動は少し減っていた」が28.6%で最も多い。

一方、「あまり運動・スポーツ活動をしなかったので変わりがない」が21.8%、「感染予防に配慮しながら、運動・スポーツを行っていたので、あまり変化がなかった」が18.7%とつづき、余り変化がなかったと回答した人は40.5%と4割程度となっている。



《クロス集計結果》

3才児クラス（年少）は「あまり運動・スポーツ活動をしなかったので変わらない」が最も多いが、ほかはいずれも「運動・スポーツ活動は少し減っていた」が最も多い。

